

「中野区子ども・子育てアンケート調査」結果報告について

中野区子ども・子育て支援事業計画策定のために実施した「中野区子ども・子育てアンケート調査」の最終結果をとりまとめたので、以下のとおり報告する。

1. 調査概要

- (1) 調査対象 ①乳幼児（0歳～5歳）の保護者
 ②就学児童（小学校1年生～3年生）の保護者
- (2) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送配布・回収による無記名アンケート
- (4) 調査期間 平成25年10月16日～11月7日

2. 回収結果

調査対象	発送件数	回収件数	回収率
乳幼児（0～5歳）	2,530	1,544	61.0%
就学児童（1～3年生）	1,570	950	60.5%
合 計	4,100	2,494	60.8%

3. 集計結果の概要

(1) 親の就労状況及び就労意向

- ①育児休業中である場合を含めると、母親の5割超がフルタイム、パート・アルバイト等で就労しており、就労していない母親のうち、およそ4人に1人が1年以内の就労を希望している。
- ②子どもの年齢が上がるに従い、「フルタイム共働き家庭」が減少し、「フルタイム・パート共働き家庭」が増える傾向にある。
- ③育児休業を取得し、職場復帰した母親のうち、約6割が復帰時期を早めている。その理由は、「希望する保育園等に入るため」が7割超と最も多い。

(2) 保育園・幼稚園の利用状況及び利用意向

- ①0～5歳で幼稚園、保育園などの施設を利用している保護者のうち、約9割が中野区内で利用している。主な施設は、「認可保育所」が43.1%で最も多く、「幼稚園」が37.2%、「認証保育所」が9.3%、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」が2.5%となっている。

就労形態による家庭類型別にみると、「ひとり親家庭」及び「フルタイム共働き家庭」では、其々7割台が「認可保育所」を利用しており、「フルタイム・パート共働き家庭」は、「認可保育所」と「幼稚園」ともに3割台の利用状況である。

- ②定期的に利用したいと考える施設や事業については、0～2歳の47.1%が「認可保育所」、3歳以上では55.5%が「幼稚園」を希望している。
- ③子どもの年齢に合わせて、利用する施設や事業の変更・新規開始を希望する年齢は「3歳」が6割超と最も多く、その内「幼稚園」への希望が最も多い。

(3) その他の事業

- ①一時預かり事業については23.3%が利用している。そのうち「幼稚園の預かり保育」の利用が最も多く、次いで、「保育園の一時保育」、「ファミリー・サポート事業」などの順となっている。
- ②保護者が進めてほしい子育て支援策では、「子育て費用の助成」、「放課後の居場所づくり」などが上位を占めている。
- ③「学童クラブを利用したい保護者の割合」は、低学年で47.6%、高学年で26.8%となっている。

4. 結果の公表

調査結果については、区ホームページに掲載するとともに、子ども教育経営担当窓口及び子ども総合相談窓口に閲覧用冊子を備える。また、図書館、区民活動センター、区政資料センターにて公表する。

中野区子ども・子育てアンケート調査 結 果 報 告 書

平成26(2014)年3月
中 野 区

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収結果	1
4. 報告書を読むにあたって	2
第 2 章 調査結果の要旨	3
1. 共通項目	3
2. 乳幼児調査のみの項目	6
3. 就学児童調査(小学校 1～3 年生)のみの項目	11
第 3 章 乳幼児調査の結果	14
1. 子どもと家族の状況について	14
(1) 調査回答者	14
(2) 居住地域	15
(3) 子どもの年齢	16
(4) 子どもの人数と末子の年齢	16
(5) 子どもの主たる養育者	17
2. 保護者の就労状況について	18
(1) 父親の就労状況	18
(2) 母親の就労状況	23
(3) 両親の就労形態からみた家庭類型	28
3. 教育・保育事業の利用状況	29
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	29
(2) 利用している教育・保育事業	31
(3) 教育・保育事業の利用頻度と利用希望頻度	33
(4) 利用している教育・保育事業の実施場所	39
(5) 教育・保育事業を利用している理由	41
(6) 教育・保育事業を利用していない理由	42
4. 教育・保育事業の利用意向	43
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向	43
(2) 年齢にあわせた教育・保育事業の変更・新規利用意向	45
(3) 土曜日・日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向	50
(4) 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向	53

5. 病児・病後児保育事業について	54
(1) 病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験	54
(2) 教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法	56
(3) 病児・病後児保育施設の利用意向	57
(4) 病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由	58
6. 一時預かり事業について	59
(1) 一時預かり事業の利用状況	59
(2) 一時預かり事業を利用していない理由	61
(3) 一時預かり事業の利用意向	62
7. ショートステイについて	63
(1) 泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験	63
(2) 泊まりがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法	64
(3) ショートステイを利用しなかった理由	65
8. 緊急一時保護(障害や発達に課題のあるお子さんを対象とした事業)について	66
(1) 緊急一時保護の利用意向	66
(2) 緊急一時保護の利用希望頻度	67
9. 子育てひろばについて	68
(1) 子育てひろばの利用状況	68
(2) 子育てひろばの月あたりの利用回数	70
(3) 子育てひろばの利用意向	71
10. 学童クラブについて(5歳児のみ回答)	73
(1) 小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望	73
(2) 小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望	75
(3) 土曜日の学童クラブの利用意向	77
(4) 日曜日・祝日の学童クラブの利用意向	78
(5) 夏休み・冬休み等の学童クラブの利用意向	79
11. 育児休業について	80
(1) 育児休業の取得状況	80
(2) 育児休業を取得した人の状況	82
(3) 育児休業取得中の人の育児休業希望取得期間	89
12. 子育ての状況や子育て支援に対する意向	90
(1) 出産直後に子育てや家事を手伝ってくれた人等の有無	90
(2) 子どもと接する時間	91
(3) 子育てや教育を行うにあたっての心配ごと	92
(4) 子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所	93
(5) 子育て支援サービスの認知・利用状況と利用意向	94
(6) 進めてほしい子育て支援策	97
13. 区の子育て支援策に関する意見・要望	98

第4章 就学児童調査（小学校1～3年生）の結果	104
1. 子どもと家族の状況について	104
(1) 調査回答者	104
(2) 居住地域	105
(3) 子どもの学年	106
(4) 子どもの人数と末子の年齢	106
(5) 子どもの主たる養育者	107
2. 保護者の就労状況について	108
(1) 父親の就労状況	108
(2) 母親の就労状況	112
(3) 両親の就労形態からみた家庭類型	117
3. 放課後の過ごし方について	118
(1) 放課後の過ごし方	118
(2) 学童クラブの利用状況	121
(3) 放課後等デイサービス(障害や発達に課題のあるお子さん対象)の利用状況	124
4. 学童クラブの利用意向	126
(1) 平日の学童クラブの利用意向	126
(2) 土曜日の学童クラブの利用意向	128
(3) 日曜日・祝日の学童クラブの利用意向	130
(4) 夏休み等の学童クラブの利用意向	131
5. 放課後等デイサービス(障害や発達に課題のあるお子さん対象)の利用意向	134
(1) 平日の放課後等デイサービスの利用意向	134
(2) 土曜日の放課後等デイサービスの利用意向	135
(3) 日曜日・祝日の放課後等デイサービスの利用意向	137
(4) 夏休み等の放課後等デイサービスの利用意向	138
6. キッズ・プラザについて	140
(1) キッズ・プラザの利用状況	140
(2) キッズ・プラザを利用していない理由	142
(3) キッズ・プラザの利用意向	143
7. 児童館について	145
(1) 児童館の利用状況	145
(2) 児童館を利用していない理由	147
(3) 児童館の利用意向	148
8. 病児・病後児保育事業について	150
(1) 病児・病後児保育事業の利用意向	150
9. 一時預かり事業について	152
(1) 一時預かり事業の利用状況	152

(2)一時預かり事業を利用していない理由	154
(3)一時預かり事業の利用意向	155
10. ショートステイについて	157
(1)泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験	157
(2)泊まりがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法	158
11. 子育ての状況や子育て支援に対する意向	159
(1)子育てや教育を行うにあたっての心配ごと	159
(2)子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所	160
(3)子育て支援サービスの認知・利用状況	161
(4)進めてほしい子育て支援策	164
12. 区の子育て支援策に関する意見・要望	165
 第5章 資料（調査票）	 169
1. 乳幼児調査	169
2. 就学児童調査(小学校1～3年生)	189

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、子ども・子育て支援法に基づく「中野区子ども・子育て支援事業計画」を策定するための基礎資料を得ることを目的に実施した。

2. 調査の設計

調査名	乳幼児調査	就学児童調査 (小学校 1～3 年生)
調査対象者と 抽出方法	就学前児童のいる世帯から 無作為抽出	小学生（1～3 年生）のいる 世帯から無作為抽出
調査方法	・ 郵送配付・郵送回収 ・ ハガキによる督促 1 回	
調査期間	・ 平成 25 年 10 月 16 日～11 月 7 日	

3. 回収結果

調査名	乳幼児調査	就学児童調査 (小学校 1～3 年生)
調査対象者数	2, 530 票	1, 570 票
有効回収数	1, 544 票	950 票
有効回収率	61. 0%	60. 5%

4. 報告書を読むにあたって

①「回答者数」について

- ・図表中の「回答者数」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答比率（％）の母数をあらわしている。

②図表の「％」（回答比率）について

- ・図表の「％」（回答比率）表記は、小数点第 2 位を四捨五入した値であるため、単数回答の質問項目でも合計が 100％にならないことがある。複数回答の質問項目は、回答者数を 100％として各選択肢の回答比率を算出しているため、合計は 100％を超える。

③単純集計について

- ・回答結果の全体の傾向を捉えるため、単純集計を行い、その特徴等を記述している。
- ・単純集計のグラフにおいては、傾向をよりわかりやすくするために、選択肢を回答比率（％）の大きなものから小さなものへと並び換えて表示している場合がある。

④クロス集計について

- ・特徴的な質問項目については、子どもの年齢・学年などを分析の柱とするクロス集計表を掲載し、分析を行っている。
- ・クロス集計表の記載にあたり、分析の柱となる項目の「無回答」は掲載を省略している。したがって、分析の柱となる項目の回答者数の合計は、全体と一致しない場合がある。

第2章 調査結果の要旨

1. 共通項目

1) 調査回答者(乳幼児調査:問1、就学児童調査:問1)

乳幼児調査、就学児童調査とも、「母親」が9割以上を占めています。

2) 居住地域(乳幼児調査:問2、就学児童調査:問2)

最も多いのは、乳幼児調査、就学児童調査ともに「中央」、最も少ないのは、乳幼児調査は「松が丘」、就学児童調査は「丸山」となっています。

すこやか福祉センター管轄地域でみると、乳幼児調査では「中部すこやか福祉センター」、就学児童調査では「北部すこやか福祉センター」がそれぞれ最も多くなっています。

3) 子どもの年齢・学年(乳幼児調査:問3、就学児童調査:問3)

乳幼児調査は、「0歳」が2割台、「1歳」から「5歳」が各1割台となっています。就学児童調査は、「小学校1年生」から「小学校3年生」まで各3割台となっています。

4) 子どもの人数と末子の年齢(乳幼児調査:問4、就学児童調査:問4)

子どもの人数は、乳幼児調査では「1人」「2人」が各4割台であり、平均1.7人となっています。就学児童調査では「2人」が57.4%であり、平均2.0人となっています。

末子の年齢は、乳幼児調査では「0歳」が33.0%と最も多く、平均1.6歳となっています。就学児童調査では「5～6歳」が26.2%と最も多く、平均4.7歳となっています。

5) 子どもの主たる養育者(乳幼児調査:問5、就学児童調査:問5)

乳幼児調査、就学児童調査とも、「父母ともに」が5割台、次いで「主に母親」が約4割となっています。

6) 父親の就労状況(乳幼児調査:問6、就学児童調査:問6)

乳幼児調査、就学児童調査とも、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が9割以上を占めています。

フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の就労状況は、乳幼児調査、就学児童調査とも、1週あたりの就労日数の平均が約5日、1日あたりの就労時間の平均が約10時間となっています。また、家を出る時刻は「8時台」、帰宅時刻は「22時以降」がそれぞれ最も多くなっています。

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、乳幼児調査の58.3%、就学児童調査の31.6%が「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答しており、「転換希望があり、実現できる見込みがある」は乳幼児調査、就学児童調査とも1割台となってい

ます。

未就労者の就労意向は、乳幼児調査の 66.7%、就学児童調査の 54.5%が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答しており、その場合の就労形態として、乳幼児調査の 80.0%、就学児童調査では全員が「フルタイム」を希望しています。

7) 母親の就労状況(乳幼児調査:問 7、就学児童調査:問 7)

乳幼児調査では「以前は就労していたが、現在は就労していない」の 45.1%が最も多く、『フルタイムで就労している』は 37.2%、『パート・アルバイト等で就労している』は 14.5%となっています。就学児童調査では「以前は就労していたが、現在は就労していない」は 35.4%であり、『パート・アルバイト等で就労している』が 30.2%、『フルタイムで就労している』が 27.6%となっています。

フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週あたりの就労日数の平均は、乳幼児調査が 4.8 日、就学児童調査が 4.6 日であり、1日あたりの就労時間の平均は、乳幼児調査が 7.4 時間、就学児童調査が 6.8 時間となっています。また、乳幼児調査、就学児童調査とも、家を出る時刻は「8 時台」、帰宅時刻は「18 時台」がそれぞれ最も多くなっています。

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、乳幼児調査、就学児童調査とも「パート・アルバイト等で働きたい」が 5 割台、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 2 割台となっています。

未就労者の就労意向は、乳幼児調査の 51.4%、就学児童調査の 37.2%が「1年より先に就労したい」と回答しています。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は乳幼児調査の 20.8%、就学児童調査の 27.9%であり、その場合に希望する就労形態は、乳幼児調査、就学児童調査とも「パート・アルバイト等」が 8 割台となっています。

8) 両親の就労形態からみた家庭類型

乳幼児調査は、「専業主婦(夫)」46.2%、「フルタイム共働き」35.2%、「フルタイム・パート共働き」13.5%の順となっています。就学児童調査は、「専業主婦(夫)」39.4%、「フルタイム・パート共働き」28.2%、「フルタイム共働き」23.7%の順となっています。

9) 子育てや教育を行うにあたっての心配ごと(乳幼児調査:問 35、就学児童調査:問 19)

乳幼児調査は、「子どもの健康や病気」55.3%、「子どものしつけ」54.5%、「子育ての経済的負担」36.1%、「子どもの発達」28.8%、「仕事や自分のことが十分にできないこと」23.2%の順となっています。

就学児童調査は、「子どもの勉強や成績」40.2%、「子どものしつけ」39.8%、「子どもの健康や病気」36.9%、「子育ての経済的負担」34.2%の順となっています。

10) 子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所(乳幼児調査:問 36、就学児童調査:問 20)

乳幼児調査、就学児童調査ともに、「あなたの配偶者、パートナー」「その他の親族」「友人・知人」が上位 3 位となっています。次いで、乳幼児調査では「保育園の職員」「かかりつけ医」「幼稚園の先生」、就学児童調査では「小中学校の先生」「かかりつけ医」「児童館等の職員」となっています。

11) 子育て支援サービスの認知・利用状況(乳幼児調査:問 37、就学児童調査:問 21)

乳幼児調査では、「利用したことがある」割合は、《③子育て情報誌「おひるね」38.8%》、《⑤こんにちは赤ちゃん学級、両親学級 35.9%》、《②区のホームページの子育て情報 29.0%》、《⑨すこやか福祉センターの実施する講座、講演会など 22.8%》、《⑮幼稚園の未就園児のひろばや親子教室 22.1%》の順となっています。一方、「知らない」と回答した人の割合は、《⑭教育センターにおける教育相談 78.2%》、《⑲母子生活支援施設の子育て電話相談 67.6%》、《①子育て応援メールマガジン 63.1%》、《⑬療育センターアポロ園 62.0%》の順となっています。

就学児童調査では、「利用したことがある」割合は、《⑯小学校の校庭開放 55.6%》、《⑱身近な地域における親子のひろば・交流の場 42.9%》、《⑤こんにちは赤ちゃん学級、両親学級 33.9%》、《③子育て情報誌「おひるね」27.3%》、《②区のホームページの子育て情報 17.4%》の順となっています。一方、「知らない」と回答した人の割合は、《①子育て応援メールマガジン 66.3%》、《⑳母子生活支援施設の子育て電話相談 63.8%》、《⑭教育センターにおける教育相談 63.5%》の順となっています。

12) 進めてほしい子育て支援策(乳幼児調査:問 38、就学児童調査:問 22)

乳幼児調査は、「児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」77.5%、「多様な保育サービスの充実」74.5%、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり」68.5%、「犯罪から子どもを守る体制の整備」65.5%、「子育てしやすい労働環境づくりに向けた企業への啓発」53.0%が上位 5 位となっています。

就学児童調査は、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり」70.9%、「犯罪から子どもを守る体制の整備」68.4%、「児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」66.8%、「多様な保育サービスの充実」48.9%、「子育てしやすい労働環境づくりに向けた企業への啓発」44.7%が上位 5 位となっています。

2. 乳幼児調査のみの項目

1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況(乳幼児調査:問 8)

「利用している」が 67.8%、「利用していない」が 31.9%となっています。

2) 利用している教育・保育事業(乳幼児調査:問 9)

「認可保育所（区立・私立保育園）、中野 2 丁目保育室」が 43.1%、「幼稚園（通常の就園時間）」が 37.2%、「認証保育所」が 9.3%、「幼稚園の預かり保育の定期的利用」が 5.7%などとなっています。

3) 教育・保育事業の利用頻度と利用希望頻度(乳幼児調査:問 10)

1 週あたりの利用日数は「5 日」が 92.9%を占めます。利用開始時間は「9 時台から」54.3%、「8 時台から」32.0%、利用終了時間は「14 時まで」37.5%、「18 時まで」27.7%の順となっています。

1 週あたりの利用希望日数は、「5 日」が 78.3%であり、「6 日以上」という回答も 4.7%みられます。希望開始時間は「9 時台から」44.1%、希望終了時間は「18 時まで」21.1%が、それぞれ最も多くなっています。

4) 利用している教育・保育事業の実施場所(乳幼児調査:問 11)

「中野区内」が 88.2%、「他の区市町村」が 10.9%となっています。

5) 教育・保育事業を利用している理由(乳幼児調査:問 12)

「子育てや教育をしている方が現在就労している」が 57.9%、「子どもの教育や発達のため」が 56.4%などとなっています。

6) 教育・保育事業を利用していない理由(乳幼児調査:問 14)

「母親か父親が就労していないなどの理由で利用する必要がない」48.9%、「低年齢のうちは家庭で育てたい」40.6%の順となっています。「低年齢のうちは家庭で育てたい」と回答した人が、教育・保育事業の利用を考えている子どもの年齢は、平均 3.0 歳でした。

7) 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向(乳幼児調査:問 15)

「認可保育所（区立・私立保育園）、中野 2 丁目保育室」43.1%、「幼稚園（通常の就園時間）」31.7%、「幼稚園の預かり保育の定期的利用」19.9%、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」11.8%の順であり、「平日に定期的に利用したい事業はない」は 17.7%でした。

8) 年齢にあわせた教育・保育事業の変更・新規利用意向(乳幼児調査:問 16)

年齢にあわせた教育・保育事業の変更・新規利用を「考えている」と回答した人は 25.3%となっています。変更・新たに利用を開始したい年齢は、「3 歳」の 63.6%が最も多く、

変更・新たに利用を開始したい事業は、「幼稚園（通常の就園時間）」が 60.8%、「認可保育所（区立・私立保育園）、中野 2 丁目保育室」が 18.2%、「幼稚園の預かり保育の定期的利用」が 4.9%などとなっています。変更において重視する条件は、「教育・保育の内容や方針が希望にあう」67.7%、「自宅から距離が近い」60.8%、「施設や設備が充実している」45.4%の順となっています。

9)土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向(乳幼児調査:問 17)

土曜日について、「ほぼ毎週利用したい」の 7.5%、「月に 1～2 回利用したい」の 21.1%をあわせた『利用したい』は 28.6%であり、希望開始時間は「9 時台から」48.0%、希望終了時間は「18 時まで」29.0%が、それぞれ最も多くなっています。

日曜日・祝日について、「ほぼ毎週利用したい」の 2.1%、「月に 1～2 回利用したい」の 11.1%をあわせた『利用したい』は 13.2%であり、希望開始時間は「9 時台から」50.7%、希望終了時間は「18 時まで」31.7%が、それぞれ最も多くなっています。

10)幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向(乳幼児調査:問 18)

「ほぼ毎日利用したい」9.8%、「週に数日利用したい」49.9%をあわせた『利用したい』は 59.7%であり、希望開始時間は「9 時台から」79.7%、希望終了時間は「15 時まで」28.9%が、それぞれ最も多くなっています。

11)病児・病後児保育事業について(乳幼児調査:問 13)

病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験が「あった」は 70.8%であり、その際の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」68.3%、「父親が仕事を休んだ」34.3%、「親族・知人に子どもをみてもらった」30.5%の順となっています。

父母のどちらかが仕事を休んだと回答した人のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人は 35.5%であり、利用希望日数の平均は 11.6 日でした。一方、病児・病後児保育施設等を「利用したいと思わない」と回答した 62.1%の人の理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」46.5%、「親が仕事を休んで対応する」41.0%の順となっています。

12)一時預かり事業について(乳幼児調査:問 19・問 20)

「利用していない」が 75.1%を占め、『利用している』は 23.3%（「幼稚園の預かり保育」が 11.3%、「保育園の一時保育・短期特例保育」が 7.9%、「ファミリーサポート事業」が 2.7%など）となっています。「利用していない」と回答した人の理由は、「特に利用する必要がない」72.4%が最も多くなっています。

利用意向は、「利用する必要がある」50.1%、「利用する必要はない」43.3%となっています。「利用する必要がある」と回答した人の利用目的は、「私用、リフレッシュ目的」が 72.0%、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」が 60.7%、「不定期の就労」が 26.5%であり、年間の利用希望日数の平均は、「不定期の就労」の 24.8 日が最も多くなっています。

13) ショートステイについて(乳幼児調査:問 21)

泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験が「あった(預け先がみつからなかった場合も含む)」は 12.8%であり、その際の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」83.8%が最も多く、「ショートステイを利用した」は 1.0%でした。ショートステイを利用しなかった人にその理由をたずねたところ、「特に利用する必要がなかった」36.0%、「利用料がかかる」31.5%の順となっています。

14) 緊急一時保護(障害や発達に課題のあるお子さんを対象とした事業)について

(乳幼児調査:問 22)

利用意向は、「利用する必要はない」が 58.8%と半数以上であり、「利用したい」は 2.3%、「必要だが、利用したいとは思わない」は 3.9%となっています。

「利用したい」と回答した人の 1 週あたりの利用希望日数は平均 2.2 日であり、希望開始時間は「9 時台から」36.1%、希望終了時間は「18 時まで」30.6%が、それぞれ最も少なくなっています。

15) 子育てひろばについて(乳幼児調査:問 23・問 24)

『利用している』は 37.3% (「児童館、U18 プラザ、ふれあいの家のひろば事業」31.7%、「地域の団体が実施するひろば事業、乳幼児親子の居場所」8.0%、「中部すこやか福祉センターのひろば事業(どんぐり)」5.8%、「民間の行うひろば事業」5.4%) であり、月あたりの利用回数は平均 4.5 回となっています。

利用意向は、「現在は利用していないが、今後利用したい」の 25.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の 24.5%をあわせた 50.2%が、『新たに利用したり、利用日数を増やしたい』と回答しており、月あたりの利用希望回数は、「現在は利用していないが、今後利用したい」と回答した人では平均 3.7 回、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人では平均 6.1 回となっています。

16) 学童クラブについて(乳幼児調査:問 25～問 28)

①放課後の過ごし方の希望(問 25・26)

小学校低学年時は、「習い事」56.7%、「自宅」「学童クラブ」各 47.6%、「キッズ・プラザ」23.8%の順であり、学童クラブを希望した人の 1 週あたりの利用希望日数は平均 4.4 日、利用希望時間は「18 時まで」35.9%、「19 時まで」26.3%の順となっています。

小学校高学年時は、「習い事」74.1%、「自宅」57.3%、「学童クラブ」26.8%の順であり、学童クラブを希望した人の 1 週あたりの利用希望日数は平均 3.7 日、利用希望時間は「18 時まで」31.8%、「19 時まで」26.1%の順となっています。

②土曜日、日曜日・祝日の利用意向(問 27)

土曜日は、「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」が 21.3%、「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」が 14.4%となっており、希望開始時間は「9 時台から」54.4%、

希望終了時間は「18時まで」40.4%が、それぞれ最も多くなっています。

日曜日・祝日は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が8.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が7.5%となっており、希望開始時間は「9時台から」64.0%、希望終了時間は「19時まで」44.0%が、それぞれ最も多くなっています。

③夏休み・冬休み等の利用意向(問28)

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が21.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が27.1%となっており、希望開始時間は「9時台から」45.0%、希望終了時間は「18時まで」36.9%が、それぞれ最も多くなっています。

17) 育児休業について(乳幼児調査:問29～32)

①育児休業の取得状況(問29)

育児休業の取得状況は、父親は「取得していない」が91.1%を占め、「取得した」は2.5%、「取得中である」は0.0%となっています。母親は「働いていなかった」42.3%が最も多く、「取得した」は34.2%、「取得していない」は16.5%、「取得中である」は5.2%となっています。

取得していない理由は、父親は「仕事が忙しかった」37.5%、「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」29.9%、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」37.4%、「職場に育児休業制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」16.1%の順となっています。

②育児休業取得後の職場復帰状況(問30)

父親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が86.5%であり、「育児休業中（終了時）に離職した」は0.0%でした。母親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が88.6%、「育児休業中（終了時）に離職した」が10.4%となっています。

職場に復帰した人の復帰のタイミングは、父親は「育児休業終了時」が71.9%を占めます。母親は「年度初め（保育園入園にあわせて）」が66.2%、「育児休業終了時」が19.3%となっています。

短時間勤務制度の利用状況は、父親は「利用する必要がなかった（もともと短時間勤務等）」50.0%、「利用したかったが、しなかった（できなかった）」31.3%の順であり、「利用した」は9.4%と約1割となっています。母親は、「利用した」が57.0%と半数強となっており、次いで「利用したかったが、しなかった（できなかった）」が25.5%、「利用する必要がなかった（もともと短時間勤務等）」が13.1%となっています。「利用したかったが、しなかった」と回答した人の理由は、父親では「配偶者が短時間勤務制度や育児休業制度を利用した」50.0%、「仕事が忙しかった」40.0%などとなっています。母親では「短時間勤務にすると給与が減額される」47.9%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」各37.0%などとなっています。

③職場復帰時の子どもの年齢の実際と希望(問 30-3・問 31)

父親の復帰時期の実際は「1 か月以上 3 か月未満」25.0%、「1 か月未満」21.9%の順となっています。一方、希望は「1 か月以上 3 か月未満」25.0%が最も多く、「1 歳以上」という回答も 18.8%みられます。希望より早く復帰した人の理由は、「その他」40.0%、「人事異動や業務の節目など仕事の都合」20.0%の順となっています。

母親の復帰時期の実際は「6 か月以上 1 歳未満」「1 歳以上 2 歳未満」がともに 40.0%となっています。一方、希望は「1 歳以上 2 歳未満」45.0%が最も多く、次いで「3 歳以上」14.8%、「2 歳以上 3 歳未満」13.5%の順となっています。希望より早く復帰した人の理由は「希望する保育園等に入るため」71.8%、希望より遅く復帰した人の理由は「希望する保育園等に入れなかったため」88.6%が、それぞれ最も多くなっています。

④育児休業取得中の人の育児休業希望取得期間(問 32)

育児休業を取得中の人に育児休業希望取得期間をたずねたところ、父親には該当者はいませんでした。母親は「1 歳になるまで取得したい」が 83.8%を占め、「1 歳になる前に復帰したい」は 2.5%となっています。

18) 出産直後に子育てや家事を手伝ってくれた人等の有無(乳幼児調査:問 33)

「あなたの配偶者・パートナー」75.3%、「里帰り出産先の子どもの祖父母」52.1%、「その他の子どもの祖父母」42.7%、「子どもの祖父母以外の親族」11.1%の順となっています。サービスとしては、「育児支援ヘルパー」が 1.6%、「NPO 法人や民間サービス」が 1.1%などとなっており、「手伝ってくれた人はいなかった・サービスは利用しなかった」は 1.9%でした。

19) 子どもと接する時間(乳幼児調査:問 34)

父親は、平日は「ほとんどない」22.5%が最も多く、次いで「1 時間くらい」21.3%、「2 時間くらい」18.7%の順となっています。休日は「4 時間以上」が 84.9%を占め、次いで「3 時間くらい」が 5.2%となっています。

母親は、平日は「4 時間以上」が 82.6%を占め、次いで「3 時間くらい」が 12.2%となっています。休日は「4 時間以上」が 98.4%を占めています。

20) 子育て支援サービスの利用意向(乳幼児調査:問 37)

「利用したい」と回答した人の割合は、《②区のホームページの子育て情報 68.0%》、《③子育て情報誌「おひるね」 60.6%》、《⑫児童館等における子育て相談 56.7%》、《⑯保育園の園庭開放 54.3%》、《⑰ファミリーサポート事業 51.8%》の順となっています。

3. 就学児童調査(小学校 1～3 年生)のみの項目

1)放課後の過ごし方(就学児童調査:問 8)

放課後の過ごし方は、「習い事」 62.7%、「自宅」 61.4%、「学童クラブ」 30.9%の順となっています。学童クラブを利用している人の 1 週あたりの利用日数は平均 4.4 日となっています。

2)学童クラブの利用状況(就学児童調査:問 8-1)

放課後の利用終了時間は「17 時まで」 50.3%、「18 時まで」 40.1%の順となっています。

放課後の利用者のうち土曜日に「利用している」は 16.3%であり、利用開始時間は「8 時台から」 47.9%、「9 時台から」 43.8%、利用終了時間は「17 時まで」 64.6%、「18 時まで」 31.3%の順となっています。

夏休み等に「利用している」は 92.2%であり、利用開始時間は「8 時台から」 57.2%、「9 時台から」 39.9%、利用終了時間は「17 時まで」 56.1%、「18 時まで」 37.3%の順となっています。

3)放課後等デイサービス(障害や発達に課題のあるお子さん対象)の利用状況

(就学児童調査:問 8-2)

放課後の利用終了時間は「17 時まで」「18 時まで」が各 50.0%となっています。

放課後の利用者のうち土曜日に「利用している」は 50.0% (1 人) であり、利用開始時間は「10 時台以降から」、利用終了時間は「17 時まで」となっています。

夏休み等に「利用している」は 100.0% (2 人) であり、利用開始時間は「10 時台以降から」、利用終了時間は「17 時まで」と、回答者全員が回答しています。

4)学童クラブの利用意向(就学児童調査:問 9)

①平日の利用意向

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年 (1～3 年生) 時は 38.0%、高学年 (4～6 年生) 時は 22.5%となっています。希望終了時間は、低学年 (1～3 年生) 時は「17 時まで」 43.2%、高学年 (4～6 年生) 時は「18 時まで」 43.0%が、それぞれ最も多くなっています。

②土曜日の利用意向

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年 (1～3 年生) 時は 9.8%、高学年 (4～6 年生) 時は 6.1%となっています。希望開始時間は、低学年 (1～3 年生) 時は「8 時台から」 41.9%、高学年 (4～6 年生) 時は「7 時台以前から」 50.0%が、それぞれ最も多くなっています。希望終了時間は、低学年 (1～3 年生) 時は「17 時まで」 49.5%、高学年 (4～6 年生) 時は「19 時まで」 43.1%が、それぞれ最も多くなっています。

③日曜日・祝日の利用意向

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（1～3年生）時は4.1%、高学年（4～6年生）時は2.9%となっています。希望開始時間は、低学年（1～3年生）時は「8時台から」「9時台から」各38.5%、高学年（4～6年生）時は「7時台以前から」42.9%が、それぞれ最も多くなっています。希望終了時間は、低学年（1～3年生）時は「17時まで」「18時まで」各35.9%、高学年（4～6年生）時は「19時まで」42.9%が、それぞれ最も多くなっています。

④夏休み等の利用意向

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（1～3年生）時は44.0%、高学年（4～6年生）時は28.6%となっています。希望開始時間は、低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）時ともに、「8時台から」が最も多くなっています。希望終了時間は、低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）時ともに、「17時まで」が最も多くなっています。

5)放課後等デイサービス(障害や発達に課題のあるお子さん対象)の利用意向

(就学児童調査:問10)

①平日の利用意向

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（1～3年生）時は2.6%、高学年（4～6年生）時は1.5%となっています。希望終了時間は、低学年（1～3年生）時は「17時まで」44.0%、高学年（4～6年生）時は「18時まで」35.7%が、それぞれ最も多くなっています。

②土曜日の利用意向

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（1～3年生）時は1.2%、高学年（4～6年生）時は0.7%となっています。希望開始時間は、低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）時ともに、「9時台から」が最も多くなっています。希望終了時間は、低学年（1～3年生）時は「18時まで」36.4%、高学年（4～6年生）時は「17時まで」「19時まで」各28.6%が、それぞれ最も多くなっています。

③日曜日・祝日の利用意向

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（1～3年生）時は0.9%、高学年（4～6年生）時は0.6%となっています。希望開始時間は、低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）時ともに、「9時台から」が最も多くなっています。希望終了時間は、低学年（1～3年生）時は「18時まで」44.4%、高学年（4～6年生）時は「19時まで」33.3%が、それぞれ最も多くなっています。

④夏休み等の利用意向

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（1～3年生）時は2.6%、高学年（4～6年生）時は1.6%となっています。希望開始時間は、低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）時ともに、「9時台から」が最も多くなっています。希望終了時間は、低学年（1～3年生）時は「17時まで」40.0%、高学年（4～6年生）時は「17時まで」「18時まで」各33.3%が、それぞれ最も多くなっています。

6)キッズ・プラザについて(就学児童調査:問 11・12)

「利用している」は24.0%であり、月あたりの利用日数は平均7.9日となっています。「利用していない」と回答した73.5%の人の理由は、「どこにあるか知らない」49.9%が最も多くなっています。

利用意向は、「利用したい」は51.7%と、「利用している」の2倍以上であり、月あたりの利用希望日数は、平均10.4日となっています。

7)児童館について(就学児童調査:問 13・14)

「利用している」は44.5%であり、月あたりの利用日数は平均8.5日となっています。「利用していない」と回答した52.7%の人の理由は、「利用する時間がない」34.9%、「友達が行かない」25.9%、「行ってもおもしろくない」13.2%の順となっています。

利用意向は、「利用したい」は61.5%であり、月あたりの利用希望日数は平均9.5日となっています。

8)病児・病後児保育事業について(就学児童調査:問 15)

「利用したい」は59.1%と約6割を占めています。

9)一時預かり事業について(就学児童調査:問 16・17)

「利用していない」が92.1%であり、『利用している』は7.1%（「ファミリーサポート事業」が4.3%、「民間学童クラブの一時保育」が0.4%、「療育センターアポロ園の緊急一時保護」が0.2%など）となっています。「利用していない」と回答した人の理由は、「特に利用する必要がない」66.2%が最も多くなっています。

利用意向は、「利用する必要がある」は31.8%であり、その利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」56.6%、「私用、リフレッシュ目的」45.4%、「不定期の就労」35.1%の順となっています。年間の利用希望日数の平均は「不定期の就労」で14.4日などとなっています。

10)ショートステイについて(就学児童調査:問 18)

泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験が「あった（預け先がみつからなかった場合も含む）」は17.1%であり、その際の対処方法は「親族・知人にみてもらった」87.7%が最も多く、「ショートステイを利用した」は1.9%、「その他の保育事業（民間のサービス等）を利用した」は1.2%となっています。

第3章 乳幼児調査の結果

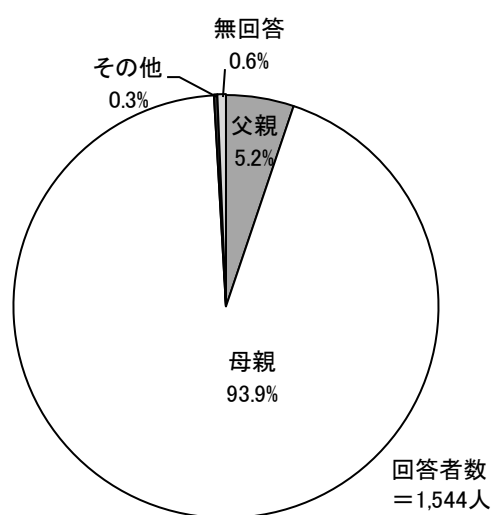
1. 子どもと家族の状況について

(1) 調査回答者

問1 この調査にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。
(〇は1つ)

調査回答者は、「母親」が93.9%を占め、「父親」は5.2%となっています。

図表3-1 調査回答者(単数回答)



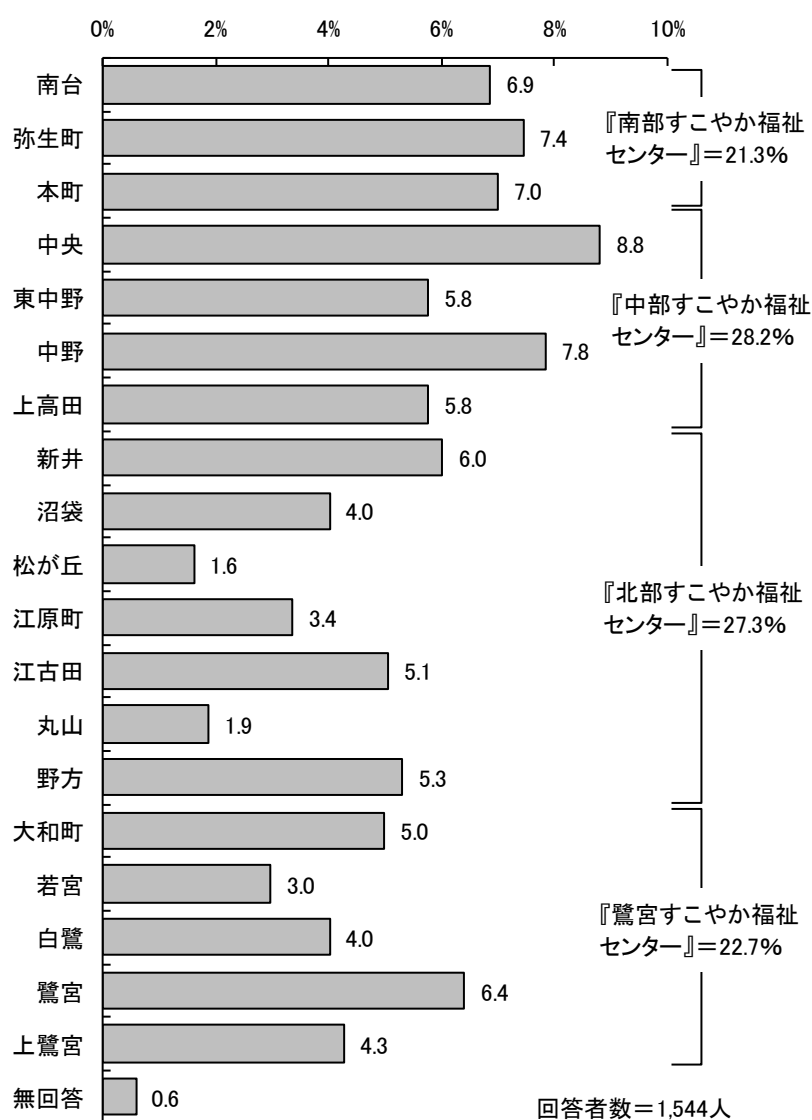
(2) 居住地域

問2 お住まいの地域をお答えください。(○は1つ、()内は数字を記入)

居住地域は、最も多いのは「中央」の8.8%、最も少ないのは「松が丘」の1.6%となっています。

すこやか福祉センター管轄地域でみると、各すこやか福祉センターとも2割台であり、最も多いのが『中部すこやか福祉センター』の28.2%、最も少ないのが『南部すこやか福祉センター』の21.3%となっています。

図表3-2 居住地域(単数回答)

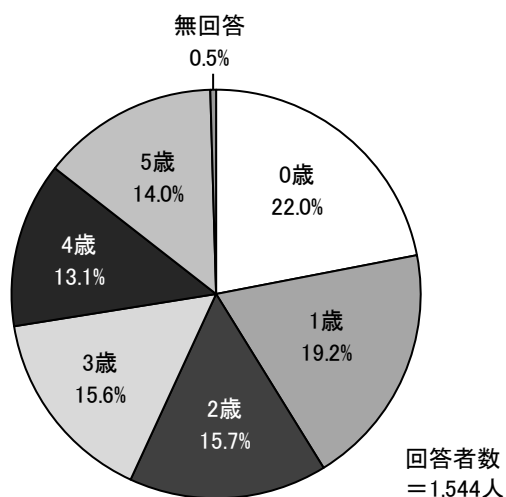


(3)子どもの年齢

問3 あて名のお子さんの生年月を記入してください。(数字を記入)

子どもの年齢(平成25年4月1日現在年齢)は、「0歳」が22.0%、「1歳」が19.2%、「2歳」が15.7%、「3歳」が15.6%、「4歳」が13.1%、「5歳」が14.0%となっています。

図表3-3 子どもの年齢(単数回答)



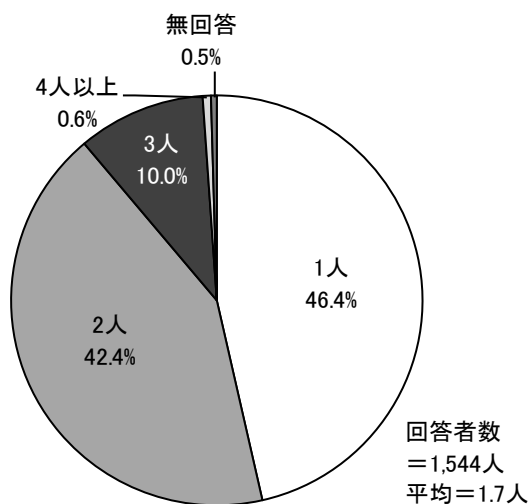
(4)子どもの人数と末子の年齢

問4 あて名のお子さんを含め、お子さんは全部で何人いらっしゃいますか。2人以上いらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月を記入してください。(数字を記入)

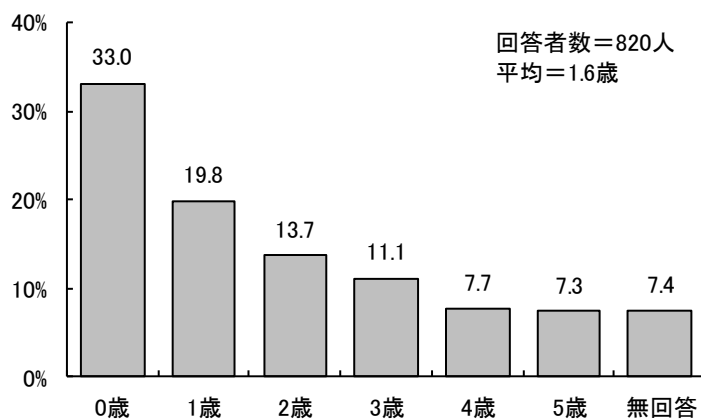
子どもの人数は、「1人」46.4%、「2人」42.4%、「3人」10.0%の順であり、平均1.7人となっています。

兄弟が2人以上の場合の末子の年齢(平成25年4月1日現在年齢)は、「0歳」33.0%、「1歳」19.8%、「2歳」13.7%の順であり、平均1.6歳となっています。

図表3-4 子どもの人数(単数回答)



図表3-5 末子の年齢(単数回答)

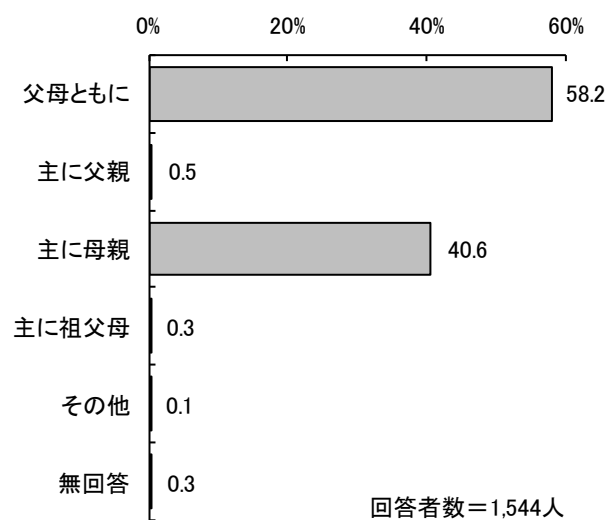


(5)子どもの主たる養育者

問5 あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。(〇は1つ)

子どもの主たる養育者は、「父母ともに」が58.2%と最も多く、次いで「主に母親」が40.6%となっています。

図表3-6 子どもの主たる養育者(単数回答)



2. 保護者の就労状況について

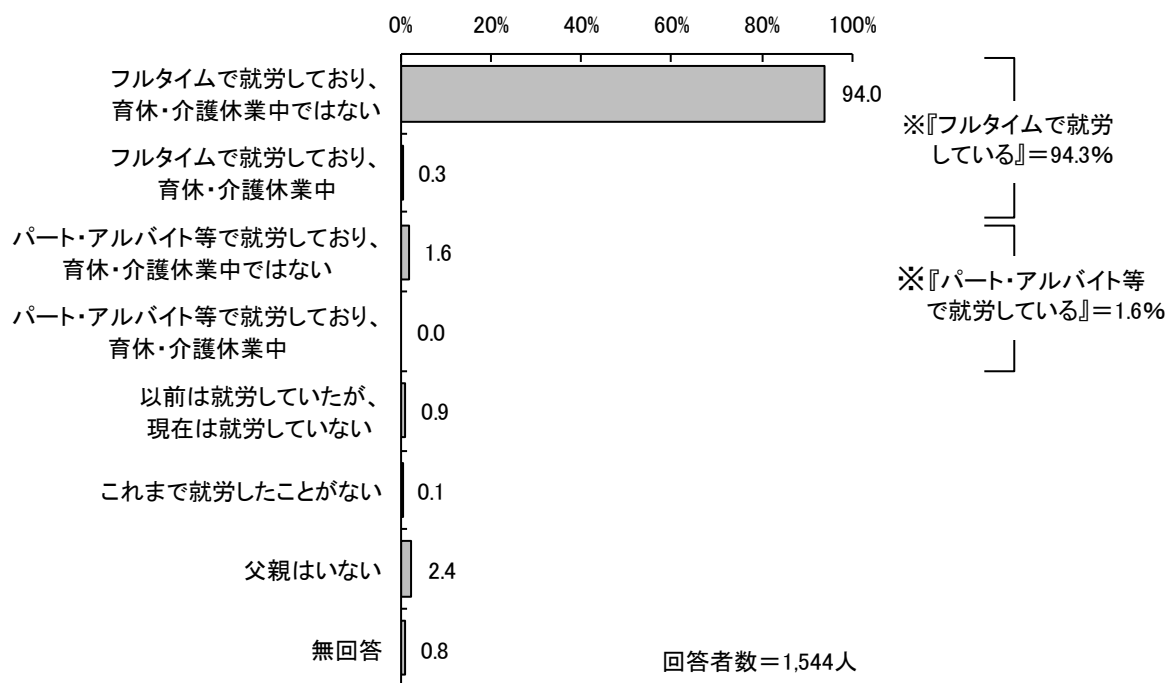
(1) 父親の就労状況

① 就労形態

問6 あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。(〇は1つ)

父親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 94.0% を占め、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中」の 0.3% をあわせた 94.3% が『フルタイムで就労している』と回答しています。

図表3-7 父親の就労形態(単数回答)



※『フルタイムで就労している』=「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」＋「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中」

※『パート・アルバイト等で就労している』=「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」＋「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中」

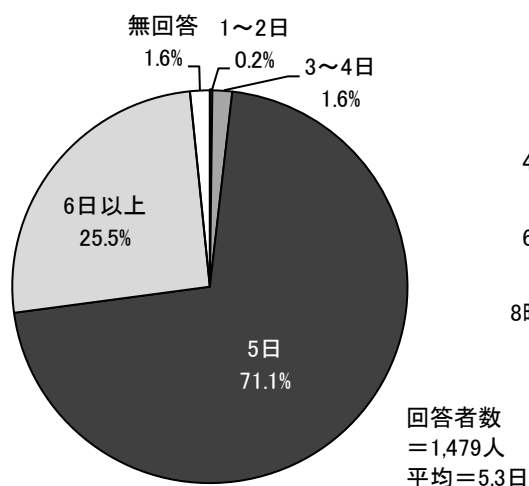
②就労状況

問6-1 「1～4」（就労している）に○をした方に伺います。①1週あたり就労日数・1日あたり就労時間（残業時間を含む）、②家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
（数字を記入）

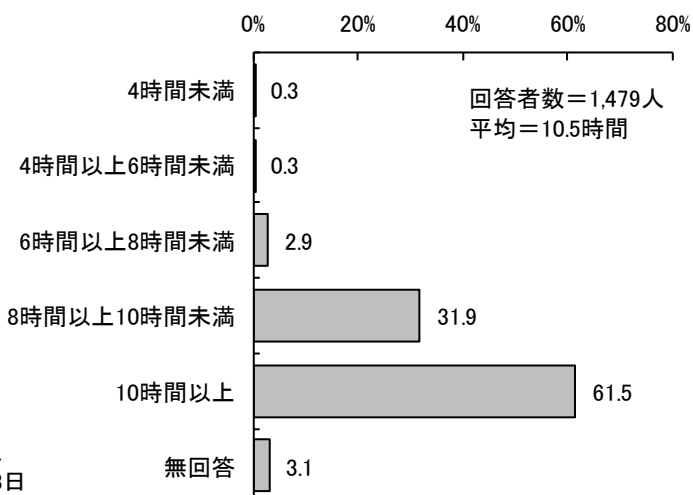
フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週あたりの就労日数は、「5日」が71.1%を占め、平均5.3日となっています。1日あたりの就労時間は「10時間以上」61.5%、「8時間以上10時間未満」31.9%の順であり、平均10.5時間となっています。

家を出る時刻は、「8時台」が34.3%と最も多く、次いで「7時台」が27.5%となっています。帰宅時刻は、「22時以降」が25.4%と最も多く、次いで「21時台」が17.1%となっています。

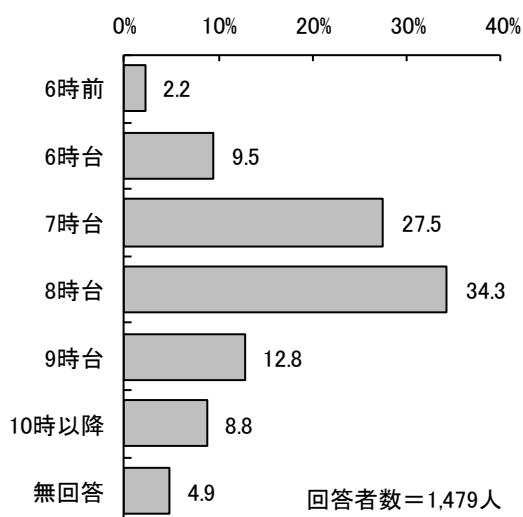
図表3-8 1週あたりの就労日数(単数回答)



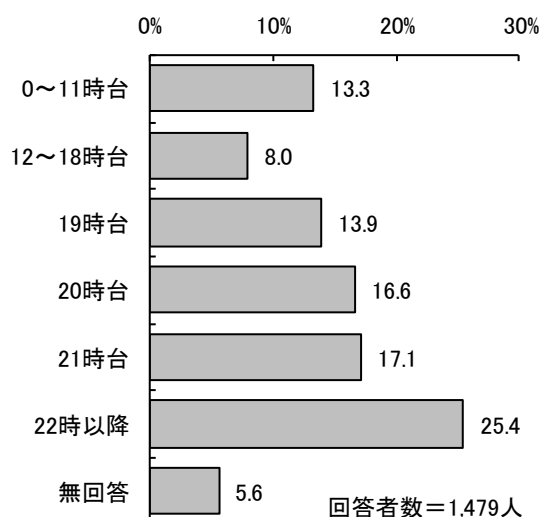
図表3-9 1日あたりの就労時間(単数回答)



図表3-10 家を出る時刻(単数回答)



図表3-11 帰宅時刻(単数回答)

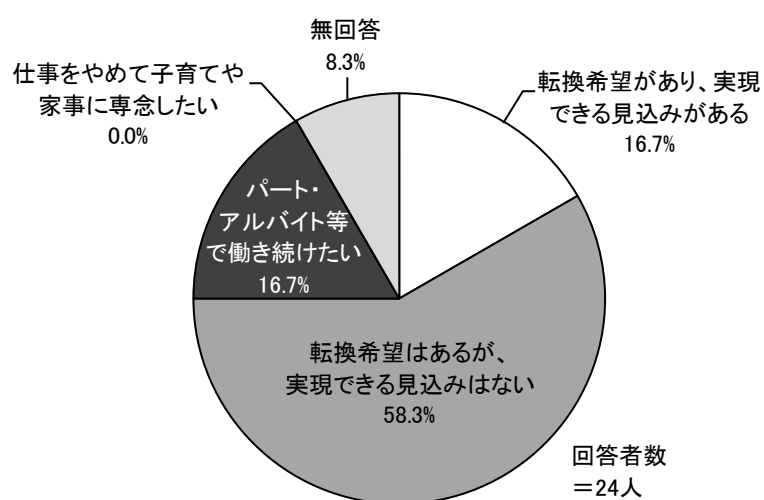


③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問6-2 「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方に伺います。
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。
（○は1つ）

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が58.3%、次いで「転換希望があり、実現できる見込みがある」「パート・アルバイト等で働きたい」が各16.7%となっています。

図表3-12 パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望（単数回答）



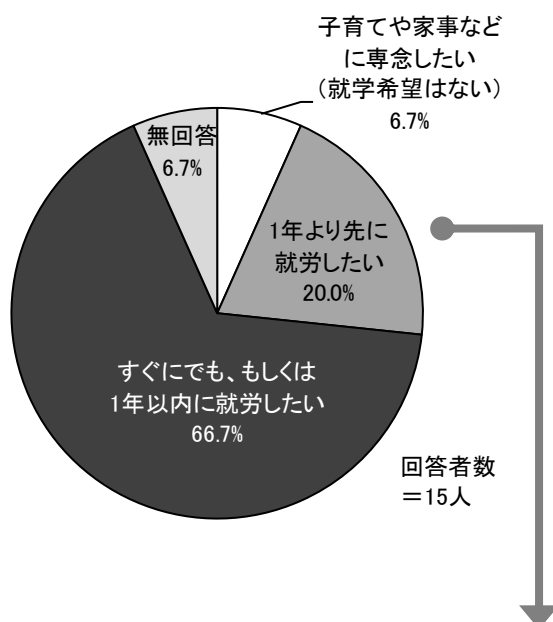
④未就労者の就労意向

問6-3 「5」または「6」（就労していない）に○をした方に伺います。
就労したいという希望はありますか。（○は1つ、（ ）内は数字を記入）

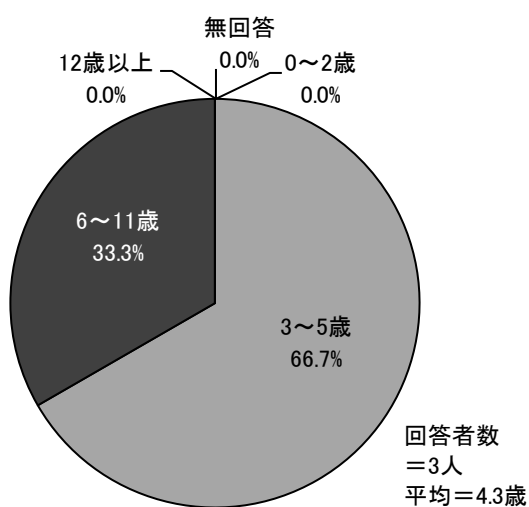
未就労者の就労意向は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が66.7%を占め、「1年より先に就労したい」は20.0%、「子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）」は6.7%となっています。

「1年より先に就労したい」と回答した人が、就労を希望する時の末子の年齢は、「3～5歳」が66.7%を占め、平均4.3歳となっています。

図表3-13 未就労者の就労意向(単数回答)



図表3-14 就労を希望する時の末子の年齢(単数回答)



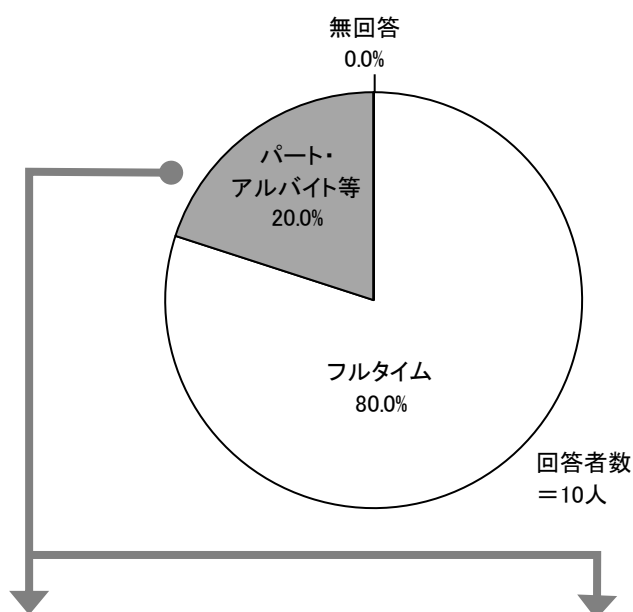
⑤1年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態

問6-4 希望する就労形態をお答えください。(○は1つ、()内は数字を記入)

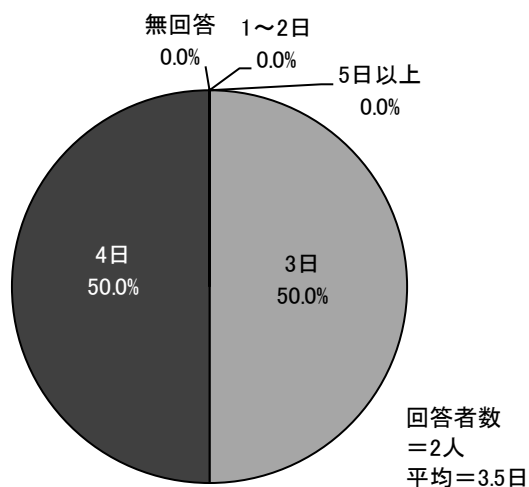
未就労者のうち、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が希望する就労形態は、「フルタイム」が80.0%、「パート・アルバイト等」は20.0%となっています。

パート・アルバイト等を希望する人の1週あたりの就労希望日数は平均3.5日、1日あたりの就労希望時間は平均4.5時間でした。

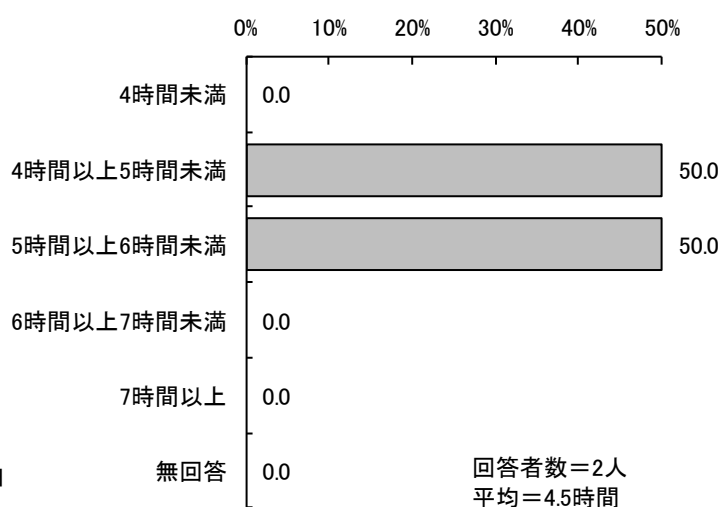
図表3-15 1年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態(単数回答)



図表3-16 就労希望日数(単数回答)



図表3-17 就労希望時間(単数回答)



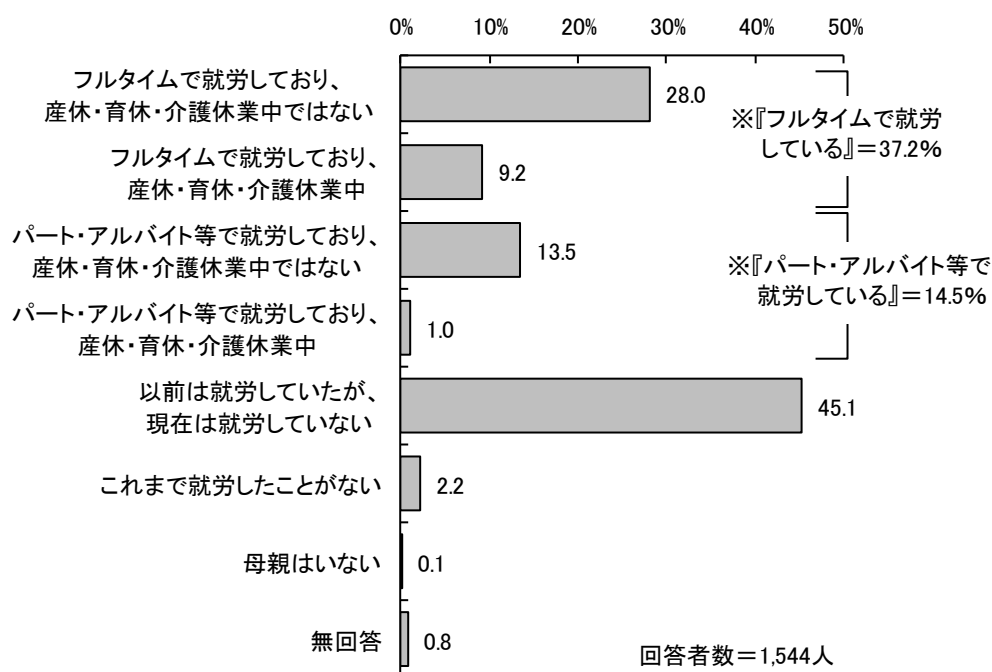
(2) 母親の就労状況

① 就労形態

問7 あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。(〇は1つ)

母親の就労形態は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が45.1%と最も多くなっています。次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が28.0%であり、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中」の9.2%をあわせた37.2%が『フルタイムで就労している』と回答しています。「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は13.5%であり、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中」の1.0%をあわせた『パート・アルバイト等で就労している』人は14.5%となっています。

図表3-18 母親の就労形態(単数回答)



※『フルタイムで就労している』=「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」＋「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中」

※『パート・アルバイト等で就労している』=「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」＋「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中」

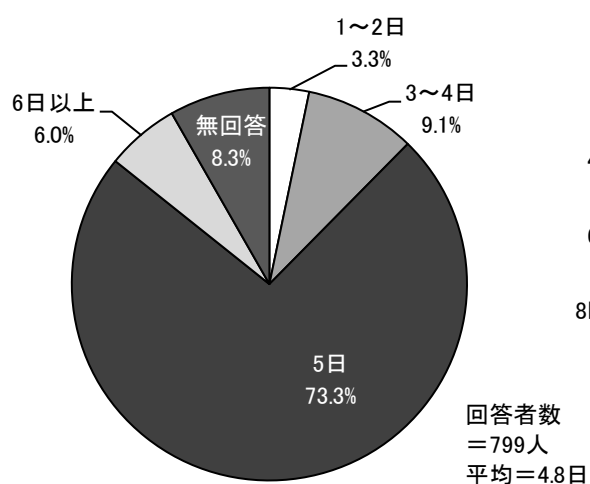
②就労状況

問7-1 「1～4」（就労している）に○をした方に伺います。①1週あたり就労日数・1日あたり就労時間（残業時間を含む）、②家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
（数字を記入）

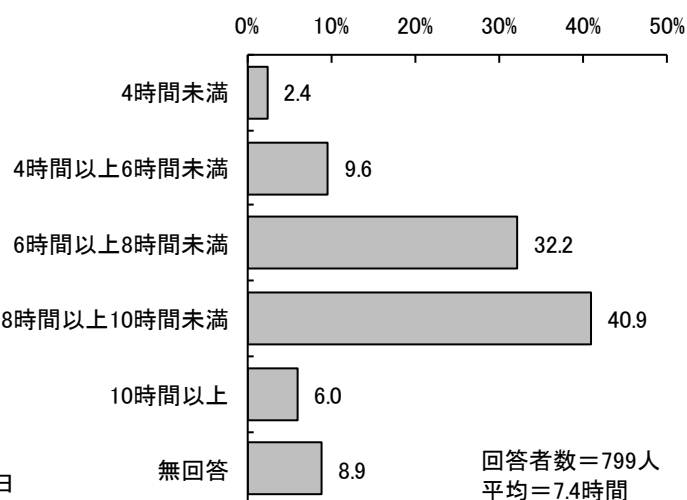
フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週あたりの就労日数は、「5日」が73.3%を占め、平均4.8日となっています。1日あたりの就労時間は「8時間以上10時間未満」40.9%、「6時間以上8時間未満」32.2%の順であり、平均7.4時間となっています。

家を出る時刻は、「8時台」の40.7%に次いで、「7時台」が23.3%となっています。帰宅時刻は、「18時台」34.5%、「19時台」20.3%、「17時台」14.6%の順となっています。

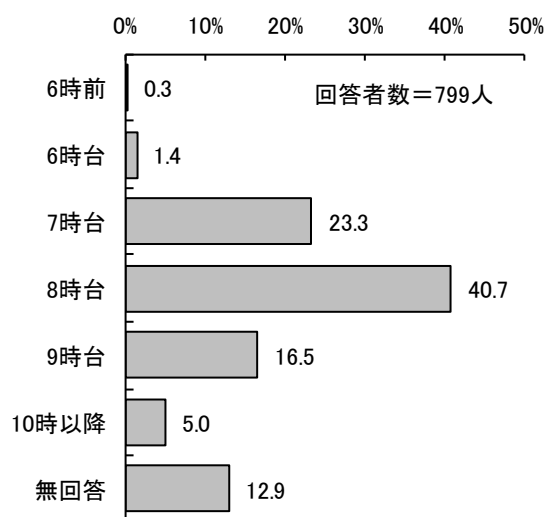
図表3-19 1週あたりの就労日数(単数回答)



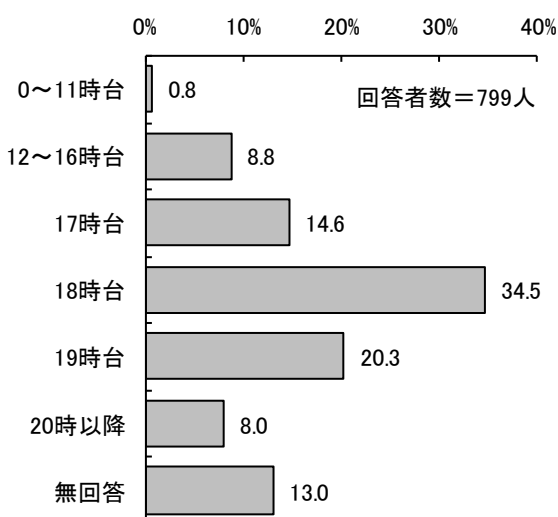
図表3-20 1日あたりの就労時間(単数回答)



図表3-21 家を出る時刻(単数回答)



図表3-22 帰宅時刻(単数回答)

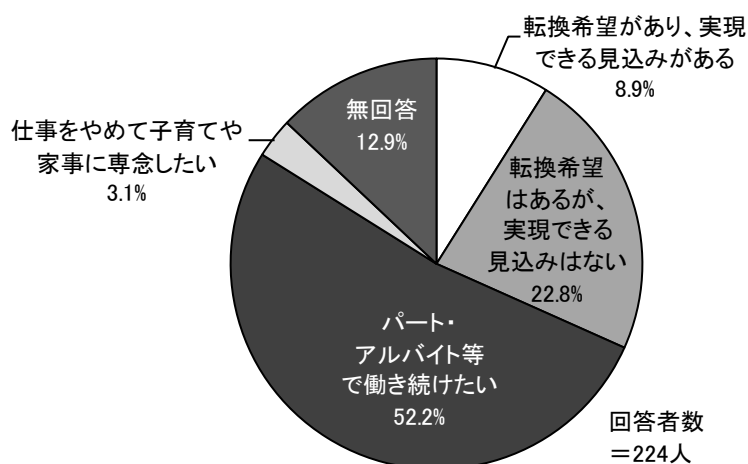


③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問7-2 「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方に伺います。
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。
（○は1つ）

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等で働きたい」が52.2%、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が22.8%、「転換希望があり、実現できる見込みがある」が8.9%、「仕事をやめて子育てや家事に専念したい」が3.1%となっています。

図表3-23 パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望（単数回答）



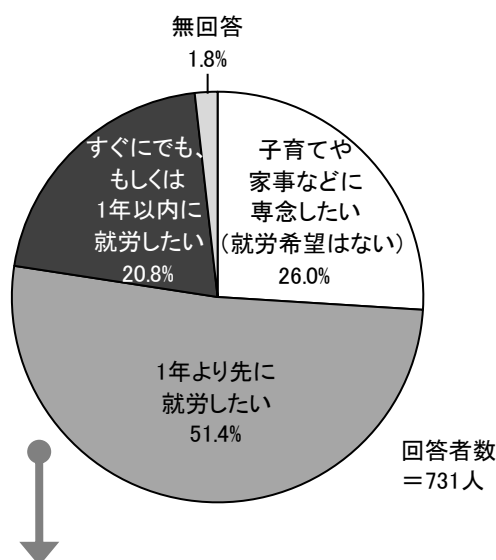
④未就労者の就労意向

問7-3 「5」または「6」（就労していない）に○をした方に伺います。
就労したいという希望はありますか。（○は1つ、（ ）内は数字を記入）

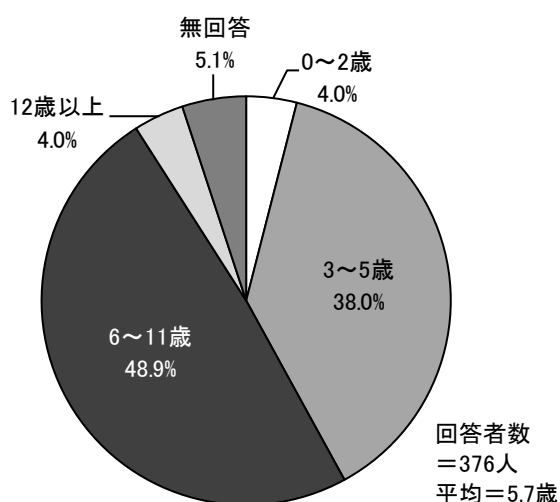
未就労者の就労意向は、「1年より先に就労したい」が51.4%、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）」が26.0%であり、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は20.8%でした。

「1年より先に就労したい」と回答した人が、就労を希望する時の末子の年齢は、「6～11歳」が48.9%と最も多く、平均5.7歳となっています。

図表3-24 未就労者の就労意向(単数回答)



図表3-25 就労を希望する時の末子の年齢(単数回答)



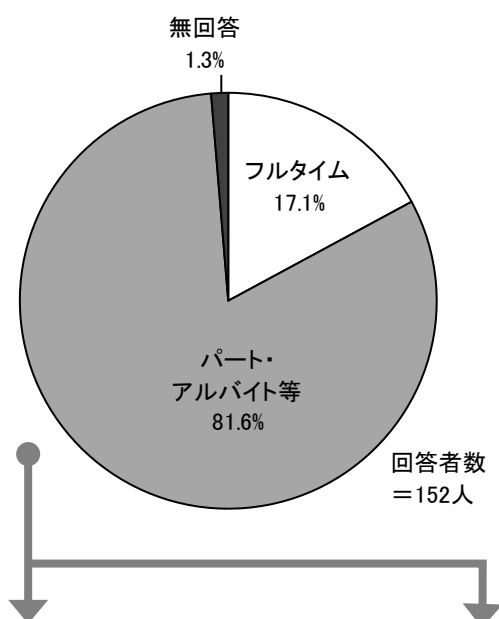
⑤1年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態

問7-4 希望する就労形態をお答えください。(○は1つ、()内は数字を記入)

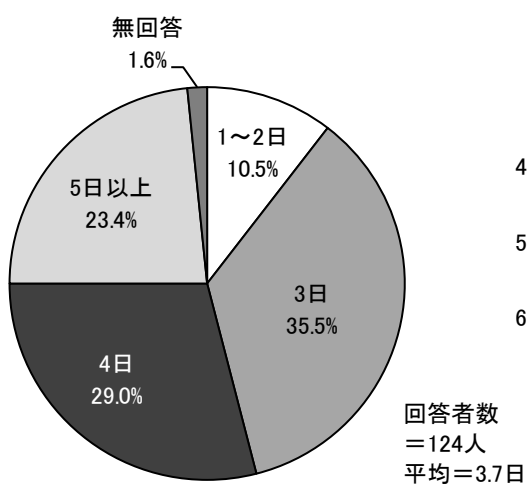
未就労者のうち、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が81.6%を占め、「フルタイム」は17.1%となっています。

パート・アルバイト等を希望する人の1週あたりの就労希望日数は平均3.7日、1日あたりの就労希望時間は平均5.0時間でした。

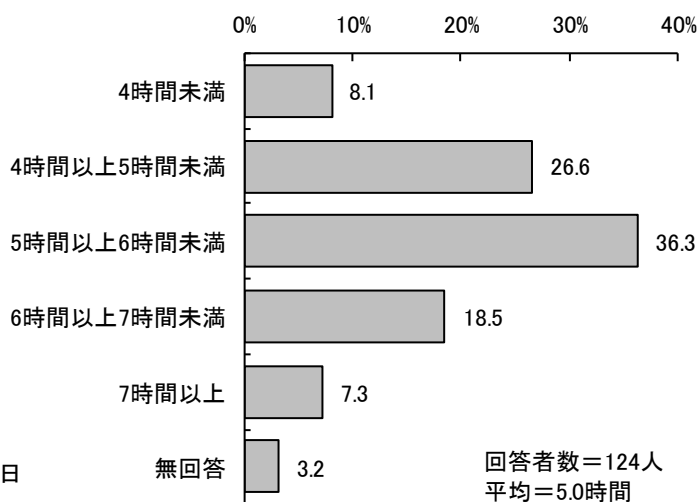
図表3-26 1年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態(単数回答)



図表3-27 就労希望日数(単数回答)



図表3-28 就労希望時間(単数回答)

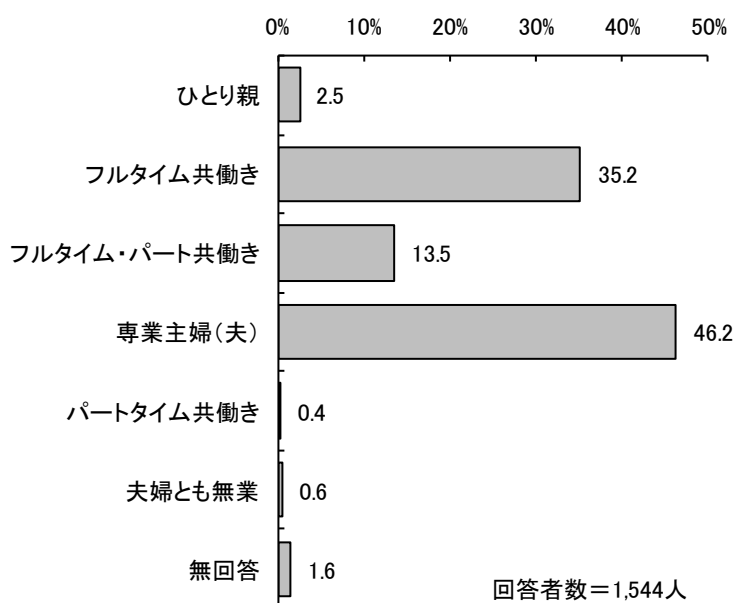


(3) 両親の就労形態からみた家庭類型

両親の就労形態からみた家庭類型は、「専業主婦（夫）」が 46.2%と最も多く、次いで「フルタイム共働き」35.2%、「フルタイム・パート共働き」13.5%、「ひとり親」2.5%などとなっています。

子どもの年齢別にみると、「フルタイム共働き」は0歳では約4割となっていますが、年齢が高くなるほど割合は減少し、5歳では28.2%となっています。

図表3-29 両親の就労形態からみた家庭類型(単数回答)



図表3-30 両親の就労形態からみた家庭類型

単位 (%)

		回答者数(人)	ひとり親	フルタイム共働き	フルタイム・パート共働き	専業主婦(夫)	パートタイム共働き	夫婦とも無業	無回答
全 体		1,544	2.5	35.2	13.5	46.2	0.4	0.6	1.6
子どもの年齢別	0 歳	339	0.6	39.8	10.0	46.3	0.9	0.9	1.5
	1 歳	297	1.0	37.4	16.5	43.4	0.3	0.7	0.7
	2 歳	242	1.2	36.8	12.4	47.1	0.4	0.4	1.7
	3 歳	241	5.4	32.8	11.2	47.7	0.0	0.4	2.5
	4 歳	202	4.0	32.7	12.9	49.0	0.5	1.0	0.0
	5 歳	216	4.6	28.2	19.9	45.4	0.0	0.0	1.9

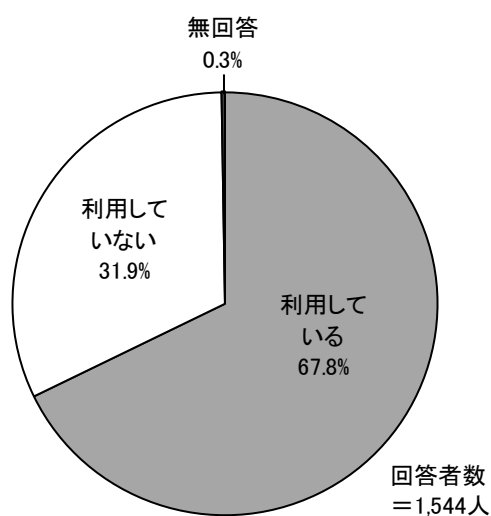
3. 教育・保育事業の利用状況

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問8 あて名のお子さんは現在、平日に幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。(○は1つ)

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が 67.8%、「利用していない」が 31.9%となっています。

図表3-31 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況(単数回答)



子どもの年齢別にみると、「利用している」は、0歳は27.4%、1歳は49.8%、2歳は61.6%、3歳以上は各9割以上となっています。

就労形態による家庭類型別にみると、「利用している」は、ひとり親家庭、フルタイム共働き家庭及びフルタイム・パート共働き家庭は各8割台、パートタイム共働き及び専業主婦（夫）家庭はともに約5割となっています。

図表3-32 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

単位(%)

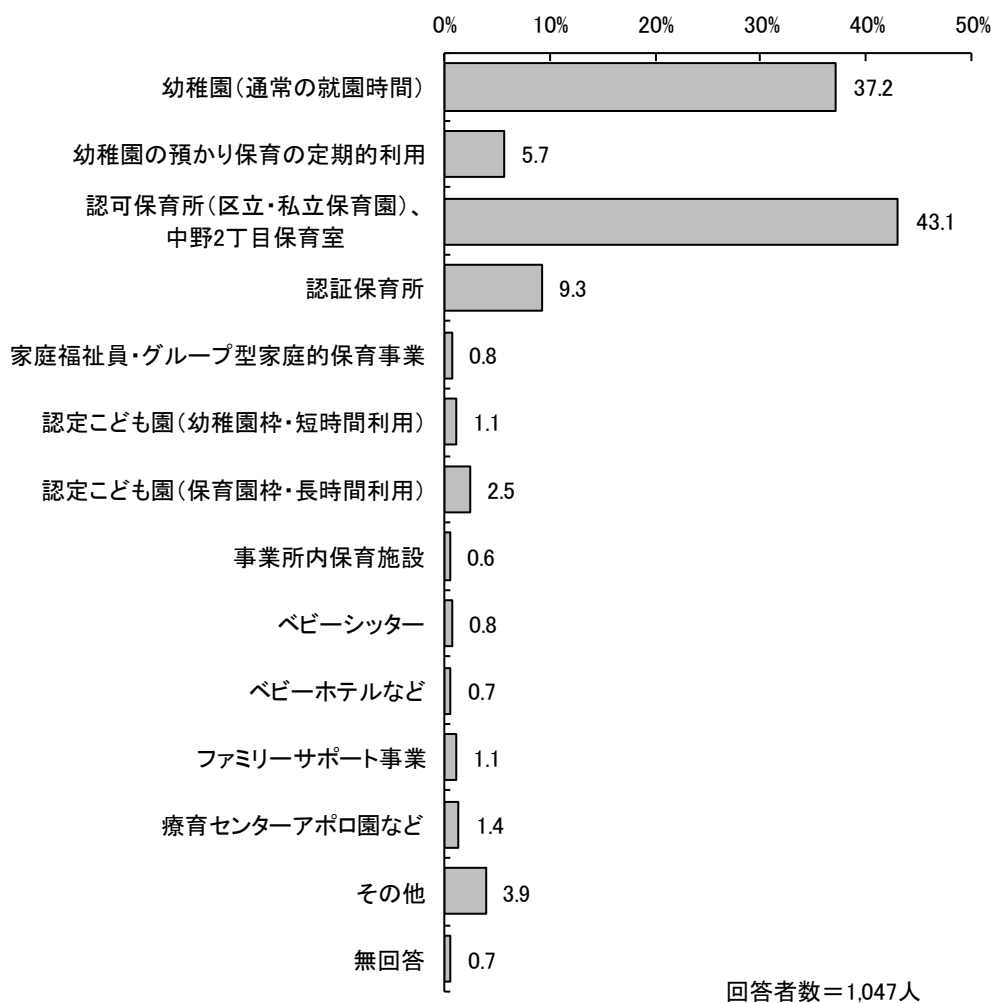
		回答者数(人)	利用している	利用していない	無回答
全 体		1,544	67.8	31.9	0.3
子どもの年齢別	0 歳	339	27.4	72.0	0.6
	1 歳	297	49.8	49.8	0.3
	2 歳	242	61.6	38.4	0.0
	3 歳	241	97.9	2.1	0.0
	4 歳	202	99.0	1.0	0.0
	5 歳	216	100.0	0.0	0.0
就労形態による家庭類型別	ひとり親	39	87.2	12.8	0.0
	フルタイム共働き	543	85.1	14.9	0.0
	フルタイム・パート共働き	209	85.6	14.4	0.0
	専業主婦(夫)	714	49.3	50.3	0.4
	パートタイム共働き	6	50.0	50.0	0.0
	夫婦とも無業	9	33.3	66.7	0.0

(2)利用している教育・保育事業

問9 平日にどのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

利用している教育・保育事業は、「認可保育所（区立・私立保育園）、中野2丁目保育室」が43.1%、「幼稚園（通常の就園時間）」が37.2%、「認証保育所」が9.3%、「幼稚園の預かり保育の定期的利用」が5.7%などとなっています。

図表3-33 利用している教育・保育事業(複数回答)



子どもの年齢別にみると、0～2歳はそれぞれ「認可保育所（区立・私立保育園）、中野2丁目保育室」が最も多く、次いで「認証保育所」となっています。3歳以上はいずれも「幼稚園（通常の就園時間）」「認可保育所（区立・私立保育園）、中野2丁目保育室」の順となっています。

就労形態による家庭類型別にみると、ひとり親家庭及びフルタイム共働き家庭は「認可保育所（区立・私立保育園）、中野2丁目保育室」が最も多く、各7割台となっています。フルタイム・パート共働き家庭は「認可保育所（区立・私立保育園）、中野2丁目保育室」と「幼稚園（通常の就園時間）」がともに3割台であり、次いで「幼稚園の預かり保育の定期的利用」が14.0%となっています。専業主婦（夫）家庭は「幼稚園（通常の就園時間）」が8割台となっています。

図表3-34 利用している教育・保育事業

単位(%)

		回答者数(人)	幼稚園(通常の就園時間)	幼稚園の預かり保育の定期的利用	認可保育所(区立・私立保育園)、中野2丁目保育室	認証保育所	家庭福祉員・グループ型家庭的保育事業	認定こども園(幼稚園枠・短時間利用)	認定こども園(保育園枠・長時間利用)	事業所内保育施設	ベビーシッター	ベビーホテルなど	ファミリーサポート事業	療育センターアポロ園など	その他	無回答
全 体		1,047	37.2	5.7	43.1	9.3	0.8	1.1	2.5	0.6	0.8	0.7	1.1	1.4	3.9	0.7
子どもの年齢別	0歳	93	0.0	0.0	60.2	33.3	1.1	0.0	1.1	1.1	4.3	1.1	2.2	0.0	0.0	0.0
	1歳	148	0.0	0.0	57.4	21.6	3.4	0.0	3.4	0.7	0.7	3.4	2.7	1.4	6.8	1.4
	2歳	149	9.4	2.0	53.7	12.8	1.3	0.0	4.0	1.3	0.0	0.0	0.7	2.0	14.8	1.3
	3歳	236	52.5	5.5	38.1	1.7	0.0	1.7	2.5	0.8	0.4	0.4	0.8	0.8	1.7	0.8
	4歳	200	60.5	11.0	33.5	3.5	0.0	1.0	1.5	0.0	0.5	0.0	0.5	1.0	0.0	0.0
	5歳	216	59.3	10.2	32.9	1.4	0.0	2.8	2.3	0.0	0.5	0.0	0.5	2.8	2.3	0.5
就労形態による家庭類型別	ひとり親	34	17.6	11.8	70.6	2.9	0.0	2.9	5.9	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0
	フルタイム共働き	462	3.2	1.3	75.3	15.2	0.2	0.4	3.7	0.9	0.9	0.4	1.1	0.4	0.4	0.4
	フルタイム・パート共働き	179	34.1	14.0	35.8	12.8	2.8	0.6	3.4	0.6	1.1	2.8	2.8	0.6	3.9	1.7
	専業主婦(夫)	352	85.2	7.1	1.4	0.9	0.3	2.3	0.0	0.3	0.6	0.0	0.0	3.4	8.8	0.3
	パートタイム共働き	3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦とも無業	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3)教育・保育事業の利用頻度と利用希望頻度

問10 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、①現在、②希望する1週あたり利用日数・1日の利用時間帯をお答えください。(数字を記入)

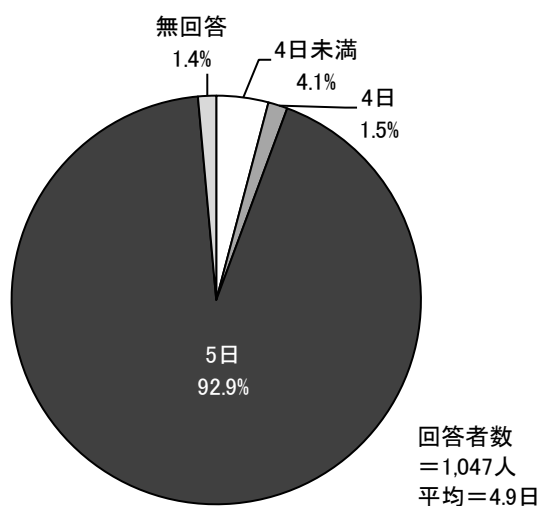
①教育・保育事業の利用頻度

1週あたりの利用日数は「5日」が92.9%を占めます。

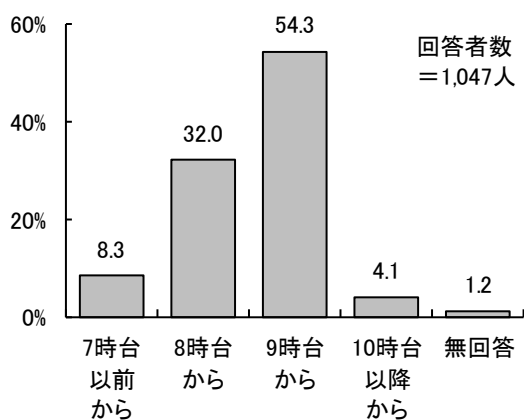
利用開始時間は、「9時台から」54.3%、「8時台から」32.0%の順となっています。

利用終了時間は、「14時まで」37.5%、「18時まで」27.7%の順となっています。

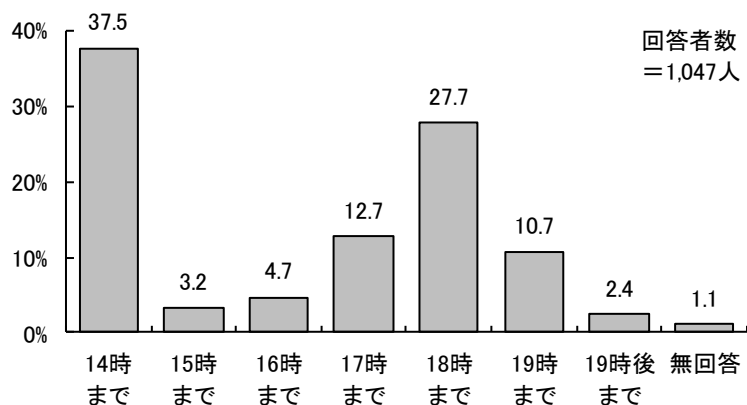
図表3-35 1週あたりの利用日数(単数回答)



図表3-36 利用開始時間(単数回答)



図表3-37 利用終了時間(単数回答)



利用開始時間を利用している教育・保育事業別にみると、幼稚園（通常の就園時間）利用者は「9 時台から」が 9 割近くを占めます。認可保育所（区立・私立保育園）、中野 2 丁目保育室及び認証保育所利用者は「8 時台から」が最も多く、それぞれ 5 割台となっています。また、認可保育所（区立・私立保育園）、中野 2 丁目保育室利用者においては、16.0%と 1 割台が「7 時台以前から」となっています。

図表3-38 利用開始時間

単位(%)

		回答者数(人)	7 時台以前から	8 時台から	9 時台から	10 時台以降から	無回答
全 体		1,047	8.3	32.0	54.3	4.1	1.2
利用している教育・保育事業別	幼稚園(通常の就園時間)	389	0.0	6.7	88.7	2.6	2.1
	幼稚園の預かり保育の定期的利用	60	0.0	8.3	83.3	3.3	5.0
	認可保育所(区立・私立保育園)、中野 2 丁目保育室	451	16.0	50.8	32.6	0.2	0.4
	認証保育所	97	8.2	57.7	32.0	2.1	0.0
	家庭福祉員・グループ型家庭的保育事業	8	0.0	37.5	50.0	12.5	0.0
	認定こども園(幼稚園枠・短時間利用)	12	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0
	認定こども園(保育園枠・長時間利用)	26	15.4	34.6	46.2	0.0	3.8
	事業所内保育施設	6	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	ベビーシッター	8	25.0	12.5	37.5	25.0	0.0
	ベビーホテルなど	7	0.0	28.6	71.4	0.0	0.0
	ファミリーサポート事業	12	0.0	75.0	8.3	16.7	0.0
	療育センターアポロ園など	15	6.7	0.0	66.7	26.7	0.0
	その他	41	0.0	7.3	39.0	51.2	2.4

利用終了時間を利用している教育・保育事業別にみると、幼稚園（通常の就園時間）利用者は「14時まで」が9割近くを占めます。認可保育所（区立・私立保育園）、中野2丁目保育室利用者は「18時まで」の48.3%に次いで「19時まで」が20.2%、認証保育所利用者は「18時まで」の48.5%に次いで「17時まで」が29.9%となっています。

図表3-39 利用終了時間

単位(%)

		回答者数(人)	14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	19時後まで	無回答
全 体		1,047	37.5	3.2	4.7	12.7	27.7	10.7	2.4	1.1
利用している教育・保育事業別	幼稚園(通常の就園時間)	389	87.7	7.5	0.8	1.3	1.0	0.0	0.0	1.8
	幼稚園の預かり保育の定期的利用	60	65.0	11.7	3.3	8.3	6.7	1.7	0.0	3.3
	認可保育所(区立・私立保育園)、中野2丁目保育室	451	0.4	0.2	8.6	18.0	48.3	20.2	3.8	0.4
	認証保育所	97	0.0	0.0	3.1	29.9	48.5	13.4	5.2	0.0
	家庭福祉員・グループ型家庭的保育事業	8	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	認定こども園(幼稚園枠・短時間利用)	12	83.3	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
	認定こども園(保育園枠・長時間利用)	26	0.0	0.0	0.0	38.5	46.2	11.5	3.8	0.0
	事業所内保育施設	6	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0
	ベビーシッター	8	37.5	0.0	0.0	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0
	ベビーホテルなど	7	0.0	28.6	0.0	42.9	0.0	28.6	0.0	0.0
	ファミリーサポート事業	12	0.0	8.3	8.3	8.3	33.3	33.3	8.3	0.0
	療育センターアポロ園など	15	86.7	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	その他	41	82.9	4.9	0.0	2.4	4.9	2.4	0.0	2.4

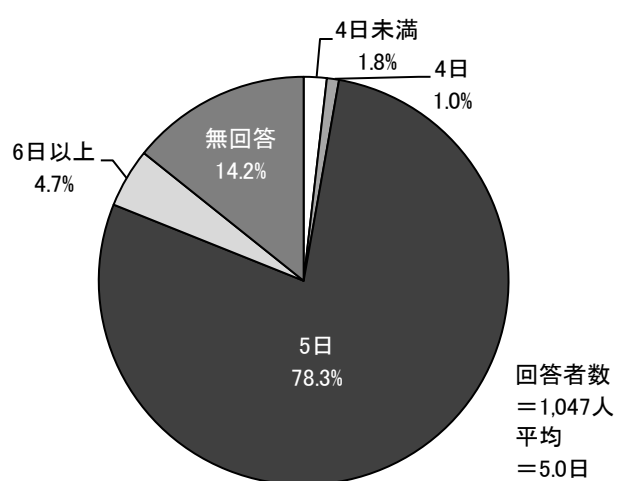
②教育・保育事業の利用希望頻度

1週あたりの利用希望日数は、「5日」が78.3%であり、「6日以上」という回答も4.7%みられます。

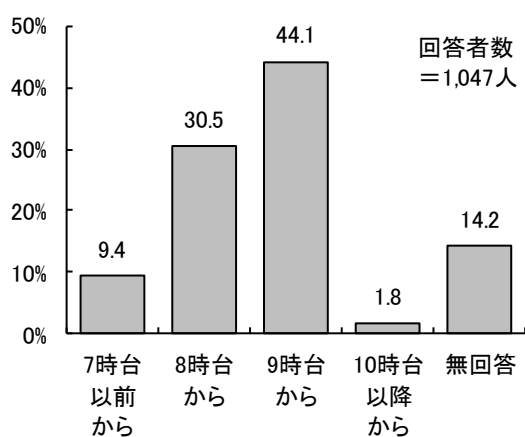
希望開始時間は、「9時台から」44.1%、「8時台から」30.5%、「7時台以前から」9.4%の順となっています。

希望終了時間は、「18時まで」21.1%、「17時まで」14.6%、「14時まで」13.6%の順となっています。

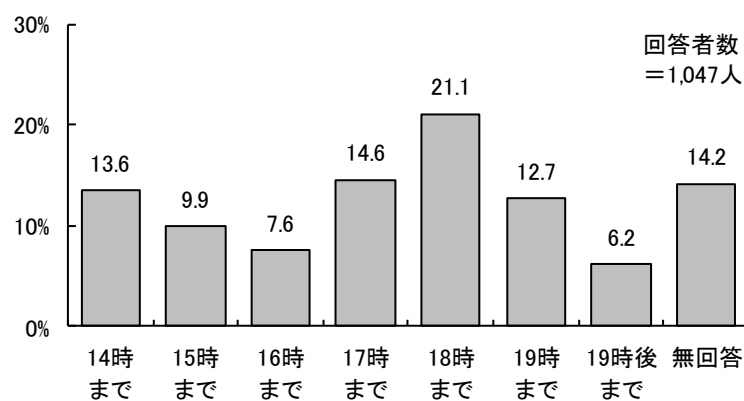
図表3-40 1週あたりの利用希望日数(単数回答)



図表3-41 希望開始時間(単数回答)



図表3-42 希望終了時間(単数回答)



希望開始時間を利用している教育・保育事業別にみると、幼稚園（通常の就園時間）利用者は「9 時台から」が 73.3%と最も多くなっています。認可保育所（区立・私立保育園）、中野 2 丁目保育室及び認証保育所利用者は「8 時台から」が各 4 割台で最も多く、また、各 1 割台が「7 時台以前から」の利用を希望しています。

図表3-43 希望開始時間

単位(%)

		回答者数(人)	7 時台以前から	8 時台から	9 時台から	10 時台以降から	無回答
全 体		1,047	9.4	30.5	44.1	1.8	14.2
利用している教育・保育事業別	幼稚園(通常の就園時間)	389	1.0	14.4	73.3	1.5	9.8
	幼稚園の預かり保育の定期的利用	60	1.7	16.7	66.7	1.7	13.3
	認可保育所(区立・私立保育園)、中野 2 丁目保育室	451	16.4	42.6	25.3	0.0	15.7
	認証保育所	97	14.4	48.5	24.7	1.0	11.3
	家庭福祉員・グループ型家庭的保育事業	8	0.0	25.0	37.5	0.0	37.5
	認定こども園(幼稚園枠・短時間利用)	12	0.0	25.0	66.7	0.0	8.3
	認定こども園(保育園枠・長時間利用)	26	15.4	34.6	42.3	0.0	7.7
	事業所内保育施設	6	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0
	ベビーシッター	8	12.5	12.5	37.5	12.5	25.0
	ベビーホテルなど	7	0.0	42.9	42.9	0.0	14.3
	ファミリーサポート事業	12	0.0	75.0	8.3	0.0	16.7
	療育センターアポロ園など	15	6.7	0.0	60.0	26.7	6.7
	その他	41	0.0	9.8	39.0	17.1	34.1

希望終了時間を利用している教育・保育事業別にみると、幼稚園（通常の就園時間）利用者は「14時まで」が31.4%、「15時まで」が24.9%となっており、「16時まで」「17時まで」という回答も各1割台となっています。認可保育所（区立・私立保育園）、中野2丁目保育室及び認証保育所利用者は「18時まで」が各3割台で最も多く、次いで「19時まで」が各2割台であり、「19時後まで」という回答も各1割台みられます。

図表3-44 希望終了時間

単位(%)

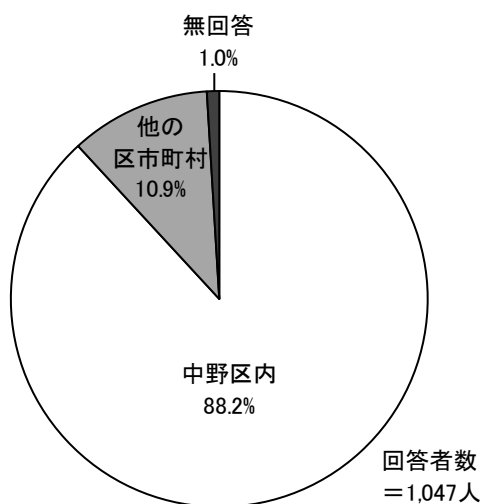
		回答者数(人)	14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	19時後まで	無回答
全 体		1,047	13.6	9.9	7.6	14.6	21.1	12.7	6.2	14.2
利用している教育・保育事業別	幼稚園(通常の就園時間)	389	31.4	24.9	13.9	13.4	5.7	1.0	0.0	9.8
	幼稚園の預かり保育の定期的利用	60	13.3	18.3	13.3	20.0	16.7	5.0	0.0	13.3
	認可保育所(区立・私立保育園)、中野2丁目保育室	451	0.2	0.2	4.4	14.0	32.8	21.5	11.1	15.7
	認証保育所	97	0.0	0.0	2.1	18.6	33.0	22.7	12.4	11.3
	家庭福祉員・グループ型家庭的保育事業	8	0.0	0.0	12.5	25.0	25.0	0.0	0.0	37.5
	認定こども園(幼稚園枠・短時間利用)	12	25.0	16.7	8.3	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7
	認定こども園(保育園枠・長時間利用)	26	0.0	0.0	0.0	34.6	38.5	15.4	7.7	3.8
	事業所内保育施設	6	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0
	ベビーシッター	8	12.5	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	12.5	25.0
	ベビーホテルなど	7	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	28.6	0.0	14.3
	ファミリーサポート事業	12	0.0	0.0	8.3	0.0	25.0	33.3	16.7	16.7
	療育センターアポロ園など	15	40.0	33.3	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0	6.7
	その他	41	26.8	9.8	4.9	12.2	9.8	2.4	0.0	34.1

(4)利用している教育・保育事業の実施場所

問11 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(○は1つ)

利用している教育・保育事業の実施場所は、「中野区内」が 88.2%、「他の区市町村」が 10.9%となっています。

図表3-45 利用している教育・保育事業の実施場所(単数回答)



利用している教育・保育事業別にみると、認可保育所（区立・私立保育園）、中野 2 丁目保育室利用者は、「中野区内」が 98.2%となっています。一方、幼稚園（通常の就園時間）利用者及び認証保育所利用者においては「中野区内」は各 8 割台であり、「他の区市町村」の利用者がそれぞれ 1 割台となっています。

図表3-46 利用している教育・保育事業の実施場所

単位(%)

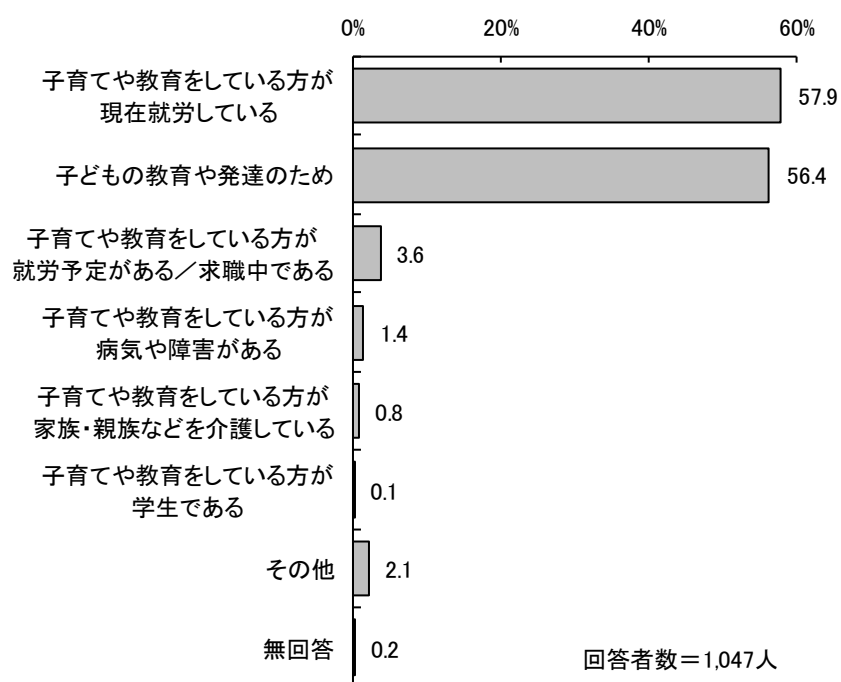
		回答者数(人)	中野区内	他の区市町村	無回答
全 体		1,047	88.2	10.9	1.0
利用している教育・保育事業別	幼稚園(通常の就園時間)	389	81.0	17.2	1.8
	幼稚園の預かり保育の定期的利用	60	86.7	11.7	1.7
	認可保育所(区立・私立保育園)、中野 2 丁目保育室	451	98.2	1.8	0.0
	認証保育所	97	89.7	10.3	0.0
	家庭福祉員・グループ型家庭的保育事業	8	87.5	12.5	0.0
	認定こども園(幼稚園枠・短時間利用)	12	91.7	8.3	0.0
	認定こども園(保育園枠・長時間利用)	26	92.3	7.7	0.0
	事業所内保育施設	6	83.3	16.7	0.0
	ベビーシッター	8	75.0	25.0	0.0
	ベビーホテルなど	7	85.7	14.3	0.0
	ファミリーサポート事業	12	100.0	0.0	0.0
	療育センターアポロ園など	15	80.0	20.0	0.0
	その他	41	48.8	48.8	2.4

(5)教育・保育事業を利用している理由

問12 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は何ですか。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をしてください。

教育・保育事業を利用している理由は、「子育てや教育をしている方が現在就労している」が57.9%、「子どもの教育や発達のため」が56.4%などとなっています。

図表3-47 教育・保育事業を利用している理由(複数回答)



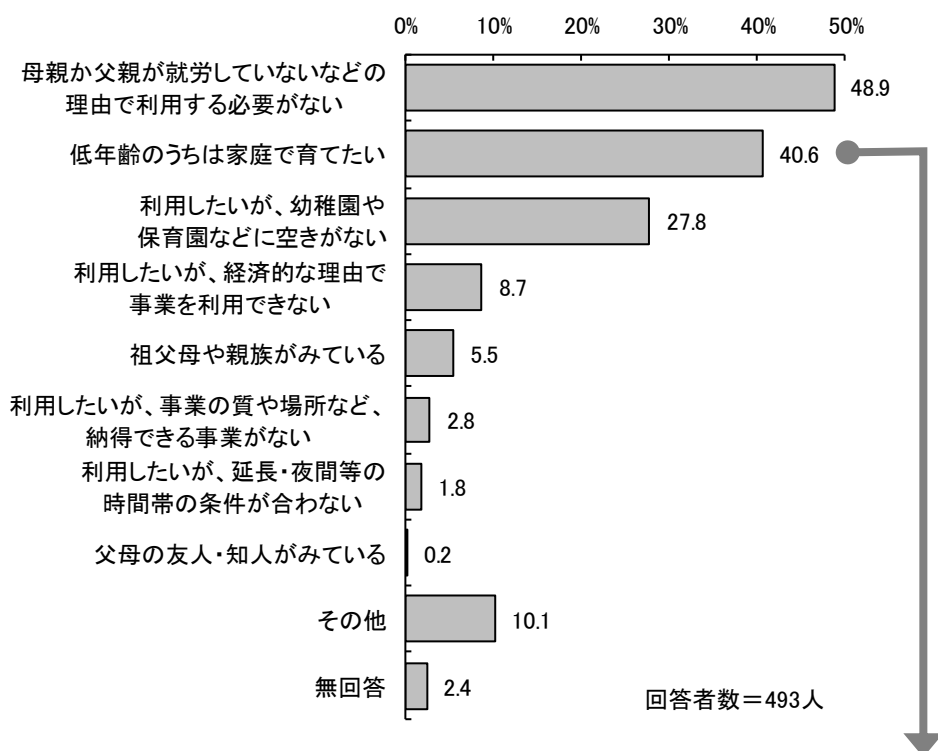
(6)教育・保育事業を利用していない理由

問14 利用していない理由は何ですか。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をしてください。

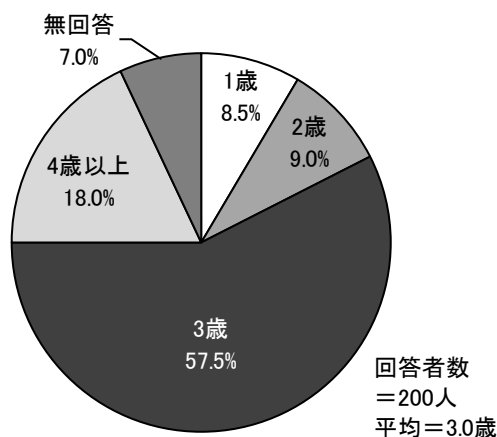
平日に定期的に教育・保育事業を利用していない人にその理由をたずねたところ、「母親か父親が就労していないなどの理由で利用する必要がない」48.9%、「低年齢のうちは家庭で育てたい」40.6%、「利用したいが、幼稚園や保育園などに空きがない」27.8%の順となっています。

「低年齢のうちは家庭で育てたい」と回答した人が、教育・保育事業の利用を考えている子どもの年齢は、「3歳」が57.5%であり、平均3.0歳でした。

図表3-48 教育・保育事業を利用していない理由(複数回答)



図表3-49 教育・保育事業の利用を考えている子どもの年齢(単数回答)



4. 教育・保育事業の利用意向

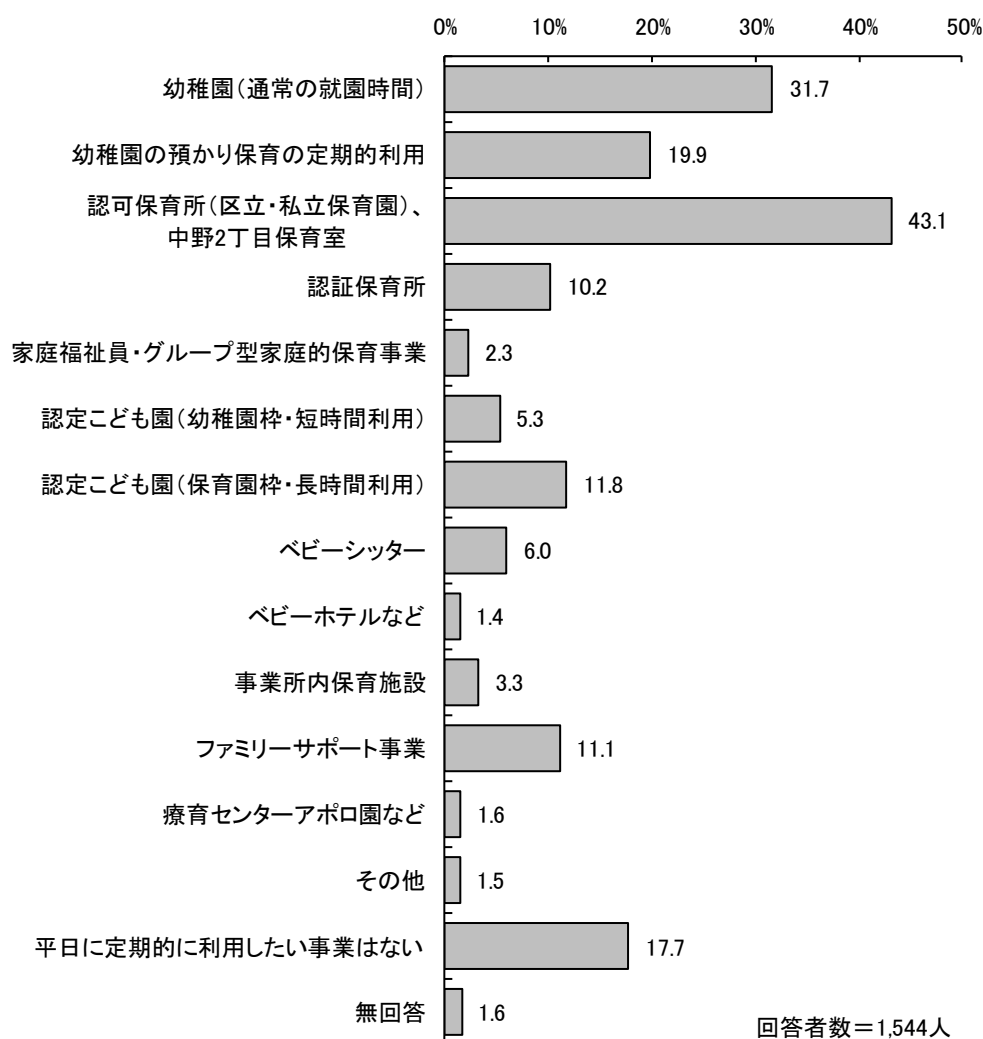
(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向

問15 あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、利用している、利用していないにかかわらず、「現在、『定期的に』利用したい」と考える事業をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

平日の定期的な教育・保育事業の利用意向は、「認可保育所（区立・私立保育園）、中野2丁目保育室」43.1%、「幼稚園（通常の就園時間）」31.7%、「幼稚園の預かり保育の定期的利用」19.9%、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」11.8%、「ファミリーサポート事業」11.1%、「認証保育所」10.2%の順であり、「平日に定期的に利用したい事業はない」は17.7%でした。

図表3-50 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向(複数回答)



子どもの年齢別にみると、0・2歳の各4割台、1歳の約5割が「認可保育所（区立・私立保育園）、中野2丁目保育室」の利用を希望しています。3歳以上は「幼稚園（通常の就園時間）」が最も多く、各5割台が利用を希望しているのに次いで、「認可保育所（区立・私立保育園）、中野2丁目保育室」「幼稚園の預かり保育の定期的利用」が続いています。

就労形態による家庭類型別にみると、ひとり親家庭の約7割、フルタイム共働き家庭の7割台、フルタイム・パート共働き家庭の約5割が「認可保育所（区立・私立保育園）、中野2丁目保育室」の利用を希望しています。専業主婦（夫）家庭は、「幼稚園（通常の就園時間）」が4割台、「幼稚園の預かり保育の定期的利用」が2割台となっています。

図表3-51 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向

単位(%)

		回答者数(人)	幼稚園(通常の就園時間)	幼稚園の預かり保育の定期的利用	認可保育所(区立・私立保育園)、中野2丁目保育室	認証保育所	家庭福祉員・グループ型家庭の保育事業	認定こども園(幼稚園枠・短時間利用)	認定こども園(保育園枠・長時間利用)	ベビーシッター	ベビーホテルなど	事業所内保育施設	ファミリーサポート事業	療育センター・アポロ園など	その他	平日に定期的に利用したい事業はない	無回答
全 体		1,544	31.7	19.9	43.1	10.2	2.3	5.3	11.8	6.0	1.4	3.3	11.1	1.6	1.5	17.7	1.6
子どもの年齢別	0歳	339	10.3	5.9	44.5	15.9	3.2	6.2	11.5	7.1	2.4	4.4	11.2	0.0	1.5	36.6	1.8
	1歳	297	13.1	13.5	50.8	15.8	4.4	6.7	15.5	5.4	1.3	2.4	13.8	1.3	2.0	20.2	2.0
	2歳	242	19.4	12.0	47.1	11.6	0.8	2.1	12.8	5.0	1.7	3.7	11.2	2.5	1.7	26.0	0.4
	3歳	241	52.7	32.4	40.2	4.6	1.7	5.0	11.6	6.2	0.8	2.9	12.4	1.7	2.1	4.6	1.2
	4歳	202	57.4	30.7	35.1	5.4	1.5	5.0	8.9	7.4	1.5	4.0	8.9	3.0	0.5	2.5	1.5
	5歳	216	56.9	35.2	36.6	3.2	1.4	6.5	9.3	4.6	0.5	2.3	7.4	1.9	0.9	4.2	2.3
就労形態による家庭類型別	ひとり親	39	23.1	20.5	69.2	17.9	5.1	10.3	20.5	7.7	2.6	2.6	15.4	0.0	2.6	5.1	2.6
	フルタイム共働き	543	10.1	9.6	72.7	13.3	1.8	2.4	17.1	4.8	1.7	3.3	13.4	1.1	0.7	9.6	1.8
	フルタイム・パート共働き	209	35.4	27.3	49.8	15.3	2.9	2.4	13.4	3.8	1.0	2.9	11.5	0.5	0.5	4.8	1.4
	専業主婦(夫)	714	47.8	26.2	16.8	6.3	2.1	8.1	6.6	7.1	1.3	3.4	9.1	2.2	2.2	28.4	1.4
	パートタイム共働き	6	16.7	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	夫婦とも無業	9	22.2	33.3	44.4	11.1	33.3	11.1	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	33.3	0.0

(2) 年齢にあわせた教育・保育事業の変更・新規利用意向

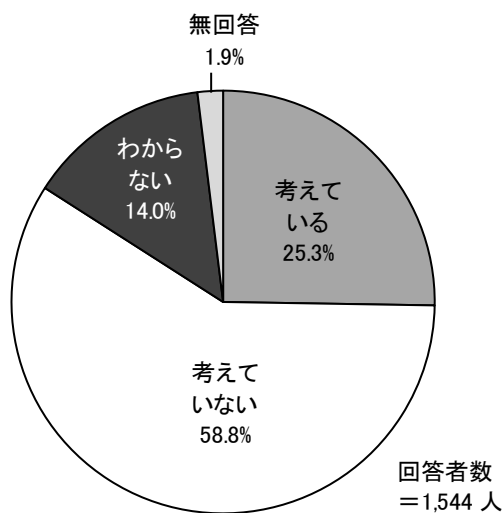
問16 あて名のお子さんが小学校に入学するまでの間、お子さんの年齢にあわせて、現在利用している事業を変更したい、あるいは、現在は利用していないが今後利用を開始したいと考えていますか。(〇は1つ)

問16-1 具体的な希望をお答えください。

① 年齢にあわせた教育・保育事業の変更・新規利用意向

年齢にあわせた教育・保育事業の変更・新規利用意向をみると、「考えている」は25.3%と約4人に1人の割合となっています。

図表3-52 年齢にあわせた教育・保育事業の変更・新規利用意向(単数回答)



子どもの年齢別にみると、「考えている」は0～2歳の各4割台となっています。

教育・保育事業の利用状況別にみると、「考えている」は利用している人の8.7%、利用していない人の60.6%となっています。

利用している教育・保育事業別にみると、「考えている」は認証保育所利用者が35.1%と、他に比べて多い割合となっています（回答者数が10人未満の事業を除く）。

図表3-53 年齢にあわせた教育・保育事業の変更・新規利用意向

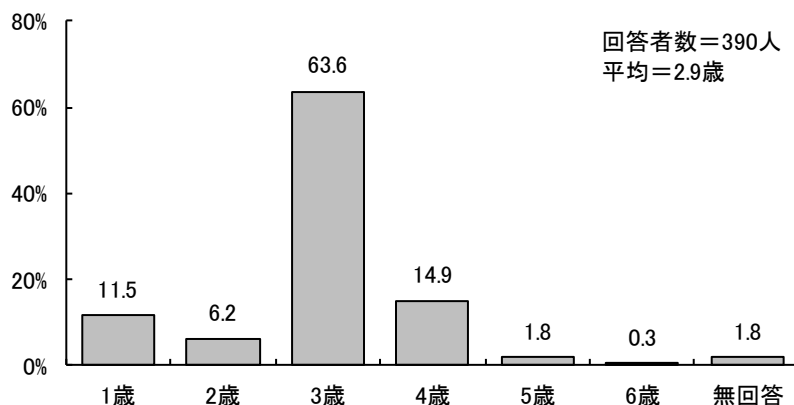
		単位(%)				
		回答者数(人)	考えている	考えていない	わからない	無回答
全 体		1,544	25.3	58.8	14.0	1.9
子どもの年齢別	0 歳	339	45.4	31.9	20.4	2.4
	1 歳	297	41.4	36.4	19.9	2.4
	2 歳	242	40.5	48.8	9.1	1.7
	3 歳	241	3.7	81.3	12.4	2.5
	4 歳	202	2.5	86.1	9.4	2.0
	5 歳	216	0.0	92.1	7.9	0.0
教育・保育事業の利用状況別	利用している	1,047	8.7	79.3	10.6	1.4
	利用していない	493	60.6	15.8	20.7	2.8
利用している教育・保育事業別	幼稚園(通常の就園時間)	389	1.3	85.9	11.3	1.5
	幼稚園の預かり保育の定期的利用	60	3.3	81.7	11.7	3.3
	認可保育所(区立・私立保育園)、中野2丁目保育室	451	4.2	84.5	9.8	1.6
	認証保育所	97	35.1	55.7	9.3	0.0
	家庭福祉員・グループ型家庭的保育事業	8	37.5	50.0	0.0	12.5
	認定こども園(幼稚園枠・短時間利用)	12	0.0	83.3	16.7	0.0
	認定こども園(保育園枠・長時間利用)	26	3.8	88.5	7.7	0.0
	事業所内保育施設	6	16.7	33.3	50.0	0.0
	ベビーシッター	8	37.5	12.5	50.0	0.0
	ベビーホテルなど	7	71.4	14.3	14.3	0.0
	ファミリーサポート事業	12	33.3	50.0	16.7	0.0
	療育センターアポロ園など	15	20.0	60.0	20.0	0.0
	その他	41	39.0	46.3	12.2	2.4

②変更・新たに利用を開始したい年齢と事業

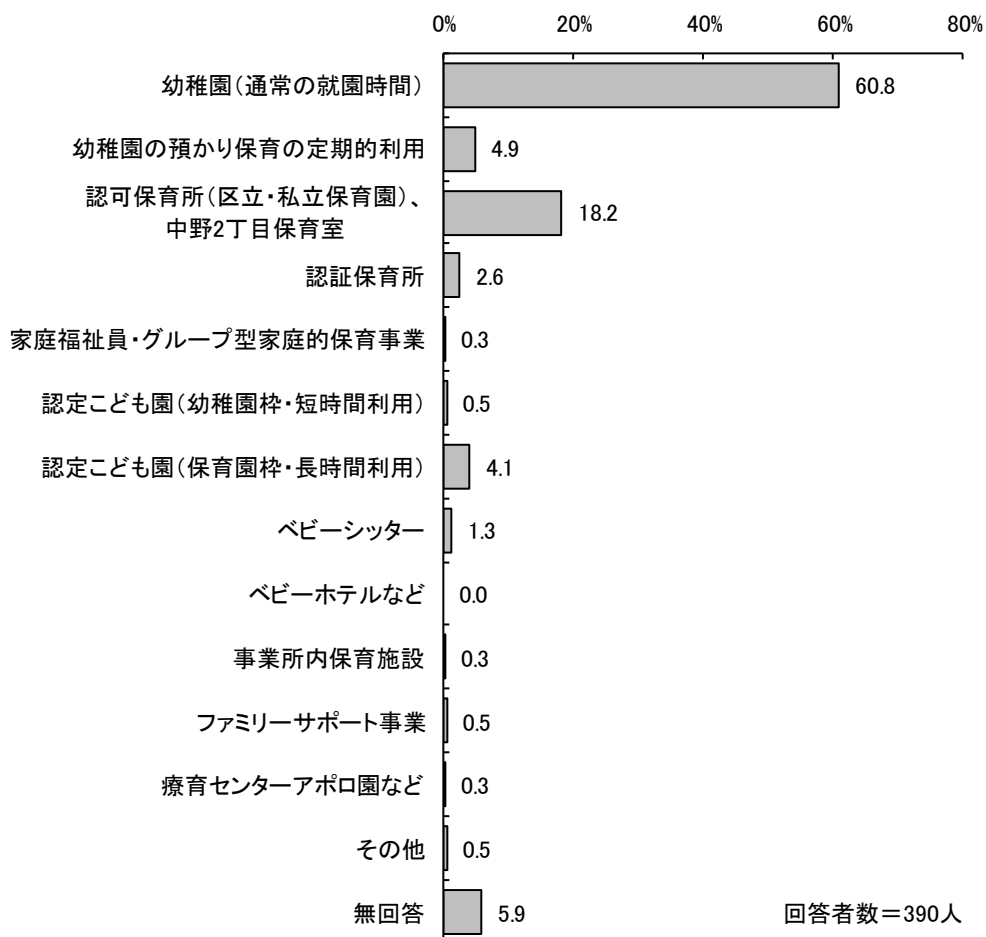
変更・新たに利用を開始したい年齢は、「3 歳」が 63.6%と最も多く、また「1 歳」「4 歳」という回答も、それぞれ 1 割台みられます。

変更・新たに利用を開始したい事業は、「幼稚園（通常の就園時間）」が 60.8%、「認可保育所（区立・私立保育園）、中野 2 丁目保育室」が 18.2%、「幼稚園の預かり保育の定期的利用」が 4.9%などとなっています。

図表3-54 変更・新たに利用を開始したい年齢(単数回答)



図表3-55 変更・新たに利用を開始したい事業(単数回答)



変更・新たに利用を開始したい事業を、変更・新たに利用を開始したい年齢別にみると、1歳または2歳に変更・新たな利用開始意向がある人は「認可保育所（区立・私立保育園）、中野2丁目保育室」、3歳または4歳に変更・新たな利用開始意向がある人は「幼稚園（通常の就園時間）」の利用希望が、それぞれ最も多くなっています。

図表3-56 変更・新たに利用を開始したい事業

単位(%)

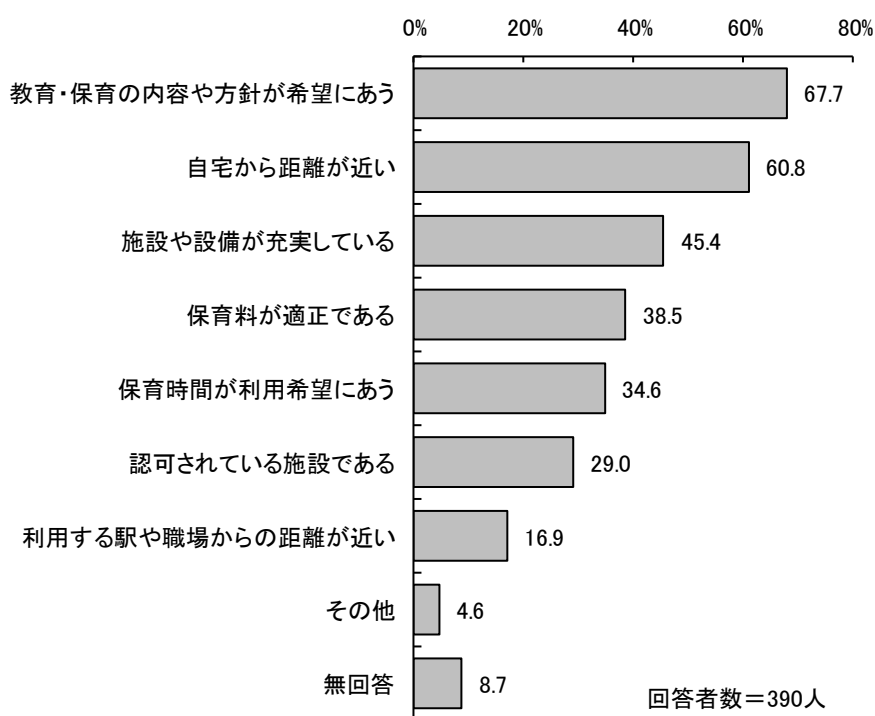
		回答者数(人)	幼稚園(通常の就園時間)	幼稚園の預かり保育の定期的利用	認可保育所(区立・私立保育園)、中野2丁目保育室	認証保育所	家庭福祉員・グループ型家庭的保育事業	認定こども園(幼稚園枠・短時間利用)	認定こども園(保育園枠・長時間利用)
全 体		390	60.8	4.9	18.2	2.6	0.3	0.5	4.1
変更・新たに利用を開始したい年齢別	1 歳	45	0.0	2.2	77.8	6.7	0.0	0.0	4.4
	2 歳	24	16.7	8.3	50.0	8.3	0.0	0.0	4.2
	3 歳	248	74.2	4.4	8.5	1.6	0.4	0.8	4.8
	4 歳	58	79.3	8.6	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7
	5 歳	7	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	6 歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		回答者数(人)	ベビーシッター	ベビーホテルなど	事業所内保育施設	ファミリーサポート事業	療育センターアポロ園など	その他	無回答
全 体		390	1.3	0.0	0.3	0.5	0.3	0.5	5.9
変更・新たに利用を開始したい年齢別	1 歳	45	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2	2.2
	2 歳	24	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	4.2
	3 歳	248	0.8	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	4.0
	4 歳	58	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	6.9
	5 歳	7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	6 歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③変更・新たな開始において重視する条件

変更・新たな開始において重視する条件は、「教育・保育の内容や方針が希望にあう」67.7%、「自宅から距離が近い」60.8%、「施設や設備が充実している」45.4%の順となっています。

図表3-57 変更・新たな開始において重視する条件(複数回答)



(3)土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

問17 あて名のお子さんについて、①土曜日、②日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用を希望しますか（一時的な利用は除きます）。1つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

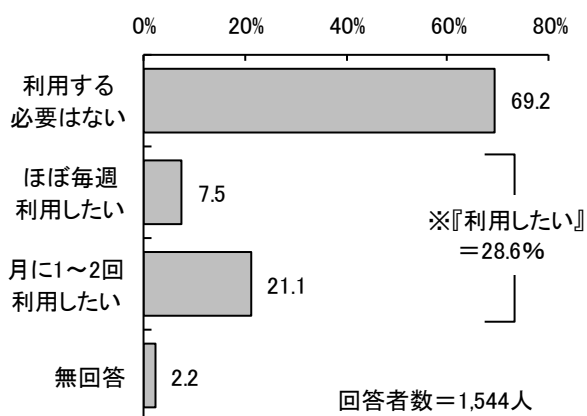
①土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向は、「利用する必要はない」が69.2%と約7割を占め、「ほぼ毎週利用したい」7.5%、「月に1～2回利用したい」21.1%をあわせた『利用したい』と回答した人は28.6%となっています。

『利用したい』と回答した人の希望開始時間は、「9時台から」が48.0%と半数近くとなっており、次いで「8時台から」25.8%となっています。

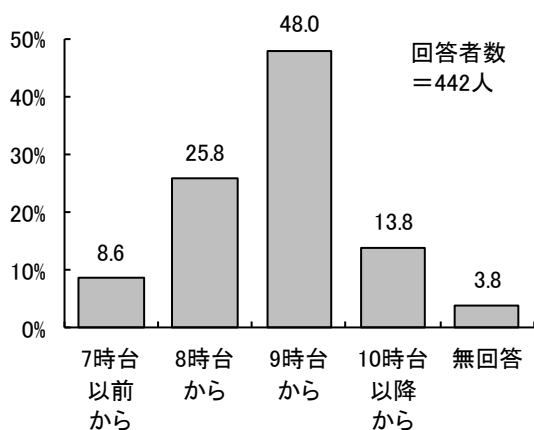
希望終了時間は、「18時まで」29.0%、「17時まで」21.3%、「14時まで」12.2%の順となっています。

図表3-58 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向(単数回答)

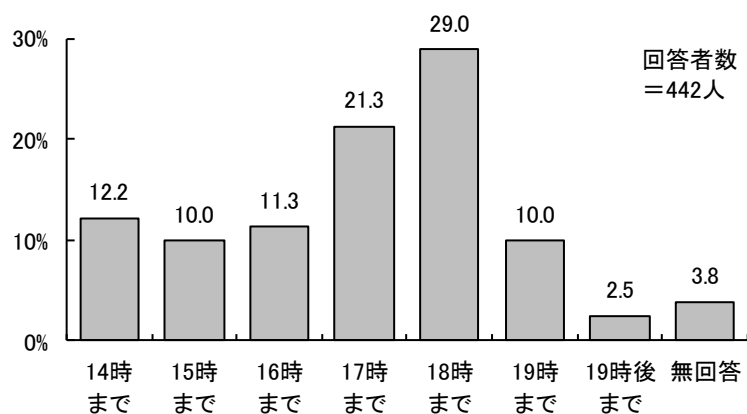


※『利用したい』＝「ほぼ毎週利用したい」＋「月に1～2回利用したい」

図表3-59 希望開始時間(単数回答)



図表3-60 希望終了時間(単数回答)



利用している教育・保育事業別にみると、土曜日の教育・保育事業を『利用したい』は、幼稚園（通常の就園時間）利用者の2割台、認可保育所（区立・私立保育園）、中野2丁目保育室及び認証保育所利用者の各4割台となっています。

図表3-61 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向

単位(%)

		回答者数(人)	利用する必要はない	い ほ ぼ 毎 週 利 用 し た い	月に1～2回利用したい	無回答	※『利用したい』
全 体		1,544	69.2	7.5	21.1	2.2	28.6
利用している教育・保育事業別	幼稚園(通常の就園時間)	389	76.3	4.4	17.5	1.8	21.9
	幼稚園の預かり保育の定期的利用	60	71.7	8.3	20.0	0.0	28.3
	認可保育所(区立・私立保育園)、中野2丁目保育室	451	55.2	11.3	31.3	2.2	42.6
	認証保育所	97	55.7	13.4	27.8	3.1	41.2
	家庭福祉員・グループ型家庭的保育事業	8	50.0	12.5	37.5	0.0	50.0
	認定こども園(幼稚園枠・短時間利用)	12	83.3	0.0	16.7	0.0	16.7
	認定こども園(保育園枠・長時間利用)	26	57.7	15.4	26.9	0.0	42.3
	事業所内保育施設	6	33.3	33.3	16.7	16.7	50.0
	ベビーシッター	8	37.5	12.5	37.5	12.5	50.0
	ベビーホテルなど	7	57.1	14.3	28.6	0.0	42.9
	ファミリーサポート事業	12	58.3	8.3	25.0	8.3	33.3
	療育センターアポロ園など	15	73.3	13.3	13.3	0.0	26.6
	その他	41	73.2	4.9	17.1	4.9	22.0

※『利用したい』＝「ほぼ毎週利用したい」＋「月に1～2回利用したい」

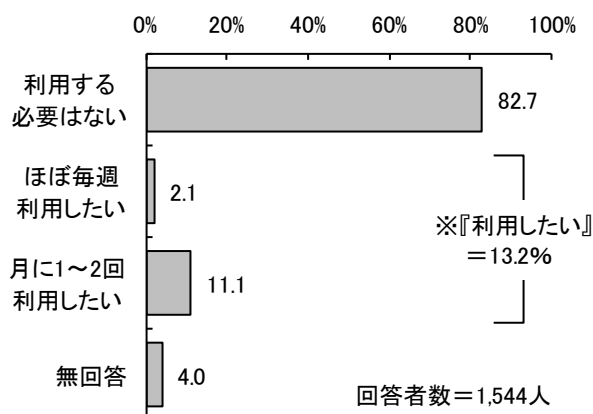
②日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向は、「利用する必要はない」が 82.7% を占め、「ほぼ毎週利用したい」 2.1%、「月に 1～2 回利用したい」 11.1%を合わせた『利用したい』と回答した人は 13.2%となっています。

『利用したい』と回答した人の希望開始時間は、「9 時台から」が 50.7%と約半数となっており、次いで「8 時台から」 19.5%となっています。

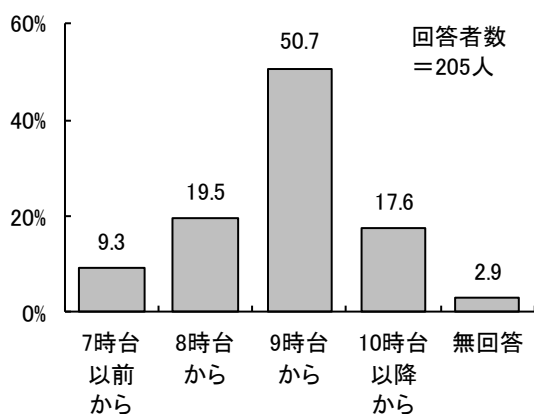
希望終了時間は、「18 時まで」 31.7%、「17 時まで」 20.5%、「19 時まで」 13.7%の順となっています。

図表3-62 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向(単数回答)

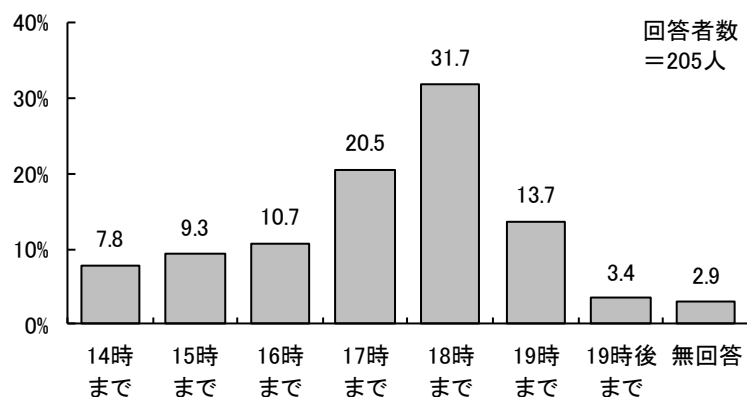


※『利用したい』 = 「ほぼ毎週利用したい」 + 「月に 1～2 回利用したい」

図表3-63 希望開始時間(単数回答)



図表3-64 希望終了時間(単数回答)



(4) 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向

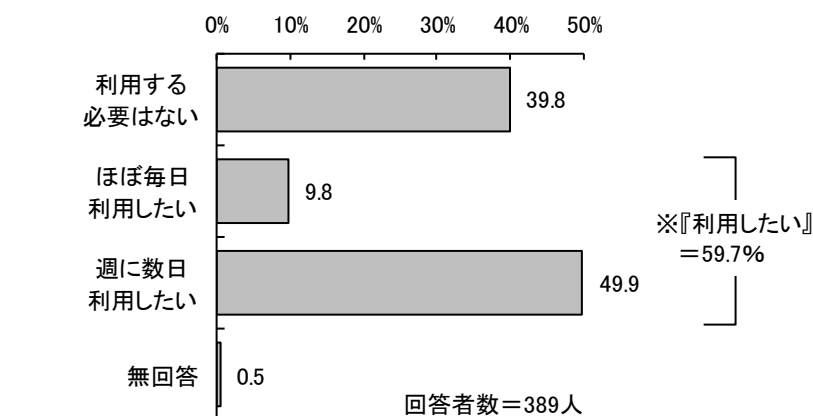
問18 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等に、教育・保育の事業の利用を希望しますか。1つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

幼稚園を利用している人の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向をみると、「利用する必要はない」は 39.8%であり、「ほぼ毎日利用したい」9.8%、「週に数日利用したい」49.9%をあわせた『利用したい』と回答した人は、59.7%と約6割となっています。

『利用したい』と回答した人の希望開始時間は、「9時台から」が79.7%と約8割を占めています。

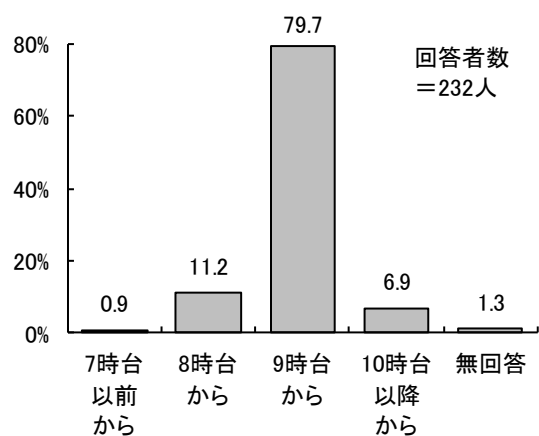
希望終了時間は、「15時まで」28.9%が最も多く、次いで「14時まで」27.6%、「17時まで」20.3%の順となっています。

図表3-65 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向(単数回答)

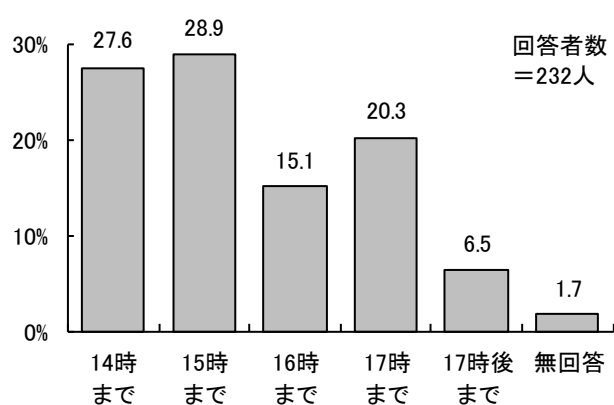


※『利用したい』 = 「ほぼ毎日利用したい」 + 「週に数日利用したい」

図表3-66 希望開始時間(単数回答)



図表3-67 希望終了時間(単数回答)



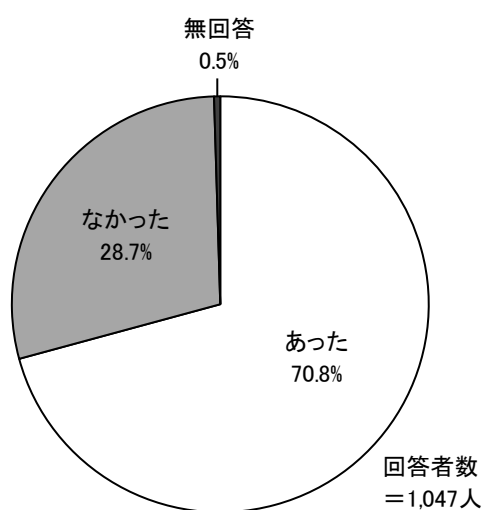
5. 病児・病後児保育事業について

(1) 病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験

問13 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで問9で○をした事業が利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験は、「あった」が70.8%、「なかった」が28.7%となっています。

図表3-68 病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験(単数回答)



子どもの年齢別にみると、「あった」は子どもの年齢が低いほど多く、0・1歳の各8割台、2歳の7割台、3・4歳の各6割台、5歳の5割台となっています。

就労形態による家庭類型別にみると、「あった」は、ひとり親家庭及びフルタイム共働き家庭の各8割台、フルタイム・パート共働き家庭の約7割、専業主婦（夫）家庭の4割台となっています。

図表3-69 病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験

単位(%)

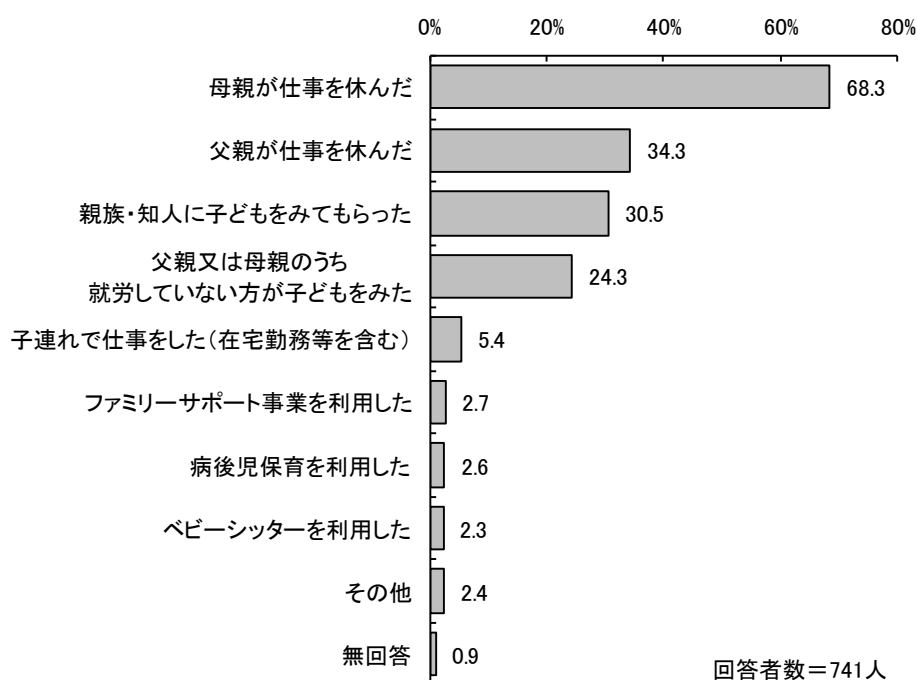
		回答者数(人)	あった	なかった	無回答
全 体		1,047	70.8	28.7	0.5
子どもの年齢別	0 歳	93	87.1	11.8	1.1
	1 歳	148	81.1	18.9	0.0
	2 歳	149	77.2	22.1	0.7
	3 歳	236	69.1	30.9	0.0
	4 歳	200	66.5	32.0	1.5
	5 歳	216	58.8	41.2	0.0
就労形態による家庭類型別	ひとり親	34	82.4	17.6	0.0
	フルタイム共働き	462	87.0	12.3	0.6
	フルタイム・パート共働き	179	69.8	29.6	0.6
	専業主婦(夫)	352	48.9	50.9	0.3
	パートタイム共働き	3	100.0	0.0	0.0
	夫婦とも無業	3	100.0	0.0	0.0

(2)教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法

問13-1 この1年間に行った対処方法すべてに○をし、その日数（おおよそ）を記入してください。

教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」と回答した人の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」68.3%、「父親が仕事を休んだ」34.3%、「親族・知人に子どもをみてもらった」30.5%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」24.3%の順となっています。対処方法別の日数（年間）の平均は、「母親が仕事を休んだ」が10.3日と、「父親が仕事を休んだ」4.3日の倍以上となっています。

図表3-70 教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法（複数回答）



図表3-71 対処方法別の日数（年間）

単位 (%)

	回答者数 (人)	1～2 日	3～4 日	5～9 日	10～ 19 日	20 日 以上	無回答	平均 日数 (日)
母親が仕事を休んだ	506	12.6	11.7	26.7	30.0	15.2	3.8	10.3
父親が仕事を休んだ	254	41.3	19.3	25.2	11.0	2.0	1.2	4.3
親族・知人に子どもをみてもらった	226	15.0	14.6	33.6	18.6	13.3	4.9	8.4
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	180	11.7	11.7	30.6	31.1	11.7	3.3	9.3
子連れで仕事をした(在宅勤務等を含む)	40	22.5	25.0	32.5	10.0	2.5	7.5	4.8
ファミリーサポート事業を利用した	20	45.0	30.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.7
病後児保育を利用した	19	47.4	5.3	36.8	0.0	0.0	10.5	3.2
ベビーシッターを利用した	17	17.6	11.8	23.5	23.5	17.6	5.9	13.6
その他	18	16.7	0.0	16.7	27.8	16.7	22.2	12.4

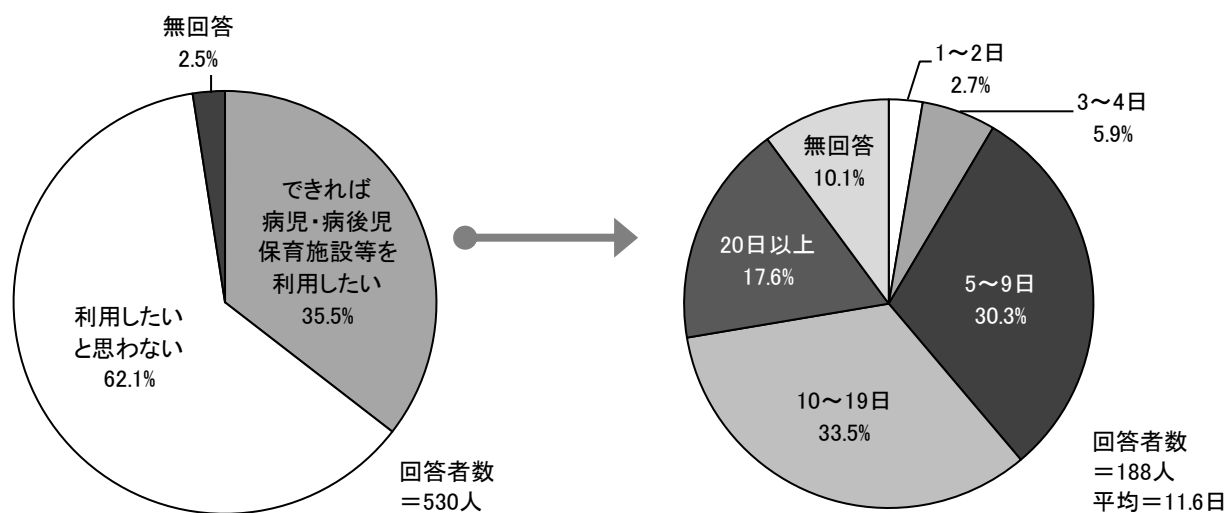
(3) 病児・病後児保育施設の利用意向

問13-2 「1」または「2」に○をした方に伺います。「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思いますか。1つに○をし、希望する場合は利用したい日数を記入してください。

父母のどちらかが仕事を休んだと回答した人に、病児・病後児保育施設の利用意向をたずねたところ、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は35.5%であり「利用したいと思わない」が62.1%となっています。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人の利用希望日数(年間)は、「10～19日」33.5%が最も多く、平均11.6日でした。

図表3-72 病児・病後児保育施設の利用意向(単数回答) 図表3-73 年間利用希望日数(単数回答)

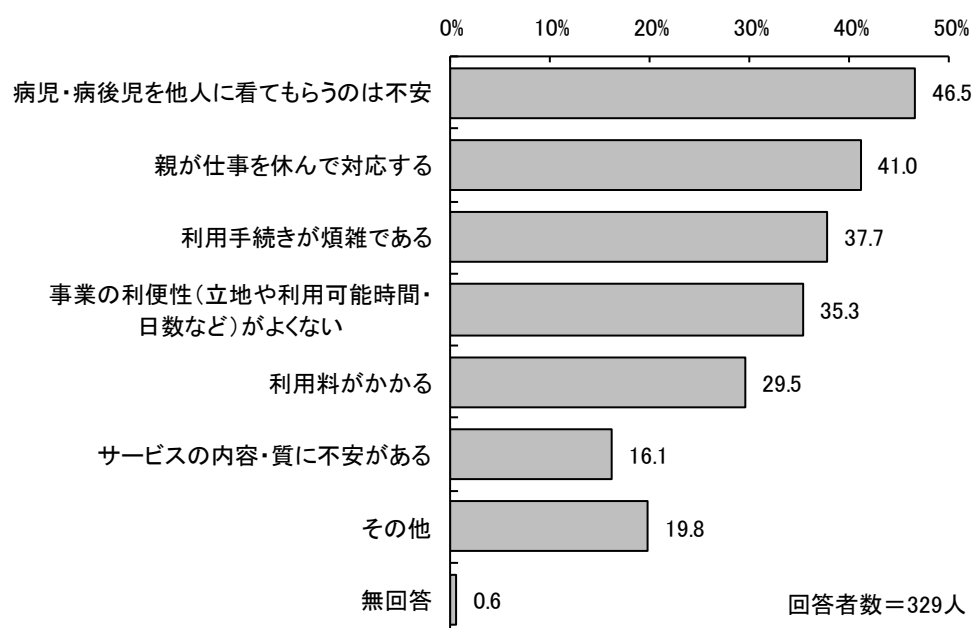


(4) 病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由

問13-3 利用したいと思わない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

病児・病後児保育施設等を「利用したいと思わない」と回答した人の理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」46.5%、「親が仕事を休んで対応する」41.0%、「利用手続きが煩雑である」37.7%、「事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくない」35.3%の順となっています。

図表3-74 病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由(複数回答)



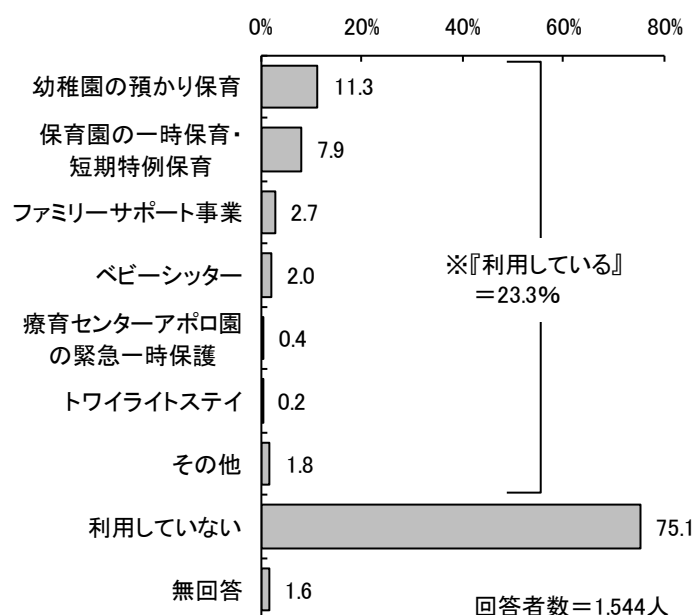
6. 一時預かり事業について

(1) 一時預かり事業の利用状況

問19 あて名のお子さんについて、私用、冠婚葬祭、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をし、1年間の利用日数（おおよそ）を記入してください。

一時預かり事業の利用状況をみると、「利用していない」が 75.1%を占め、『利用している』（100%から「利用していない」と「無回答」を除いた割合）は 23.3%となっています。具体的には、「幼稚園の預かり保育」が 11.3%、「保育園の一時保育・短期特例保育」7.9%などとなっています。利用日数（年間）の平均は、「幼稚園の預かり保育」が 22.4 日、「保育園の一時保育・短期特例保育」が 10.0 日などとなっています。

図表3-75 一時預かり事業の利用状況（複数回答）



※『利用している』 = 100% - 「利用していない」 - 「無回答」

図表3-76 一時預かり事業の利用日数（年間）

	回答者数 (人)	単位 (%)						平均 日数 (日)
		1～4 日	5～9 日	10～ 19 日	20～ 29 日	30 日 以上	無回答	
幼稚園の預かり保育	174	13.2	14.9	28.7	14.4	26.4	2.3	22.4
保育園の一時保育・短期特例保育	122	44.3	14.8	19.7	4.1	11.5	5.7	10.0
ファミリーサポート事業	42	33.3	23.8	21.4	9.5	9.5	2.4	16.6
ベビーシッター	31	22.6	29.0	19.4	9.7	9.7	9.7	12.8
療育センターアポロ園の緊急一時保護	6	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	8.4
トワイライトステイ	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	50.0
その他	28	39.3	17.9	17.9	3.6	10.7	10.7	8.9

子どもの年齢別にみると、『利用している』は0～2歳で各年齢の1割台、3歳以上が各年齢の3割台となっています。利用している事業は、0～2歳は「保育園の一時保育・短期特例保育」、3歳以上は「幼稚園の預かり保育」がそれぞれ最も多くなっています。

居住地域別にみると、『利用している』は中部すこやか福祉センター及び南部すこやか福祉センター地域が他に比べて多くなっています。利用している事業は、中部すこやか福祉センター地域では「保育園の一時保育・短期特例保育」、他地域では「幼稚園の預かり保育」が、それぞれ最も多くなっています。

就労形態からみた家庭類型別にみると、『利用している』は、専業主婦（夫）家庭やフルタイム・パート共働き家庭が他に比べて多くなっています。

教育・保育事業の利用状況別にみると、『利用している』は、教育・保育事業を利用している人の27.1%、利用していない人の15.6%となっています。

図表3-77 一時預かり事業の利用状況

単位(%)

		回答者数(人)	幼稚園の預かり保育	保育園の一時保育・短期特例保育	ファミリーサポート事業	ベビシッター	療育センター・アポロ園の緊急一時保護	トワイライトステイ	その他	利用していない	無回答	※『利用している』
全 体		1,544	11.3	7.9	2.7	2.0	0.4	0.2	1.8	75.1	1.6	23.3
子どもの年齢別	0歳	339	0.3	8.3	3.2	3.2	0.0	0.0	0.9	84.4	2.1	13.5
	1歳	297	0.3	12.5	3.7	2.4	0.7	0.3	1.7	81.1	1.7	17.2
	2歳	242	1.2	11.6	2.5	0.4	0.4	0.4	4.1	78.5	1.7	19.8
	3歳	241	21.2	6.6	3.3	2.5	0.0	0.0	2.5	66.4	1.2	32.4
	4歳	202	25.7	3.5	1.0	1.5	0.5	0.5	1.0	67.8	1.5	30.7
	5歳	216	30.6	2.8	1.9	1.4	0.9	0.0	0.9	64.8	0.5	34.7
居住地域別	中部すこやか福祉センター	435	9.7	11.3	2.3	1.1	0.2	0.0	1.6	74.3	0.9	24.8
	北部すこやか福祉センター	421	13.5	5.7	3.1	1.9	0.5	0.2	2.4	75.5	1.7	22.8
	南部すこやか福祉センター	329	11.9	8.5	2.4	3.0	0.3	0.0	1.8	74.2	1.2	24.6
	鷺宮すこやか福祉センター	350	10.0	6.0	3.1	2.3	0.6	0.6	1.4	76.6	2.3	21.1
就労形態による家庭類型別	ひとり親	39	5.1	5.1	5.1	2.6	0.0	2.6	2.6	82.1	0.0	17.9
	フルタイム共働き	543	1.3	6.6	4.8	2.8	0.2	0.4	1.3	83.1	2.0	14.9
	フルタイム・パート共働き	209	13.9	7.7	2.4	1.4	0.5	0.0	1.0	73.2	3.3	23.5
	専業主婦(夫)	714	18.6	9.2	1.3	1.5	0.6	0.0	2.2	69.2	0.6	30.2
	パートタイム共働き	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7	16.6
	夫婦とも無業	9	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3
教育・保育事業の利用状況別	利用している	1047	16.4	6.2	3.2	2.3	0.6	0.3	1.7	71.4	1.5	27.1
	利用していない	493	0.4	11.6	1.8	1.4	0.0	0.0	2.0	83.0	1.4	15.6

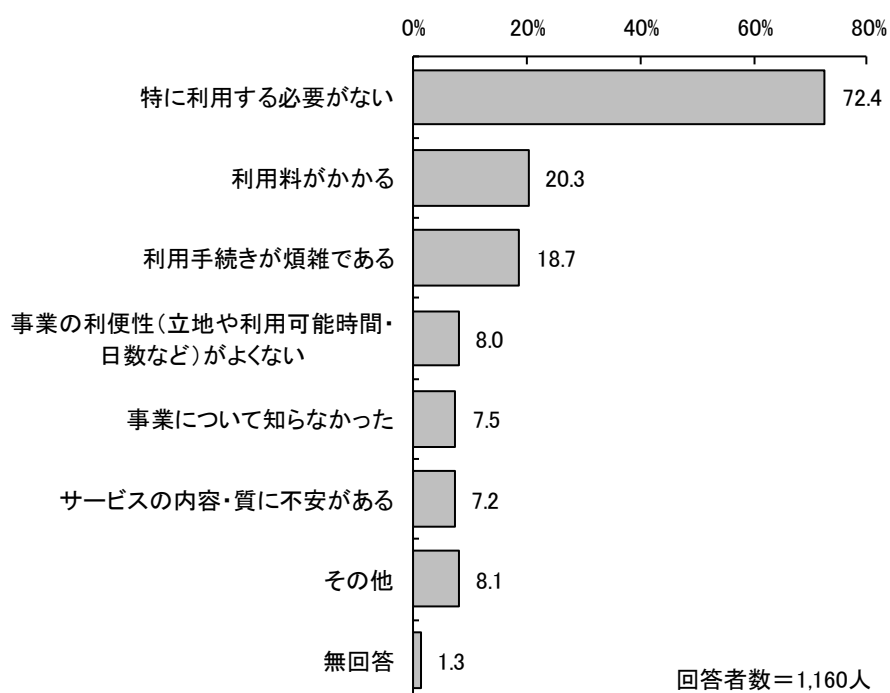
※『利用している』=100%－「利用していない」－「無回答」

(2)一時預かり事業を利用していない理由

問19-1 「8. 利用していない」に○をした方に伺います。現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

一時預かり事業を「利用していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「特に利用する必要がない」が72.4%となっています。次いで、「利用料がかかる」が20.3%、「利用手続きが煩雑である」が18.7%と続いています。

図表3-78 一時預かり事業を利用していない理由(複数回答)



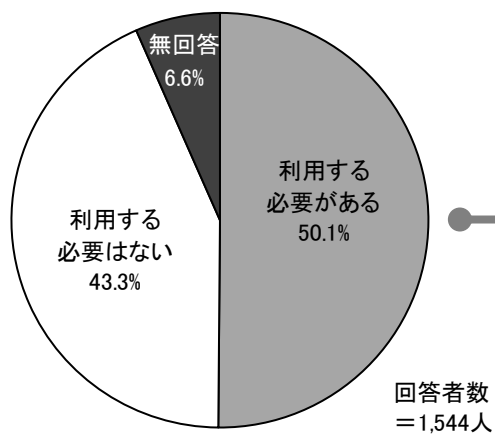
(3)一時預かり事業の利用意向

問20 あて名のお子さんについて、私用、冠婚葬祭、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり事業（問19の1～6の事業）を利用する必要があると思いますか。1つに○をし、ある場合は、目的別に必要な日数を記入してください。

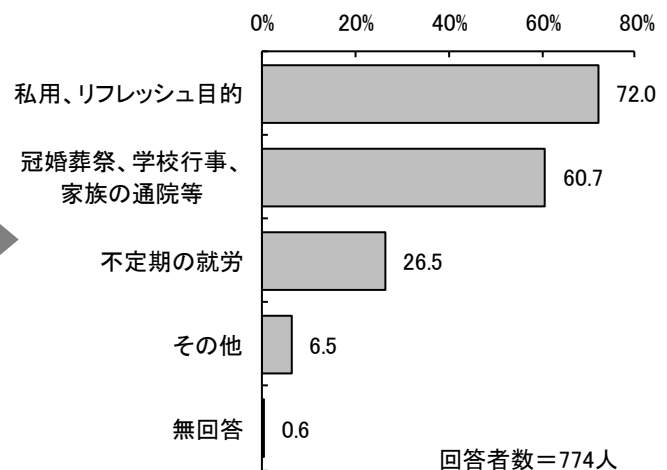
一時預かり事業の利用意向は、「利用する必要がある」が 50.1%、「利用する必要はない」は 43.3%となっています。

「利用する必要がある」と回答した人の利用目的は、「私用、リフレッシュ目的」が 72.0%、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」が 60.7%、「不定期の就労」が 26.5%となっており、利用希望日数（年間）の平均は、「不定期の就労」の場合が 24.8 日、「私用、リフレッシュ目的」の場合が 15.5 日などとなっています。

図表3-79 一時預かり事業の利用意向(単数回答)



図表3-80 利用目的(複数回答)



図表3-81 一時預かり事業の利用希望日数(年間)

単位 (%)								
	回答者数 (人)	1～4 日	5～9 日	10～ 19 日	20～ 29 日	30 日 以上	無回答	平均 日数 (日)
私用、リフレッシュ目的	557	13.8	18.0	42.5	11.8	12.6	1.3	15.5
冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等	470	31.7	28.9	28.7	5.1	3.4	2.1	7.9
不定期の就労	205	19.0	17.6	23.9	9.3	26.8	3.4	24.8
その他	50	18.0	18.0	24.0	6.0	24.0	10.0	23.5

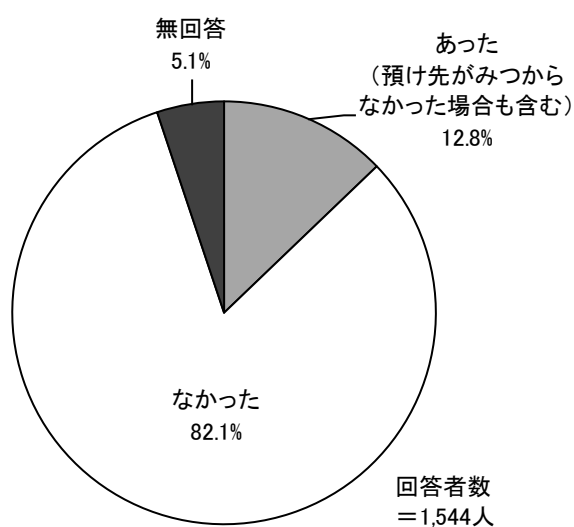
7. ショートステイについて

(1) 泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験

問21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。（〇は1つ）

泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験が「あった（預け先がみつからなかった場合も含む）」は12.8%となっており、子どもの年齢別にみると、0・1歳で各1割未満、2歳以上で各1割台となっています。

図表3-82 泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験（単数回答）



図表3-83 泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験

		単位 (%)			
		回答者数(人)	あった(預け先がみつからなかった場合も含む)	なかった	無回答
全 体		1,544	12.8	82.1	5.1
子どもの年齢別	0 歳	339	7.7	84.4	8.0
	1 歳	297	9.8	83.8	6.4
	2 歳	242	18.6	77.7	3.7
	3 歳	241	12.0	85.1	2.9
	4 歳	202	15.8	80.2	4.0
	5 歳	216	17.1	79.2	3.7

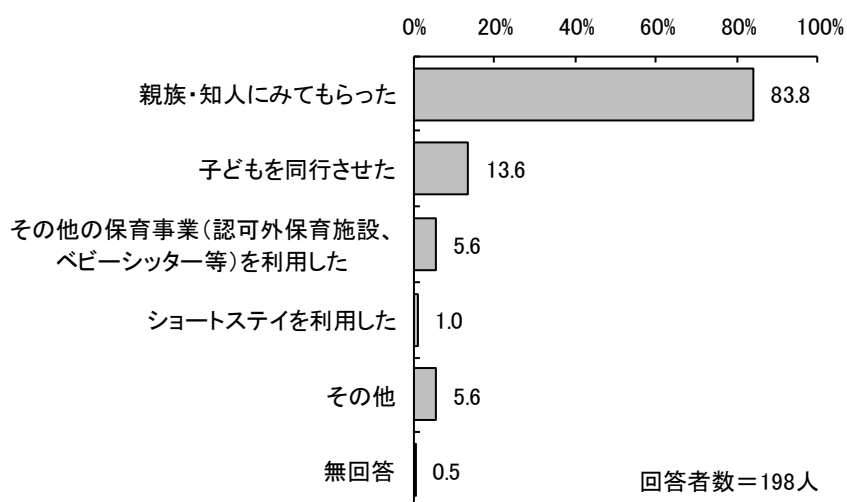
(2)泊まりがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法

問21-1 この1年間に行った対処方法すべてに○をし、日数（おおよそ）を記入してください。

泊まりがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」83.8%が最も多く、次いで「子どもを同行させた」が13.6%であり、「ショートステイを利用した」は1.0%、「その他の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」は5.6%でした。

対処方法別の日数（年間）の平均は、「親族・知人にみてもらった」が8.2日、「子どもを同行させた」が8.0日などとなっています。

図表3-84 泊まりがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法（複数回答）



図表3-85 対処方法別の日数（年間）

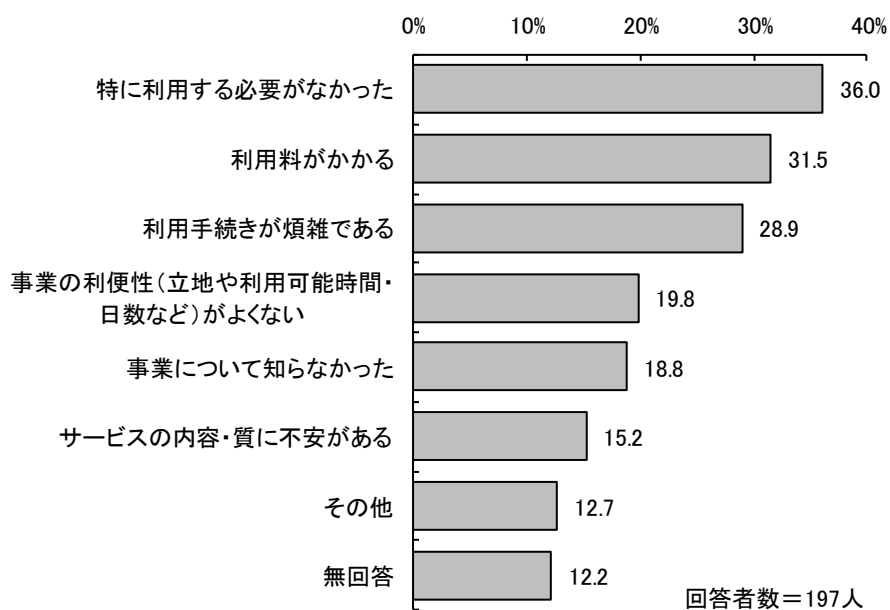
単位 (%)								
	回答者数 (人)	1～2 日	3～4 日	5～9 日	10～ 19 日	20 日 以上	無回答	平均 日数 (日)
親族・知人にみてもらった	166	30.7	11.4	21.7	18.7	9.6	7.8	8.2
子どもを同行させた	27	25.9	18.5	14.8	25.9	11.1	3.7	8.0
その他の保育事業を利用した	11	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	72.7	3.3
ショートステイを利用した	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	9.0
その他	11	27.3	27.3	18.2	9.1	9.1	9.1	5.7

(3) ショートステイを利用しなかった理由

問21-2 「2～5」に○をした方に伺います。ショートステイを利用しなかった理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

泊まりがけで家族以外に預ける必要があった際に、ショートステイを利用しなかった人にその理由をたずねたところ、「特に利用する必要がなかった」36.0%、「利用料がかかる」31.5%、「利用手続きが煩雑である」28.9%、「事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」19.8%の順となっています。

図表3-86 ショートステイを利用しなかった理由(複数回答)



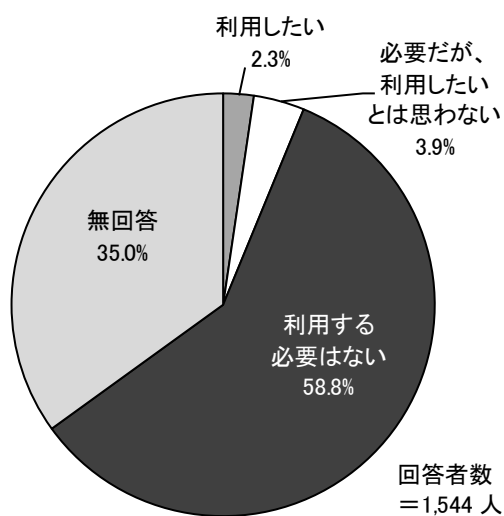
8. 緊急一時保護(障害や発達に課題のあるお子さんを対象とした事業)について

(1) 緊急一時保護の利用意向

問22 あて名のお子さんについて、緊急一時保護を利用したいと思いますか。(○は1つ)

緊急一時保護の利用意向は、「利用する必要はない」が 58.8%と半数以上であり、「利用したい」は 2.3%、「必要だが、利用したいとは思わない」は 3.9%となっています。

図表3-87 緊急一時保護の利用意向(単数回答)

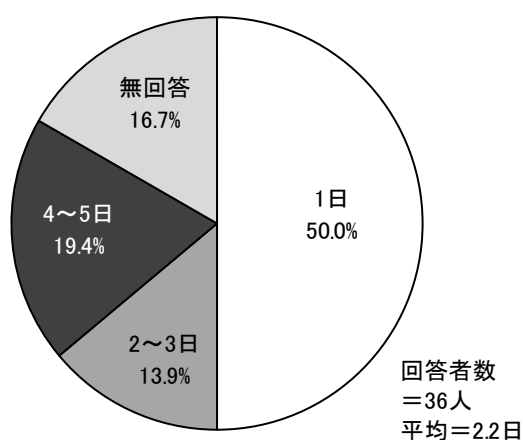


(2) 緊急一時保護の利用希望頻度

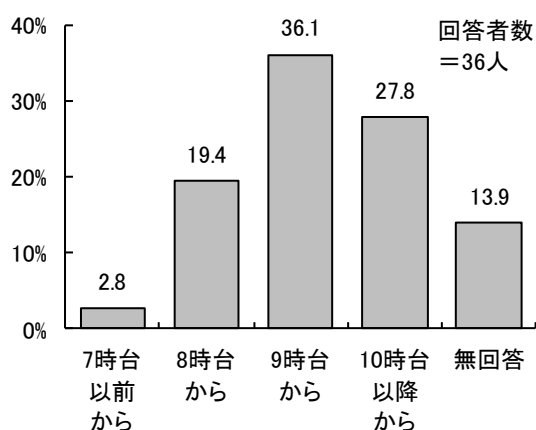
問22-1 1週あたり利用希望日数・1日の利用希望時間帯をご記入ください。(数字を記入)

緊急一時保護を「利用したい」と回答した人の1週あたりの利用希望日数は、平均2.2日となっています。また、希望開始時間は「9時台から」36.1%、「10時台以降から」27.8%の順となっています。希望終了時間は「18時まで」30.6%、「17時まで」19.4%、「16時まで」16.7%の順となっています。

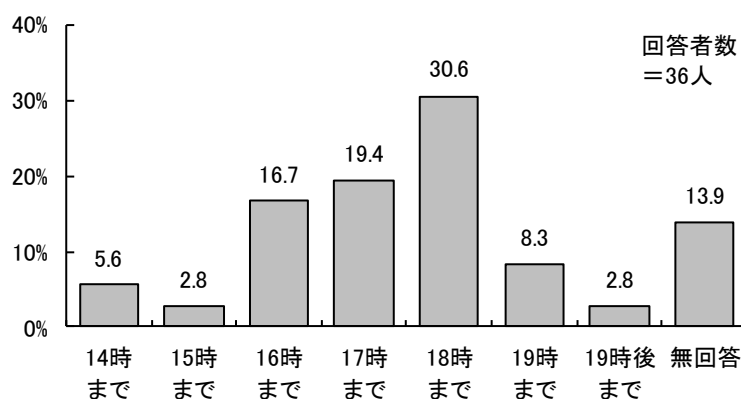
図表3-88 1週あたりの利用希望日数(単数回答)



図表3-89 希望開始時間(単数回答)



図表3-90 希望終了時間(単数回答)



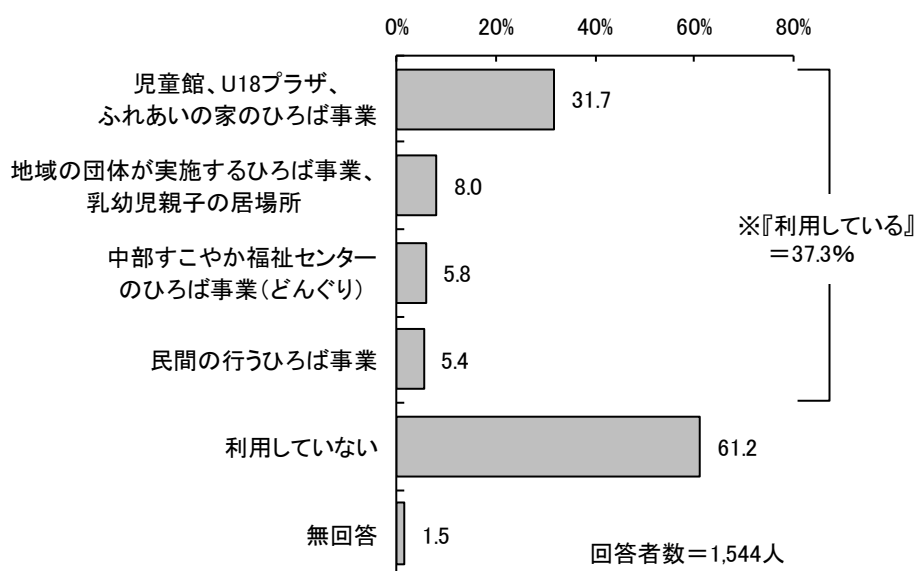
9. 子育てひろばについて

(1) 子育てひろばの利用状況

問23 あて名のお子さんは、現在、子育てひろばを利用していますか。
(利用しているものすべてに○)

子育てひろばの利用状況をみると、「利用していない」は 61.2%であり、『利用している』と回答した人の割合（100%から「利用していない」と「無回答」を除いた割合）は 37.3%になります。具体的に利用している子育てひろばは、「児童館、U18 プラザ、ふれあいの家のひろば事業」が 31.7%、「地域の団体が実施するひろば事業、乳幼児親子の居場所」が 8.0%、「中部すこやか福祉センターのひろば事業（どんぐり）」が 5.8%、「民間の行うひろば事業」が 5.4%となっています。

図表3-91 子育てひろばの利用状況（複数回答）



※『利用している』 = 100% - 「利用していない」 - 「無回答」

子どもの年齢別にみると、『利用している』は、0歳が54.3%、1歳が48.5%、2歳が33.9%、3歳以上が各2割台となっています。

居住地域別にみると、『利用している』は、中部すこやか福祉センター地域が43.7%、他の地域が各3割台と、他地域に比べて中部すこやか福祉センター地域の利用率が高くなっています。

教育・保育事業の利用状況別にみると、『利用している』は教育・保育事業を利用している人の25.4%、利用していない人の62.9%となっています。

図表3-92 子育てひろばの利用状況

単位(%)

		回答者数(人)	児童館、U18プラザ、ふれあいの家のひろば事業	地域の団体が実施するひろば事業、乳幼児親子の居場所	中部すこやか福祉センターのひろば事業(どんぐり)	民間の行うひろば事業	利用していない	無回答	※『利用している』
全 体		1,544	31.7	8.0	5.8	5.4	61.2	1.5	37.3
子どもの年齢別	0歳	339	44.0	15.0	12.4	9.7	44.2	1.5	54.3
	1歳	297	41.1	10.4	9.8	6.4	49.5	2.0	48.5
	2歳	242	29.3	4.5	5.0	4.1	63.6	2.5	33.9
	3歳	241	24.5	5.8	1.2	2.5	71.8	0.8	27.4
	4歳	202	20.3	4.5	1.5	4.5	75.2	1.0	23.8
	5歳	216	22.2	3.7	0.5	2.8	75.5	0.5	24.0
居住地域別	中部すこやか福祉センター	435	34.3	10.1	14.7	4.4	55.2	1.1	43.7
	北部すこやか福祉センター	421	29.0	6.9	0.5	5.9	65.3	1.7	33.0
	南部すこやか福祉センター	329	29.2	9.1	7.0	7.6	65.0	0.3	34.7
	鷺宮すこやか福祉センター	350	34.9	6.0	0.3	4.0	59.7	2.6	37.7
教育・保育事業の利用状況別	利用している	1047	22.5	4.1	2.1	2.9	73.5	1.1	25.4
	利用していない	493	51.5	16.2	13.8	10.5	35.1	2.0	62.9

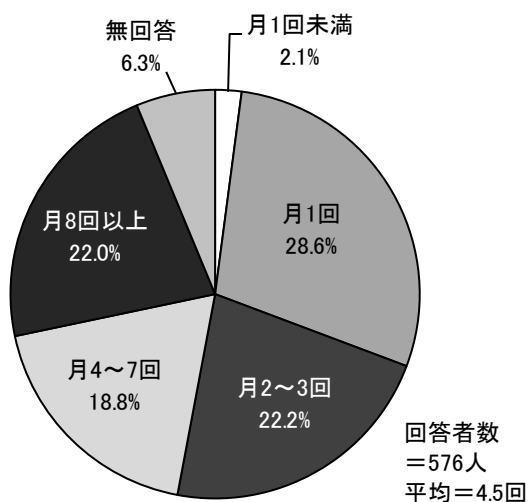
※『利用している』=100%－「利用していない」－「無回答」

(2)子育てひろばの月あたりの利用回数

問23-1 「1～4」に○をした方に伺います。子育てひろばの利用頻度はどのくらいですか。
「1～4」をあわせた、おおよその利用回数（頻度）を記入してください。
(数字を記入)

子育てひろばを『利用している』と回答した人の月あたりの利用回数は、「月 1 回」28.6%、「月 2～3 回」22.2%の順であり、平均 4.5 回となっています。

図表3-93 子育てひろばの月あたりの利用回数(単数回答)



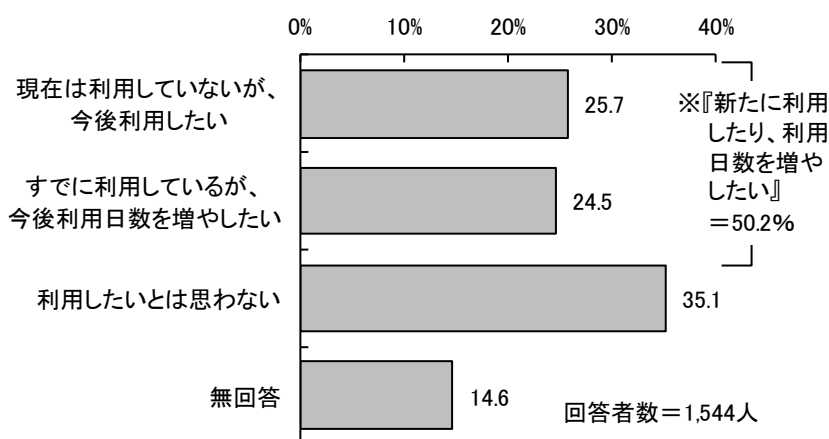
(3)子育てひろばの利用意向

問24 問23の子育てひろばについて、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。1つに○をして、希望する場合は、およその利用回数（頻度）を記入してください。

子育てひろばの利用意向は、「現在は利用していないが、今後利用したい」の25.7%と、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の24.5%をあわせた50.2%が、『新たに利用したり、利用日数を増やしたい』と回答しています。

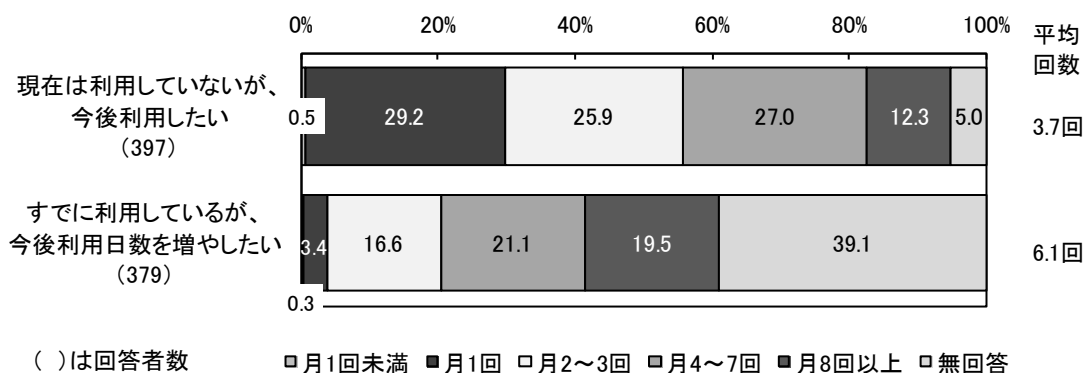
「現在は利用していないが、今後利用したい」と回答した人の月あたりの利用希望回数は、「月1回」29.2%が最も多く、平均3.7回となっています。「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の月あたりの利用希望回数は、「月4～7回」21.1%が最も多く、平均6.1回となっています。

図表3-94 子育てひろばの利用意向(単数回答)



※『新たに利用したり、利用日数を増やしたい』＝「現在は利用していないが、今後利用したい」＋「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」

図表3-95 子育てひろばの月あたりの利用希望回数(各単数回答)



子どもの年齢別にみると、『新たに利用したり、利用日数を増やしたい』は0歳が68.1%、1歳が58.3%、2歳が46.2%、3歳以上が各3割台となっています。

居住地域別にみると、『新たに利用したり、利用日数を増やしたい』は、中部すこやか福祉センター地域及び鷺宮すこやか福祉センター地域が各5割台、北部すこやか福祉センター地域及び南部すこやか福祉センター地域が各4割台となっています。

教育・保育事業の利用状況別にみると、『新たに利用したり、利用日数を増やしたい』は、教育・保育事業を利用している人の41.8%、利用していない人の68.1%となっています。

図表3-96 子育てひろばの利用意向

単位(%)

		回答者数(人)	現在 は利用 してい ないが、 今後 利用 したい	す でに 利用 してい るが、 今後 利用 日数 を増 や し た い	利用 した い と は 思 わ な い	無 回 答	※『新 たに 利用 した り、 利用 日数 を増 や し た い』
全 体		1,544	25.7	24.5	35.1	14.6	50.2
子 ど も の 年 齢 別	0 歳	339	29.5	38.6	17.4	14.5	68.1
	1 歳	297	25.6	32.7	26.6	15.2	58.3
	2 歳	242	26.4	19.8	38.4	15.3	46.2
	3 歳	241	22.4	17.4	43.6	16.6	39.8
	4 歳	202	24.3	13.4	49.0	13.4	37.7
	5 歳	216	24.1	15.7	47.7	12.5	39.8
居 住 地 域 別	中部すこやか福祉センター	435	25.1	29.4	29.9	15.6	54.5
	北部すこやか福祉センター	421	26.6	21.9	38.5	13.1	48.5
	南部すこやか福祉センター	329	24.0	22.8	41.3	11.9	46.8
	鷺宮すこやか福祉センター	350	27.1	24.0	31.4	17.4	51.1
教 育・ 保 育 事 業 の 利 用 状 況 別	利用している	1,047	26.4	15.4	44.7	13.6	41.8
	利用していない	493	24.1	44.0	15.0	16.8	68.1

※『新たに利用したり、利用日数を増やしたい』＝「現在には利用していないが、今後利用したい」＋「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」

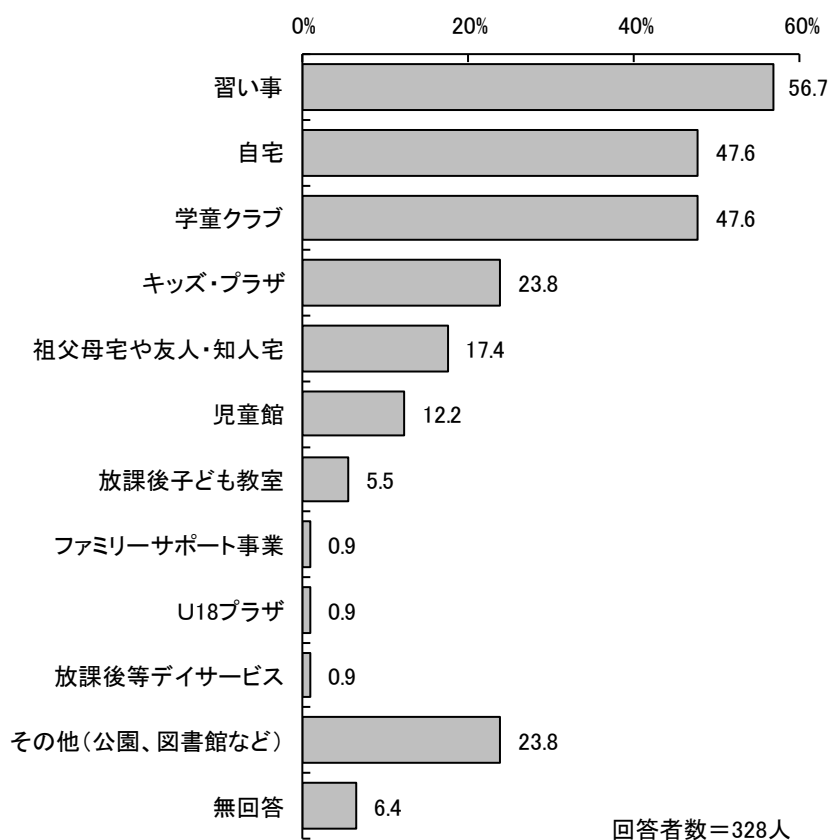
10. 学童クラブについて(5 歳児のみ回答)

(1) 小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望

問25 あて名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)をどこで過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をし、希望する日数を記入してください。

小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望は、「習い事」56.7%、「自宅」「学童クラブ」各 47.6%、「キッズ・プラザ」23.8%の順となっています。

図表3-97 小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望(複数回答)



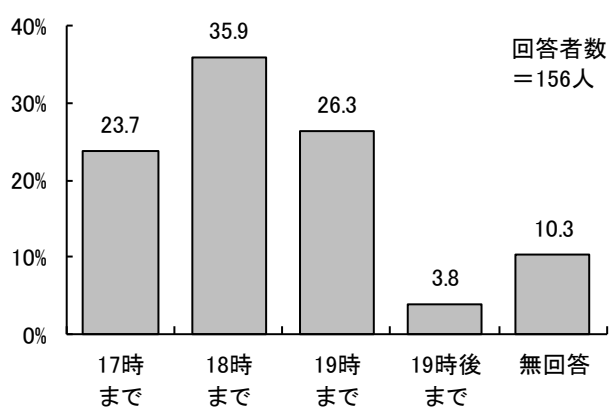
学童クラブを希望した人の1週あたりの利用希望日数は「5日」が70.5%を占め、平均4.4日となっています。また、利用希望時間は「18時まで」35.9%、「19時まで」26.3%の順となっています。

図表3-98 過ごし方別の1週あたりの希望日数

単位(%)

	回答者数 (人)	1～2日	3～4日	5日	無回答	平均 日数 (日)
習い事	186	70.4	21.5	2.2	5.9	2.0
自宅	156	50.0	21.2	14.7	14.1	2.6
学童クラブ	156	7.1	19.9	70.5	2.6	4.4
キッズ・プラザ	78	42.3	24.4	21.8	11.5	2.8
祖父母宅や友人・知人宅	57	63.2	3.5	8.8	24.6	1.9
児童館	40	50.0	15.0	12.5	22.5	2.4
放課後子ども教室	18	44.4	16.7	22.2	16.7	2.7
ファミリーサポート事業	3	33.3	33.3	0.0	33.3	2.0
U18 プラザ	3	66.7	33.3	0.0	0.0	2.0
放課後等デイサービス	3	66.7	33.3	0.0	0.0	2.0
その他(図書館、公園など)	78	60.3	17.9	11.5	10.3	2.3

図表3-99 学童クラブの利用希望時間(単数回答)

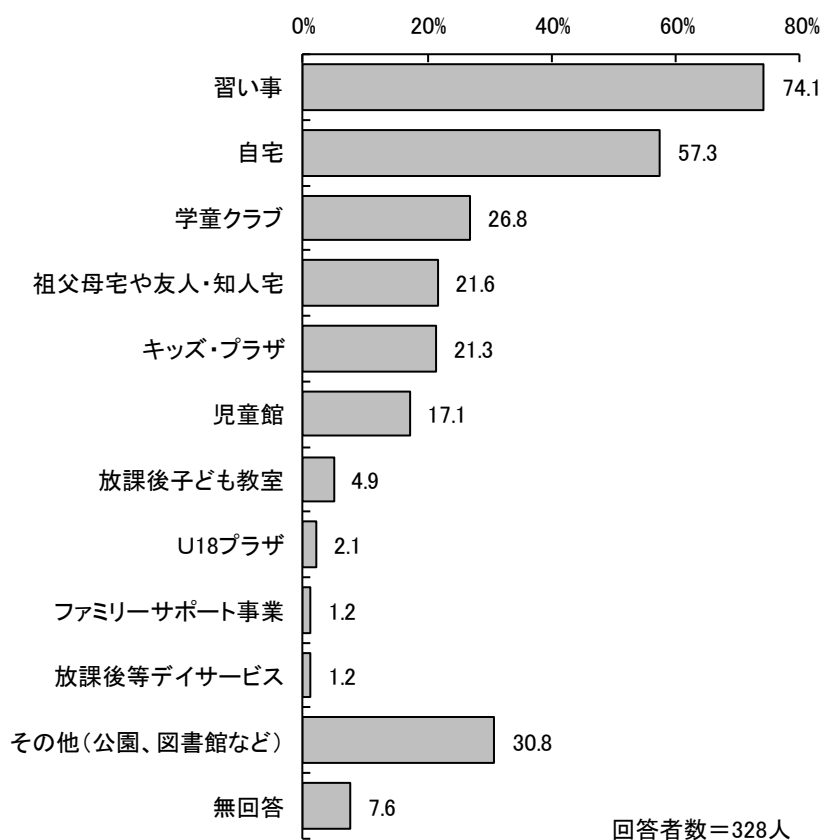


(2) 小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望

問26 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）をどこで過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をし、希望する日数を記入してください。

小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望は、「習い事」74.1%、「自宅」57.3%、「学童クラブ」26.8%の順となっています。

図表3-100 小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望（複数回答）



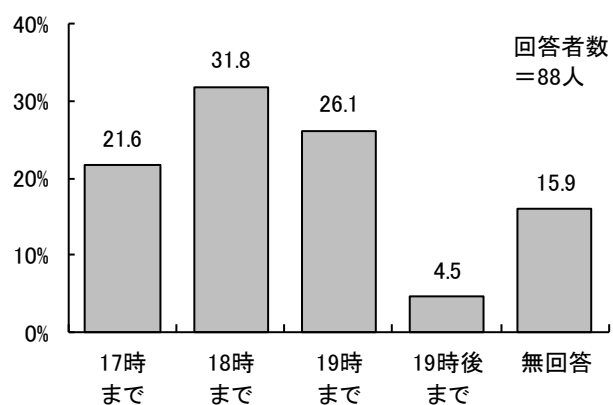
学童クラブを希望した人の1週あたりの利用希望日数は「5日」43.2%、「1～2日」23.9%の順であり、平均3.7日となっています。また、利用希望時間は「18時まで」31.8%、「19時まで」26.1%の順となっています。

図表3-101 過ごし方別の1週あたりの希望日数

単位(%)

	回答者数 (人)	1～2日	3～4日	5日	無回答	平均 日数 (日)
習い事	243	57.2	30.5	4.5	7.8	2.3
自宅	188	56.9	13.8	16.0	13.3	2.4
学童クラブ	88	23.9	20.5	43.2	12.5	3.7
祖父母宅や友人・知人宅	71	74.6	1.4	9.9	14.1	1.8
キッズ・プラザ	70	52.9	15.7	18.6	12.9	2.6
児童館	56	57.1	16.1	12.5	14.3	2.4
放課後子ども教室	16	43.8	25.0	18.8	12.5	2.7
U18 プラザ	7	71.4	14.3	14.3	0.0	2.1
ファミリーサポート事業	4	25.0	25.0	25.0	25.0	3.0
放課後等デイサービス	4	75.0	25.0	0.0	0.0	1.8
その他(図書館、公園など)	101	69.3	9.9	13.9	6.9	2.1

図表3-102 学童クラブの利用希望時間(単数回答)



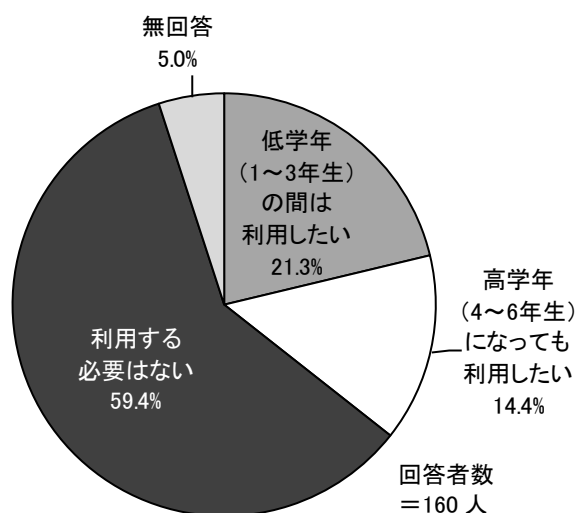
(3)土曜日の学童クラブの利用意向

問27 あて名のお子さんについて、①土曜日、②日曜日・祝日に、学童クラブの利用を希望しますか。1つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

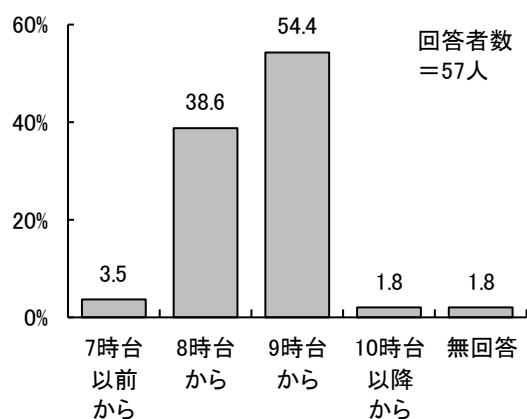
低学年時または高学年時に学童クラブの利用を希望した人の土曜日の学童クラブの利用意向は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が21.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が14.4%となっています。

希望開始時間は「9時台から」54.4%、「8時台から」38.6%の順となっています。希望終了時間は「18時まで」40.4%、「17時まで」31.6%の順となっています。

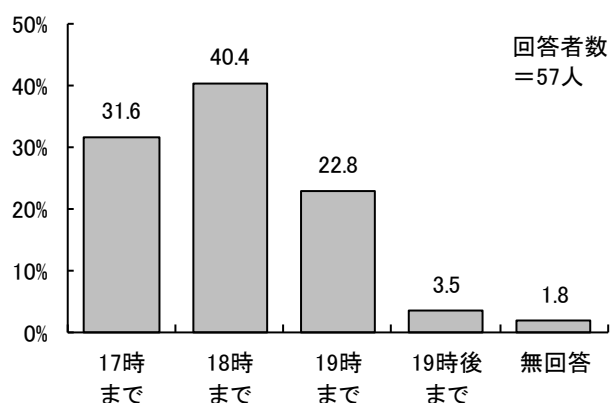
図表3-103 土曜日の学童クラブの利用意向(単数回答)



図表3-104 希望開始時間(単数回答)



図表3-105 希望終了時間(単数回答)

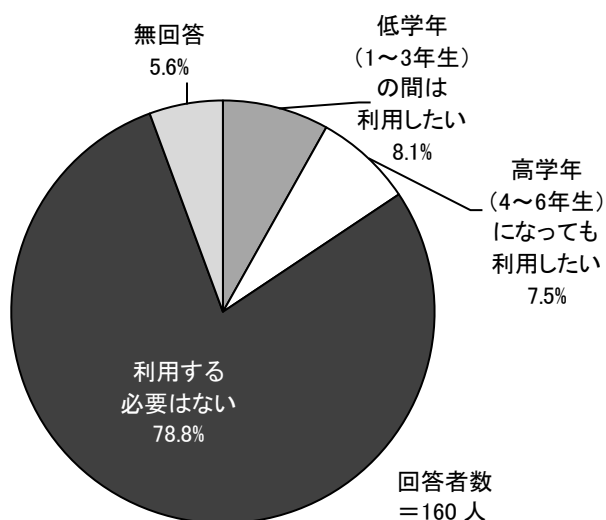


(4) 日曜日・祝日の学童クラブの利用意向

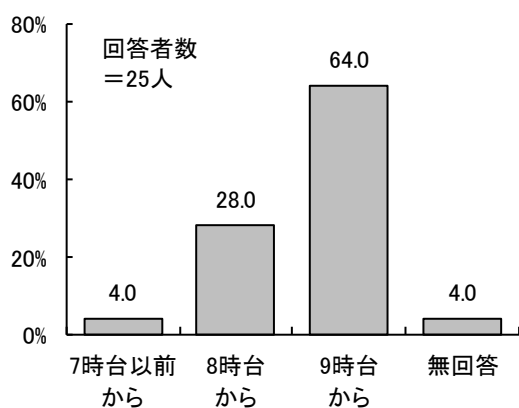
低学年時または高学年時に学童クラブの利用を希望した人の日曜日の学童クラブの利用意向は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が8.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が7.5%となっています。

希望開始時間は「9時台から」64.0%、「8時台から」28.0%の順となっています。希望終了時間は「19時まで」44.0%、「18時まで」36.0%の順となっています。

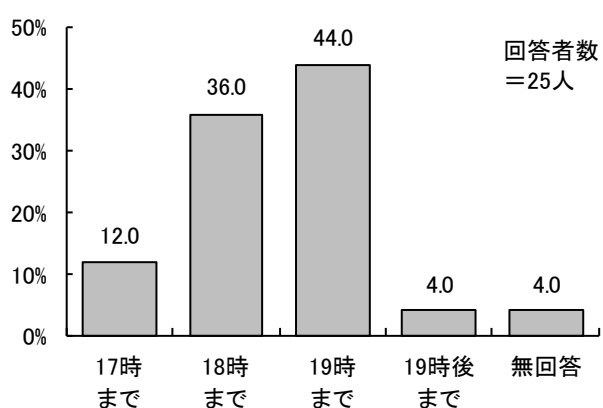
図表3-106 日曜日・祝日の学童クラブの利用意向(単数回答)



図表3-107 希望開始時間(単数回答)



図表3-108 希望終了時間(単数回答)



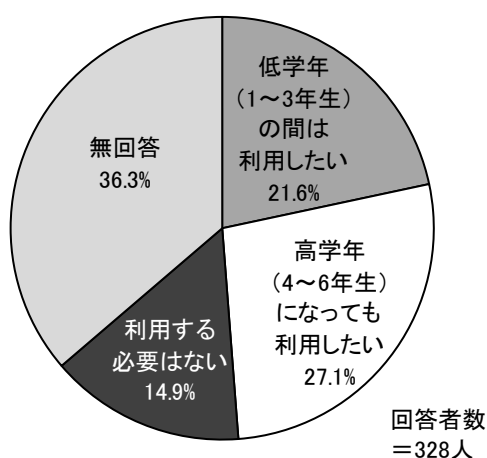
(5) 夏休み・冬休み等の学童クラブの利用意向

問28 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等に、学童クラブの利用を希望しますか。
1つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

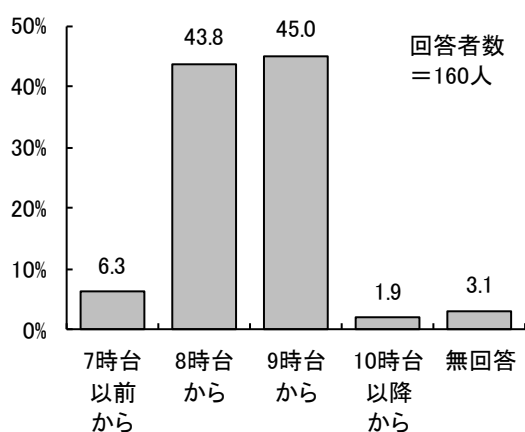
夏休み・冬休み等の学童クラブの利用意向は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が21.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が27.1%となっています。

希望開始時間は「9時台から」45.0%、「8時台から」43.8%の順となっています。希望終了時間は「18時まで」36.9%、「17時まで」32.5%の順となっています。

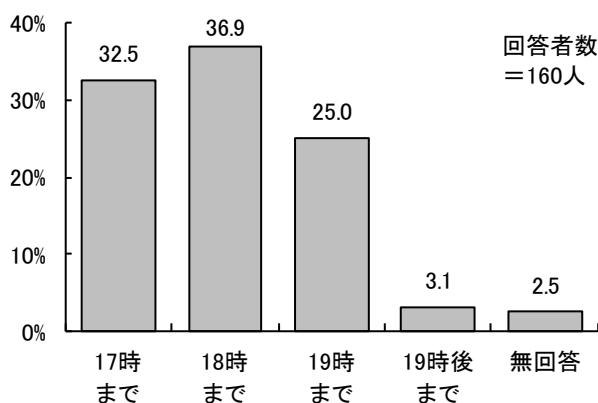
図表3-109 夏休み・冬休み等の学童クラブの利用意向（単数回答）



図表3-110 希望開始時間（単数回答）



図表3-111 希望終了時間（単数回答）



11. 育児休業について

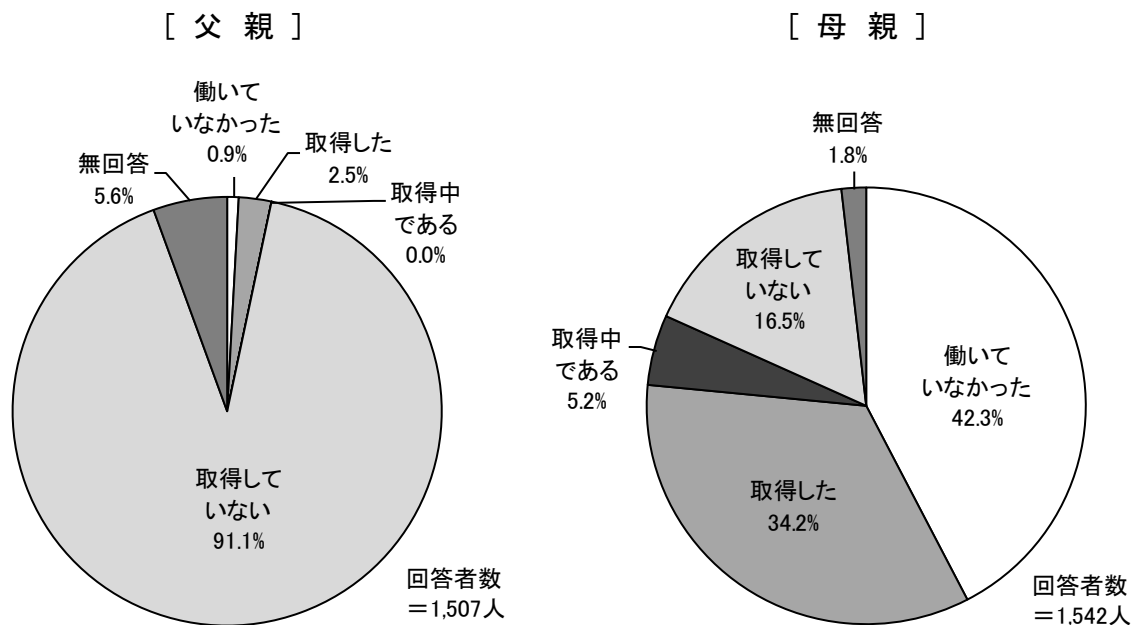
(1) 育児休業の取得状況

問29 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。①父親、②母親それぞれ1つに○をしてください。取得していない方はその理由を下の表から選んで番号を記入してください。

育児休業の取得状況をみると、父親は「取得していない」が91.1%を占め、「取得した」は2.5%、「取得中である」は0.0%となっています。

母親は、「働いていなかった」42.3%が最も多く、「取得した」は34.2%、「取得していない」は16.5%、「取得中である」は5.2%となっています。

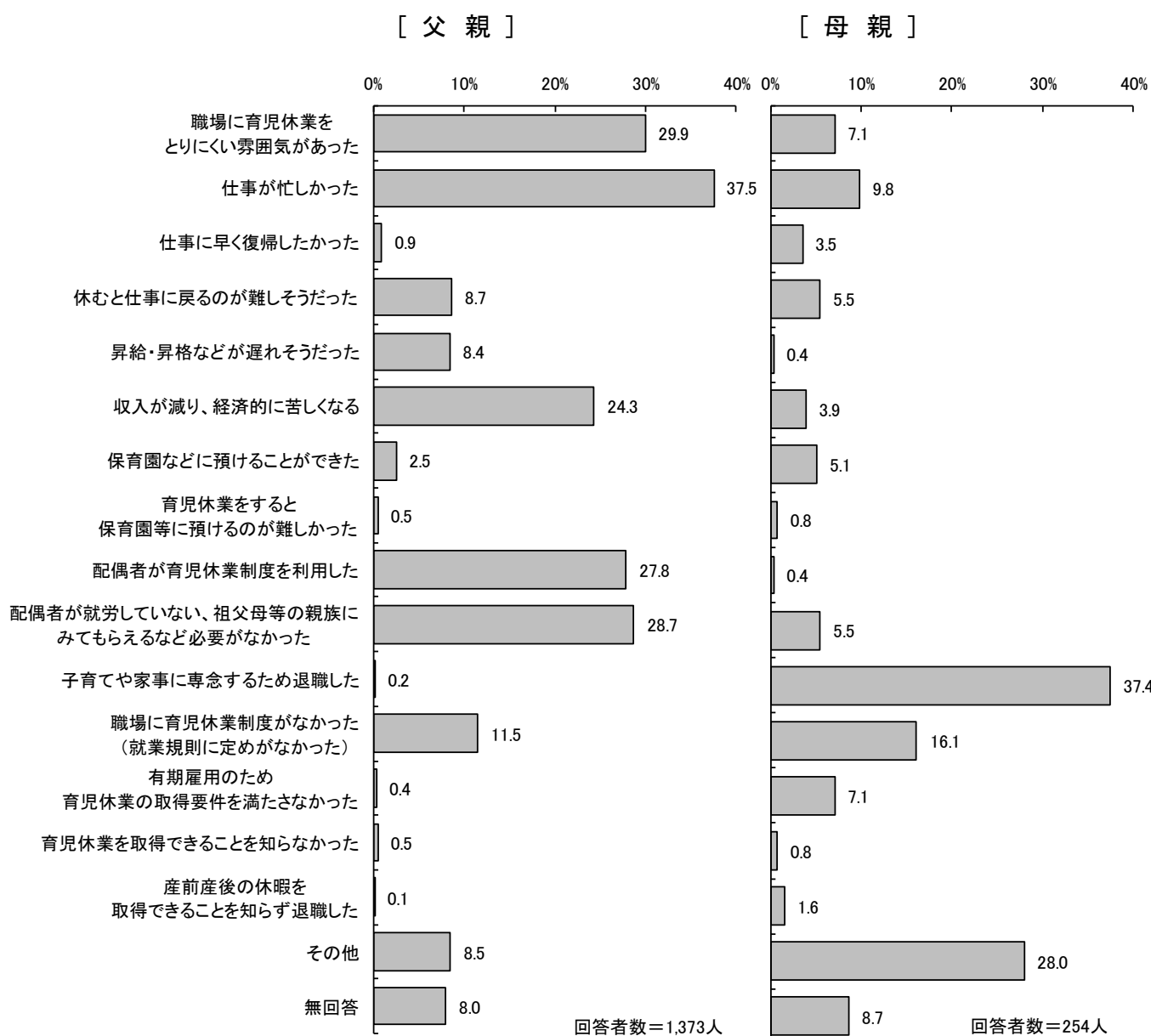
図表3-112 育児休業の取得状況(単数回答)



育児休業を取得していない理由をみると、父親は「仕事が忙しかった」37.5%、「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」29.9%、「配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど必要がなかった」28.7%、「配偶者が育児休業制度を利用した」27.8%、「収入が減り、経済的に苦しくなる」24.3%の順となっています。

母親は、「子育てや家事に専念するため退職した」37.4%が最も多く、次いで「職場に育児休業制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」16.1%、「仕事が忙しかった」9.8%となっており、父親とは大きく理由が異なっています。

図表3-113 育児休業を取得していない理由(複数回答)



(2) 育児休業を取得した人の状況

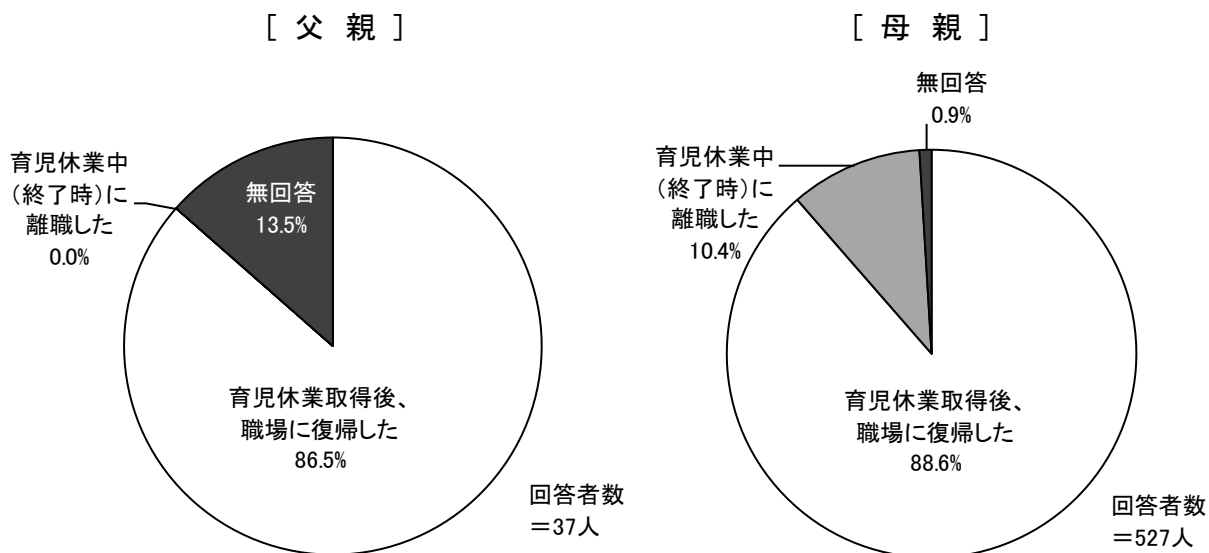
① 育児休業取得後の職場復帰状況

問30 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。①父親、②母親それぞれ1つに○をしてください。

育児休業を取得した人の育児休業取得後の職場復帰状況をみると、父親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が86.5%であり、「育児休業中（終了時）に離職した」は0.0%でした。

母親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が88.6%、「育児休業中（終了時）に離職した」が10.4%となっています。

図表3-114 育児休業取得後の職場復帰状況(単数回答)



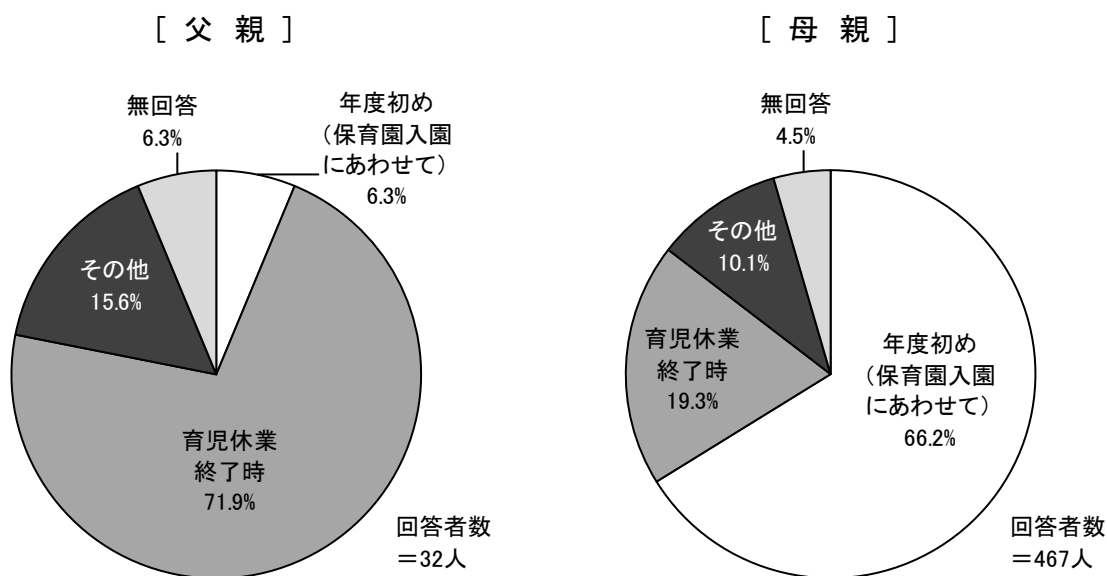
②職場復帰のタイミング

問30-1 職場に復帰したタイミングはいつですか。(〇は1つ)

「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人の職場復帰のタイミングをみると、父親は「育児休業終了時」が71.9%を占め、「年度初め（保育園入園にあわせて）」は6.3%でした。

母親は、「年度初め（保育園入園にあわせて）」が66.2%を占め、「育児休業終了時」は19.3%となっています。

図表3-115 職場復帰のタイミング(単数回答)



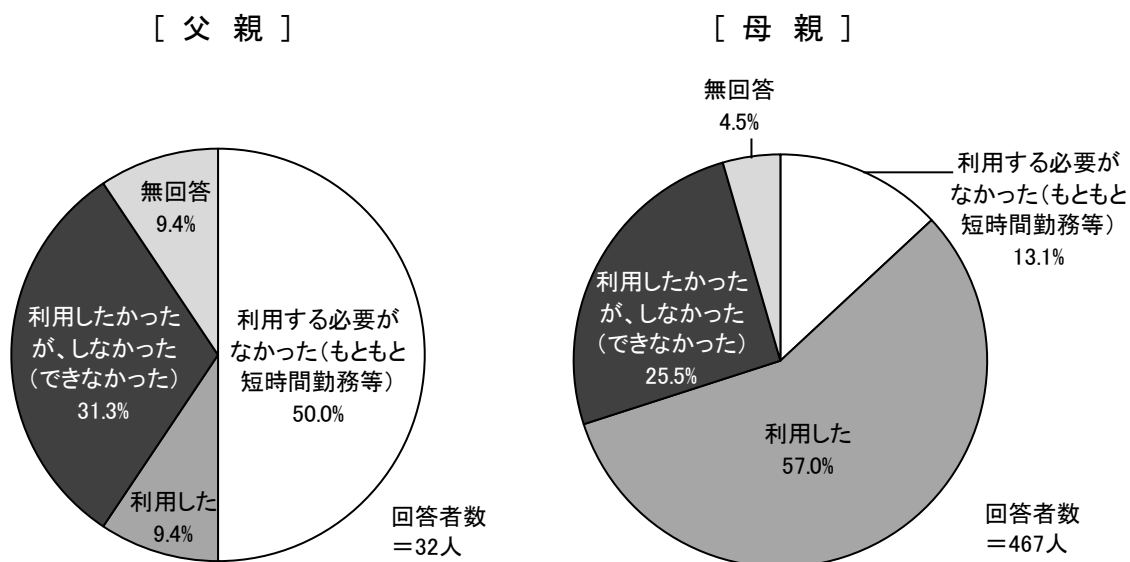
③職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

問30-2 育児休業から職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。1つに○をし、利用したかったがしなかった方はその理由を下の表から選んで番号を記入してください。

職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、父親は「利用する必要がなかった（もともと短時間勤務等）」50.0%、「利用したかったが、しなかった（できなかった）」31.3%の順であり、「利用した」は9.4%と約1割となっています。

母親は、「利用した」が57.0%と半数強となっており、次いで「利用したかったが、しなかった（できなかった）」が25.5%、「利用する必要がなかった（もともと短時間勤務等）」が13.1%となっています。

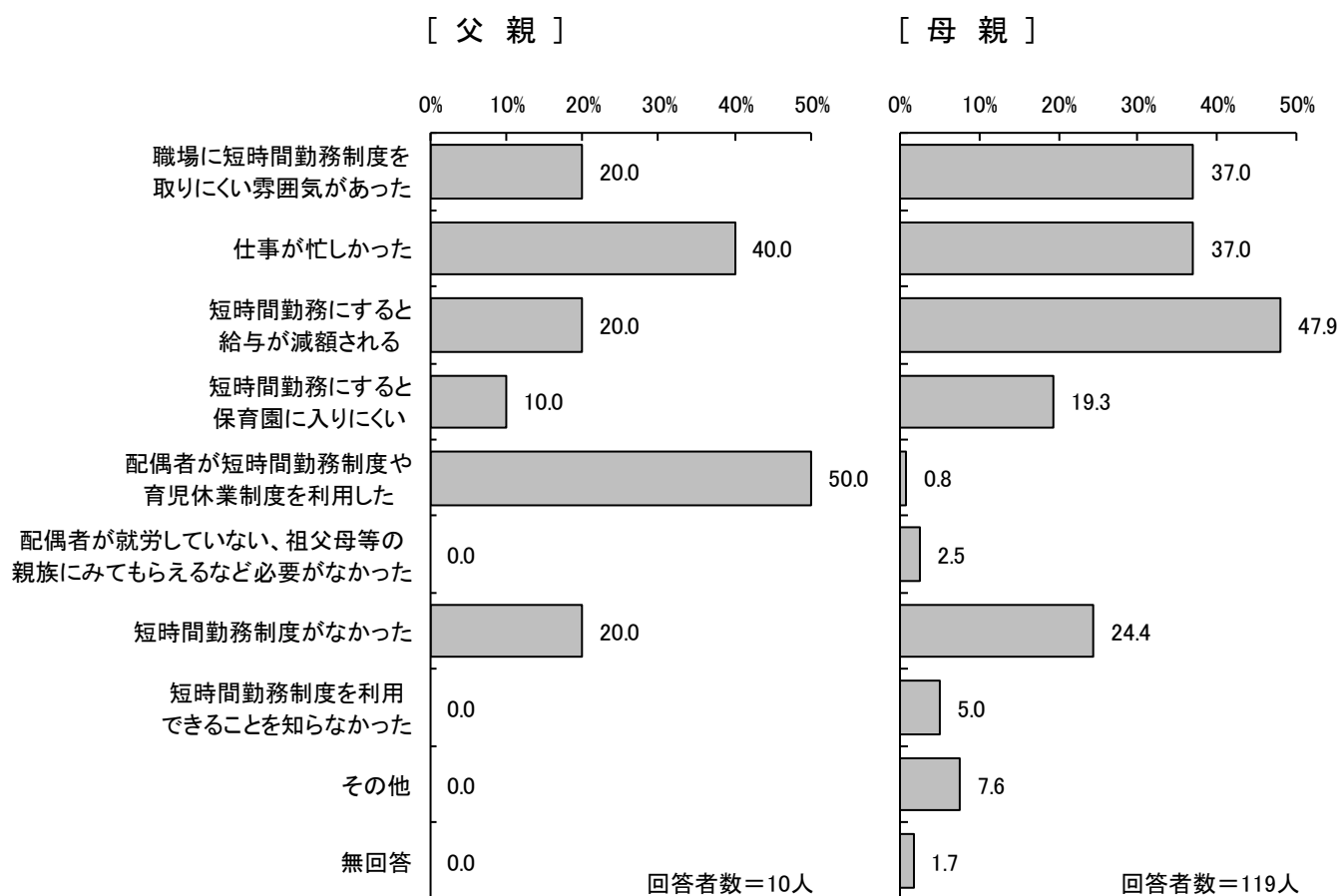
図表3-116 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況(単数回答)



短時間勤務制度を「利用したかったが、しなかった」と回答した人にその理由をたずねたところ、父親は「配偶者が短時間勤務制度や育児休業制度を利用した」50.0%、「仕事が忙しかった」40.0%などとなっています。

母親は、「短時間勤務にすると給与が減額される」47.9%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」各37.0%、「短時間勤務制度がなかった」24.4%などとなっています。

図表3-117 短時間勤務制度を利用しなかった理由(複数回答)



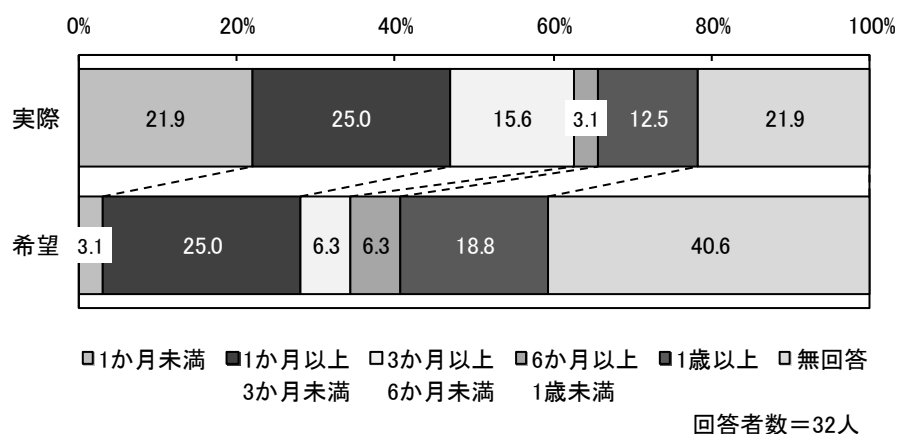
④職場復帰時の子どもの年齢の実際と希望

問30-3 育児休業から復帰したのは、1. お子さんが何歳の時ですか。また、2. 最大3歳まで休業できる制度があった場合、何歳の時まで休業したかったですか。（数字を記入）

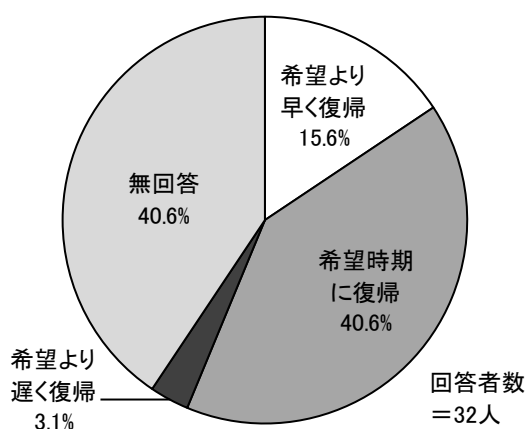
父親の育児休業からの復帰時期の子どもの年齢は、実際は「1 か月以上 3 か月未満」25.0%、「1 か月未満」21.9%、「3 か月以上 6 か月未満」15.6%の順となっています。一方、希望は「1 か月以上 3 か月未満」25.0%が最も多く、「1 歳以上」という回答も18.8%みられます。

実際と希望の復帰時期からみると、「希望時期に復帰」が40.6%と最も多く、「希望より早く復帰」は15.6%、「希望より遅く復帰」は3.1%となっています。

図表3-118 父親の職場復帰時の子どもの年齢の実際と希望(各単数回答)



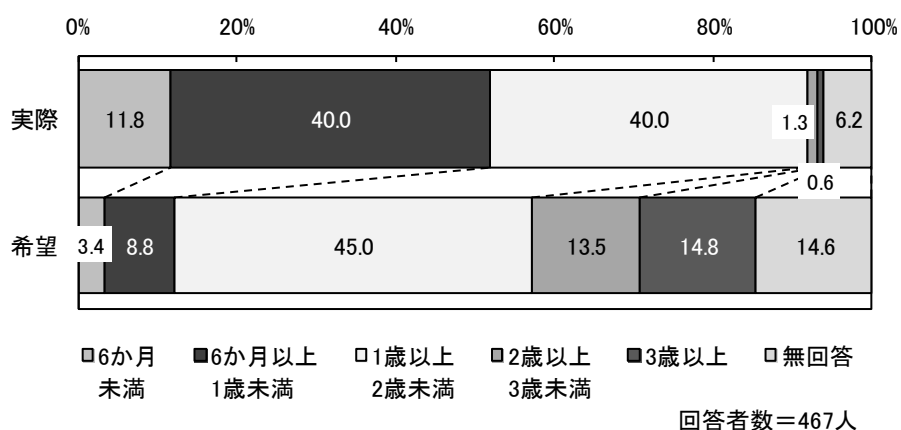
図表3-119 父親の職場復帰時期(単数回答)



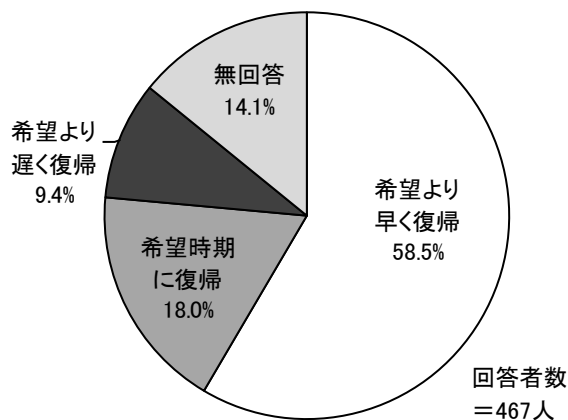
母親の育児休業からの復帰時期の子どもの年齢は、実際は「6 か月以上 1 歳未満」「1 歳以上 2 歳未満」がともに 40.0%となっています。一方、希望は「1 歳以上 2 歳未満」45.0%が最も多く、次いで「3 歳以上」14.8%、「2 歳以上 3 歳未満」13.5%の順となっています。

実際と希望の復帰時期からみると、「希望より早く復帰」が 58.5%と半数以上となっており、「希望時期に復帰」は 18.0%、「希望より遅く復帰」は 9.4%となっています。

図表3-120 母親の職場復帰時の子どもの年齢の実際と希望(各単数回答)



図表3-121 母親の職場復帰時期(単数回答)



⑤希望の時期に復帰できなかった理由

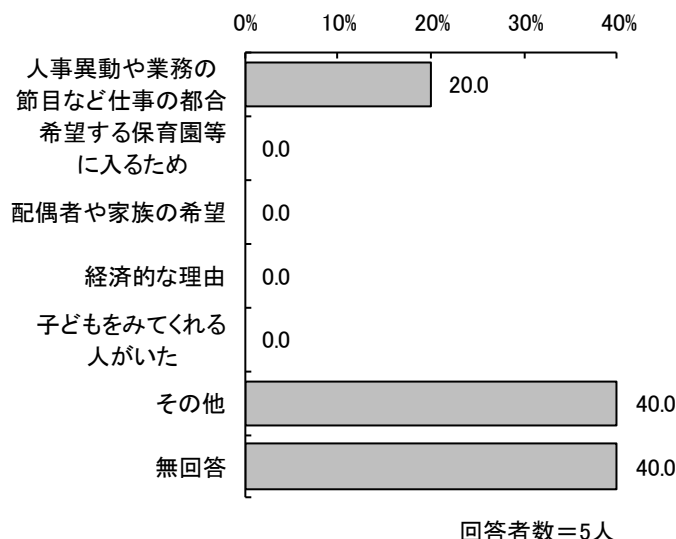
問31 希望の時期に復帰できなかった（しなかった）理由は何ですか。

（あてはまる番号すべてに○）

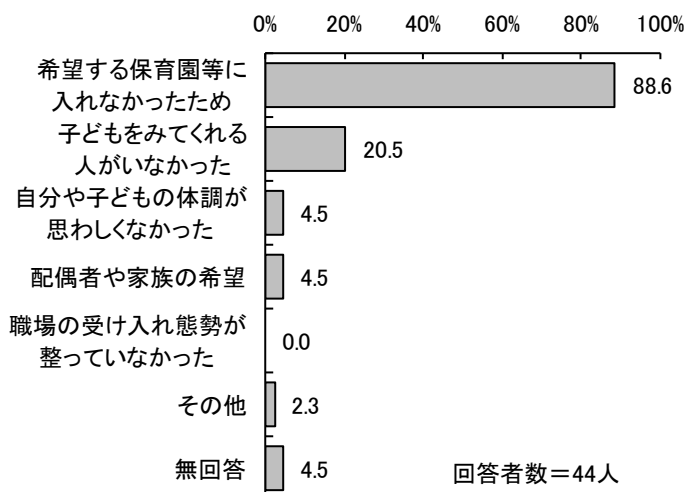
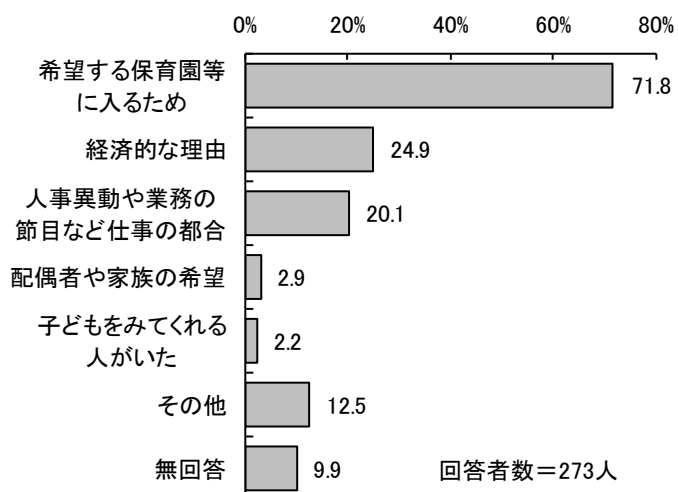
父親の希望より早く復帰した人の理由をみると、「その他」40.0%、「人事異動や業務の節目など仕事の都合」20.0%の順となっています。希望より遅く復帰したと回答した1人は無回答でした。

母親の希望より早く復帰した人の理由は、「希望する保育園等に入るため」71.8%が最も多く、次いで「経済的な理由」24.9%となっています。希望より遅く復帰した人の理由は、「希望する保育園等に入れなかったため」88.6%が最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかった」20.5%となっています。

図表3-122 父親の希望より早く復帰した理由（複数回答）



図表3-123 母親の希望より早く復帰した理由（複数回答） 図表3-124 遅く復帰した理由（複数回答）



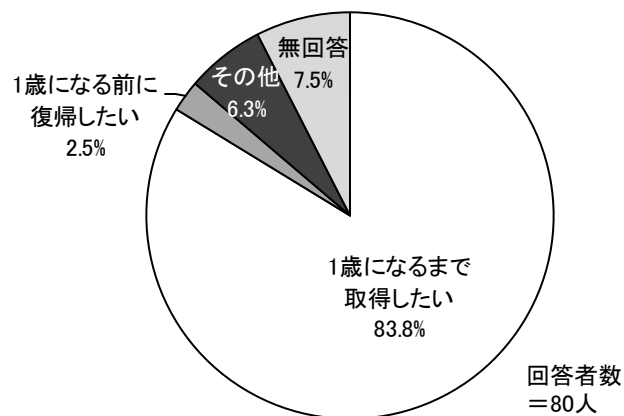
(3) 育児休業取得中の人の育児休業希望取得期間

問32 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
(〇は1つ)

育児休業を取得中の人に育児休業希望取得期間をたずねたところ、父親には該当者（育児休業を取得中の人）はいませんでした。

母親は、「1歳になるまで取得したい」が83.8%を占め、「1歳になる前に復帰したい」は2.5%となっています。

図表3-125 育児休業中の母親の育児休業希望取得期間(単数回答)



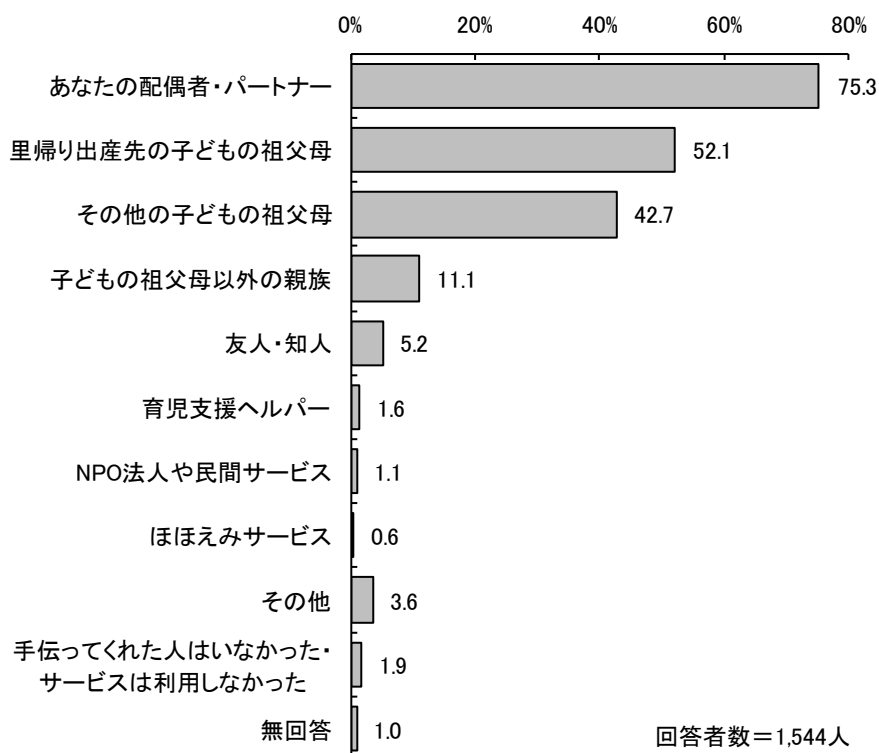
12. 子育ての状況や子育て支援に対する意向

(1) 出産直後に子育てや家事を手伝ってくれた人等の有無

問33 あて名のお子さんの出産直後に、お子さんの子育てや家事を手伝ってくれた人や利用したサービスはありましたか。(あてはまる番号すべてに○)

出産直後に子育てや家事を手伝ってくれた人等の有無は、「あなたの配偶者・パートナー」75.3%、「里帰り出産先の子ども祖父母」52.1%、「その他の子ども祖父母」42.7%、「子どもの祖父母以外の親族」11.1%の順となっています。サービスとしては、「育児支援ヘルパー」が1.6%、「NPO法人や民間サービス」が1.1%などとなっており、「手伝ってくれた人はいなかった・サービスは利用しなかった」は1.9%でした。

図表3-126 出産直後に子育てや家事を手伝ってくれた人等の有無(複数回答)



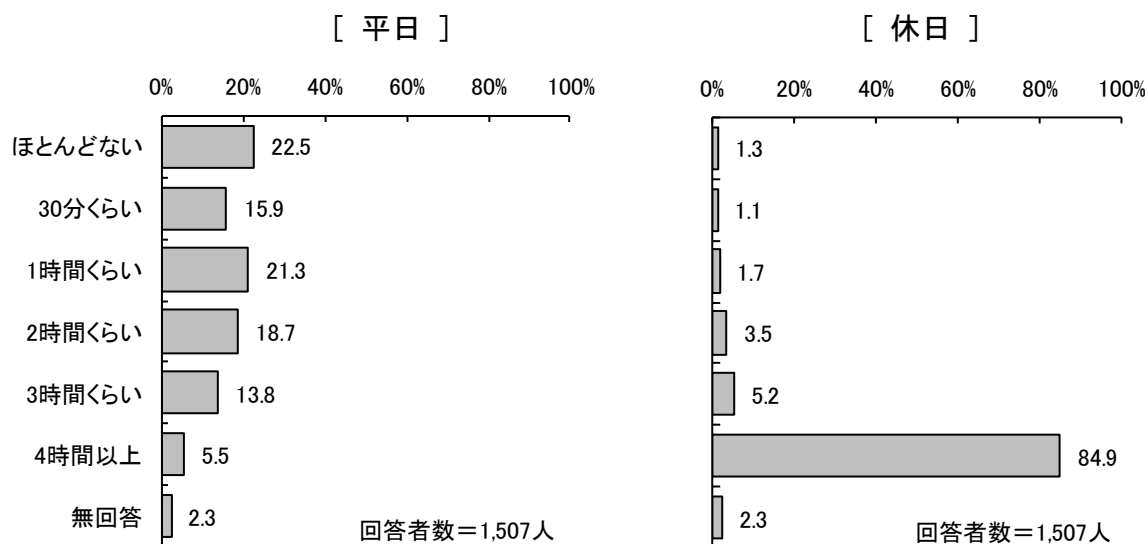
(2)子どもと接する時間

問34 あて名のお子さんと接する時間はどのくらいありますか。平日、休日について、①父親、②母親それぞれ1つに○をしてください。

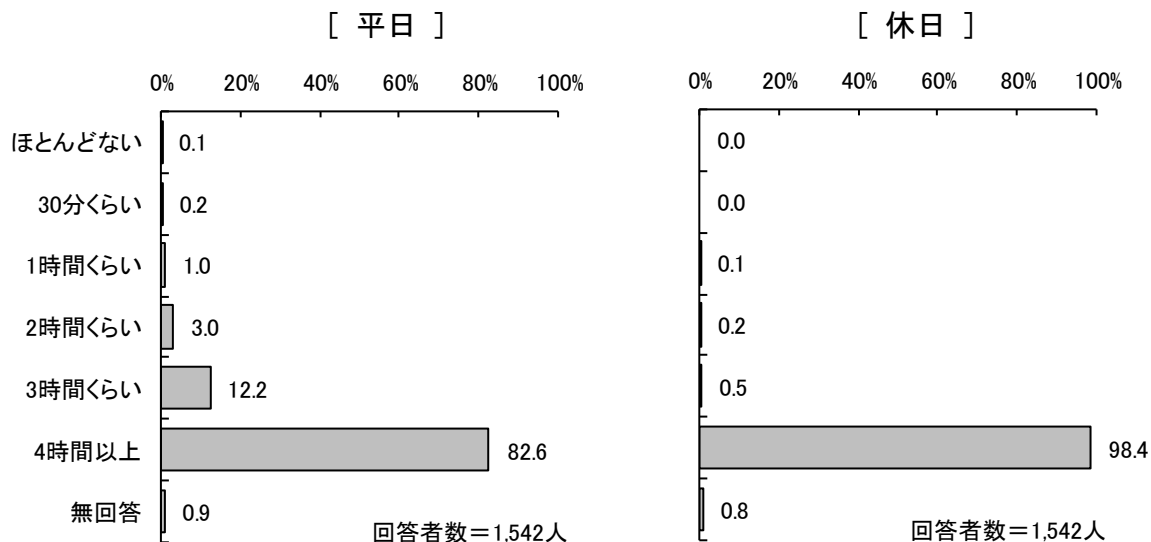
父親についてみると、平日は「ほとんどない」が22.5%と最も多く、次いで「1時間くらい」21.3%、「2時間くらい」18.7%の順となっています。休日は「4時間以上」が84.9%を占め、次いで「3時間くらい」が5.2%となっています。

母親についてみると、平日は「4時間以上」が82.6%を占め、次いで「3時間くらい」が12.2%となっています。休日は「4時間以上」が98.4%を占めています。

図表3-127 父親が子どもと接する時間(各単数回答)



図表3-128 母親が子どもと接する時間(各単数回答)

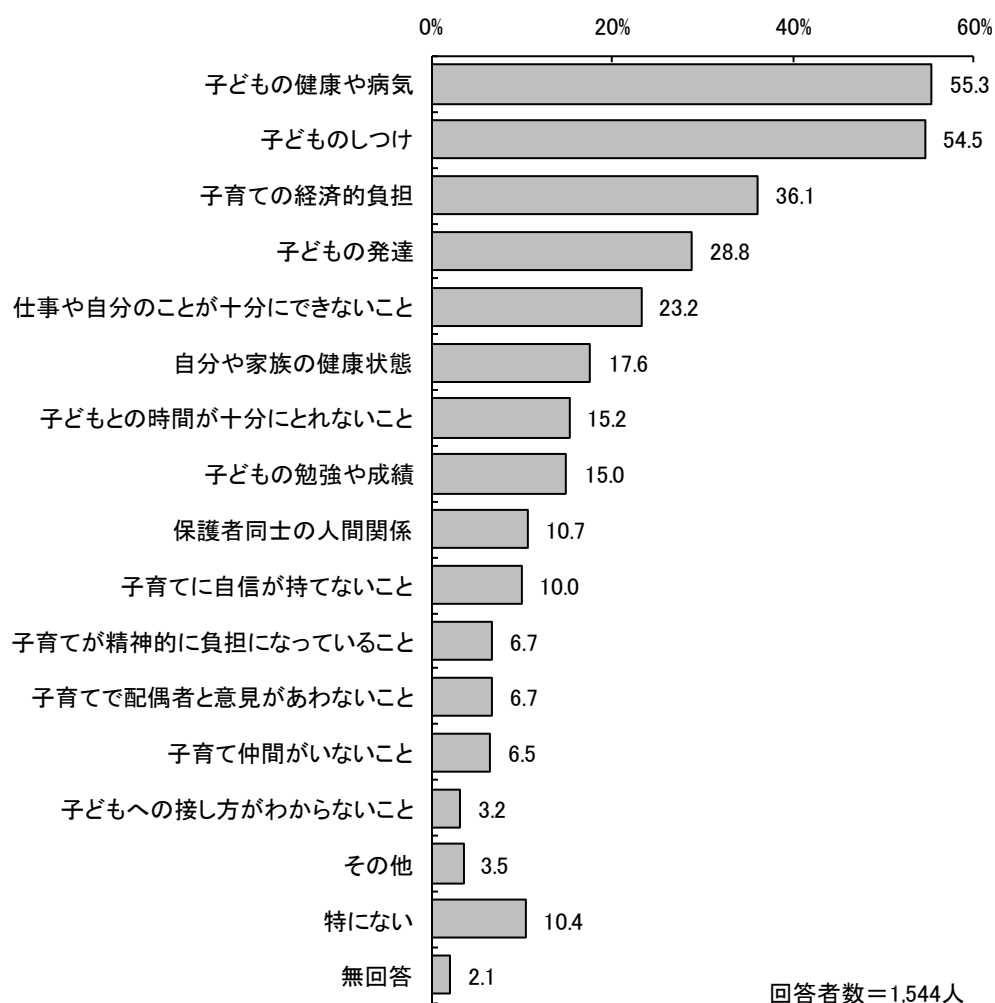


(3)子育てや教育を行うにあたっての心配ごと

問35 あて名のお子さんの子育てや教育を行うにあたって、心配なことはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

子育てや教育を行うにあたっての心配ごとは、「子どもの健康や病気」55.3%、「子どものしつけ」54.5%、「子育ての経済的負担」36.1%、「子どもの発達」28.8%、「仕事や自分のことが十分にできないこと」23.2%の順となっています。

図表3-129 子育てや教育を行うにあたっての心配ごと(複数回答)

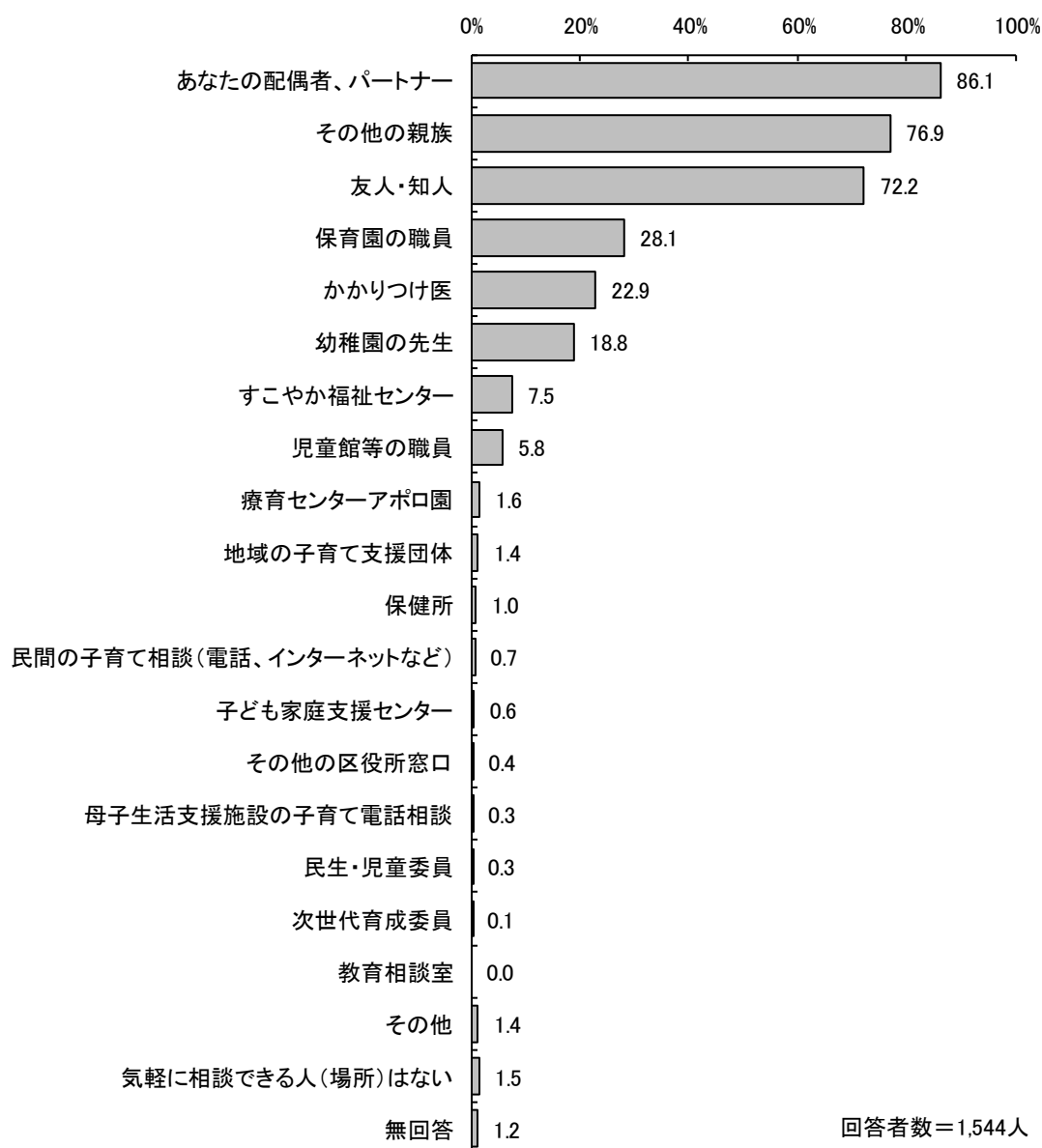


(4)子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所

問36 あて名のお子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所はありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所は、「あなたの配偶者、パートナー」86.1%、「その他の親族」76.9%、「友人・知人」72.2%が上位3位となっています。次いで、「保育園の職員」28.1%、「かかりつけ医」22.9%、「幼稚園の先生」18.8%が続いています。「気軽に相談できる人（場所）はない」は1.5%でした。

図表3-130 子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所(複数回答)



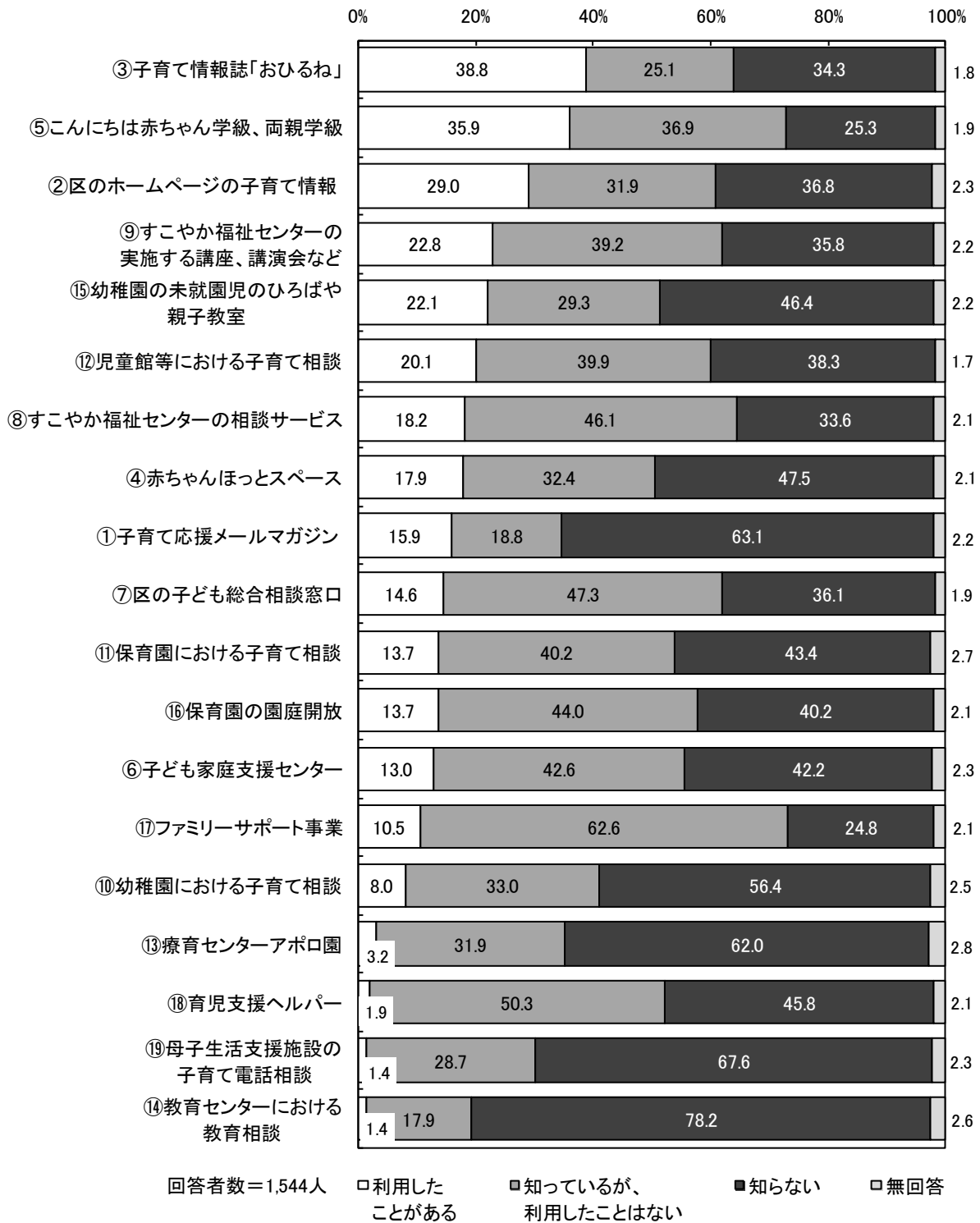
(5)子育て支援サービスの認知・利用状況と利用意向

問37 下記の子育て支援サービスについて、サービスごとに、A（認知・利用状況）・B（今後の利用意向）それぞれ1つに○をしてください。

子育て支援サービスの認知・利用状況をみると、「利用したことがある」割合は、《③子育て情報誌「おひるね」 38.8%》、《⑤こんにちは赤ちゃん学級、両親学級 35.9%》、《②区のホームページの子育て情報 29.0%》、《⑨すこやか福祉センターの実施する講座、講演会など 22.8%》、《⑮幼稚園の未就園児のひろばや親子教室 22.1%》の順となっています。反対に、最も割合の低いのは《⑭教育センターにおける教育相談》、《⑲母子生活支援施設の子育て電話相談》各 1.4%であり、次いで《⑱育児支援ヘルパー1.9%》、《⑬療育センターアポロ園 3.2%》、《⑩幼稚園における子育て相談 8.0%》となっています。

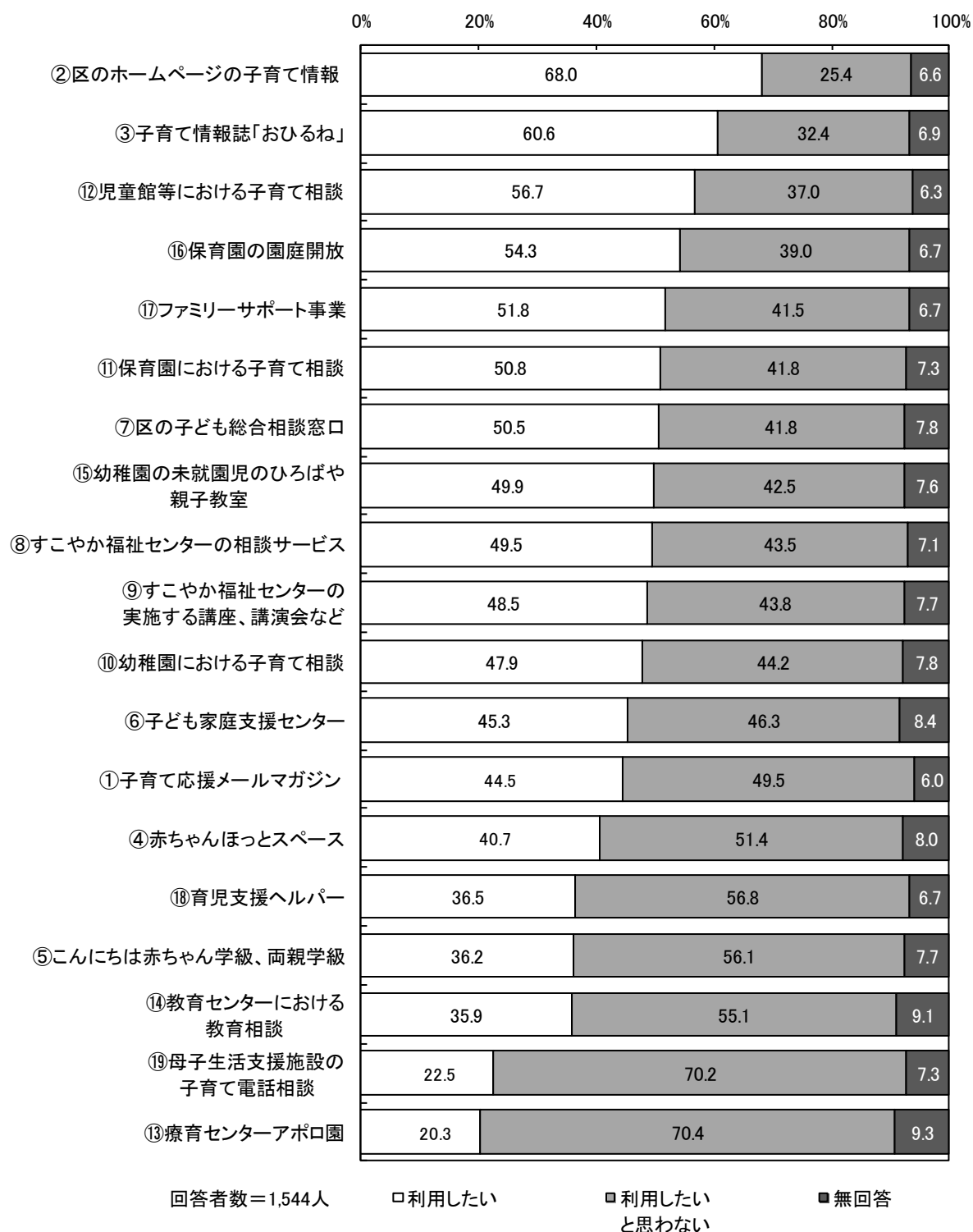
また、「知らない」と回答した人の割合は、《⑭教育センターにおける教育相談 78.2%》、《⑲母子生活支援施設の子育て電話相談 67.6%》、《①子育て応援メールマガジン 63.1%》、《⑬療育センターアポロ園 62.0%》の順となっています。

図表3-131 子育て支援サービスの認知・利用状況(各単数回答)



子育て支援サービスの今後の利用意向をみると、「利用したい」と回答した人の割合は、《②区のホームページの子育て情報 68.0%》、《③子育て情報誌「おひるね」 60.6%》、《⑫児童館等における子育て相談 56.7%》、《⑯保育園の園庭開放 54.3%》、《⑰ファミリーサポート事業 51.8%》の順となっています。

図表3-132 子育て支援サービスの利用意向(各単数回答)

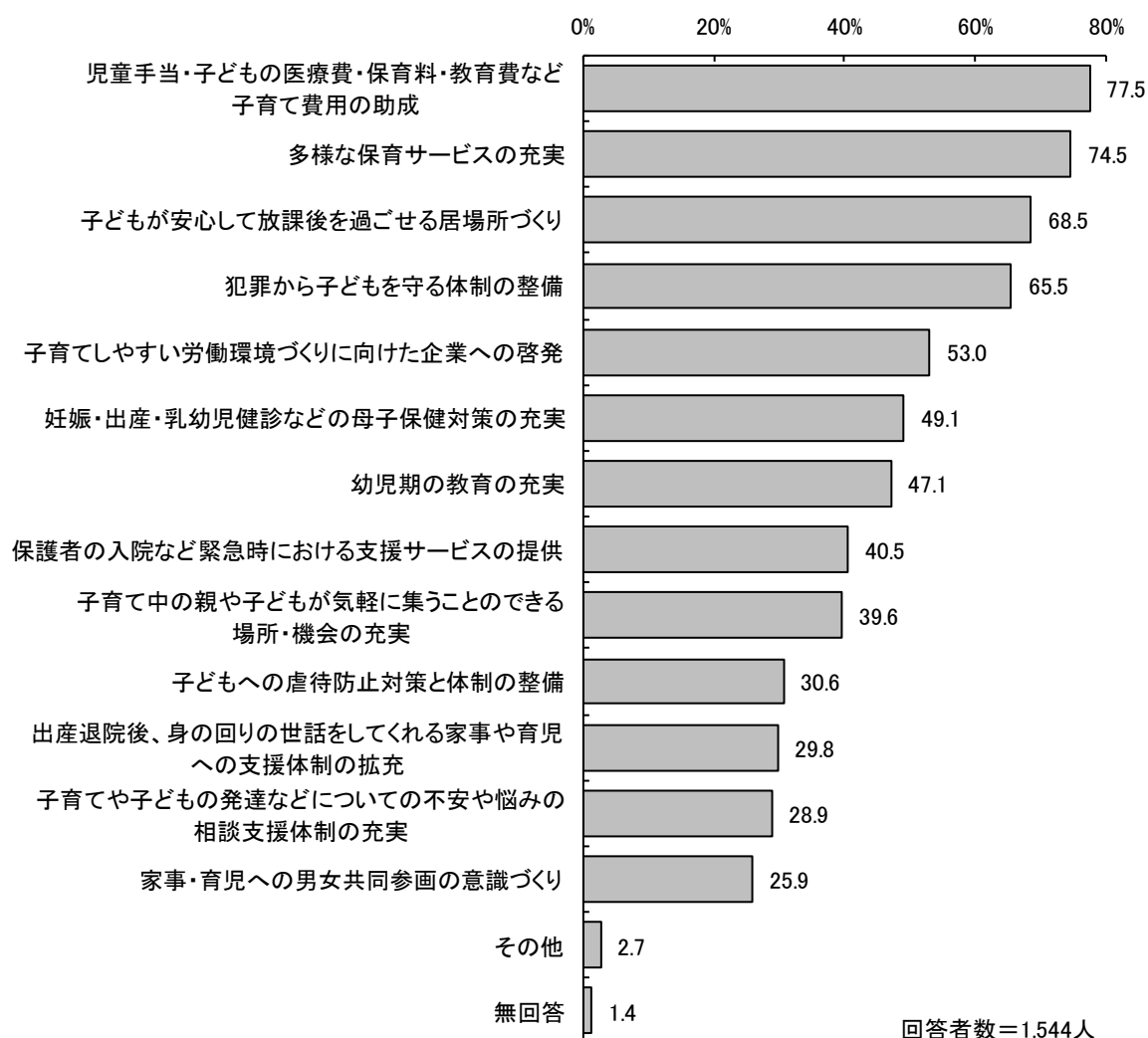


(6)進めてほしい子育て支援策

問38 今後、子育て支援策として、どのようなことが進んでいけばいいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)

進めてほしい子育て支援策は、「児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」77.5%、「多様な保育サービスの充実」74.5%、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり」68.5%、「犯罪から子どもを守る体制の整備」65.5%、「子育てしやすい労働環境づくりに向けた企業への啓発」53.0%が上位5位であり、いずれも半数以上があげた項目となっています。

図表3-133 進めてほしい子育て支援策(複数回答)



13. 区の子育て支援策に関する意見・要望

問39 区の子育て支援施策に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

(744 件について分類・要約して記載)

1) 保育・教育・子育て支援サービスについて 430 件

① 保育園の増設・待機児童について 141 件

- ・ 待機児童の解消が急務と思いますが、具体的に区がどのように動いているのか、目標値をどう設定しているのか等、何も見えてこないため歯がゆく感じています。
- ・ 0、1、2 歳児の保育園を充実させてほしいです。
- ・ 認証保育所の保育料の助成を増やすか、認可保育園を増やしてください。
- ・ 待機児童の解消策として、“横浜方式” には反対です。数が増えればいいというものではなく、やはり、園庭と適度な広さは必要だと思います。
- ・ 子どもは、園庭があり多様な年齢の中で育つことが大切だと感じます。保育園増設にあたっては、設備や施設面の充実を図ることも必要だと思うので、待機児童をただ解消することだけを考える方向にはならないでほしいです。
- ・ 待機児童対策はとても重要だと思いますが、保育の質だけは落とさないでほしいと思います。園庭のない園に通っている子がかわいそうに思います。
- ・ 待機児童が多い状態での区立保育園の廃止は反対します。区立を残しながら、新たに民間保育園も増えるのなら分かります。
- ・ 育休を延長しても保育園に入れるか分かりません。このままだと失業してしまいます。今すぐ保育園を増設してください。空きもないのに区報に園児の募集をしているのはどういうことですか？
- ・ 東中野地区は高層マンション建設が進んでいるのに、保育園が増設されません。子どもが増えるのは確実なのだから、早く保育園計画を出してほしいと思います。
- ・ 希望しない園に入園できることとなり辞退した人を、待機児童のカウントから外すのはやめてください。数字だけ 0 でも、不満が残るのであれば意味はありません。
- ・ 4 月生まれの子は保育園に入りやすいのですが、年度途中で生まれた子は入りづらいです。そのため、育休を延長せざるを得ないのに、育休中だとポイントが低くなってしまいうのは納得がいきません。
- ・ 保育園に 0 歳でないと入りにくい傾向があります（特に第 1 子は）。産後、体調が戻らない状態でも、保育園に入れないと復職できないので、無理して育休を短くして復職するのは大変です。
- ・ 夫が単身赴任中で、1 人で育児をしているにもかかわらず、入園選考では“ひとり親に準ずる” として 1 点しか加算されず、未だ保育園に入れないままです。
- ・ 3 歳児までの保育園ではいずれ転園しなければならないため、早くすべての認可保育園を 5 歳児までにすべきです。待機児童対策が他の区に比べ遅いし不熱心だと感じます。
- ・ 兄弟が同じ保育所へ入所できるような仕組みづくりをお願いします。

- ・認可保育園に申し込みをして入園できないとの通知がくるのですが、定員に空きがないことしか書かれていないので、今、自分の点数や待機人数もその都度載せていただけるとありがたいです。

② 子育て支援サービスについて 125 件

- ・大和町、若宮周辺に病児保育の施設がないので困っています。検討をお願いします。
- ・病児保育サービスの充実を望みます。できれば、小児科併設の形態がいいと思います。
- ・一時保育に登録しましたが、一度も利用できていません。2 か月前の 1 日に予約が開始され、あっという間に空きがなくなります。利用しやすいようにしてください。
- ・保育園の一時保育の枠をもっと増やしてください。利用したい日時にいつも空きがなく、他に預けられず困ることが多いです。
- ・保育園の一時保育利用料を 1 日単位にして、もう少し安くしてください。上の子の学校行事で預けたいのに、なかなか預ける気持ちになれません。
- ・一時保育を時々利用していますが、今年度から予約後の時間変更ができなくなり不便になりました。なぜ、今年度から不可になったのか、納得できません。
- ・ファミリーサポートに登録しましたが、緊急時にすぐお願いすることができず、一時保育も定員数が 2〜3 名くらいと受け入れ数が少なく、なかなか預けられない状況です。
- ・ファミリーサポート事業を利用したいと思いましたが、近所に協力会員の方がいなくて、利用できませんでした。もっとサービスが充実したらいいのにとします。
- ・居住地域ごとに、ファミリーサポートのような自宅（どちらかの）形式で、“ご近所さんでよく知っている人”に緊急時に預かってもらえるサービスというか協力があるといいです。
- ・アポロ園に対して偏見を持っている人が多いように感じます。どのような施設なのかをもっとアピールしてください。
- ・両親の急病、入院などの際の泊まり保育について、内容やサービスをもっと充実させてもらえると安心です。
- ・一時保育料の減額、利用しやすい手続きへの変更をお願いします。

③ 保育サービスについて 83 件

- ・サービス業のため、保育園がお休みの日・祝に利用できるサービスがあるとありがたいです。休日保育している園が増えるとうれしいです。
- ・民間運営の保育園を利用していますが、園側の都合を押し付けられることがよくあります。そのあたりの『質』のチェックをしっかりとお願いしたいです。
- ・これから保育園の民間への受け渡しが進むと聞き、質の高いサービスが受けられなくなるのではないかと不安です。子どもは財産だと思うので、保育事業はなるべく区で行っていただければと思います。
- ・認可保育園の空きがなく早めに職場復帰しました。区の保育園相談の方に相談しましたが、「空きはありません」「いつ空くかわかりません」だけでした。そのような相談員なら区税で雇う必要はありません。

- ・難しいかもしれませんが、希望する時期に希望する認可保育園に入れる体制ができていると、とてもよいと思います。保育園に入れるか考えるのがとてもストレスだったので。
- ・保育園に入れません。そのため、仕事もちょうとできず、でもフルで働かないと点が足りなくて入れません。八方ふさがりです。
- ・延長保育が現在、空き待ちで利用できていないので解消してほしい。

④ 子育て情報・相談について 58 件

- ・知らない情報が多すぎて、これから先が不安になりました。「〇〇へ行けば情報が一気にわかる、調べられる、聞ける」というシンプルでわかりやすい場所がほしいです。
- ・生後1か月頃に区から訪問して、育児相談にのってくださる方がいましたが、1回だけでなく、2か月毎など同じ方に訪問していただくと心強いです。
- ・子育て支援サービスの中で自分の知らない事業が多くありました。自分から情報を得ることも大事ですが、区の方から未就学の子がいる家庭へ手紙という形で案内していただけると、もっと多くの支援事業を知ることができ、利用できると思います。
- ・子育て応援メールマガジンはPCメールしか受信できないので、携帯メールアドレスの登録を可能にしてほしいです。
- ・各施設に相談窓口があることはわかりましたが、利用者としては、窓口は1か所（例えばコールセンター）にしてその後つないでもらう方が、利用しやすいのではと感じます。
- ・双子の子どもを育てています。すこやか福祉センターでの双子母子の会は情報交換や友達づくりに大変役立っていますので、もっと数を増やしていただけるとうれしいです。
- ・区の育児相談員のレベルがよくないと聞きます。専門家としての意見なのか、相談員の体験なのか分かりませんが、今の時代に合っていないと思います。もっと勉強していただきたいです。
- ・認可保育園の申請時、窓口担当者により対応に差があります。0歳児を連れて相談に来た区民にふさわしい経験や知識で対応していただきたいと思います。

⑤ 幼稚園について 23 件

- ・私立幼稚園の入園基準をもっと公平なものにしていきたいです。
- ・区立幼稚園が2園だけと少なすぎます。区立を増やしてください。
- ・近くに区立幼稚園がなかったので、私立を選ぶしかありませんでした。幼稚園に入るのも大変な時代になってきていますので、どんな方にも平等に選択のできる環境を整えてほしいと思います。
- ・就労している母親や母子・父子家庭も幼稚園に通わせやすいシステムにしてください。
- ・世間では、保育園が少ないだとか騒がれていますが、幼稚園を希望する親も増えていきます。幼児教育という視点で子育て支援・施策に取り組んでいただけたら幸いです。
- ・障害がある子の幼稚園受け入れには差があるようです。区の手当てや障害児受け入れに対する指導などがあれば、他の子と同じように地域の中でも過ごしていけると思うのです。今後、日本でもインクルーシブ教育が進んでいくことを願っています。

2)居場所・遊び場について 98 件

- ・ 児童館の利用について、0 歳～小中高まで自由に出入りできるのは大変助かりますが、それぞれの年齢の子ども達が、それぞれに過ごしやすい環境は整っていないので、活動の場所を分けてほしいです。
- ・ 児童館等で行われる乳幼児向けのイベントですが、予約制のものが多くすぐに埋まってしまうので、参加したい人が全員参加できるよう日数を増やしていただきたいです。
- ・ すこやか福祉センターの講座や児童館を利用させていただいております。まだ歩くことができない子どもでも楽しめるような手あそびや親子体操なども、積極的に取り入れていただけるとうれしいです。
- ・ 平日は働いているため、区で行っている子育てのイベントに参加することができなくて残念です。どんぐり広場や児童館も土・日両方開いていると利用しやすいです。
- ・ 中野区の児童館、子育てひろばを何度か利用しましたが、うす暗くて古く汚い感じがします。もう少し照明なども明るくして、清潔感のあるようにしてほしいです。
- ・ キッズ・プラザはいいと思います（U18 も）が、児童館が減ったことにより、小学生や中学生の居場所や交流の場がなくなっていくことが、とても残念に思います。
- ・ 公園の遊具が少なすぎます。子どもの筋力低下も感じます。ボールを投げてはいけない公園なんておかしいです。もっとのびのび遊ばせたいです。
- ・ 子どもが遊ぶ公園や広場の雑草の管理を徹底していただきたいです。
- ・ 紅葉山公園に自動車があるので見せに行きたいのですが、自動車の倉庫（屋根の下）にホームレスが住んでいて近づけません。安心して見せられるようにしてほしいです。
- ・ 板橋区のように、教育科学館・子ども動物園・交通公園等、中野区立の施設をつくってほしいです。

3)経済的負担・助成について 79 件

- ・ 幼稚園・こども園の保育料にも上限を決めてほしいです。助成額が高くなっても、それにあわせて保育料が高くなるので、家計の負担は変わりません。お願いします。
- ・ 兄弟が多くてもサービスや補助が充実していない気がします。兄弟別々の保育園や幼稚園に通う人がいたり、兄弟で同じ幼稚園に通っても兄弟割がなく、月謝も毎月人数分取られるのにはびっくりです。
- ・ 幼稚園無償化をぜひ、お願いします。
- ・ 杉並区のような育児支援チケット制度があると助かります。
- ・ 子どもの医療費について、他の区に比べ、予防接種（インフルエンザやその他の任意接種）などの助成金が出ないことに困っています。
- ・ 育児休暇中に第 1 子の認証保育所の補助金の打ち切りは、非常に残念でなりません。子どもを産み、また復帰するという気持ちが少なくなるのではないのでしょうか。
- ・ 出産後の区の金銭的な助成が少なすぎます。例えば、無料でベビーマッサージとかオムツ券の支給とか、せめて小学生までは助成金を出してくれてもいいと思います。
- ・ 認可保育園の料金を値上げして無認可の料金支援に充てるのは賛成です。
- ・ 少子化と言われている割には、妊婦健診や出産時の負担が大きいので、助成券で無料に

してもらいたいです。また、3人目からお祝い金などがあると助かります。

- ・ 幼稚園の補助金を幼稚園に直接振り込みにしてほしいです。
- ・ 子ども手当は小学校入学まででもいいので、給食費の無料化や体育着の支給など、平等かつ、子ども自身のためになるものへ変えたほうがいいと思います。
- ・ 他地域であるような電動アシスト自転車を購入する際の補助金のシステムがあるといいと思います。

4)子育て環境について 44 件

- ・ 同じマンションや団地に、子育て世帯とちょっと手の空いているお年寄り世代が住んでいるのですが、少しの手伝い、お守りを気軽に頼める環境があるといいと思います。
- ・ コミュニティ全体で子育てを支えることができる土壌づくりを切実にお願いします。
- ・ 少子化対策というと待機児童解消ばかりですが、一組の夫婦（2人）から3人以上の子どもが産まれないと人口は増えないわけですから、3人目がほしくなるようなサービスや、1人目を20代で産むことのメリットを伝えることも重要だと思います。
- ・ 母親が（父親も）自分のキャリア人生の目標を諦めず、子どもにも負担にならないよう社会に参加できる、また、一度子育てでキャリアを中断しても再開できるような社会の仕組みと世の中の意識づくりができるような施策を期待したいです。
- ・ 共働き世帯が増えているので、これまで以上に男性が育児、家事をフェアに担うことが必要だと思います。プレパパの段階からきちんと男性に意識づけすることが重要だと思います。
- ・ 雇用の不安化が進んでおり、シングル世帯や両親共に非正規社員といった家庭も増えています。子どもへの貧困の影響が最小限になるような取り組みこそ、身近な行政に最も求められています。よろしく願いいたします。

5)学童クラブ・学校の教育環境について 35 件

- ・ 学童クラブが、小学校から距離があったりするので学内に設置されていると安心です。また高学年になっても通えるようにしてください。
- ・ 学童の充実をお願いします。学童がなくなった小4から、仕方なく毎日塾に入れている家も多いようです。そのような理由で中学受験をさせるのは気が進みません。
- ・ 学童クラブは就業している親の子どもを対象に運営していますが、就業していない親（就活中の親も含む）の子どもでも利用できるようにしてほしいです。
- ・ 学童クラブの利用時間は原則18時までとなっていますが、その時間までに帰宅できる保護者はいるのでしょうか。子どもが1人になる時間、ファミリーサポートでカバーできるのか不安です。
- ・ 学校の統合で近所の小学校がなくなり、通学に30分くらいかかります。通学路も危険な場所があるので、「集団登校」や、昔のような「緑のおばさん」のような方が居てくれると安心なので、ぜひ検討していただきたいです。
- ・ 杉並区のように、学校教育の質を上げて、学力向上に力を入れてほしいと思います。

6) 区の支援について 19 件

- ・子育て支援の地域団体の活動が盛んでとても助かっています。今後とも区のバックアップをお願いします。
- ・様々な子育て支援事業があるのに、あまり連携できていない気がします。ぜひ、親の意見に耳をかたむけて、子育てしたい街No.1をめざして中野区を変えてください。このアンケートが無駄にならない事を祈っています。
- ・働く女性を支援するばかりではなく、専業主婦に対しても、同じ母親としての支援があればいいと思います。
- ・子育て支援の窓口の一本化。役所ならではの縦割りに、保護者がその都度入り口を変えるようでは、まず、サービスとしてなっていません。窓口として、支援及びサービスをスムーズに取り計らう場をしぼり、母子手帳等に大きく明記すべきです。
- ・子どもの貧困が世間でも言われています。いろいろな施策の拡充はもちろん大切ですが、できたら優先的に子どもの貧困問題に取り組んでいただきたいです。
- ・中野区は高齢者に優しく、子育て世代に優しいとは感じられません。引っ越してきたのは失敗だったと思っています。このままでは若い世代がいなくなってしまうので、早急に子育て支援体制を強化してほしいです。

7) 小児医療体制及び障害児に対する支援について 13 件

- ・区報に載っている土日祝の病院に、緊急で電話しましたが、取り合ってもらえないことがありました。他を紹介するシステムなども、ちゃんと体制を整えてください。
- ・発達障害のことで、支援センターで臨床心理士の先生に相談していたのですが、まるでご存知なかったのも、専門医がいらっしゃったらいいなと思います。
- ・広汎性発達障害という診断をされ、アポロ園への紹介状もいただきましたが、予約は取れないと言われ別の療育施設へ通所しています。アポロ園へもっと通いやすいよう、事業拡大または施設の増加を希望します。
- ・発達相談が数か月待たないと受けられない状態なので、改善していただきたいです。
- ・わが子は重複障害児で、ふつうの子育てとは程遠いところにあります。それでも子育てサービスが利用できるように、多様な子どもに対応できるサービスを期待します。

8) その他 26 件

- ・路上喫煙者がとても多いと思います。歩きタバコをしている人も多くいて気になります。歩きタバコは禁止のはずですから注意してほしいです。
- ・震災後からの区の放射能汚染に対する対策が不満です。今後も継続して放射線測定や、給食の食材の放射能測定をしてほしいです。
- ・区役所の業務が分散されすぎていて、引っ越してきた者にとっては不便でした。

第4章 就学児童調査（小学校1～3年生）の結果

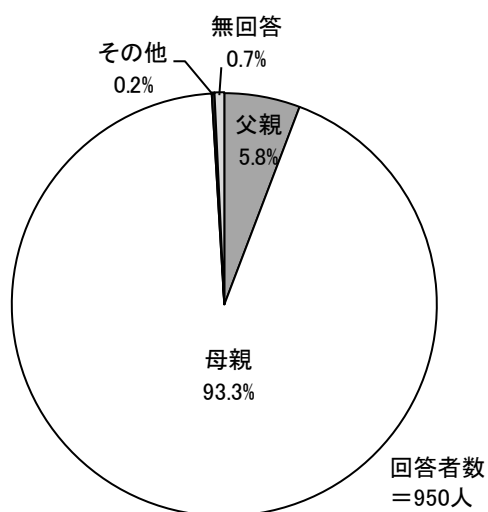
1. 子どもと家族の状況について

(1) 調査回答者

問1 この調査票にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。
(〇は1つ)

調査回答者は、「母親」が93.3%を占め、「父親」は5.8%となっています。

図表4-1 調査回答者(単数回答)



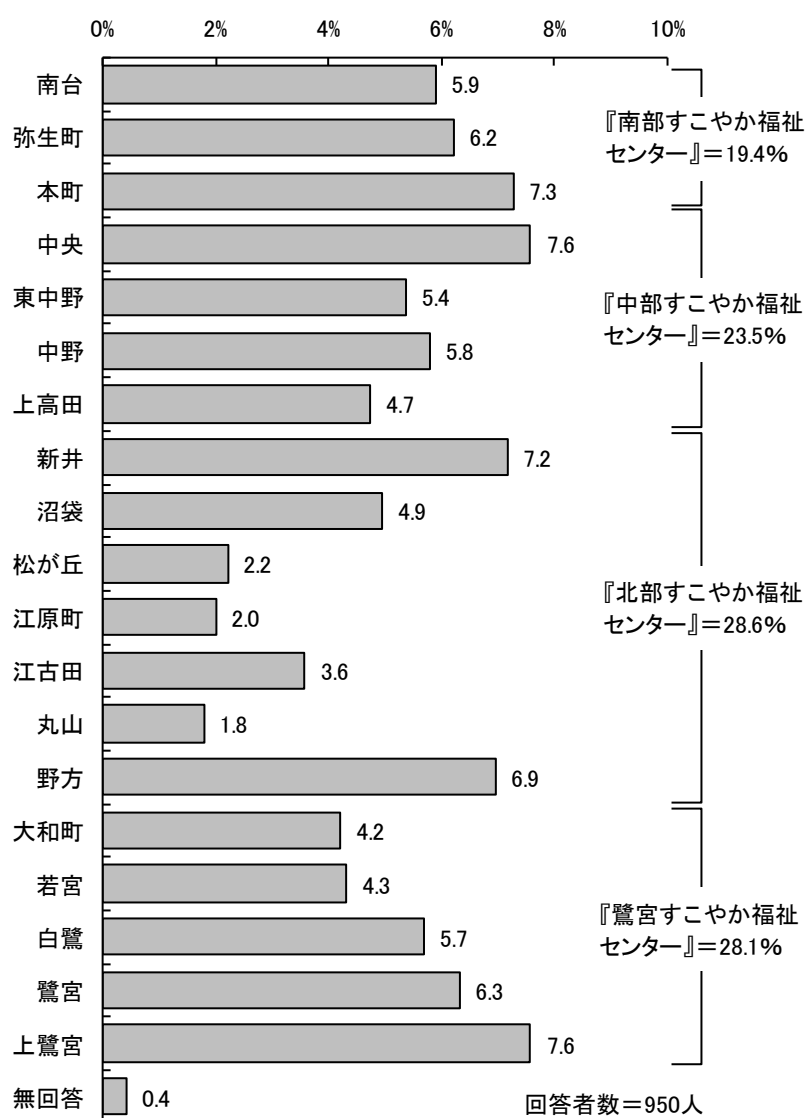
(2) 居住地域

問2 お住まいの地域をお答えください。(○は1つ、()内は数字を記入)

居住地域は、最も多いのは「中央」「上鷺宮」の各 7.6%、最も少ないのは「丸山」の 1.8%となっています。

すこやか福祉センター管轄地域でみると、最も多いのが『北部すこやか福祉センター』の 28.6%、最も少ないのが『南部すこやか福祉センター』の 19.4%となっています。

図表4-2 居住地域(単数回答)

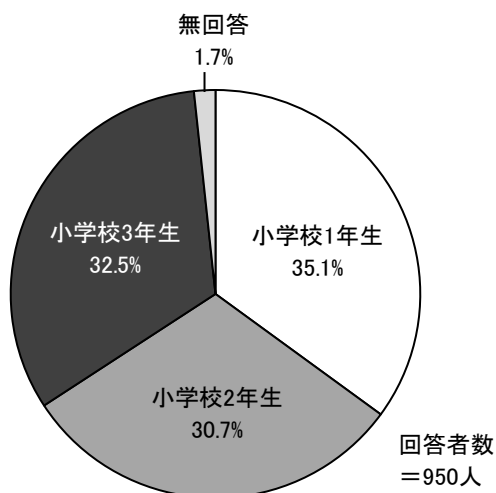


(3)子どもの学年

問3 あて名のお子さんの生年月を記入してください。(数字を記入)

子どもの学年は、「小学校1年生」が35.1%、「小学校2年生」が30.7%、「小学校3年生」が32.5%となっています。

図表4-3 子どもの学年(単数回答)



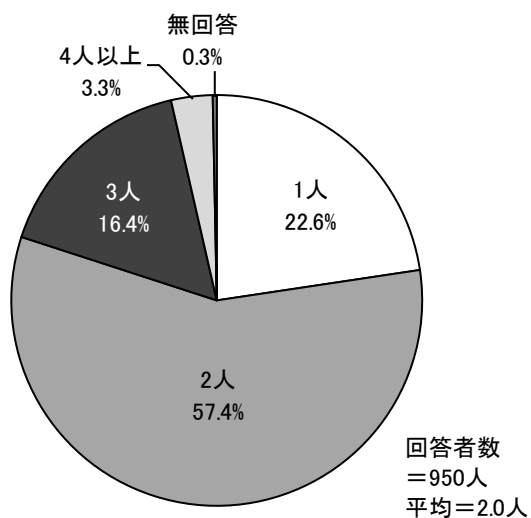
(4)子どもの人数と末子の年齢

問4 あて名のお子さんを含め、お子さんは全部で何人いらっしゃいますか。2人以上いらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月を記入してください。(数字を記入)

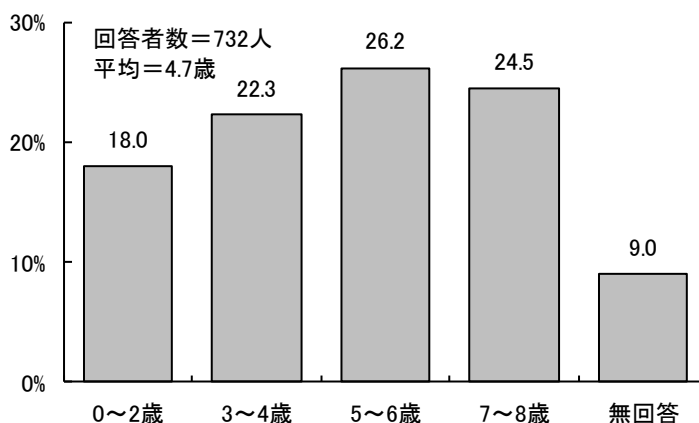
子どもの人数は、「2人」57.4%、「1人」22.6%、「3人」16.4%の順であり、平均2.0人となっています。

兄弟が2人以上の場合の末子の年齢(平成25年4月1日現在年齢)は、「5~6歳」26.2%、「7~8歳」24.5%、「3~4歳」22.3%の順であり、平均4.7歳となっています。

図表4-4 子どもの人数(単数回答)



図表4-5 末子の年齢(単数回答)

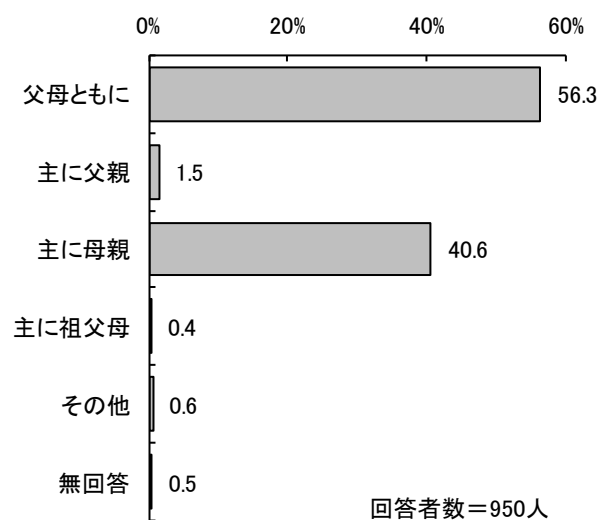


(5)子どもの主たる養育者

問5 あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。(〇は1つ)

子どもの主たる養育者は、「父母ともに」が 56.3%、「主に母親」が 40.6%などとなっています。

図表4-6 子どもの主たる養育者(単数回答)



2. 保護者の就労状況について

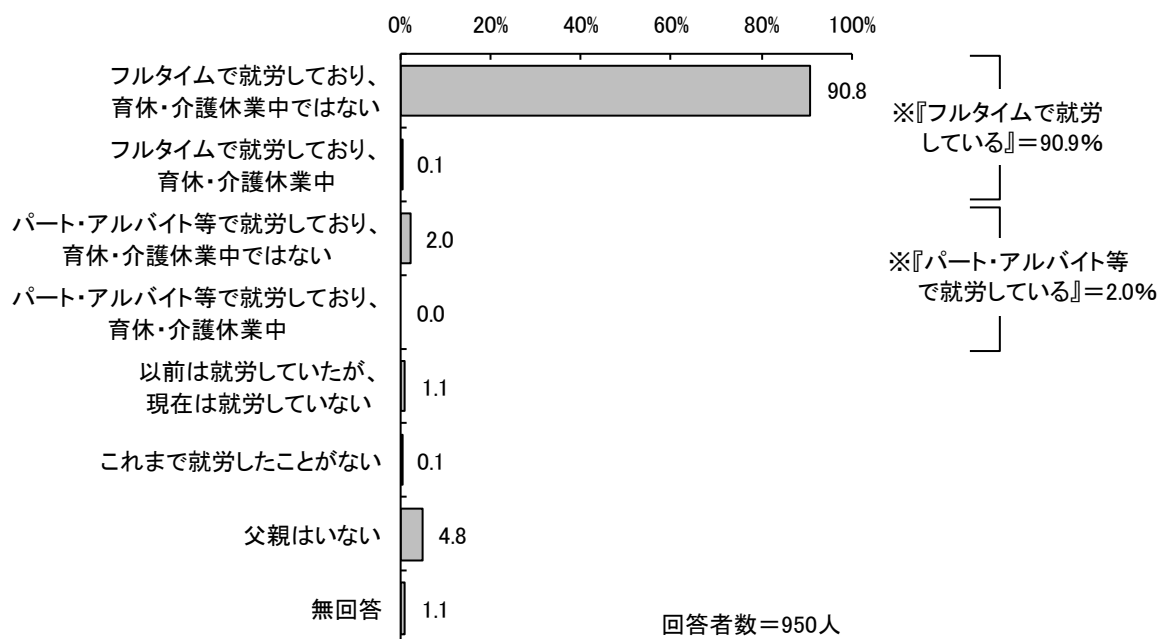
(1) 父親の就労状況

① 就労形態

問6 あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。(〇は1つ)

父親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 90.8% を占め、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中」の 0.1% をあわせた 90.9% が『フルタイムで就労している』と回答しています。このほか「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」は 2.0%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中」は 0.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は 1.1% などとなっています。

図表4-7 父親の就労形態(単数回答)



※『フルタイムで就労している』=「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」＋「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中」

※『パート・アルバイト等で就労している』=「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」＋「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中」

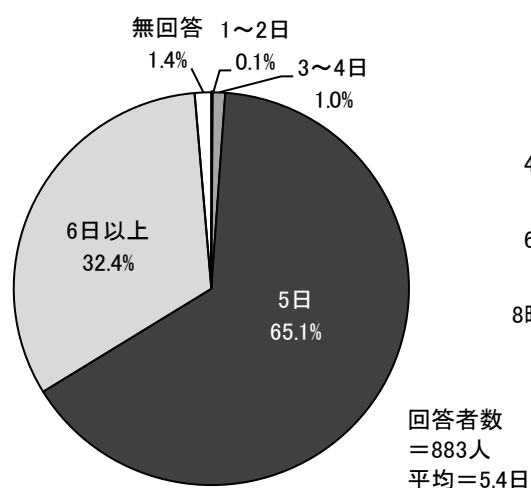
②就労状況

問6-1 「1～4」（就労している）に○をした方に伺います。①1週あたり就労日数・1日あたり就労時間（残業時間を含む）、②家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
（数字を記入）

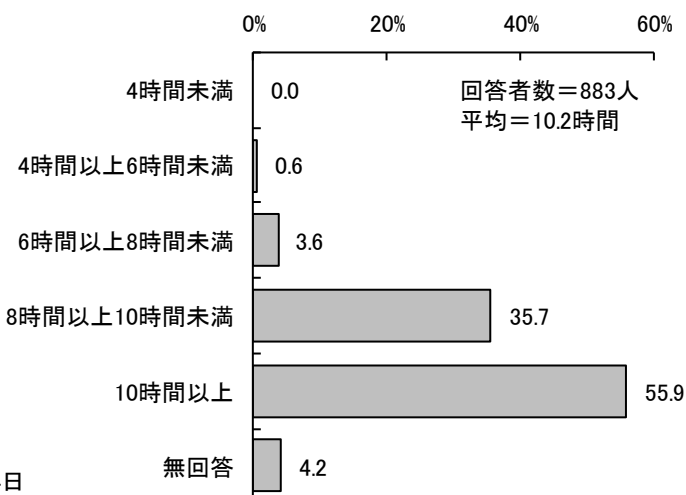
フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週あたりの就労日数は、「5日」65.1%、「6日以上」32.4%の順であり、平均5.4日となっています。1日あたりの就労時間は「10時間以上」55.9%、「8時間以上10時間未満」35.7%の順であり、平均10.2時間となっています。

家を出る時刻は、「8時台」32.3%、「7時台」30.4%の順となっています。帰宅時刻は、「22時以降」が21.3%と最も多く、次いで「20時台」19.8%、「21時台」16.0%の順となっています。

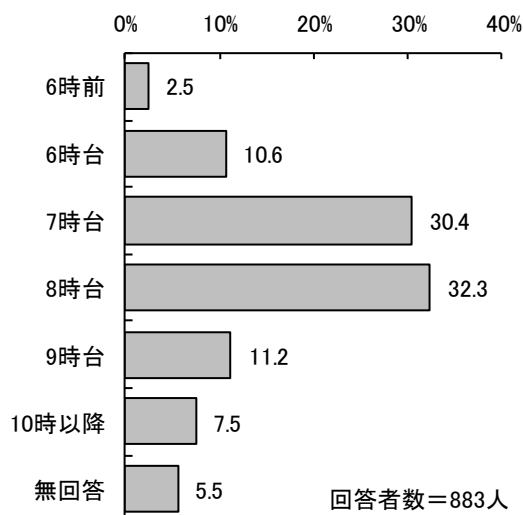
図表4-8 1週あたりの就労日数(単数回答)



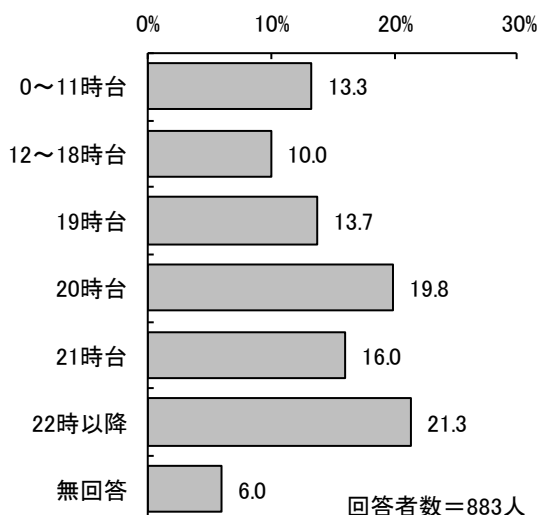
図表4-9 1日あたりの就労時間(単数回答)



図表4-10 家を出る時刻(単数回答)



図表4-11 帰宅時刻(単数回答)

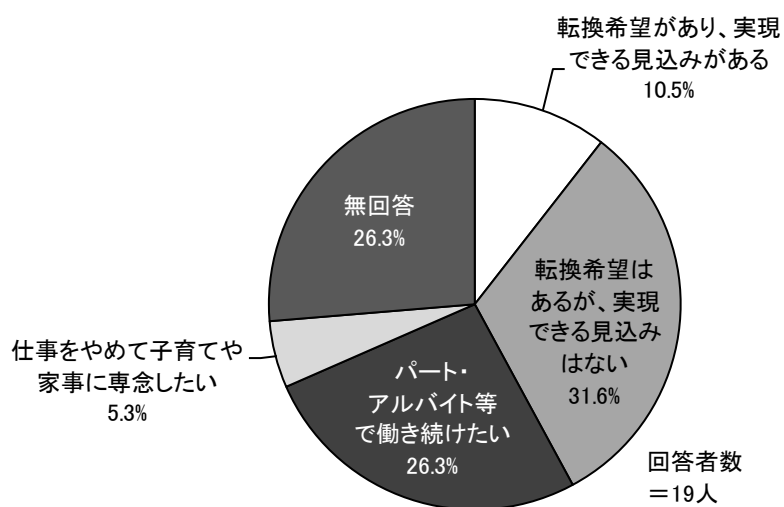


③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問6-2 「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方に伺います。
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。
（○は1つ）

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」31.6%、「パート・アルバイト等で働きたい」26.3%、「転換希望があり、実現できる見込みがある」10.5%の順となっています。

図表4-12 パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望（単数回答）



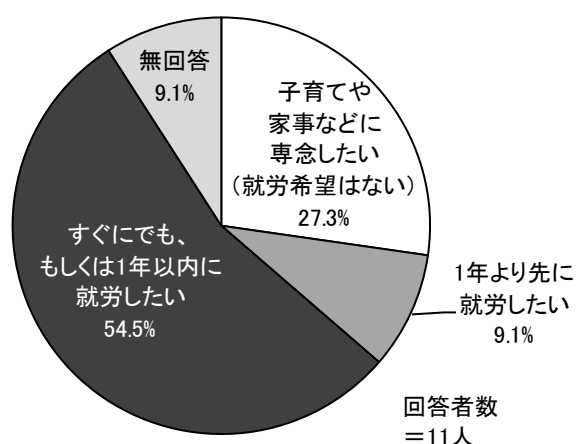
④未就労者の就労意向

問6-3 「5」または「6」（就労していない）に○をした方に伺います。
就労したいという希望はありますか。（○は1つ、（ ）内は数字を記入）

未就労者の就労意向は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が54.5%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）」が27.3%、「1年より先に就労したい」が9.1%となっています。

「1年より先に就労したい」と回答した人（1人）が、就労を希望する時の末子の年齢は9歳でした。

図表4-13 未就労者の就労意向（単数回答）



⑤1年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態

問6-4 希望する就労形態をお答えください。（○は1つ、（ ）内は数字を記入）

未就労者のうち、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が希望する就労形態をみると、回答者6人全員が「フルタイム」と回答しています。

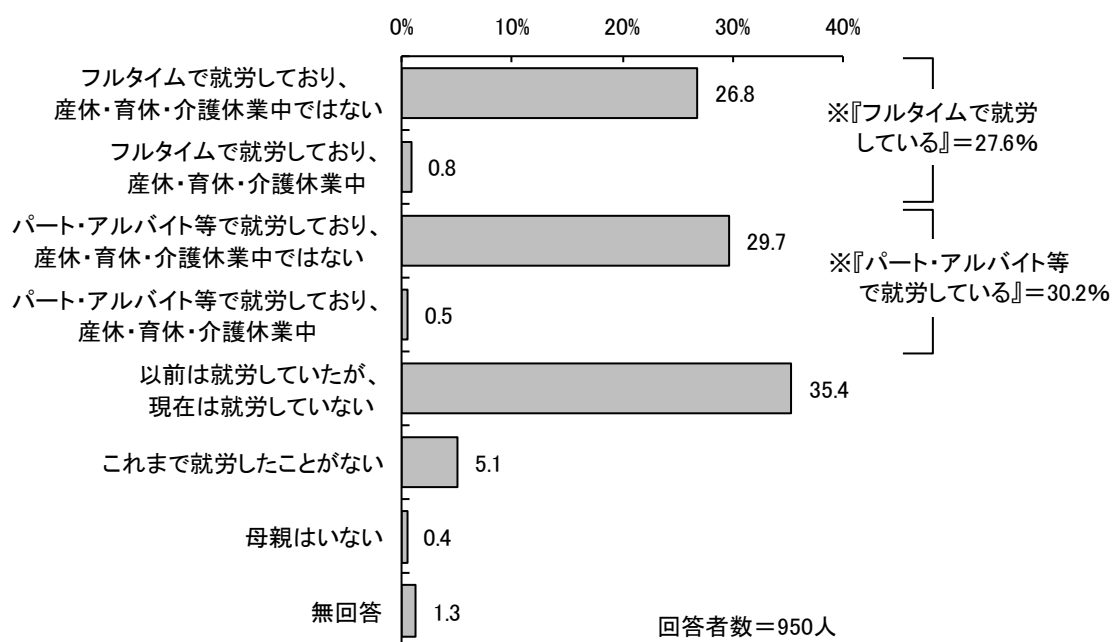
(2) 母親の就労状況

① 就労形態

問7 あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。(〇は1つ)

母親の就労形態は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が35.4%と最も多くなっています。次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が29.7%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.8%の順となっています。

図表4-14 母親の就労形態(単数回答)



※『フルタイムで就労している』=「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」
+「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中」

※『パート・アルバイト等で就労している』=「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・
介護休業中ではない」+「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中」

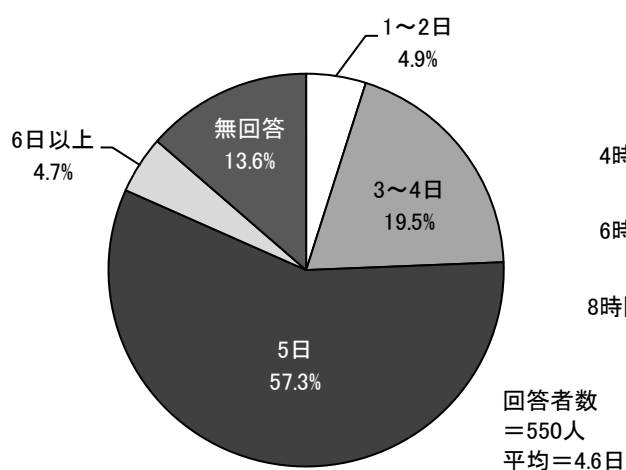
②就労状況

問7-1 「1～4」（就労している）に○をした方に伺います。①1週あたり就労日数・1日あたりの就労時間（残業時間を含む）、②家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
（数字を記入）

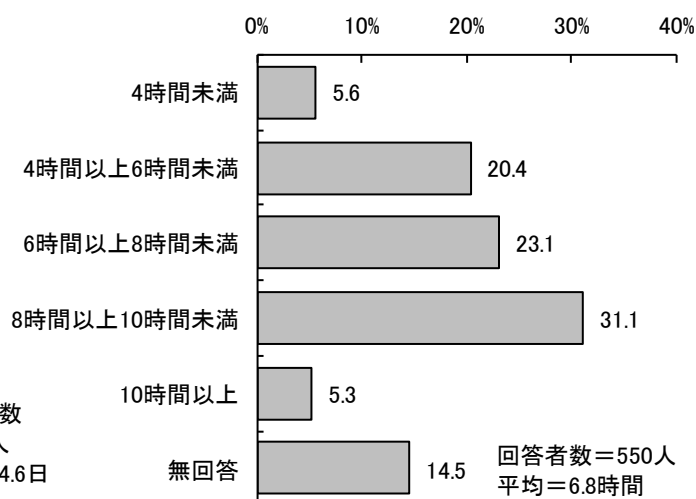
フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週あたりの就労日数は、「5日」57.3%、「3～4日」19.5%の順であり、平均4.6日となっています。1日あたりの就労時間は「8時間以上10時間未満」31.1%、「6時間以上8時間未満」23.1%の順であり、平均6.8時間となっています。

家を出る時刻は、「8時台」が39.8%、次いで「9時台」が20.5%の順となっています。帰宅時刻は、「18時台」28.0%、「12～16時台」23.3%の順となっています。

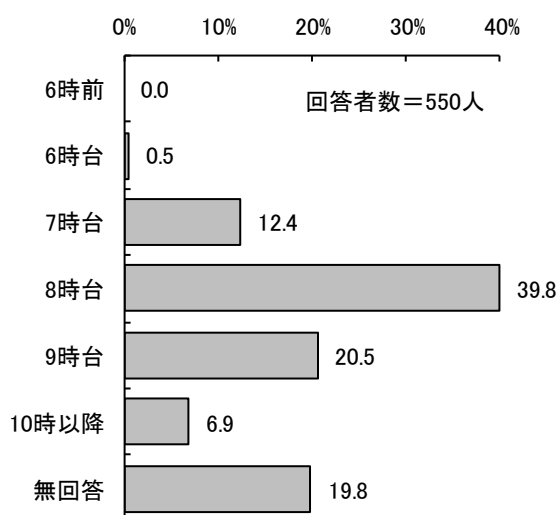
図表4-15 1週あたりの就労日数(単数回答)



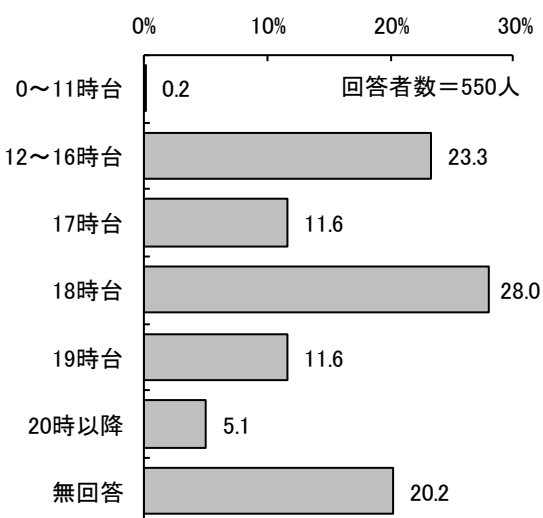
図表4-16 1日あたりの就労時間(単数回答)



図表4-17 家を出る時刻(単数回答)



図表4-18 帰宅時刻(単数回答)

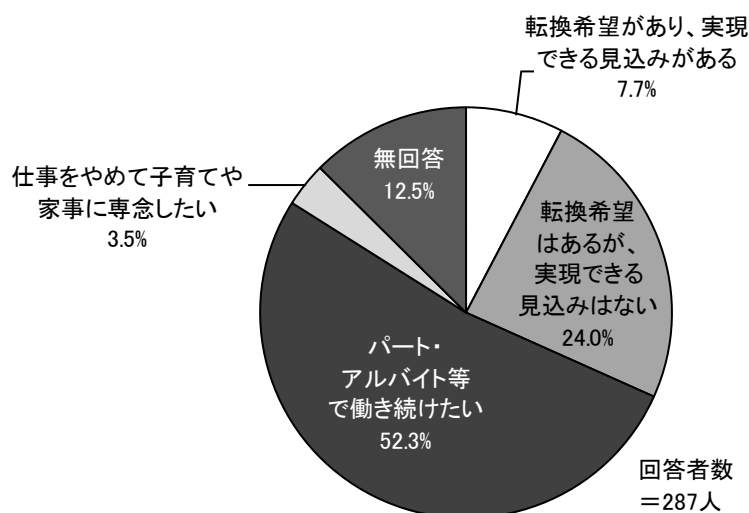


③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問7-2 「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方に伺います。
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。
（○は1つ）

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等で働き続けたい」が52.3%、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が24.0%、「転換希望があり、実現できる見込みがある」が7.7%、「仕事をやめて子育てや家事に専念したい」が3.5%の順となっています。

図表4-19 パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望（単数回答）



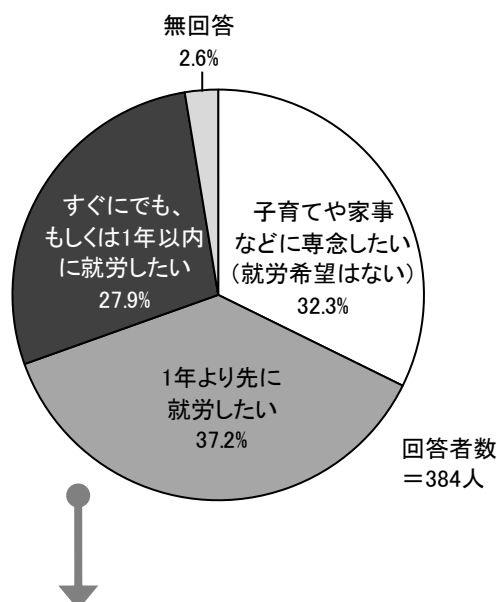
④未就労者の就労意向

問7-3 「5」または「6」（就労していない）に○をした方に伺います。
就労したいという希望はありますか。（○は1つ、（ ）内は数字を記入）

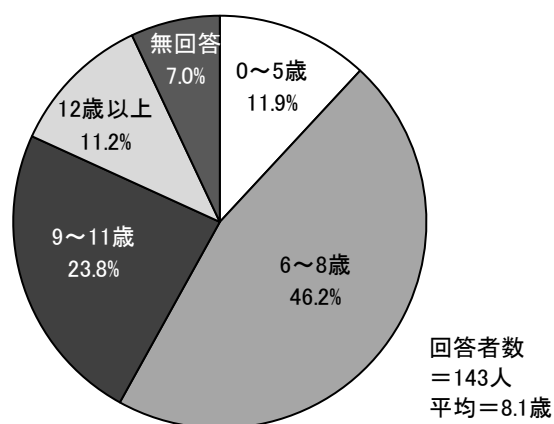
未就労者の就労意向は、「1年より先に就労したい」37.2%、「子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）」32.3%の順であり、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は27.9%でした。

「1年より先に就労したい」と回答した人が、就労を希望する時の末子の年齢は、平均8.1歳となっています。

図表4-20 未就労者の就労意向(単数回答)



図表4-21 就労を希望する時の末子の年齢(単数回答)



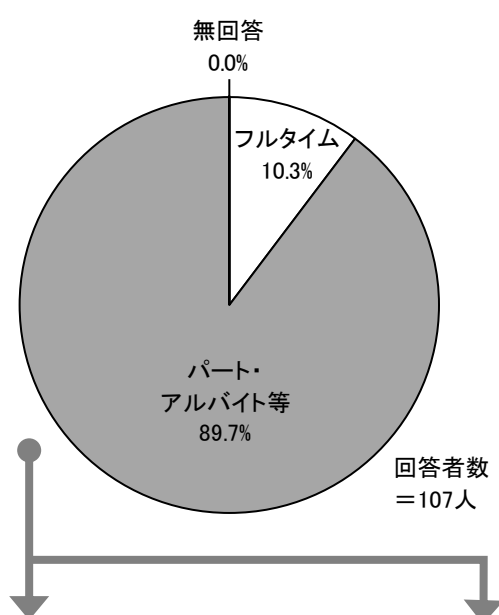
⑤1年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態

問7-4 希望する就労形態をお答えください。(○は1つ、()内は数字を記入)

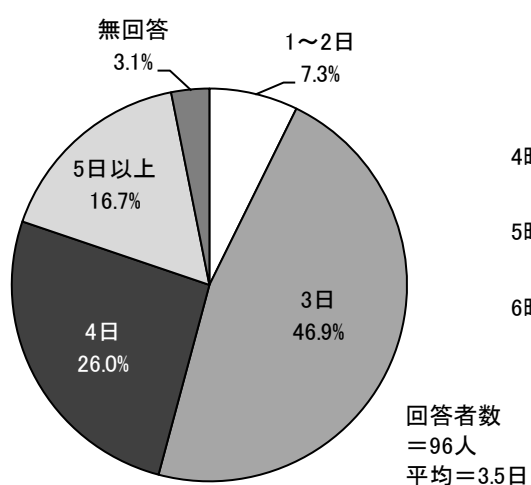
未就労者のうち、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が89.7%を占め、「フルタイム」は10.3%となっています。

パート・アルバイト等を希望する人の1週あたりの就労希望日数は平均3.5日、1日あたりの就労希望時間は平均5.0時間でした。

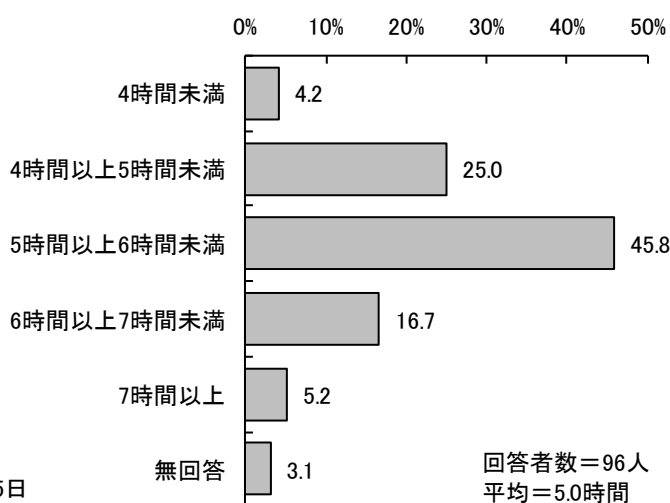
図表4-22 1年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態(単数回答)



図表4-23 就労希望日数(単数回答)



図表4-24 就労希望時間(単数回答)

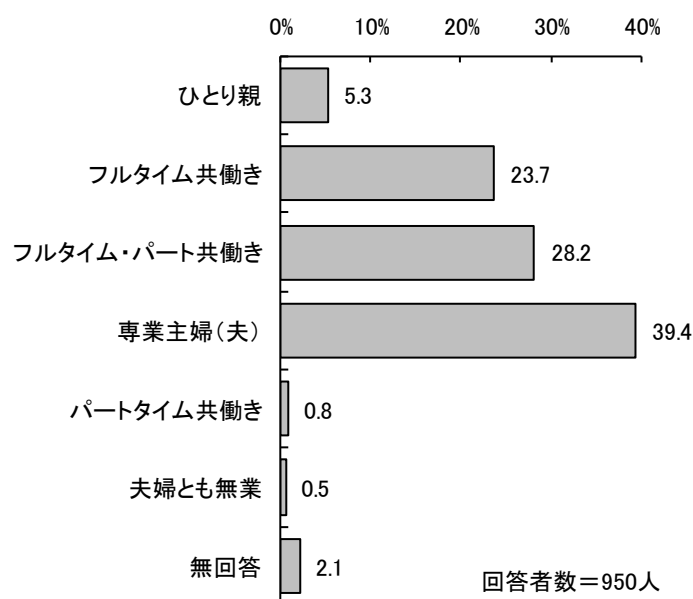


(3) 両親の就労形態からみた家庭類型

両親の就労形態からみた家庭類型は、「専業主婦（夫）」が 39.4%と最も多く、次いで「フルタイム・パート共働き」が 28.2%、「フルタイム共働き」が 23.7%となっています。

子どもの学年別にみると、「専業主婦（夫）」家庭は小学校 1 年生が 45.3%と最も多く、学年が高くなるほど割合は少なくなります。反対に、「フルタイム・パート共働き」家庭は学年が高くなるほど割合が多くなり、3 年生では 31.1%となっています。「フルタイム共働き」家庭は 2 年生で 26.7%と最も多くなっています。

図表4-25 両親の就労形態からみた家庭類型(単数回答)



図表4-26 両親の就労形態からみた家庭類型

		単位 (%)						
		回答者数(人)	ひとり親	フルタイム共働き	フルタイム・パート共働き	専業主婦(夫)	パートタイム共働き	夫婦とも無業
全 体		950	5.3	23.7	28.2	39.4	0.8	0.5
子どもの学年別	小学校 1 年生	333	5.1	21.0	24.3	45.3	1.2	1.2
	小学校 2 年生	292	5.8	26.7	29.8	35.3	0.7	0.0
	小学校 3 年生	309	4.9	23.3	31.1	38.2	0.6	0.3

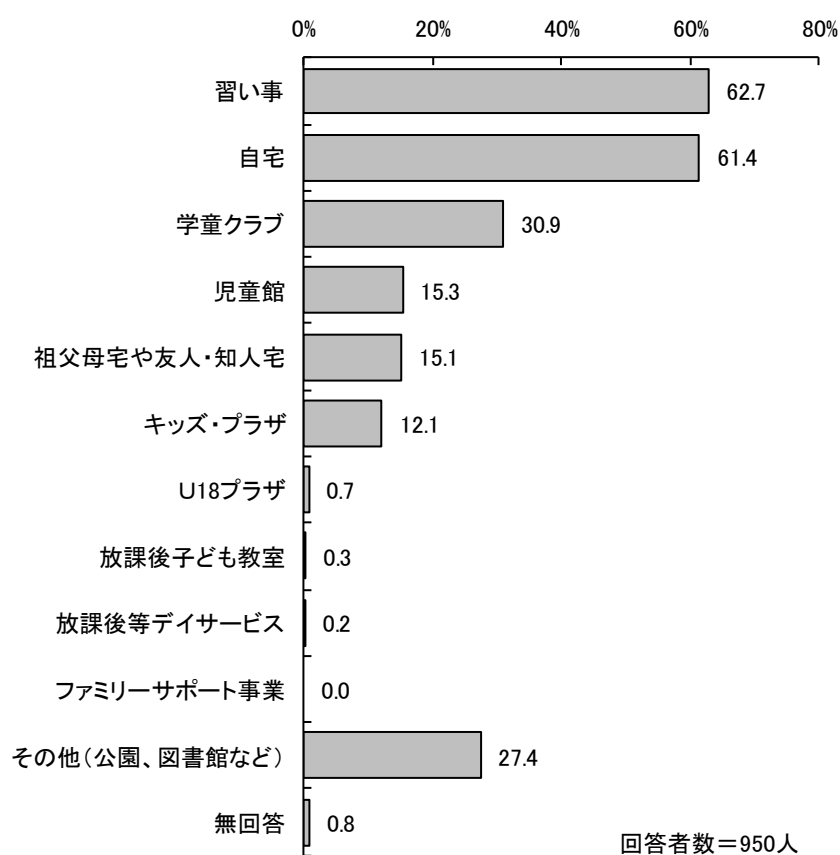
3. 放課後の過ごし方について

(1) 放課後の過ごし方

問8 あて名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどこで過ごしていますか。
あてはまる番号すべてに○をしてください。また、「5」、「6」以外に○をした場合は、
週あたり日数を記入してください。

放課後の過ごし方は、「習い事」が 62.7%、「自宅」が 61.4%、「学童クラブ」が 30.9%
などとなっています。

図表4-27 放課後の過ごし方（複数回答）



学童クラブを利用している人の1週あたりの利用日数は「5日」49.7%、「3～4日」21.8%の順であり、平均4.4日となっています。

放課後等デイサービスは「1～2日」が50.0%であり、平均2.0日となっています。

図表4-28 過ごし方別の1週あたりの日数

単位(%)

	回答者数 (人)	1～2日	3～4日	5日	無回答	平均 日数 (日)
習い事	596	50.5	37.8	8.7	3.0	2.6
自宅	583	47.7	19.9	23.0	9.4	2.8
学童クラブ	294	4.8	21.8	49.7	23.8	4.4
祖父母宅や友人・知人宅	143	74.1	7.7	7.7	10.5	1.7
U18 プラザ	7	71.4	14.3	0.0	14.3	1.3
放課後子ども教室	3	66.7	33.3	0.0	0.0	2.0
放課後等デイサービス	2	50.0	0.0	0.0	50.0	2.0
ファミリーサポート事業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
その他(公園、図書館など)	260	66.9	18.1	6.9	8.1	2.0

子どもの学年別にみると、「学童クラブ」利用者の割合は、小学校1・2年生の各3割台、3年生の2割台となっています。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「学童クラブ」利用者の割合は、ひとり親家庭の62.0%、フルタイム共働き家庭の74.7%、フルタイム・パート共働き家庭の29.9%となっています。

図表4-29 放課後の過ごし方

単位(%)

		回答者数(人)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	学童クラブ	児童館	キッズ・プラザ
全 体		950	61.4	15.1	62.7	30.9	15.3	12.1
子どもの学年別	小学校1年生	333	60.7	12.0	59.8	32.4	14.1	15.9
	小学校2年生	292	56.2	16.8	56.8	38.7	13.4	11.3
	小学校3年生	309	68.0	16.5	71.8	22.3	18.4	9.1
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	50	38.0	16.0	38.0	62.0	14.0	4.0
	フルタイム共働き	225	25.3	8.0	39.1	74.7	5.3	7.1
	フルタイム・パート共働き	268	66.0	17.2	63.1	29.9	12.3	11.9
	専業主婦(夫)	374	84.2	18.4	81.8	1.6	24.6	16.0
	パートタイム共働き	8	25.0	0.0	37.5	50.0	0.0	37.5
	夫婦とも無業	5	80.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0

		回答者数(人)	放課後子ども教室	ファミリースポーツ事業	U18プラザ	放課後等デイサービス	その他(公園、図書館など)	無回答
全 体		950	0.3	0.0	0.7	0.2	27.4	0.8
子どもの学年別	小学校1年生	333	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	0.6
	小学校2年生	292	0.3	0.0	1.0	0.0	24.0	1.4
	小学校3年生	309	0.6	0.0	1.3	0.6	35.0	0.0
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	50	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	4.0
	フルタイム共働き	225	0.4	0.0	0.9	0.0	10.7	0.4
	フルタイム・パート共働き	268	0.4	0.0	0.7	0.4	25.7	0.4
	専業主婦(夫)	374	0.3	0.0	0.8	0.3	41.4	0.3
	パートタイム共働き	8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	夫婦とも無業	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0

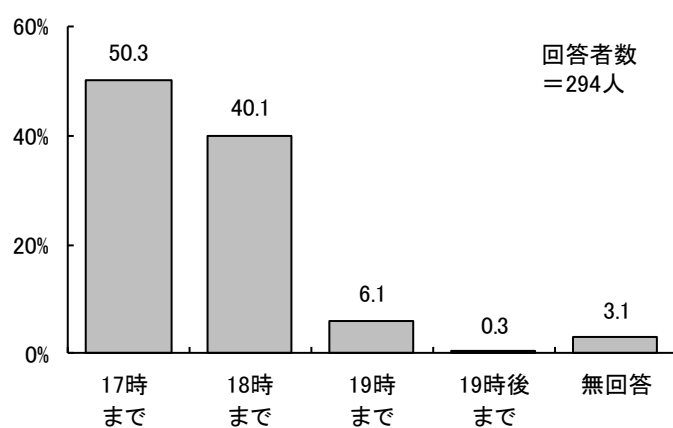
(2)学童クラブの利用状況

問8-1 「4. 学童クラブ」に○をした方に伺います。①放課後（平日の小学校終了後）、②土曜日、③夏休み等の利用状況をお答えください。

①放課後の利用状況

学童クラブを利用している人の放課後の利用終了時間は、「17時まで」50.3%、「18時まで」40.1%の順となっています。

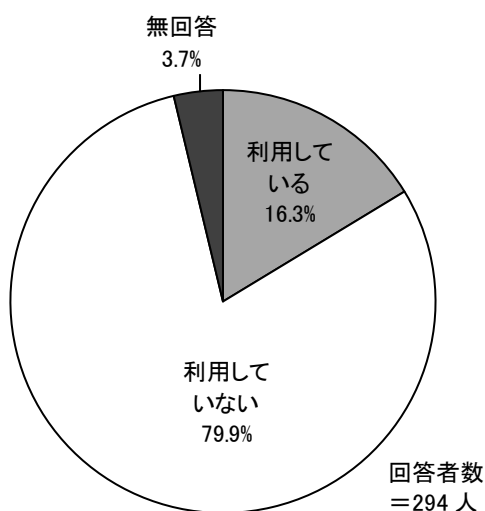
図表4-30 放課後の利用終了時間(単数回答)



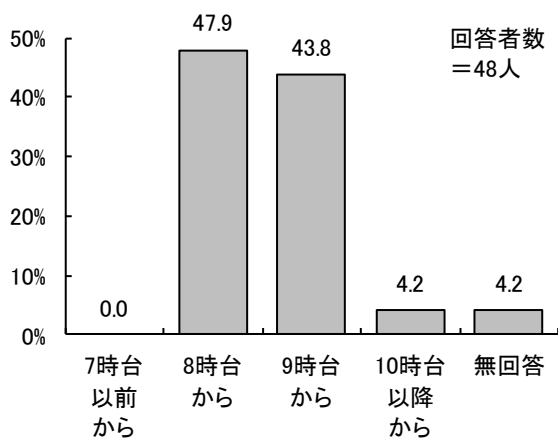
②土曜日の利用状況

土曜日に「利用している」は16.3%であり、利用開始時間は「8時台から」47.9%、「9時台から」43.8%の順となっています。利用終了時間は「17時まで」64.6%、「18時まで」31.3%の順となっています。

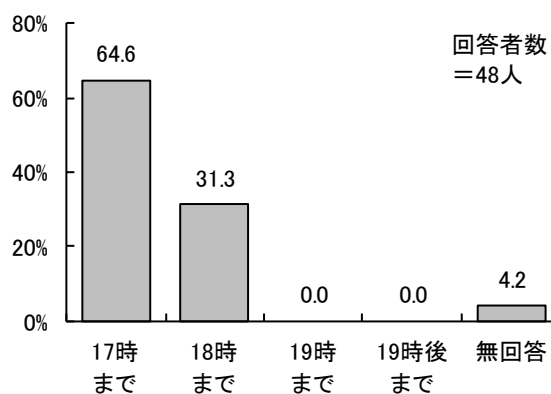
図表4-31 土曜日の利用状況(単数回答)



図表4-32 利用開始時間(単数回答)



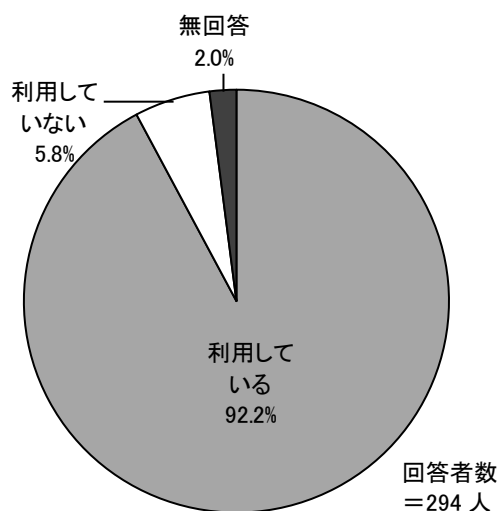
図表4-33 利用終了時間(単数回答)



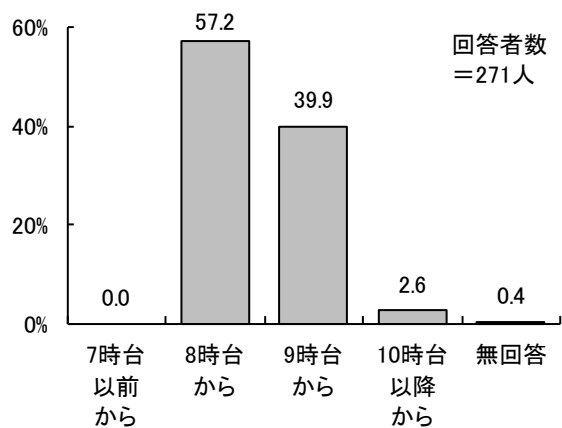
③夏休み等の利用状況

夏休み等に「利用している」は92.2%であり、利用開始時間は「8時台から」57.2%、「9時台から」39.9%の順となっています。利用終了時間は「17時まで」56.1%、「18時まで」37.3%の順となっています。

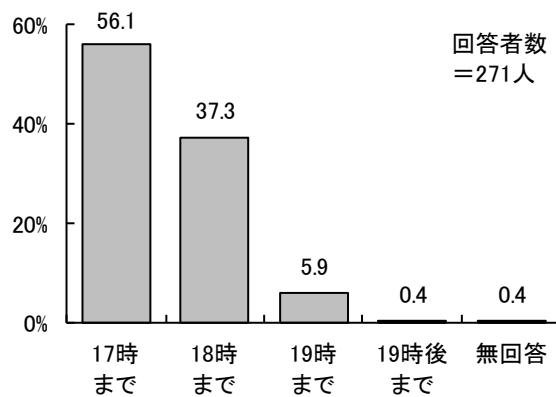
図表4-34 夏休み等の利用状況(単数回答)



図表4-35 利用開始時間(単数回答)



図表4-36 利用終了時間(単数回答)



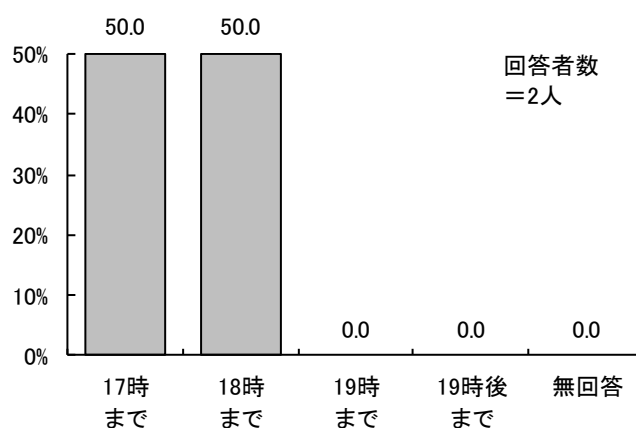
(3)放課後等デイサービス(障害や発達に課題のあるお子さん対象)の利用状況

問8-2 「10. 放課後等デイサービス(障害や発達に課題のあるお子さん対象)」に○をした方に伺います。①放課後(平日の小学校終了後)、②土曜日、③夏休み等の利用状況をお答えください。

①放課後の利用状況

放課後等デイサービスを利用している人の放課後の利用終了時間は、「17時まで」「18時まで」が各50.0%となっています。

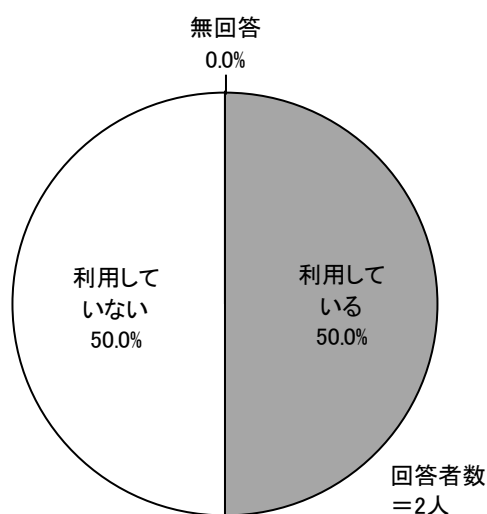
図表4-37 放課後の利用終了時間(単数回答)



②土曜日の利用状況

土曜日に「利用している」は50.0%(1人)であり、利用開始時間は「10時台以降から」、利用終了時間は「17時まで」となっています。

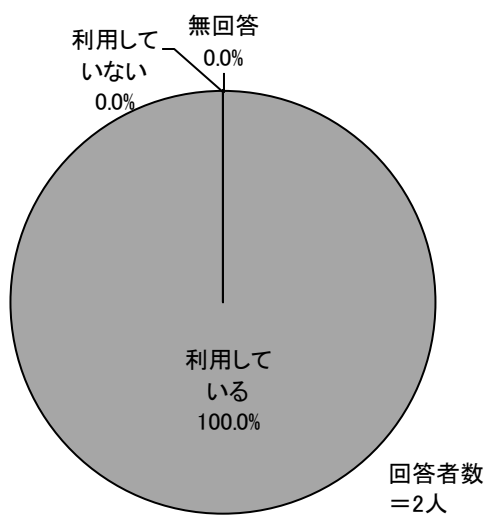
図表4-38 土曜日の利用状況(単数回答)



③夏休み等の利用状況

夏休み等に「利用している」は100.0%（2人）であり、利用開始時間は「10時台以降から」、利用終了時間は「17時まで」と、回答者全員が回答しています。

図表4-39 夏休み等の利用状況(単数回答)



4. 学童クラブの利用意向

(1) 平日の学童クラブの利用意向

問9 あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、学童クラブの利用を希望しますか。①～④それぞれについて1つに○をし、希望する場合は、利用したい日数・時間帯を記入してください。

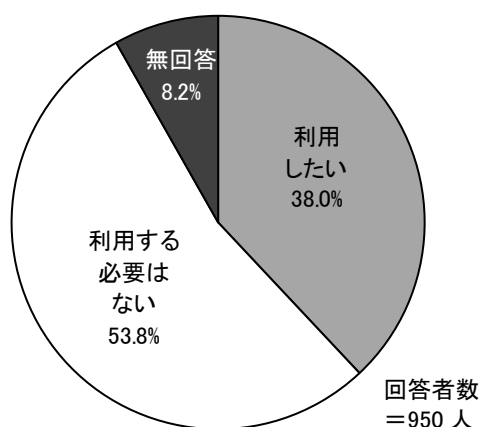
平日の学童クラブの利用意向をみると、「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（1～3年生）時は38.0%、高学年（4～6年生）時は22.5%となっています。

利用希望日数の平均は、低学年（1～3年生）時が4.4日、高学年（4～6年生）時が4.0日となっています。

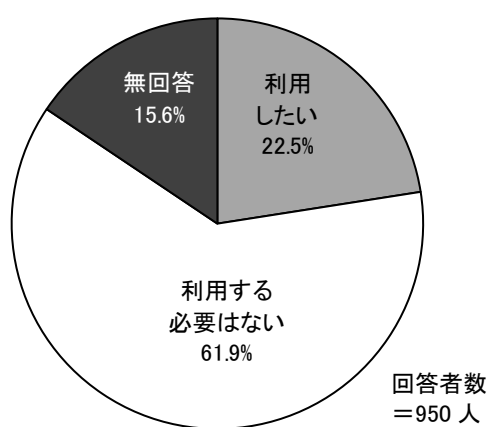
希望終了時間は、低学年（1～3年生）時は「17時まで」43.2%、高学年（4～6年生）時は「18時まで」43.0%が、それぞれ最も多くなっています。

図表4-40 平日の学童クラブの利用意向(単数回答)

[低学年(1～3年生)]

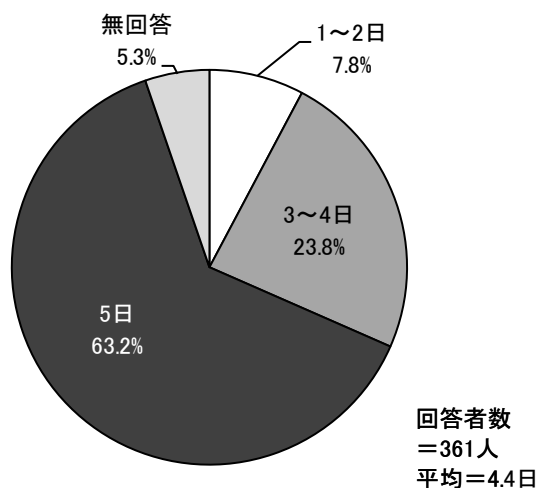


[高学年(4～6年生)]

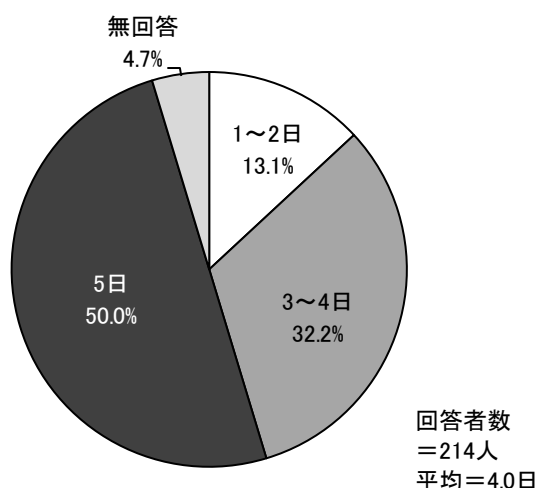


図表4-41 利用希望日数(単数回答)

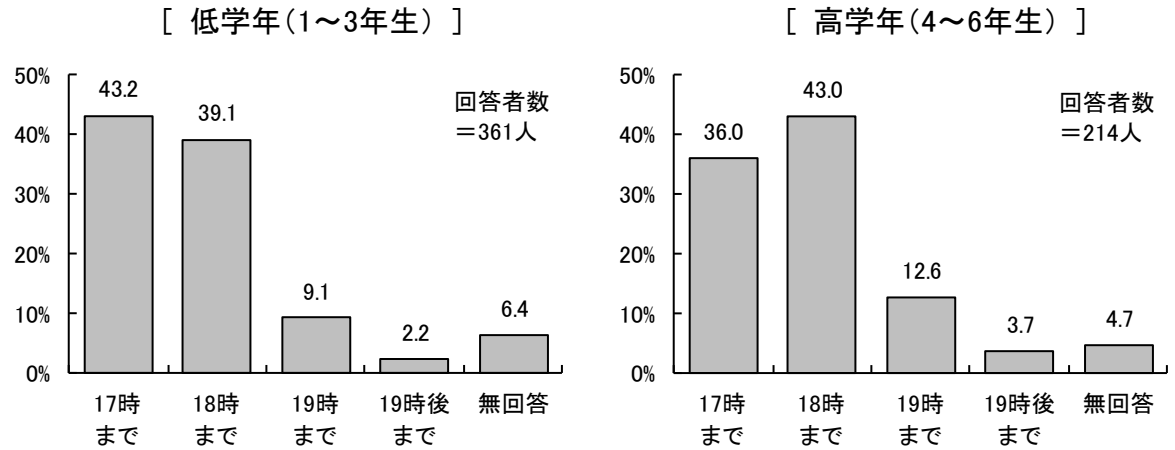
[低学年(1～3年生)]



[高学年(4～6年生)]



図表4-42 希望終了時間(単数回答)



低学年（1～3年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学校1・2年生の各4割台、3年生の2割台となっています。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」はひとり親家庭の56.0%、フルタイム共働き家庭の76.9%、フルタイム・パート共働き家庭の35.4%となっています。

高学年（4～6年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学校1・2年生の各2割台、3年生の1割台となっています。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」はひとり親家庭の40.0%、フルタイム共働き家庭の45.3%、フルタイム・パート共働き家庭の19.0%となっています。

図表4-43 平日の学童クラブの利用意向

単位 (%)

		回答者数(人)	低学年(1～3年生)			高学年(4～6年生)		
			利用したい	ない 利用する必要は	無回答	利用したい	ない 利用する必要は	無回答
全 体		950	38.0	53.8	8.2	22.5	61.9	15.6
子どもの学年別	小学校1年生	333	42.0	50.2	7.8	22.2	58.6	19.2
	小学校2年生	292	47.6	47.3	5.1	28.8	57.9	13.4
	小学校3年生	309	24.9	64.1	11.0	17.2	68.9	13.9
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	50	56.0	24.0	20.0	40.0	44.0	16.0
	フルタイム共働き	225	76.9	19.1	4.0	45.3	36.4	18.2
	フルタイム・パート共働き	268	35.4	56.3	8.2	19.0	66.8	14.2
	専業主婦(夫)	374	14.4	77.0	8.6	8.8	77.0	14.2
	パートタイム共働き	8	62.5	25.0	12.5	50.0	12.5	37.5
	夫婦とも無業	5	0.0	80.0	20.0	20.0	60.0	20.0

(2)土曜日の学童クラブの利用意向

土曜日の学童クラブの利用意向をみると、「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（1～3年生）時は9.8%、高学年（4～6年生）時は6.1%となっています。

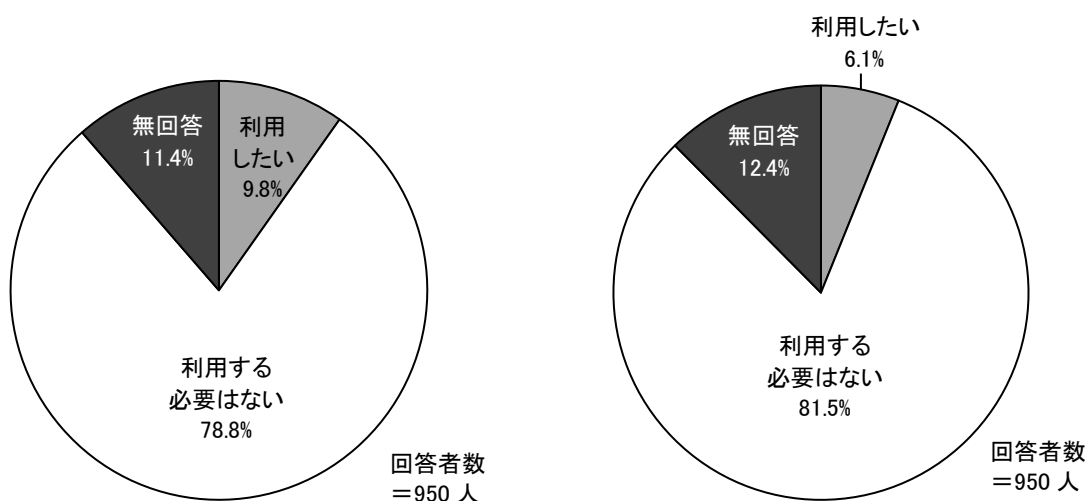
希望開始時間は、低学年（1～3年生）時は「8時台から」41.9%、高学年（4～6年生）時は「7時台以前から」50.0%が、それぞれ最も多くなっています。

希望終了時間は、低学年（1～3年生）時は「17時まで」49.5%、高学年（4～6年生）時は「19時まで」43.1%が、それぞれ最も多くなっています。

図表4-44 土曜日の学童クラブの利用意向(単数回答)

[低学年(1～3年生)]

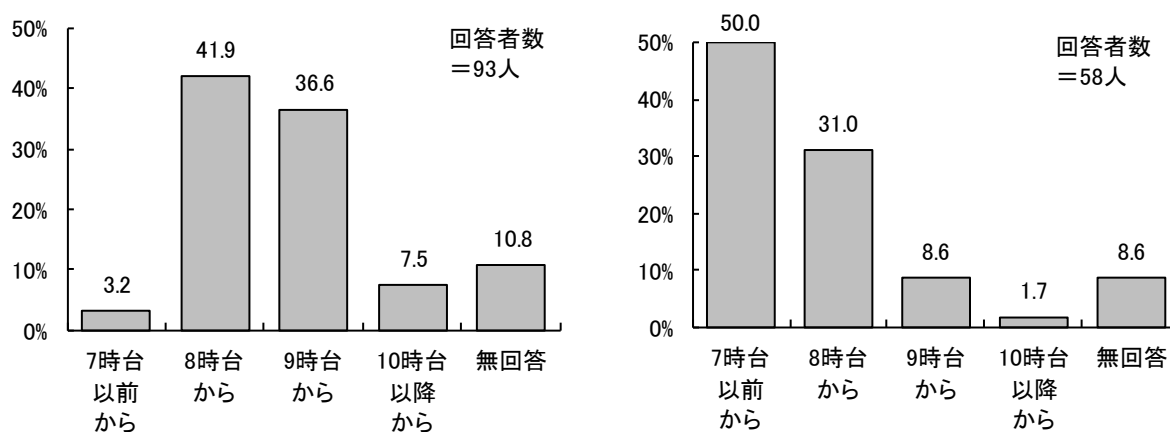
[高学年(4～6年生)]



図表4-45 希望開始時間(単数回答)

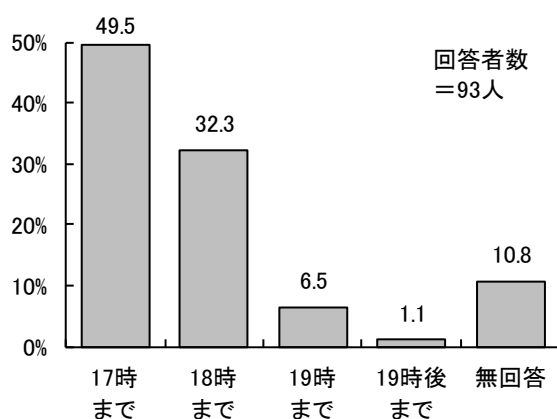
[低学年(1～3年生)]

[高学年(4～6年生)]

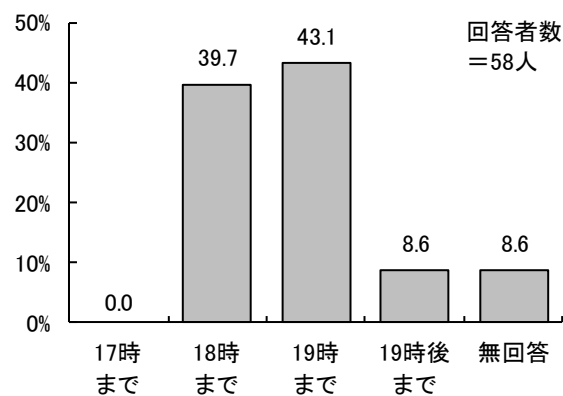


図表4-46 希望終了時間(単数回答)

[低学年(1～3年生)]



[高学年(4～6年生)]



低学年（1～3年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学校1・2年生の各1割台、3年生では4.2%となっています。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」はひとり親家庭の22.0%、フルタイム共働き家庭の16.4%となっています。

高学年（4～6年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学校1年生の6.0%、2年生の7.2%、3年生の4.9%となっています。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」はひとり親家庭、フルタイム共働き家庭とも1割台となっています。

図表4-47 土曜日の学童クラブの利用意向

単位(%)

		回答者数(人)	低学年(1～3年生)			高学年(4～6年生)		
			利用したい	はない 利用する必要	無回答	利用したい	はない 利用する必要	無回答
全 体		950	9.8	78.8	11.4	6.1	81.5	12.4
子どもの学年別	小学校1年生	333	11.4	76.0	12.6	6.0	77.8	16.2
	小学校2年生	292	14.0	79.1	6.8	7.2	82.2	10.6
	小学校3年生	309	4.2	81.9	13.9	4.9	85.1	10.0
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	50	22.0	60.0	18.0	12.0	70.0	18.0
	フルタイム共働き	225	16.4	74.7	8.9	10.2	78.7	11.1
	フルタイム・パート共働き	268	9.0	78.7	12.3	6.0	82.5	11.6
	専業主婦(夫)	374	4.0	85.3	10.7	2.4	85.6	12.0
	パートタイム共働き	8	25.0	62.5	12.5	0.0	62.5	37.5
	夫婦とも無業	5	0.0	60.0	40.0	0.0	60.0	40.0

(3) 日曜日・祝日の学童クラブの利用意向

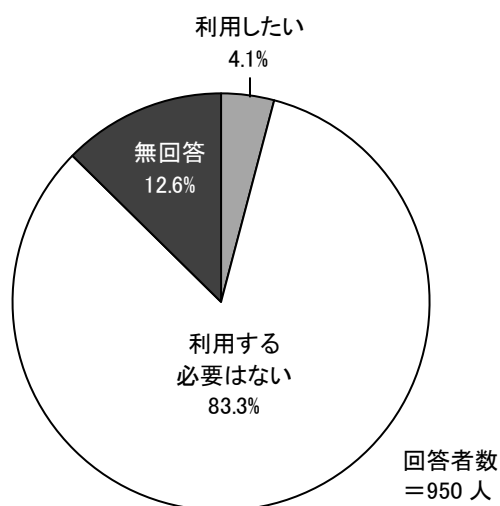
日曜日・祝日の学童クラブの利用意向をみると、「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（1～3年生）時は4.1%、高学年（4～6年生）時は2.9%となっています。

希望開始時間は、低学年（1～3年生）時は「8時台から」「9時台から」各38.5%、高学年（4～6年生）時は「7時台以前から」42.9%が、それぞれ最も多くなっています。

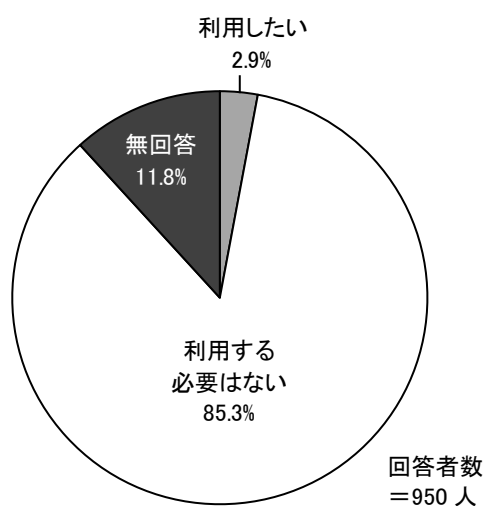
希望終了時間は、低学年（1～3年生）時は「17時まで」「18時まで」各35.9%、高学年（4～6年生）時は「19時まで」42.9%が、それぞれ最も多くなっています。

図表4-48 日曜日・祝日の学童クラブの利用意向(単数回答)

[低学年(1～3年生)]

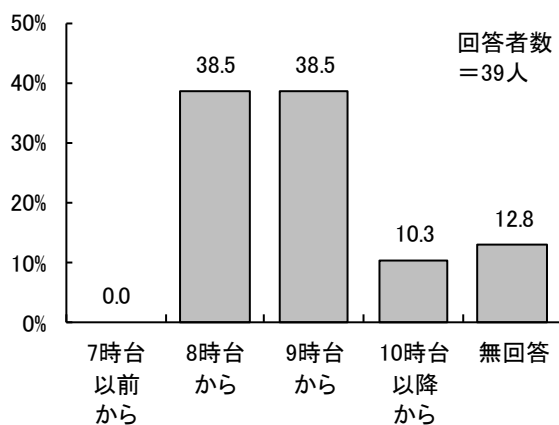


[高学年(4～6年生)]

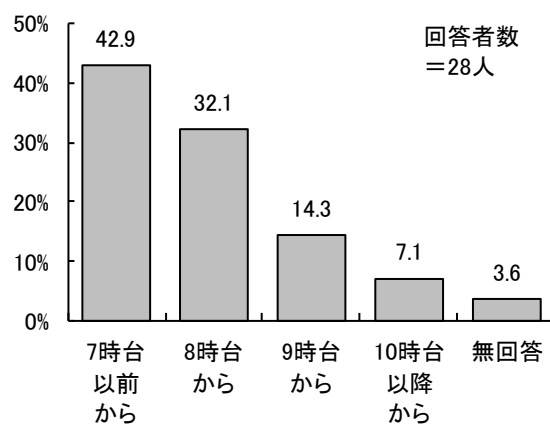


図表4-49 希望開始時間(単数回答)

[低学年(1～3年生)]

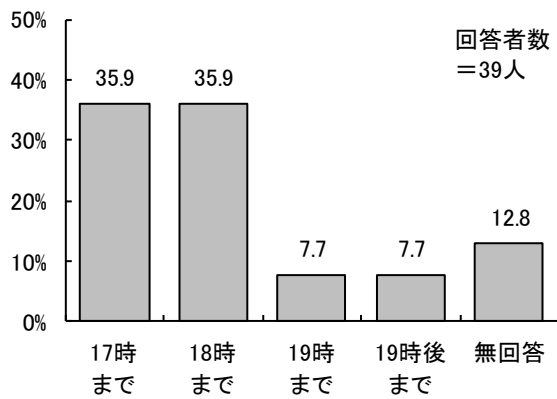


[高学年(4～6年生)]

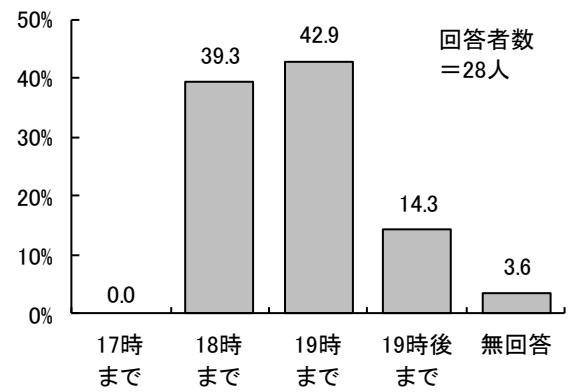


図表4-50 希望終了時間(単数回答)

[低学年(1～3年生)]



[高学年(4～6年生)]

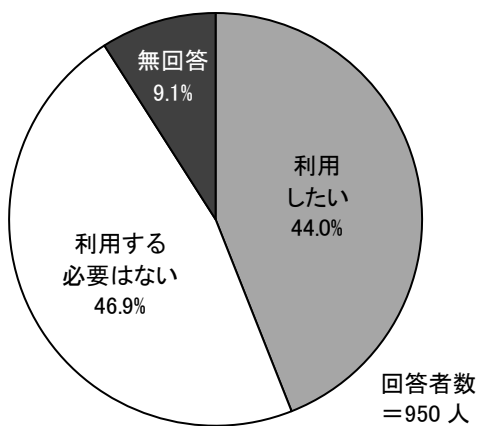


(4) 夏休み等の学童クラブの利用意向

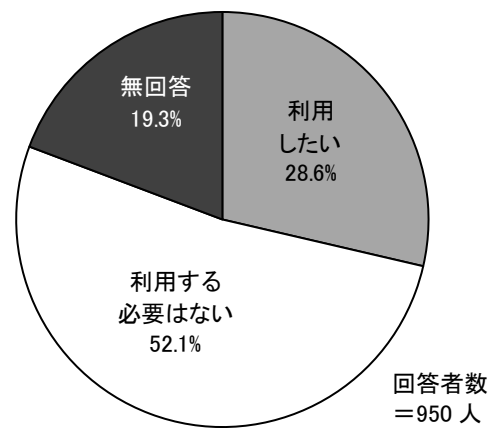
夏休み等の学童クラブの利用意向をみると、「利用したい」と回答した人の割合は、低学年(1～3年生)時は44.0%、高学年(4～6年生)時は28.6%となっています。

図表4-51 夏休み等の学童クラブの利用意向(単数回答)

[低学年(1～3年生)]



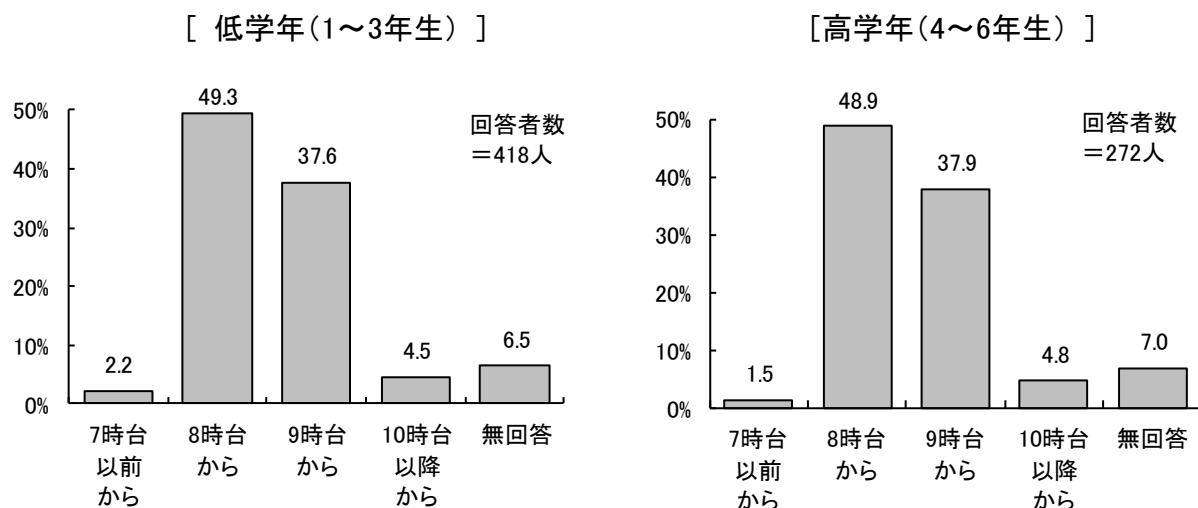
[高学年(4～6年生)]



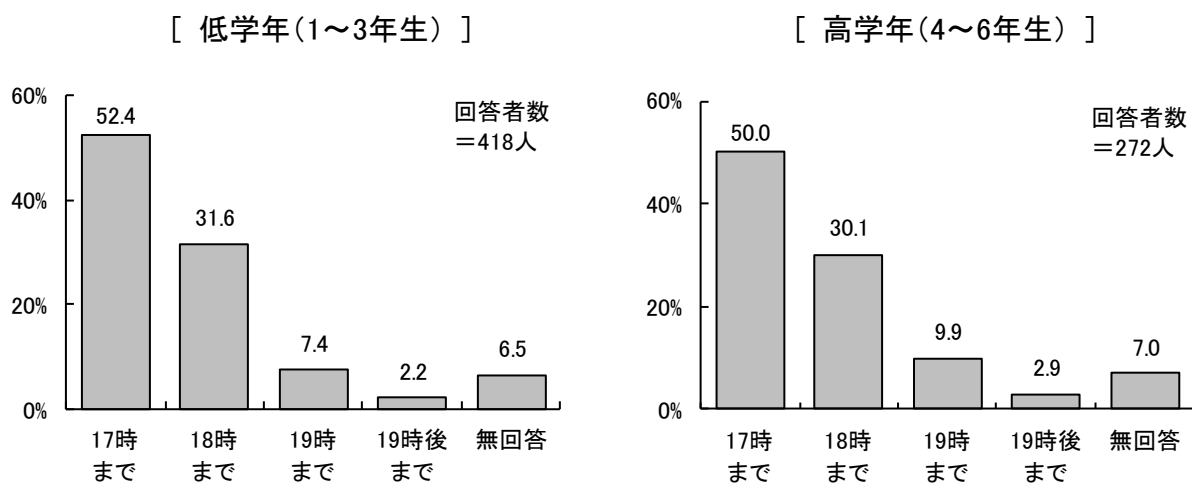
希望開始時間は、低学年（1～3年生）時は「8時台から」49.3%、高学年（4～6年生）時も「8時台から」48.9%が、それぞれ最も多くなっています。

希望終了時間は、低学年（1～3年生）時は「17時まで」52.4%、高学年（4～6年生）時も「17時まで」50.0%が、それぞれ最も多くなっています。

図表4-52 希望開始時間(単数回答)



図表4-53 希望終了時間(単数回答)



低学年（1～3年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学校1年生の46.2%、2年生の52.4%、3年生では34.0%となっています。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」はひとり親家庭の60.0%、フルタイム共働き家庭の78.2%、フルタイム・パート共働き家庭の48.1%となっています。

高学年（4～6年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学校1・3年生の各2割台、2年生の3割台となっています。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」はひとり親家庭の48.0%、フルタイム共働き家庭の55.1%、フルタイム・パート共働き家庭の28.4%となっています。

図表4-54 夏休み等の学童クラブの利用意向

単位(%)

		回答者数(人)	低学年(1～3年生)			高学年(4～6年生)		
			利用したい	ない 利用する必要は	無回答	利用したい	ない 利用する必要は	無回答
全 体		950	44.0	46.9	9.1	28.6	52.1	19.3
子どもの学年別	小学校1年生	333	46.2	44.4	9.3	25.8	50.5	23.7
	小学校2年生	292	52.4	41.8	5.8	34.9	48.3	16.8
	小学校3年生	309	34.0	54.4	11.7	24.9	57.6	17.5
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	50	60.0	20.0	20.0	48.0	30.0	22.0
	フルタイム共働き	225	78.2	16.0	5.8	55.1	25.3	19.6
	フルタイム・パート共働き	268	48.1	42.9	9.0	28.4	51.1	20.5
	専業主婦(夫)	374	18.4	72.5	9.1	10.2	72.5	17.4
	パートタイム共働き	8	62.5	25.0	12.5	37.5	25.0	37.5
	夫婦とも無業	5	20.0	40.0	40.0	20.0	40.0	40.0

5. 放課後等デイサービス(障害や発達に課題のあるお子さん対象)の利用意向

(1) 平日の放課後等デイサービスの利用意向

問10 あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、放課後等デイサービス(障害や発達に課題のあるお子さん対象)の利用を希望しますか。①～④それぞれについて1つに○をし、希望する場合は、利用したい日数・時間帯を記入してください。

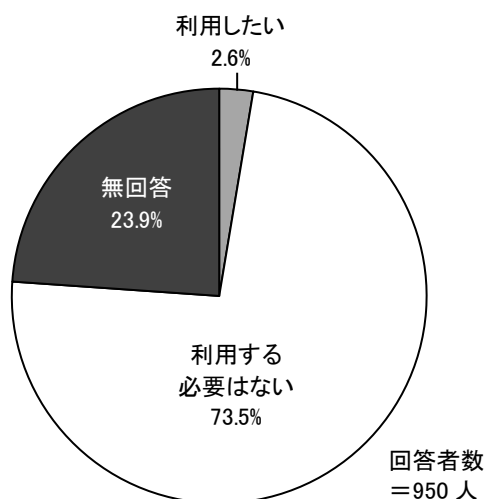
平日の放課後等デイサービスの利用意向をみると、「利用したい」と回答した人の割合は、低学年(1～3年生)時は2.6%、高学年(4～6年生)時は1.5%となっています。

1週あたりの利用希望日数の平均は、低学年(1～3年生)時が3.6日、高学年(4～6年生)時が3.2日となっています。

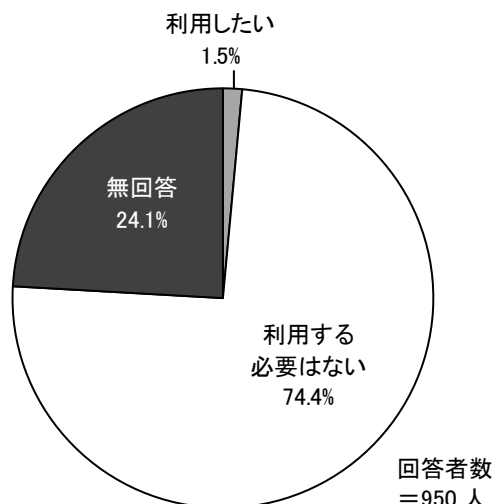
希望終了時間は、低学年(1～3年生)時は「17時まで」44.0%、高学年(4～6年生)時は「18時まで」35.7%が、それぞれ最も多くなっています。

図表4-55 平日の放課後等デイサービスの利用意向(単数回答)

[低学年(1～3年生)]

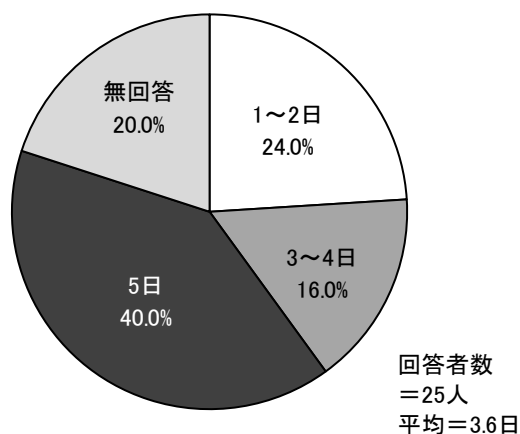


[高学年(4～6年生)]

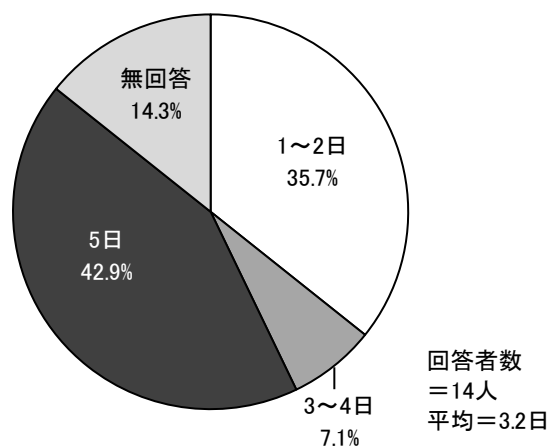


図表4-56 1週あたりの利用希望日数(単数回答)

[低学年(1～3年生)]

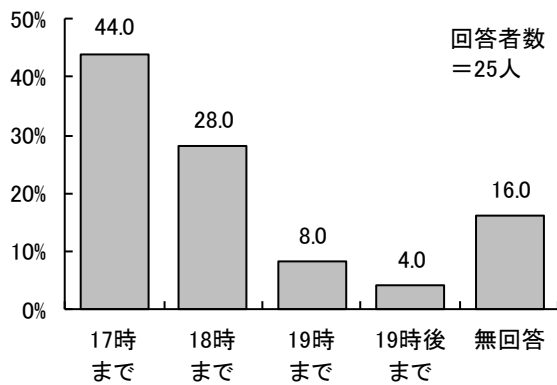


[高学年(4～6年生)]

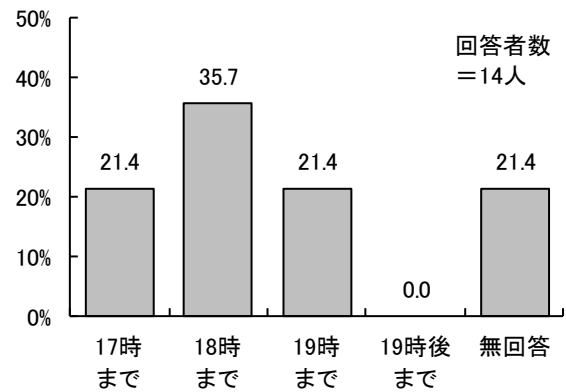


図表4-57 希望終了時間(単数回答)

[低学年(1～3年生)]



[高学年(4～6年生)]

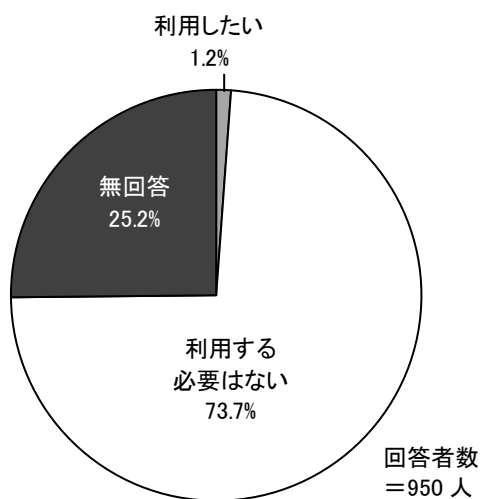


(2)土曜日の放課後等デイサービスの利用意向

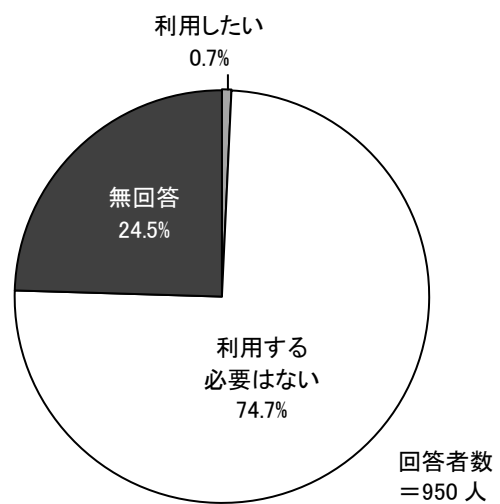
土曜日の放課後等デイサービスの利用意向をみると、「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（1～3年生）時は1.2%、高学年（4～6年生）時は0.7%となっています。

図表4-58 土曜日の放課後等デイサービスの利用意向(単数回答)

[低学年(1～3年生)]



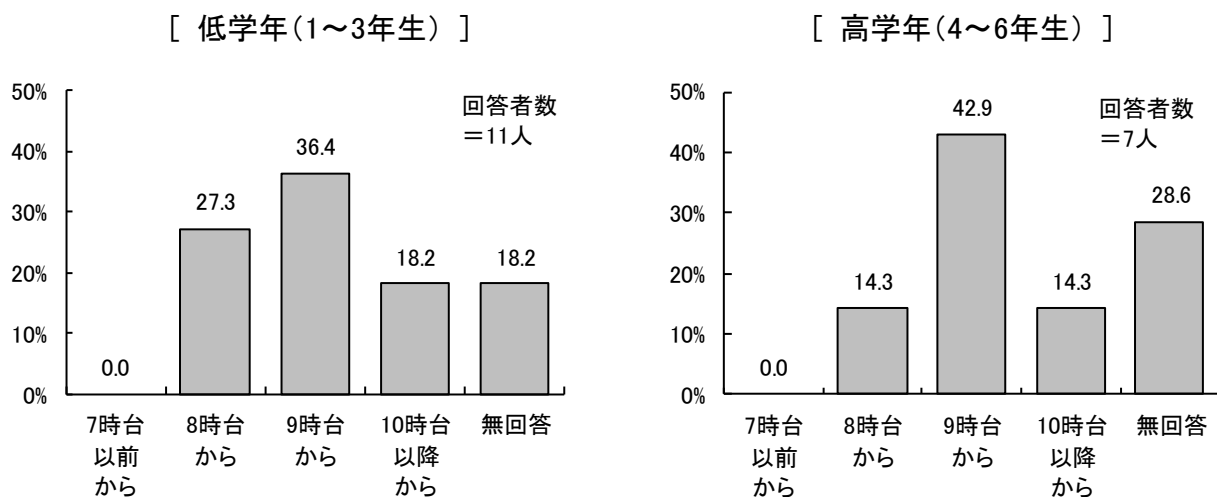
[高学年(4～6年生)]



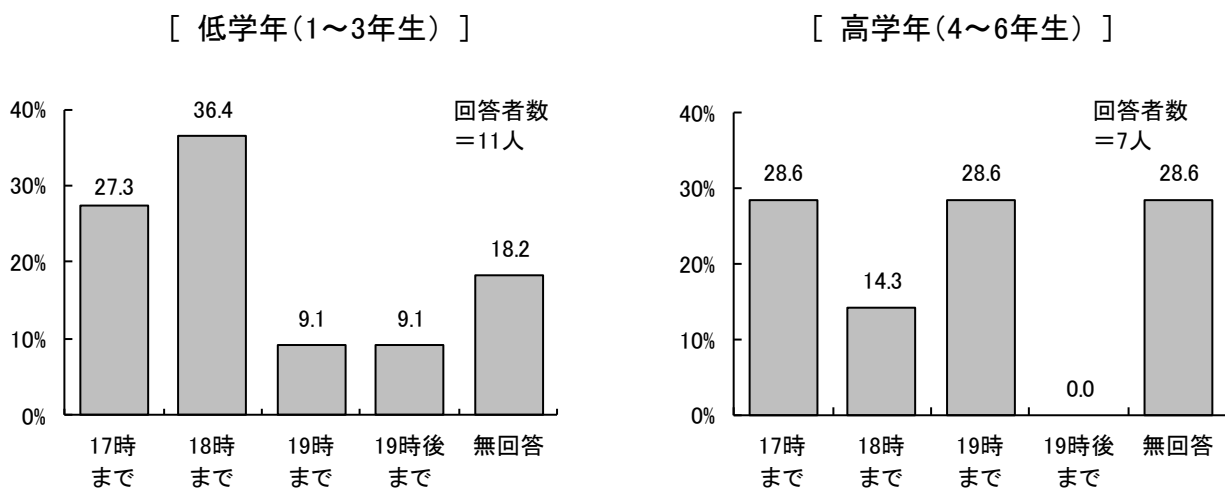
希望開始時間は、低学年（1～3年生）時は「9 時台から」36.4%、高学年（4～6年生）時も「9 時台から」42.9%が、それぞれ最も多くなっています。

希望終了時間は、低学年（1～3年生）時は「18 時まで」36.4%、高学年（4～6年生）時は「17 時まで」「19 時まで」各 28.6%が、それぞれ最も多くなっています。

図表4-59 希望開始時間(単数回答)



図表4-60 希望終了時間(単数回答)



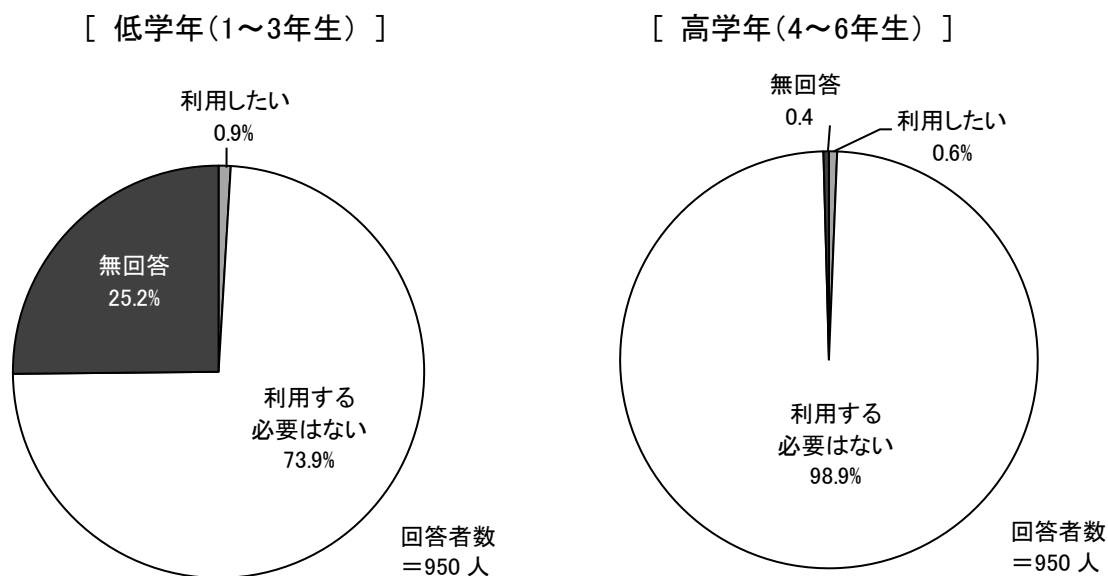
(3) 日曜日・祝日の放課後等デイサービスの利用意向

日曜日・祝日の放課後等デイサービスの利用意向をみると、「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（1～3年生）時は0.9%、高学年（4～6年生）時は0.6%となっています。

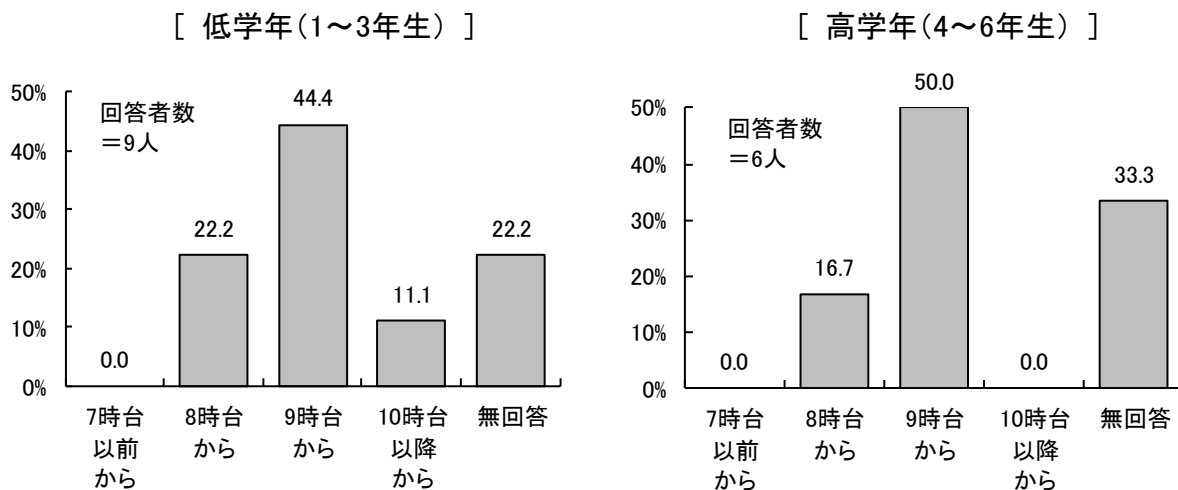
希望開始時間は、低学年（1～3年生）時は「9時台から」44.4%、高学年（4～6年生）時も「9時台から」50.0%が、それぞれ最も多くなっています。

希望終了時間は、低学年（1～3年生）時は「18時まで」44.4%、高学年（4～6年生）時は「19時まで」33.3%が、それぞれ最も多くなっています。

図表4-61 日曜日・祝日の放課後等デイサービスの利用意向(単数回答)

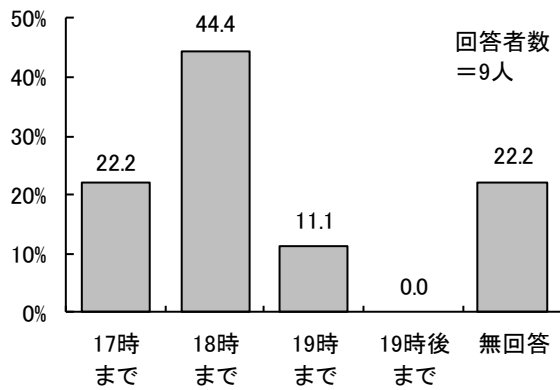


図表4-62 希望開始時間(単数回答)

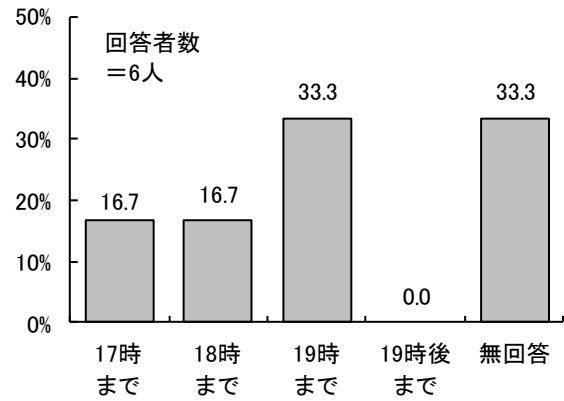


図表4-63 希望終了時間(単数回答)

[低学年(1～3年生)]



[高学年(4～6年生)]

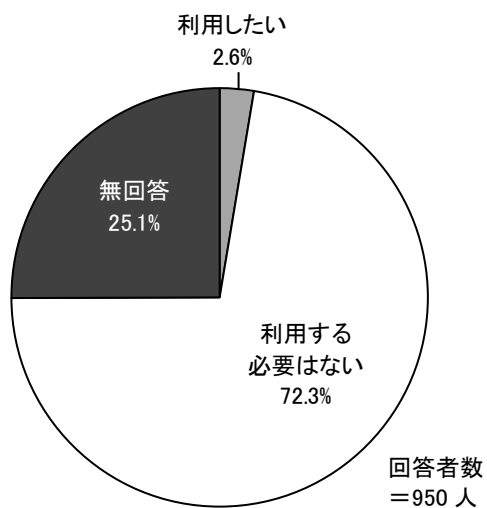


(4) 夏休み等の放課後等デイサービスの利用意向

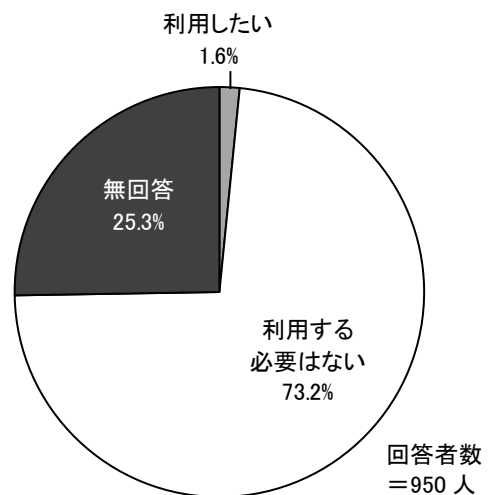
夏休み等の放課後等デイサービスの利用意向をみると、「利用したい」と回答した人の割合は、低学年(1～3年生)時は2.6%、高学年(4～6年生)時は1.6%となっています。

図表4-64 夏休み等の放課後等デイサービスの利用意向(単数回答)

[低学年(1～3年生)]



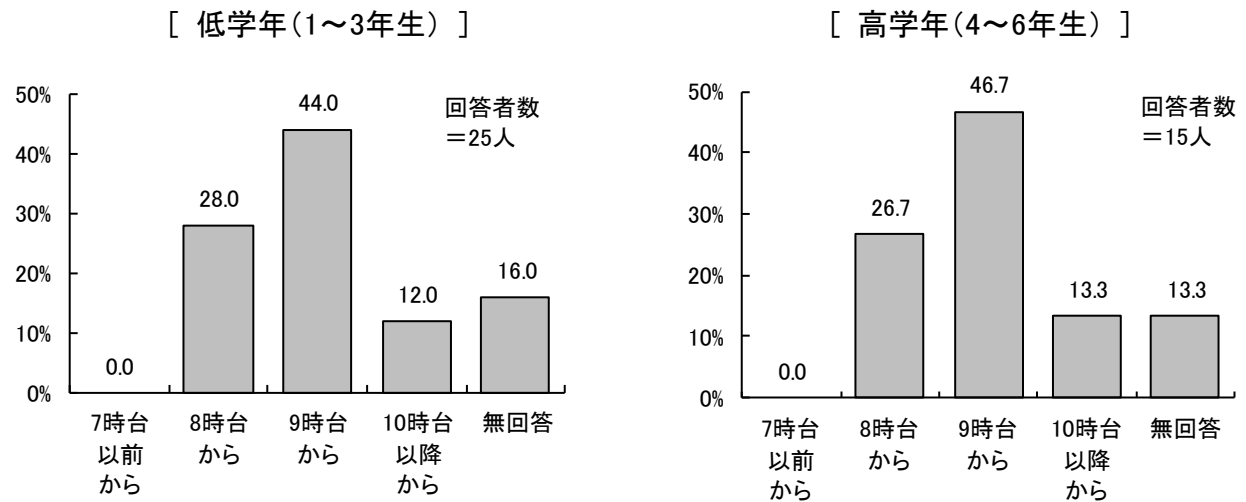
[高学年(4～6年生)]



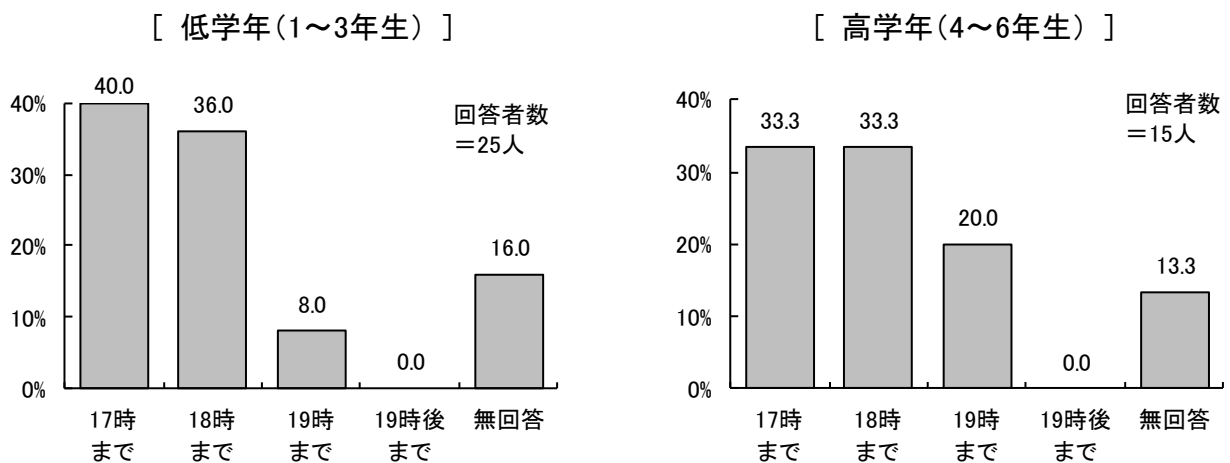
希望開始時間は、低学年（1～3年生）時は「9 時台から」44.0%、高学年（4～6年生）時も「9 時台から」46.7%が、それぞれ最も多くなっています。

希望終了時間は、低学年（1～3年生）時は「17 時まで」40.0%、高学年（4～6年生）時は「17 時まで」「18 時まで」各 33.3%が、それぞれ最も多くなっています。

図表4-65 希望開始時間(単数回答)



図表4-66 希望終了時間(単数回答)



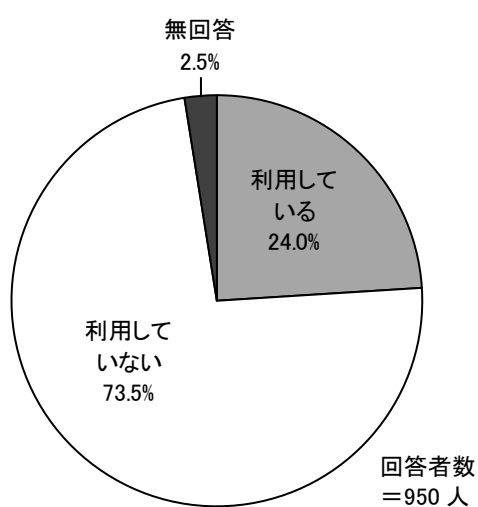
6. キッズ・プラザについて

(1) キッズ・プラザの利用状況

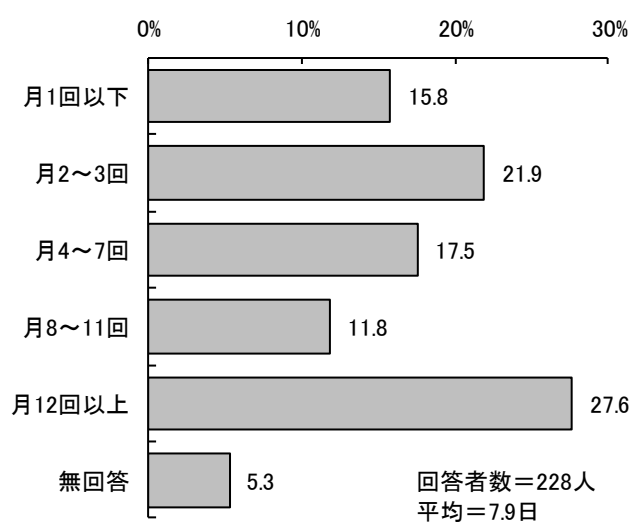
問11 あて名のお子さんのキッズ・プラザの現在の利用状況をお答えください。1 つに○をし、利用している場合は、利用日数を記入してください。

キッズ・プラザの利用状況をみると、「利用している」は24.0%となっています。月あたりの利用日数は、「月12回以上」27.6%、「月2～3回」21.9%の順であり、平均7.9日となっています。

図表4-67 キッズ・プラザの利用状況(単数回答)



図表4-68 キッズ・プラザの月あたりの利用日数(単数回答)



子どもの学年別にみると、「利用している」は小学校１・２年生の各２割台、３年生の１割台となっています。

居住地域別にみると、「利用している」は中部すこやか福祉センター地域が最も多い４６．６％、北部すこやか福祉センター地域が２３．２％、南部すこやか福祉センター及び鷺宮すこやか福祉センター地域が各１割台となっています。

図表４-６９ キッズ・プラザの利用状況

単位（％）

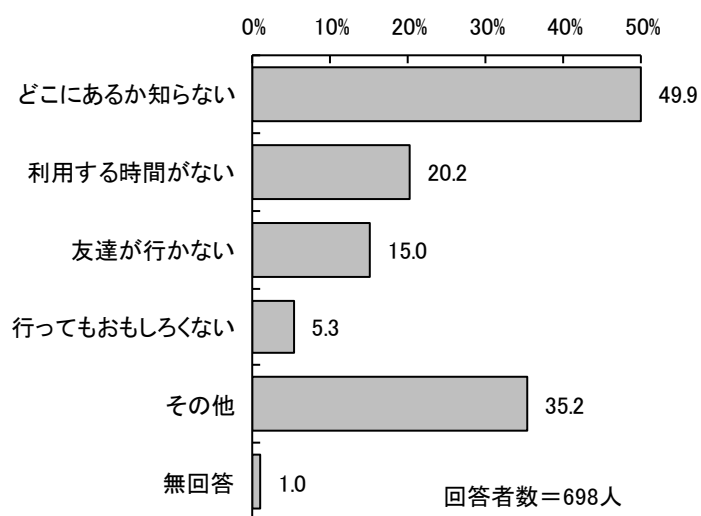
		回答者数（人）	利用している	利用していない	無回答
全 体		950	24.0	73.5	2.5
子どもの学年別	小学校１年生	333	28.5	68.8	2.7
	小学校２年生	292	25.0	72.3	2.7
	小学校３年生	309	18.8	79.6	1.6
居住地域別	中部すこやか福祉センター	223	46.6	51.1	2.2
	北部すこやか福祉センター	272	23.2	74.6	2.2
	南部すこやか福祉センター	184	13.6	84.8	1.6
	鷺宮すこやか福祉センター	267	13.5	82.8	3.7

(2) キッズ・プラザを利用していない理由

問11-1 キッズ・プラザを利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

キッズ・プラザを「利用していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「どこにあるか知らない」49.9%が最も多く、次いで「利用する時間がない」が20.2%、「友達が行かない」が15.0%などとなっています。

図表4-70 キッズ・プラザを利用していない理由(複数回答)

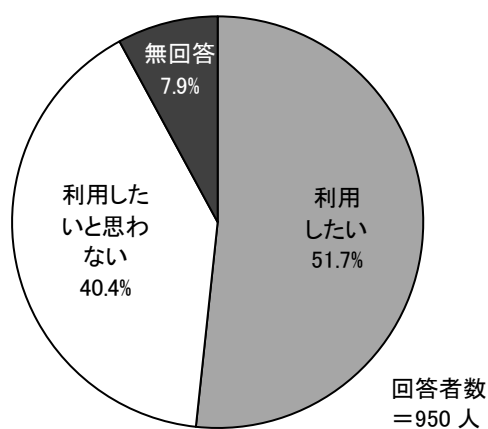


(3) キッズ・プラザの利用意向

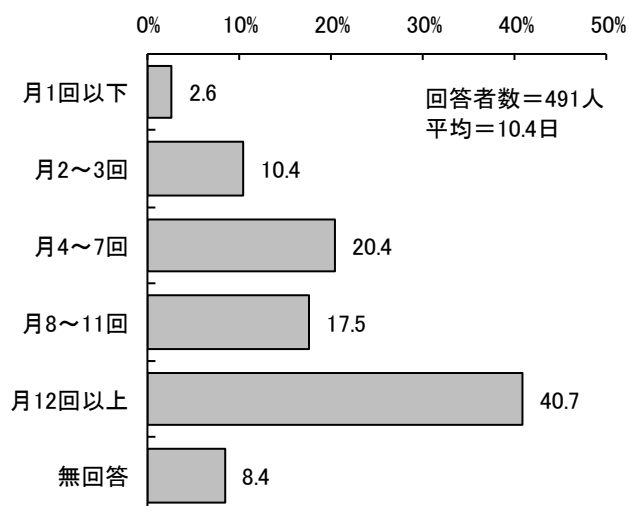
問12 あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、キッズ・プラザの利用を希望しますか。1つに○をし、希望する場合は、利用したい日数を記入してください。

キッズ・プラザの利用意向をみると、「利用したい」は51.7%であり、「利用している」(24.0%)の2倍以上となっています。月あたりの利用希望日数は、「月12回以上」が40.7%と最も多く、平均10.4日となっています。

図表4-71 キッズ・プラザの利用意向(単数回答)



図表4-72 キッズ・プラザの月あたりの利用希望日数(単数回答)



子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学校1・2年生の各5割台、3年生の4割台となっています。

居住地域別にみると、「利用したい」は中部すこやか福祉センター地域が最も多い71.3%、北部すこやか福祉センター地域が54.8%、南部すこやか福祉センター地域が35.3%、鷺宮すこやか福祉センター地域が43.8%となっています。

図表4-73 キッズ・プラザの利用意向

単位(%)

		回答者数(人)	利用したい	利用したいと思わない	無回答
全 体		950	51.7	40.4	7.9
子どもの学年別	小学校1年生	333	57.4	34.5	8.1
	小学校2年生	292	51.0	40.8	8.2
	小学校3年生	309	46.6	46.3	7.1
居住地域別	中部すこやか福祉センター	223	71.3	22.9	5.8
	北部すこやか福祉センター	272	54.8	39.0	6.3
	南部すこやか福祉センター	184	35.3	56.5	8.2
	鷺宮すこやか福祉センター	267	43.8	44.9	11.2

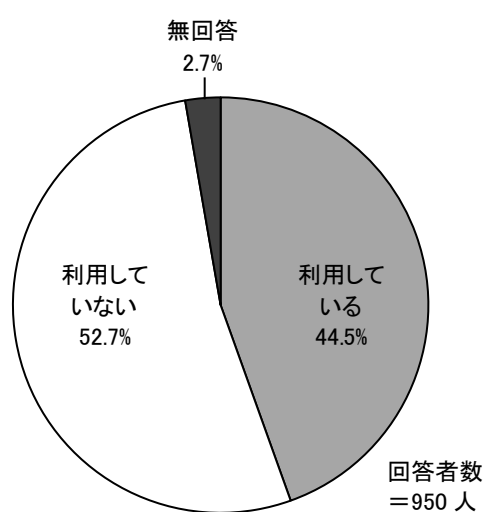
7. 児童館について

(1) 児童館の利用状況

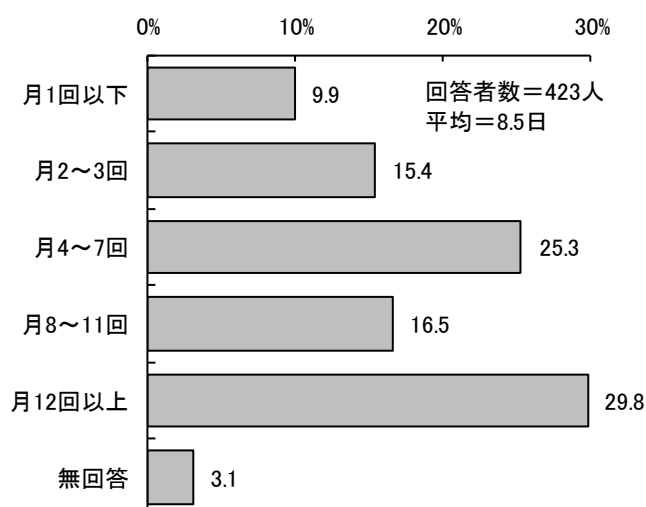
問13 あて名のお子さんの児童館の現在の利用状況をお答えください。1つに○をし、利用している場合は、利用日数を記入してください。

児童館の利用状況をみると、「利用している」は44.5%となっています。月あたりの利用日数は、「月12回以上」29.8%、「月4～7回」25.3%の順であり、平均8.5日となっています。

図表4-74 児童館の利用状況(単数回答)



図表4-75 児童館の月あたりの利用日数(単数回答)



子どもの学年別にみると、「利用している」は小学校1・2年生の各4割台、3年生の約5割となっています。

居住地域別にみると、「利用している」は中部すこやか福祉センター及び北部すこやか福祉センター地域が各3割台、南部すこやか福祉センター及び鷺宮すこやか福祉センター地域が各5割台となっています。

図表4-76 児童館の利用状況

単位(%)

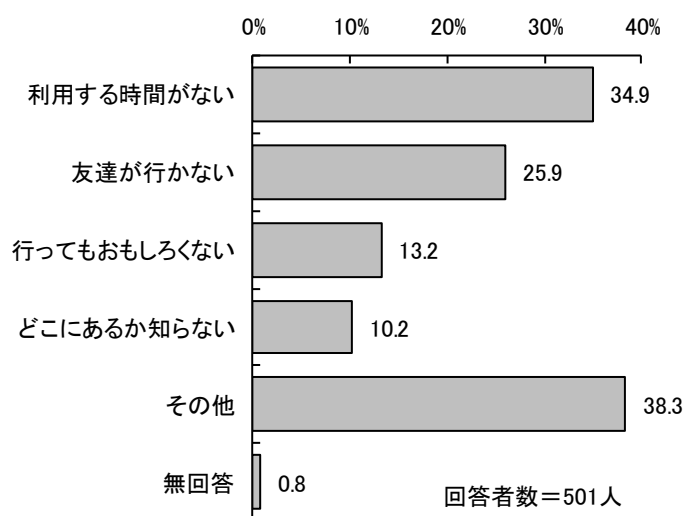
		回答者数(人)	利用している	利用していない	無回答
全 体		950	44.5	52.7	2.7
子どもの学年別	小学校1年生	333	40.5	57.1	2.4
	小学校2年生	292	44.2	53.1	2.7
	小学校3年生	309	49.5	48.2	2.3
居住地域別	中部すこやか福祉センター	223	32.3	65.5	2.2
	北部すこやか福祉センター	272	34.2	63.6	2.2
	南部すこやか福祉センター	184	55.4	42.9	1.6
	鷺宮すこやか福祉センター	267	58.1	37.5	4.5

(2) 児童館を利用していない理由

問13-1 児童館を利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

児童館を「利用していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「利用する時間がない」34.9%、「友達が行かない」25.9%、「行ってもおもしろくない」13.2%の順であり、「どこにあるか知らない」は10.2%でした。

図表4-77 児童館を利用していない理由(複数回答)

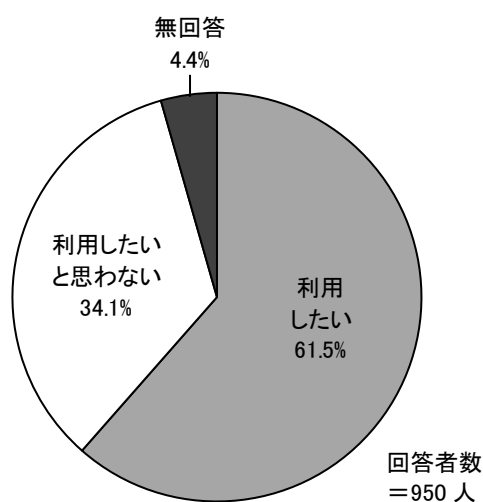


(3) 児童館の利用意向

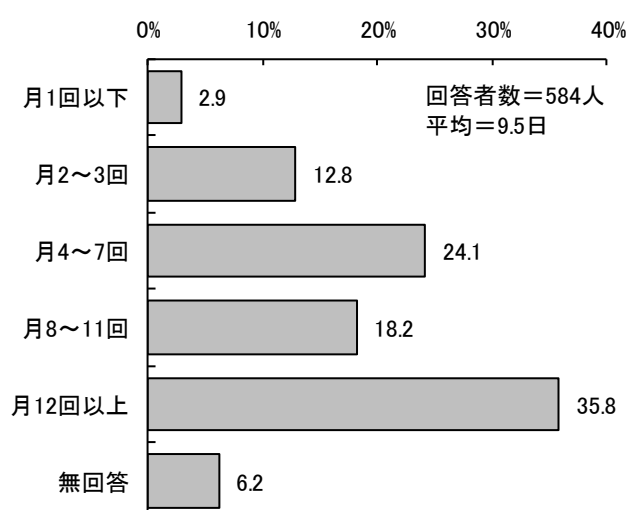
問14 あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、児童館の利用を希望しますか。1つに○をし、希望する場合は、利用したい日数を記入してください。

児童館の利用意向をみると、「利用したい」は61.5%となっています。月あたりの利用希望日数は「月12回以上」35.8%、「月4～7回」24.1%の順であり、平均9.5日となっています。

図表4-78 児童館の利用意向(単数回答)



図表4-79 児童館の月あたりの利用希望日数(単数回答)



子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学校1・2年生の各6割台、3年生の5割台となっています。

居住地域別にみると、「利用したい」は中部すこやか福祉センター及び北部すこやか福祉センター地域が各5割台、南部すこやか福祉センター及び鷺宮すこやか福祉センター地域が各6割台となっています。

図表4-80 児童館の利用意向

単位(%)

		回答者数(人)	利用したい	利用したいと思わない	無回答
全 体		950	61.5	34.1	4.4
子どもの学年別	小学校1年生	333	63.7	32.4	3.9
	小学校2年生	292	63.4	32.2	4.5
	小学校3年生	309	58.6	37.2	4.2
居住地域別	中部すこやか福祉センター	223	57.0	38.1	4.9
	北部すこやか福祉センター	272	54.8	41.2	4.0
	南部すこやか福祉センター	184	69.0	27.2	3.8
	鷺宮すこやか福祉センター	267	67.0	28.1	4.9

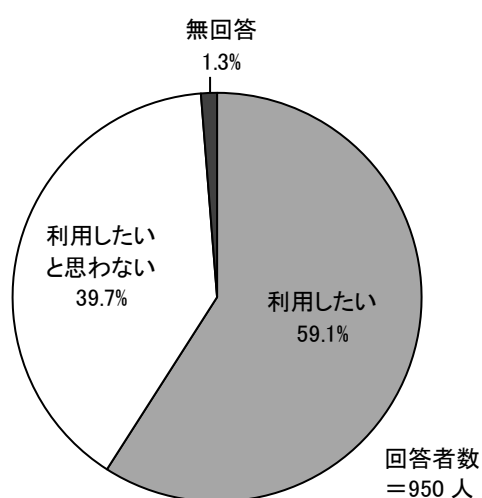
8. 病児・病後児保育事業について

(1) 病児・病後児保育事業の利用意向

問15 あて名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならない時に、預けることができる事業があったら利用したいと思いますか。(○は1つ)

病児・病後児保育事業の利用意向をみると、「利用したい」と回答した人の割合は、59.1%と約6割を占めています。

図表4-81 病児・病後児保育事業の利用意向(単数回答)



子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学校1・2年生では各6割前後、3年生では5割台となっています。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」はひとり親家庭及びフルタイム共働き家庭の各7割台、フルタイム・パート共働き家庭及びパートタイム共働き家庭の各6割台、専業主婦（夫）家庭では4割台となっています。

図表4-82 病児・病後児保育事業の利用意向

単位(%)

		回答者数(人)	利用したい	利用したいと思わない	無回答
全 体		950	59.1	39.7	1.3
子どもの学年別	小学校1年生	333	59.5	39.3	1.2
	小学校2年生	292	61.6	38.4	0.0
	小学校3年生	309	55.3	42.1	2.6
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	50	70.0	28.0	2.0
	フルタイム共働き	225	71.6	27.6	0.9
	フルタイム・パート共働き	268	62.3	36.2	1.5
	専業主婦(夫)	374	47.3	51.6	1.1
	パートタイム共働き	8	62.5	37.5	0.0
	夫婦とも無業	5	80.0	20.0	0.0

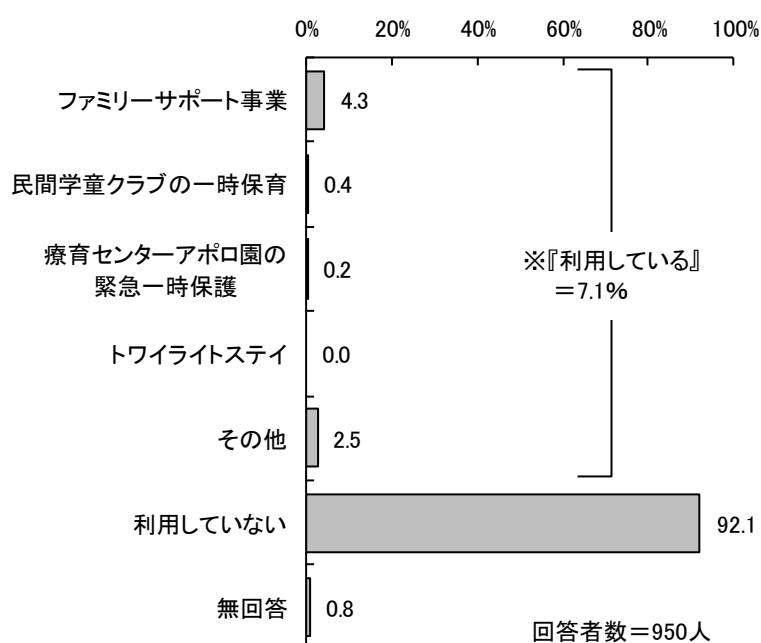
9. 一時預かり事業について

(1) 一時預かり事業の利用状況

問16 あて名のお子さんについて、私用、冠婚葬祭、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をし、1年間の利用日数（おおよそ）を記入してください。

一時預かり事業の利用状況は、「利用していない」が 92.1%であり、『利用している』（100%から「利用していない」と「無回答」を除いた割合）は 7.1%となっています。利用している事業としては、「ファミリーサポート事業」が 4.3%、「民間学童クラブの一時保育」が 0.4%などであり、利用日数（年間）の平均は、「ファミリーサポート事業」が 17.7 日、「民間学童クラブの一時保育」が 11.0 日などとなっています。

図表4-83 一時預かり事業の利用状況（複数回答）



※『利用している』 = 100% - 「利用していない」 - 「無回答」

図表4-84 一時預かり事業の利用日数（年間）

	回答者数 (人)	単位 (%)						平均 日数 (日)
		1～4 日	5～9 日	10～ 19 日	20～ 29 日	30 日 以上	無回答	
ファミリーサポート事業	41	29.3	7.3	17.1	4.9	17.1	24.4	17.7
民間学童クラブの一時保育	4	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	11.0
療育センターアポロ園の緊急一時保護	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
トワイライトステイ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
その他	24	20.8	4.2	25.0	12.5	20.8	16.7	20.2

子どもの学年別にみると、『利用している』は小学校 1 年生の 7.8%、2 年生の 6.9%、3 年生の 5.8%となっています。

就労形態からみた家庭類型別にみると、『利用している』はひとり親家庭の 18.0%とフルタイム共働き家庭の 11.6%が、他に比べて多くなっています。

図表4-85 一時預かり事業の利用状況

単位(%)

		回答者数(人)	ファミリーサポート事業	民間児童クラブの一時保育	療育センター・アポロ園の緊急一時保護	トワイライトステイ	その他	利用していない	無回答	※『利用している』
全 体		950	4.3	0.4	0.2	0.0	2.5	92.1	0.8	7.1
子どもの学年別	小学校 1 年生	333	4.8	0.6	0.0	0.0	2.4	91.6	0.6	7.8
	小学校 2 年生	292	4.1	0.3	0.3	0.0	2.4	92.8	0.3	6.9
	小学校 3 年生	309	3.2	0.3	0.3	0.0	2.9	92.6	1.6	5.8
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	50	12.0	2.0	0.0	0.0	4.0	82.0	0.0	18.0
	フルタイム共働き	225	8.4	0.9	0.0	0.0	3.1	88.0	0.4	11.6
	フルタイム・パート共働き	268	2.6	0.4	0.0	0.0	2.6	94.0	0.7	5.3
	専業主婦(夫)	374	2.4	0.0	0.5	0.0	1.6	94.9	0.8	4.3
	パートタイム共働き	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	夫婦とも無業	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	20.0

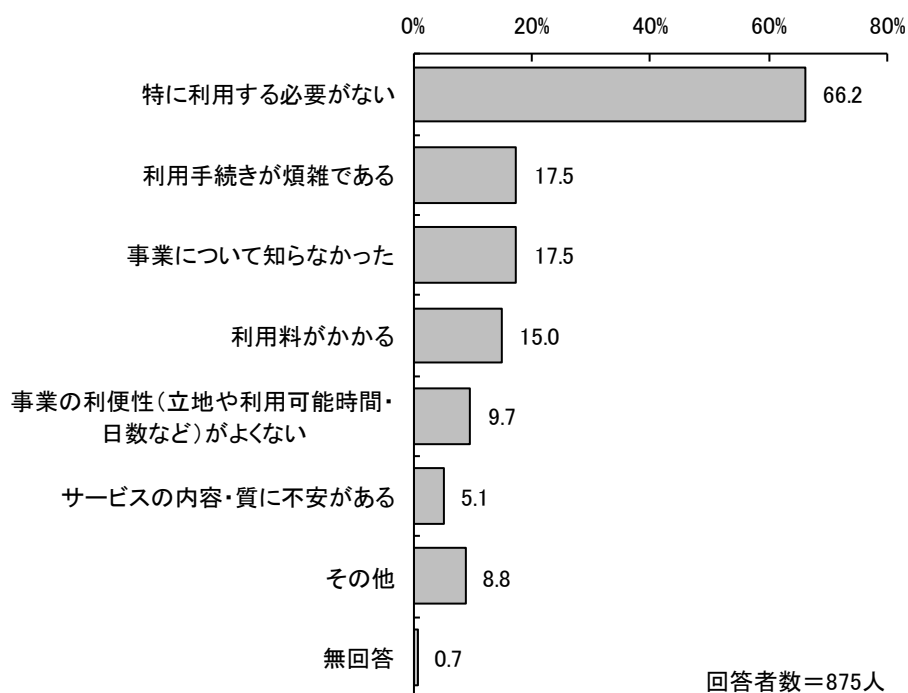
※『利用している』＝100%－「利用していない」－「無回答」

(2)一時預かり事業を利用していない理由

問16-1 利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

一時預かり事業を「利用していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「特に利用する必要がない」66.2%が最も多く、次いで「利用手続きが煩雑である」「事業について知らなかった」が各17.5%となっています。

図表4-86 一時預かり事業を利用していない理由(複数回答)

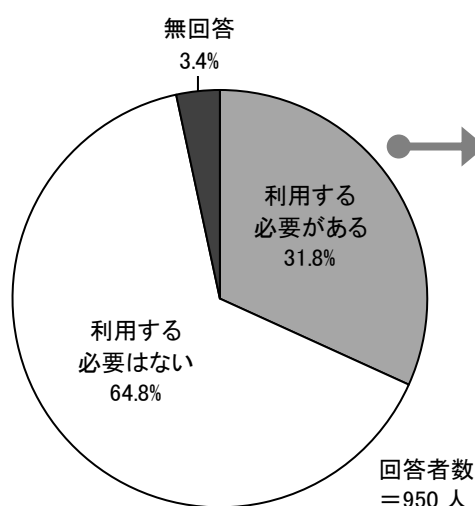


(3)一時預かり事業の利用意向

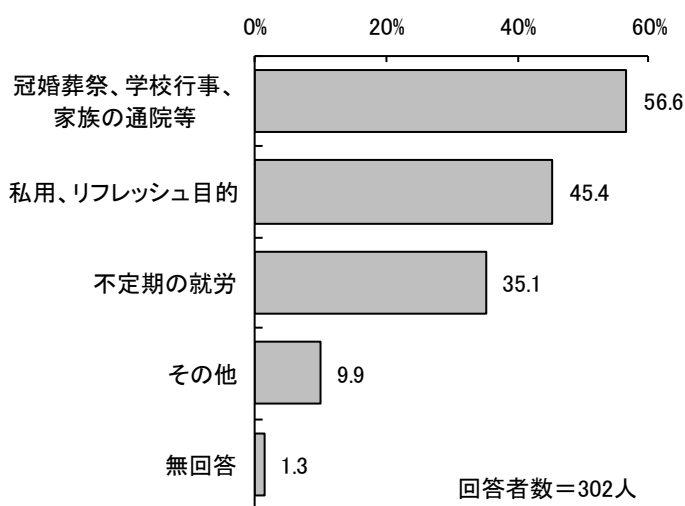
問17 あて名のお子さんについて、私用、冠婚葬祭、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり事業（問16の1～4の事業）を利用する必要があると思いますか。1つに○をし、ある場合は、目的別に必要な日数を記入してください。

一時預かり事業の利用意向をみると、「利用する必要がある」は31.8%であり、その利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」56.6%、「私用、リフレッシュ目的」45.4%、「不定期の就労」35.1%の順となっています。利用希望日数（年間）の平均は、「不定期の就労」の場合が14.4日、「私用、リフレッシュ目的」の場合が11.5日などとなっています。

図表4-87 一時預かり事業の利用意向(単数回答)



図表4-88 利用目的(複数回答)



図表4-89 一時預かり事業の利用希望日数(年間)

	回答者数 (人)	単位(%)						平均 日数 (日)
		1～4 日	5～9 日	10～ 19日	20～ 29日	30日 以上	無回答	
冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等	171	34.5	25.1	23.4	6.4	5.3	5.3	8.8
私用、リフレッシュ目的	137	31.4	21.9	27.7	9.5	9.5	0.0	11.5
不定期の就労	106	21.7	20.8	34.0	9.4	8.5	5.7	14.4
その他	30	16.7	16.7	13.3	6.7	16.7	30.0	19.7

子どもの学年別にみると、「利用する必要がある」は、小学校１・２年生の各３割台、３年生の２割台であり、学年が低いほど多くなっています。

就労形態からみた家庭類型別にみると、ひとり親家庭、フルタイム共働き家庭及び専業主婦（夫）家庭の各３割台、フルタイム・パート共働き家庭の約３割が「利用する必要がある」と回答しています。

図表4-90 一時預かり事業の利用意向

単位(%)

		回答者数(人)	利用 する 必要 がある	利用 する 必要 はない	無 回 答
全 体		950	31.8	64.8	3.4
子どもの学年別	小学校１年生	333	36.3	61.3	2.4
	小学校２年生	292	31.5	65.4	3.1
	小学校３年生	309	26.2	69.6	4.2
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	50	34.0	60.0	6.0
	フルタイム共働き	225	34.2	61.3	4.4
	フルタイム・パート共働き	268	29.5	67.9	2.6
	専業主婦（夫）	374	32.4	65.2	2.4
	パートタイム共働き	8	25.0	75.0	0.0
	夫婦とも無業	5	40.0	40.0	20.0

10. ショートステイについて

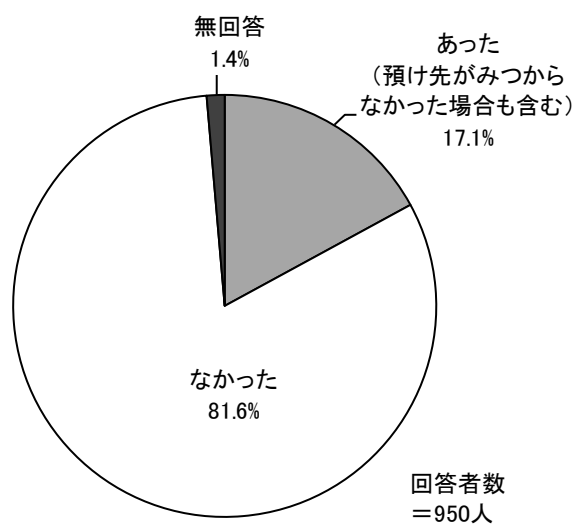
(1) 泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験

問18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

（○は1つ）

泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験が「あった（預け先がみつからなかった場合も含む）」は、17.1%と2割弱となっています。

図表4-91 泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験（単数回答）



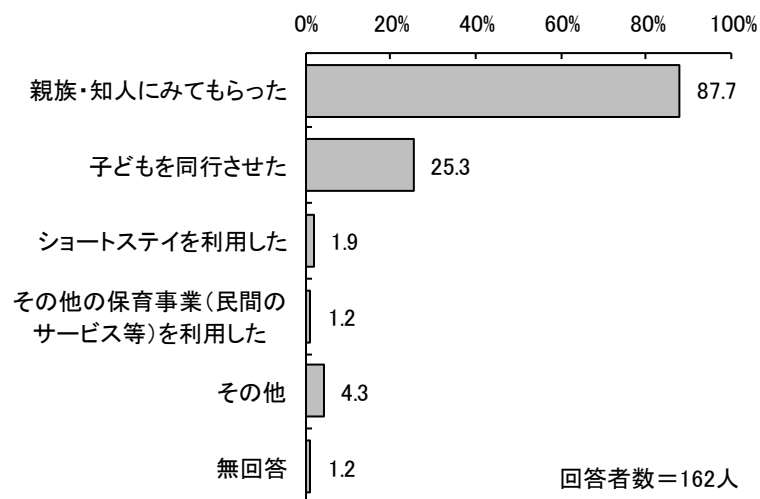
(2)泊まりがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法

問18-1 この1年間に行った対処方法すべてに○をし、日数(おおよそ)を記入してください。

泊まりがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が87.7%と最も多く、次いで「子どもを同行させた」が25.3%であり、「ショートステイを利用した」は1.9%、「その他の保育事業(民間のサービス等)を利用した」は1.2%となっています。

対処方法別の日数(年間)の平均は、「ショートステイを利用した」が14.8日、「親族・知人にみてもらった」が6.6日などとなっています。

図表4-92 泊まりがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法(複数回答)



図表4-93 対処方法別の日数(年間)

単位(%)								
	回答者数(人)	1~2日	3~4日	5~9日	10~19日	20日以上	無回答	平均日数(日)
親族・知人にみてもらった	142	27.5	17.6	22.5	19.7	4.9	7.7	6.6
子どもを同行させた	41	46.3	17.1	14.6	17.1	0.0	4.9	4.2
ショートステイを利用した	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	14.8
その他の保育事業を利用した	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
その他	7	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	9.1

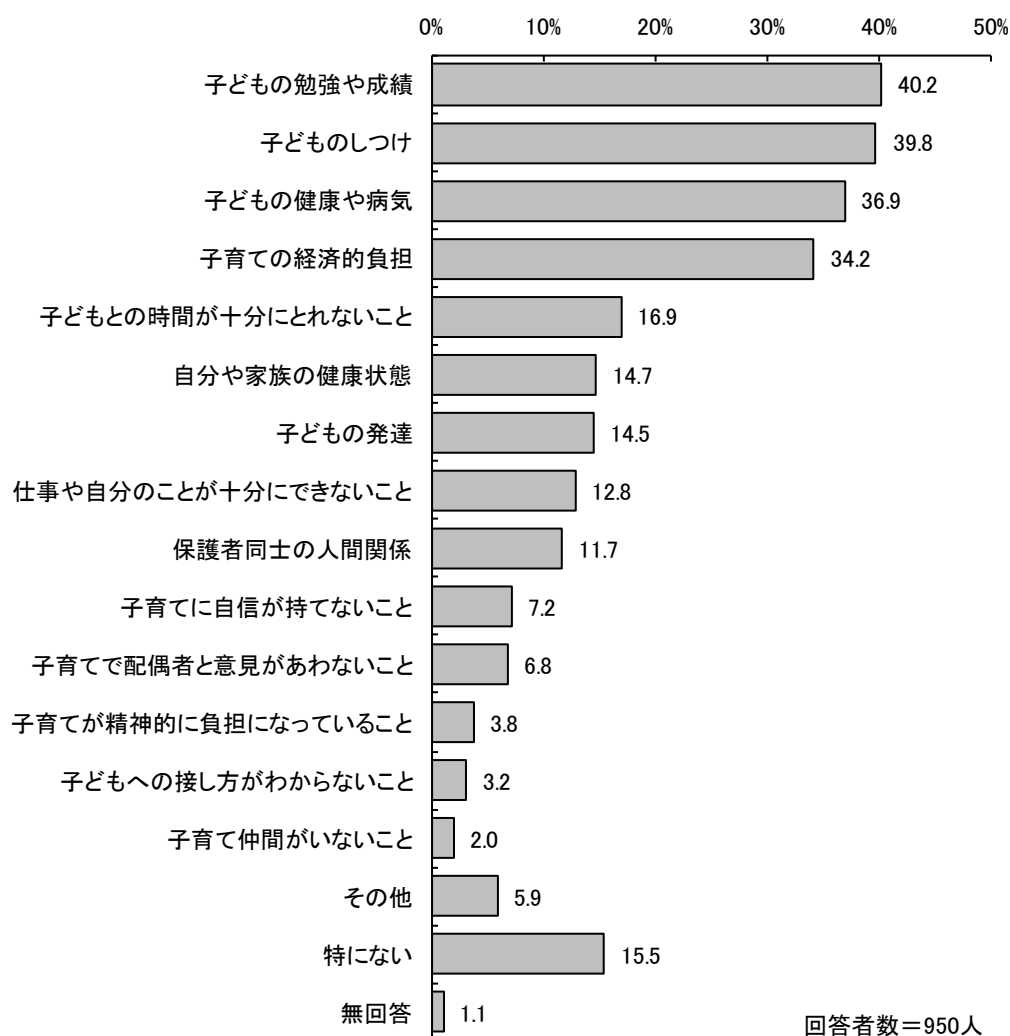
11. 子育ての状況や子育て支援に対する意向

(1) 子育てや教育を行うにあたっての心配ごと

問19 あて名のお子さんの子育てや教育を行うにあたって、心配なことはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

子育てや教育を行うにあたっての心配ごとは、「子どもの勉強や成績」が40.2%と最も多く、次いで「子どものしつけ」39.8%、「子どもの健康や病気」36.9%、「子育ての経済的負担」34.2%の順となっています。

図表4-94 子育てや教育を行うにあたっての心配ごと(複数回答)

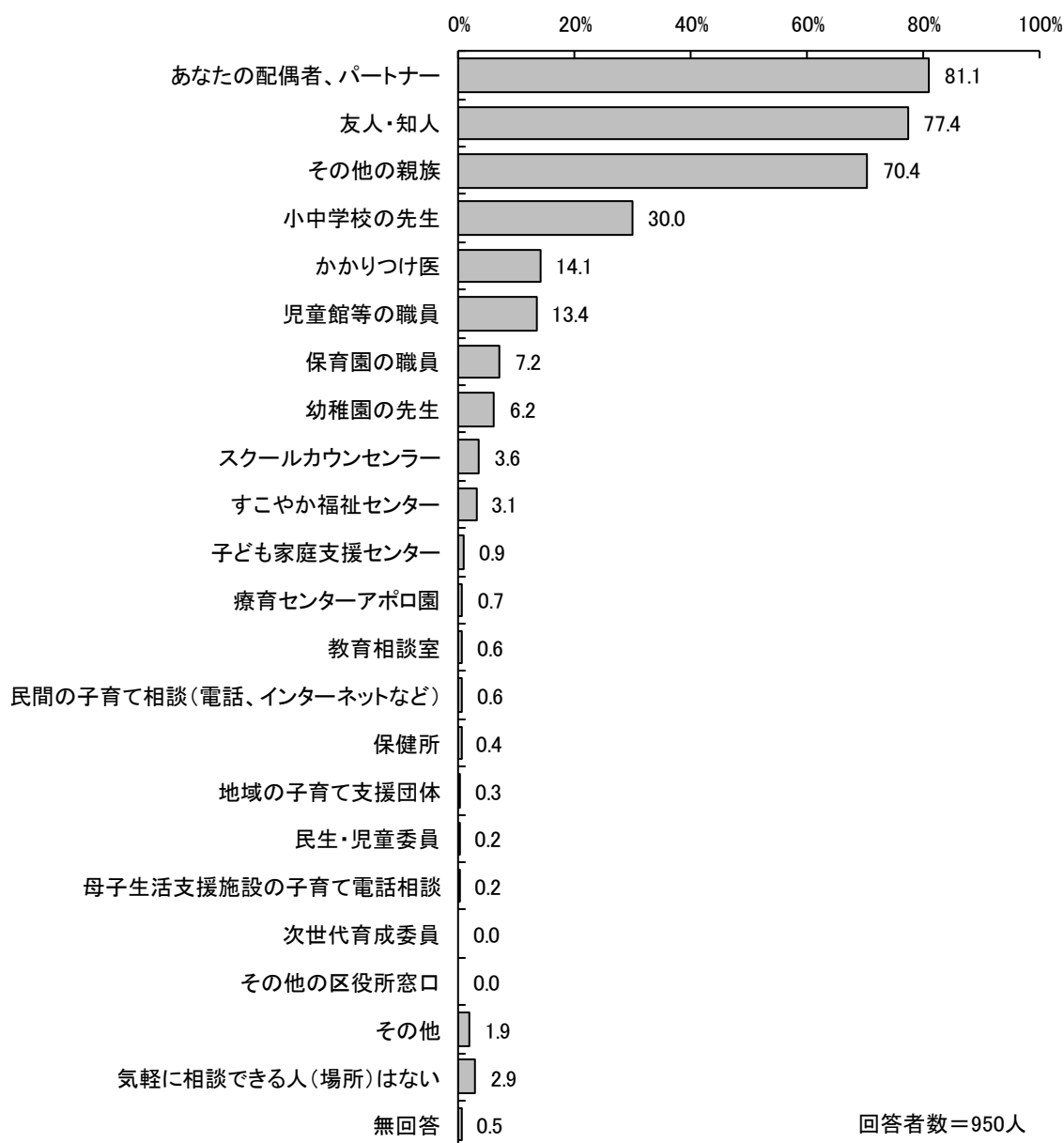


(2)子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所

問20 あて名のお子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所はありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所は、「あなたの配偶者、パートナー」81.1%に次いで、「友人・知人」77.4%、「その他の親族」70.4%、「小中学校の先生」30.0%、「かかりつけ医」14.1%の順となっています。「気軽に相談できる人（場所）はない」は2.9%でした。

図表4-95 子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所(複数回答)



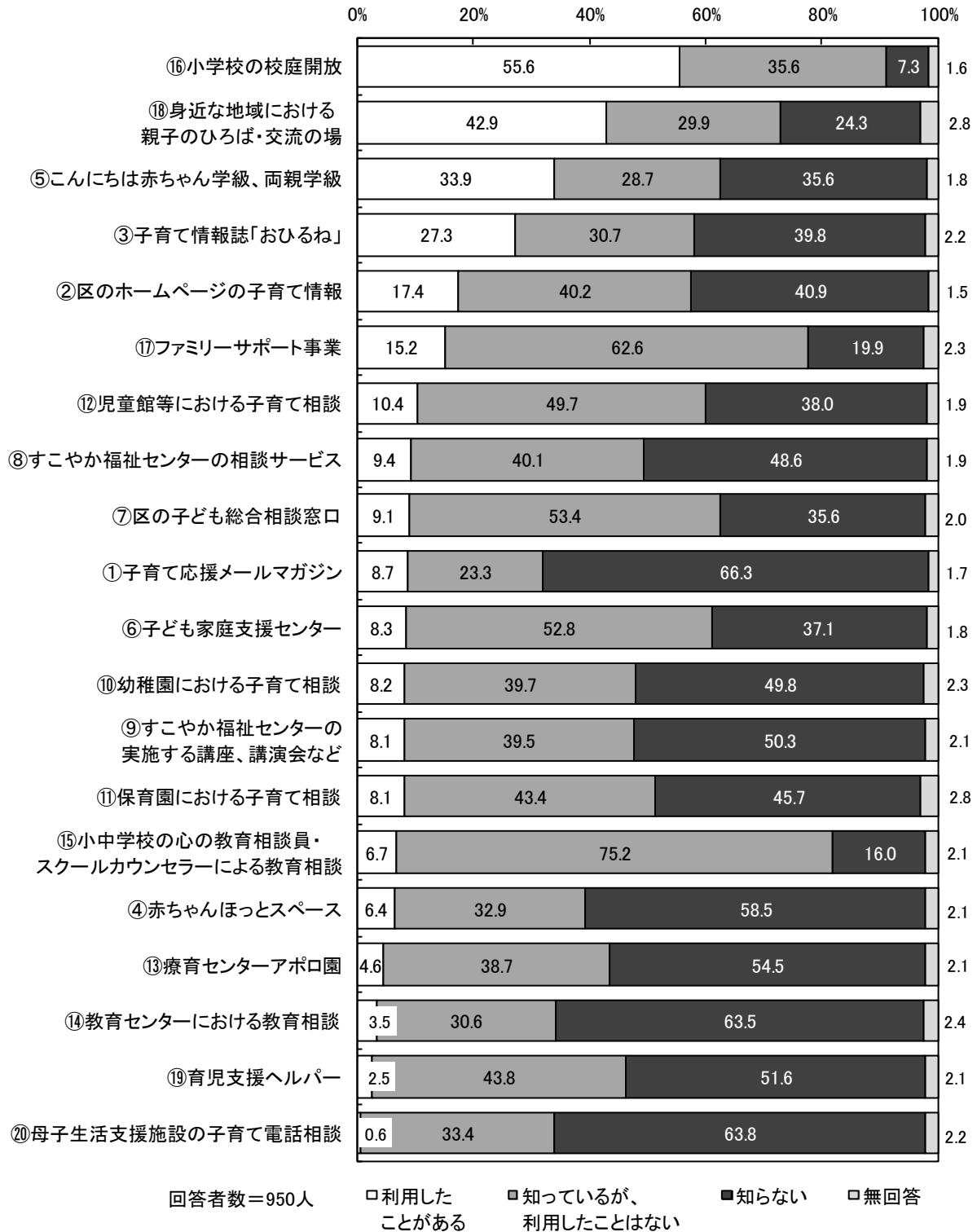
(3)子育て支援サービスの認知・利用状況

問21 下記の子育て支援サービスについて、サービスごとにそれぞれ1つに○をしてください。

子育て支援サービスの認知・利用状況をみると、「利用したことがある」割合は、《⑩小学校の校庭開放 55.6%》、《⑱身近な地域における親子のひろば・交流の場 42.9%》、《⑤こんにちは赤ちゃん学級、両親学級 33.9%》、《③子育て情報誌「おひるね」 27.3%》、《②区のホームページの子育て情報 17.4%》の順となっています。反対に、最も割合の低いのは《⑳母子生活支援施設の子育て電話相談 0.6%》であり、次いで《⑲育児支援ヘルパー 2.5%》、《⑭教育センターにおける教育相談 3.5%》となっています。

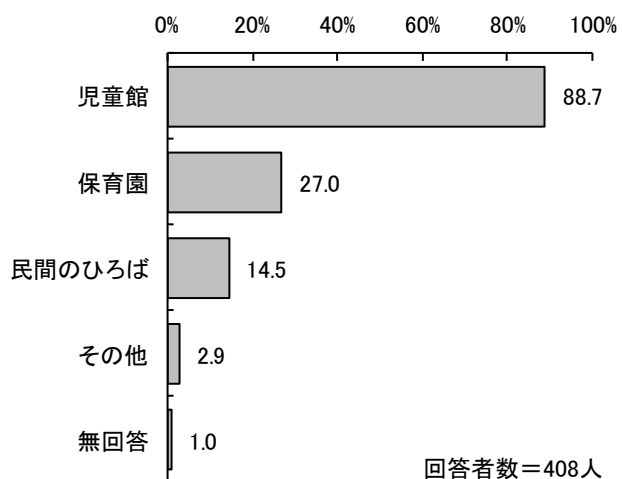
また、「知らない」と回答した人の割合は、《①子育て応援メールマガジン 66.3%》、《⑳母子生活支援施設の子育て電話相談 63.8%》、《⑭教育センターにおける教育相談 63.5%》の順となっています。

図表4-96 子育て支援サービスの認知・利用状況(各単数回答)



⑱身近な地域における親子のひろば・交流の場を「利用したことがある」と回答した人が利用した場は、「児童館」が88.7%と最も多く、次いで「保育園」が27.0%、「民間のひろば」が14.5%となっています。

図表4-97 ⑱利用したことがある親子のひろば・交流の場(複数回答)

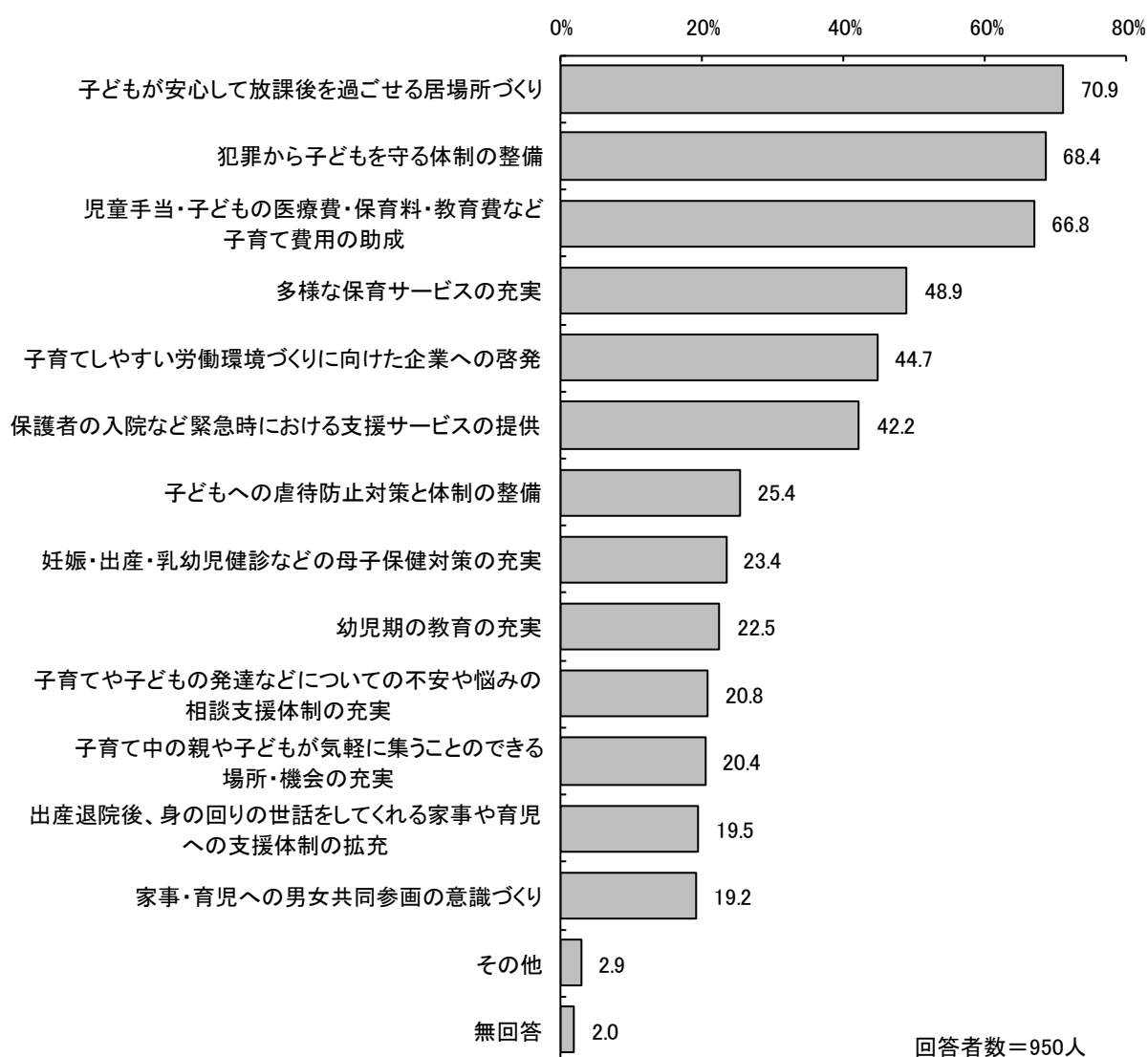


(4)進めてほしい子育て支援策

問22 今後、子育て支援策として、どのようなことが進んでいけばいいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)

進めてほしい子育て支援策は、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり」70.9%、「犯罪から子どもを守る体制の整備」68.4%、「児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」66.8%、「多様な保育サービスの充実」48.9%、「子育てしやすい労働環境づくりに向けた企業への啓発」44.7%が上位5位となっています。

図表4-98 進めてほしい子育て支援策(複数回答)



12. 区の子育て支援策に関する意見・要望

問23 区の子育て支援施策に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

(353 件について分類・要約して記載)

1) 学童クラブについて 92 件

- ・安全を考えると、親の就労に関係なく学童を利用でき、放課後学校内で過ごせればと思います。
- ・今年から小学生で学童クラブにお世話になっています。とても楽しいようで、休日の土曜日もヒマさえあればキッズ・プラザへ遊びに行っています。このような居場所があることにとても感謝しています。
- ・数年後は民間委託になると聞いていますが、運営体制が変わっても子ども達が気軽に遊びに行けるような場であってほしいと思っています。
- ・夏休み等学校休業日の区立学童クラブの開設時間を、小学校の開門時間と同様に 8 : 00 からにしてほしいです。
- ・先生方がとても親身になって接してくださり助かっております。子どもも楽しんで過ごしております。学童クラブ・児童館がなくならないことを願います。
- ・学童クラブは学校内にあるのが望ましいです。子どもだけの移動があるより安心です。また、料金ですが、朝延長だけ引き落としではないのが、小さいことですが不便です。
- ・学童クラブに入所したいと思っている人が全員入れるようにしてほしいです。その時必要なサービスはその時受けることができないと意味がありません。待機者が出ないようにしてください。
- ・学童クラブの委託業者について、数年ごとに見直し入札をする仕組みになっているようですが、大きな問題がなければ業者を変更しないしてほしいです。ある日からスタッフ全員が変わってしまうことが、どれだけマイナスか。サービス向上になりません。
- ・学童クラブは大変ありがたいですが、遊びばかりでもう少し勉強タイムの徹底した時間を取っていただければと切望します。
- ・学童クラブやキッズ・プラザを利用し帰宅する際、例えば夕方 4 時、5 時、6 時など、一定の時間だけでもいいので職員の方が途中まで送っていただけると助かります。冬は暗くなるのが早く、低学年は 1 人で帰宅させるのは心配です。
- ・学童保育でも休日（日曜日）対応してくれる場がほしいです。
- ・練馬区で、学童クラブに入室しカードをタッチすると、就労中の親の携帯に「着きました」というメールが届くシステムがあり、親にとっては安心できると思いました。

2) 保育・教育・子育て支援サービスについて 74 件

- ・認可保育園には満足していますが、認証や無認可のレベルの低さに驚かされることが多くあります。保護者の状況にかかわらず、子どもにはある程度質の保たれたサービスを提供すべきです。幼い頃から格差が存在するのはおかしいです。

- ・ 区立幼稚園はとても親身に子どもの発達を第一に、日々保育していただいています。発達に応じて小学校生活への移行も踏まえて教育活動をしてくださってとても感謝しております。
- ・ 区立幼稚園を絶対に存続させてください。子どもだけでなく、親をしっかり育ててくださっています。子どもの問題は親の問題です。親までを育ててくださることはとても大事なことだと感じます。
- ・ 区立の施設をどんどん減らし民営化すればいいというものでもないと思います。利用時間などそれまでよりもよくなることもあります、そればかりではない気がします。
- ・ 病児や緊急時のサービスを利用していますが、いざという時にあてにできません。少しくらい費用が高くていいので、確実に使えるサービスにしてほしいです。
- ・ 子どもが幼稚園の時、ファミリーサポートをよく利用しましたが、利用しない期間が長くなると、次の機会に利用しづらいことが少し困ります。
- ・ ファミリーサポートに登録はしているものの利用料金が高いため、結局依頼できずにいます。もう少し負担が少なければ利用したいのですが・・・。
- ・ 地方出身なので東京に親せき、友人がいない中の初めての出産で気がめいっていました。出産退院後せめて1～2週間は身の回りの世話をしてくれる施設をつくって、そこに親子で入って世話をしていただけるとような支援をしてほしいです。
- ・ 重度の障害があり、人工呼吸器をつけ自宅療養中ですが、区内に一時預かり、ショートステイができる場所がなく困っています。現在都立の施設のショートの申し込みをしていますが、毎日申込んでも3か月に5日間くらいしか入れず、24時間看護をしているので体がつらいです。

3)放課後の居場所・遊び場について 63 件

- ・ キッズ・プラザを早急に全小学校に開設してほしいです。設置校とない小学校の児童では安全・安心面での差が大きすぎると思います。卒会したばかりの4年生の放課後や夏休みがとても心配です。
- ・ キッズ・プラザはランドセルを家に置きに帰る必要がなく、安全な場所で子どもを遊ばせることができるいい制度だと思います。
- ・ 家がやや学校より遠いため、あまりキッズ・プラザに行きたがりません（自転車も不可なので）。近くの友達の家の前でサッカーなどやったりしているので、公園などで自由に球技などもできるようになったらいいなあと思います。
- ・ 児童館がどんどんなくなっていて、子ども、とくに乳幼児の行き場所がなくなっているように思います。
- ・ 以前は児童館が日曜日にも開館していましたが、なぜやめてしまったのですか。残念です。子どもが信頼して話せる大人が周りに多くいた方がいいと思います。その役割を児童館の職員にこそ担っていただきたいです。
- ・ 子どもが遊びに行きたくなる魅力的な遊具や森・自然・広さ・施設等のある公園が中野区には少ないと思います。みなみ児童館の草原や公園がなくなることは本当に残念です。
- ・ スポーツ施設の充実をお願いします。中野体育館にプールやフットサル場をつくってほしいです。

4)子育て環境について 37 件

- ・通学時の通学路の安全対策。時間規制と速度制限表示。特に低学年の子どもは意識が別のところに移りやすいため、頭で交通ルールを理解していてもいざという時に反応できないものです。周囲の大人たちが気をつけてあげることが大事だと思います。
- ・子ども達だけで外遊び（校庭以外）が安心してできる環境づくりをお願いします。地域の目、親以外で子どもを叱ってくれる環境の充実を希望します。
- ・犯罪から子どもを守る、虐待防止、これが最も重要だと思います。
- ・犯罪発生状況メールはとても役に立っています。特に子どもに対する危険な情報があったら、すぐにお知らせしていただけると助かります。
- ・働きたくても思うように働ける時間がとれないのが辛いです。子どものそばでできる仕事があれば助かります。パソコンができないため仕事を選ぶのが限られてしまいます。中野区に職業安定所をつくってください。
- ・自治体や女性の職場環境は随分整ってきたと感じます。変わっていないのは、共に協力するはずの男性の意識、男性が子育てに協力できる体制づくりが絶対必要だと思います。女性だけががんばるのは疲れます。
- ・子育て中の女性が就労しやすい環境をつくってもらいたいです。区独自で就職の斡旋ができないでしょうか。募集企業を開示するなど情報が入手できるようにしてもらいたいです。

5)経済的負担・助成について 31 件

- ・就学援助等様々な助成制度における所得制限の額の設定が高すぎるといつも思います。もっと低くして、本当に必要なところに限定して助成がいくべきだと思います。
- ・子どもの医療費は一部負担にしてもいいと思います。無料だからと受診過多になったり、薬を無駄にしたりする傾向があるので、1回数百円でも負担していいと考えます。
- ・子育て費用の助成をもっと進めていただきたいです。もっと子どもがほしいですが、経済的負担が大きくて産めません。中野区が「子育てに優しい街」と有名になることを願います。
- ・費用の助成金などに支援が片寄ると、受けられる家庭と受けられない家庭が出てくるので、金銭面ではない支援体制の方面を拡充いただけるとありがたいと思います。
- ・高校と大学に行くときが一番お金がかかると言われています。その頃は自分の年齢を考えると仕事も難しくなり、様々な支援も中学までというものも多く、母子家庭にとってはとても不安です。扶養手当も改定され、消費税も上がり不安なことだらけです。
- ・小学校の遠足・校外学習時の交通費が個人負担なのはおかしいです。少額なので払えないわけではありませんが、払えない人は参加できないのかと感じてしまいます。

6) 小学校及び教育環境について 25 件

- ・ 小学校教育にもっと力を入れてほしいです。土・日に時間を取って教育してほしいです。
- ・ 小学校の統合問題について、保護者向けの説明会の実施を強く希望します。全く情報がなくて不安です。
- ・ 普通学級で学習している発達障害のお子さんに、区として常時補助してくれる方を付けてほしいと思います。度々クラスの授業がスムーズに進まず、全体の集中力が落ちていく感じがします。実態を把握していただきたいです。
- ・ 全ての小学校に通級の教室があればいいと思いました。言葉の教室、支援級など、他校まで行かないといけなくて大変で負担もかかります。
- ・ 2 学期制は先生方にもメリットはなく、時間がない時間がないと言っております。また、中学になると塾へ行かないと学力がついていけない現状をなんとかしていただきたいです。
- ・ 中学、高校、大学の教育費補助があるとありがたいです。

7) 区の支援について 20 件

- ・ 我が家はインターネット環境がなくてスマホ等もないので、ペーパー情報が非常に大切です。区報等でできるだけ情報を流していただきたいです。
- ・ 子育て支援の取り組みを全く知らなかったことに驚きました。色んな情報がもっとほしいです。登録制で携帯のメールマガジンとして情報を伝えてもらえればうれしいです。
- ・ 多額の税金を納めている「働きざかりの子育て世代」が後まわしにされていると思います。お年寄り世代が多く、税収入の面で一概に考えることは難しいのかもしれませんが、2 人目、3 人目を考えるなら他区へ転出すると思います。
- ・ 住んでいる地域ですごく片寄りがあるように感じます。同じようにサービスを受けられるようにしてほしいです。
- ・ 子育て支援は「母親」対象がほとんど。父親の育児に対しては文化的にも制度的にも不十分です。男女共同、協働をかけるのであるならば、男性の育児に対する配慮と制度をもっと充実するべきです。

8) その他 11 件

- ・ 区役所を利用できる時間が短く、仕事をしていると書類が揃わなくて困ります。
- ・ 知らない情報・サービスが多いので、引き続き広報をよろしくお願いします。

第5章 資料（調査票）

1. 乳幼児調査

中野区子ども・子育てアンケート調査 〈 乳幼児調査 〉

調査ご協力のお願い

日頃より中野区政に対してご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、区では、平成24年に成立した子ども・子育て支援法に基づき、事業の充実を図るため、「中野区子ども・子育て支援事業計画」の策定を予定しています。

この計画策定にあたりまして、区民の皆様の幼稚園や保育園、学童クラブ、子育て支援事業などの「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握し、今後の施策に反映していくため、アンケート調査を実施させていただくこととなりました。

ご回答いただく内容は、中野区の幼稚園や保育園、学童クラブ、子育て支援事業などの充実を図るために活用してまいります。

調査項目が多岐にわたり、お忙しい中、大変お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

※調査へのご協力をお願いするのは、中野区にお住まいの就学前のお子さんのいる保護者の方から、無作為に選ばせていただいた約2,500人の方です。

平成25年10月
中 野 区

ご記入にあたってのお願い

- ①調査票の中の「あて名のお子さん」とは、封筒に記載されているあて名のお子さんを示しています。
- ②本調査票は、「お子さん」の日常の世話を主になさっている方が回答してください。回答できない場合は、ご家族等が代わりに回答してください。
- ③調査票にご回答いただきましたら、同封の返信用封筒に入れて、**11月7日（木）までに**ポストに入れてください。切手は不要です。

【 お問い合わせ先 】

中野区 子ども教育部 子ども教育経営分野 企画財政担当
電話：03-3228-5610 / ファックス：03-3228-5679

- ◆回答は無記名式で、個人の回答が他にもれるなどのご迷惑をおかけすることはありません。
- ◆調査結果は、目的以外に使用することはありません。

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

問1 この調査にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（○は1つ）

1. 父親 2. 母親 3. その他（ ）

問2 お住まいの地域をお答えください。（○は1つ、（ ）内は数字を記入）

- | | | |
|------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 南台（ 丁目） | 8. 新井（ 丁目） | 14. 野方（ 丁目） |
| 2. 弥生町（ 丁目） | 9. 沼袋（ 丁目） | 15. 大和町（ 丁目） |
| 3. 本町（ 丁目） | 10. 松が丘（ 丁目） | 16. 若宮（ 丁目） |
| 4. 中央（ 丁目） | 11. 江原町（ 丁目） | 17. 白鷺（ 丁目） |
| 5. 東中野（ 丁目） | 12. 江古田（ 丁目） | 18. 鷺宮（ 丁目） |
| 6. 中野（ 丁目） | 13. 丸山（ 丁目） | 19. 上鷺宮（ 丁目） |
| 7. 上高田（ 丁目） | | |

問3 あて名のお子さんの生年月を記入してください。（数字を記入）

平成（ ）年（ ）月生まれ

問4 あて名のお子さんを含め、おさんは全部で何人いらっしゃいますか。2人以上いらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月を記入してください。（数字を記入）

子どもは全部で（ ）人
※2人以上の場合 ⇒ 一番下の子は平成（ ）年（ ）月生まれ

問5 あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（○は1つ）

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 1. 父母ともに | 4. 主に祖父母 |
| 2. 主に父親 | 5. その他（ ） |
| 3. 主に母親 | |

2. あて名のお子さんの保護者の方の就労状況について

問6 あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。（〇は1つ）

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない
7. 父親はいない → 4 ページの問 7 へ

→ 問 6-3 へ

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等：フルタイム以外

問6-1 「1～4」（就労している）に〇をした方に伺います。①1週あたり就労日数・1日あたり就労時間（残業時間を含む）、②家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（数字を記入）

※日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時刻は（例）18時のように、24時間制で記入してください。

①就労日数・就労時間	1 週あたり（ ）日 ・ 1 日あたり（ ）時間
②家を出る・帰宅時刻	家を出る時刻（ ）時 ・ 帰 宅 時 刻（ ）時

問6-2 「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に〇をした方に伺います。フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（〇は1つ）

1. 転換希望があり、実現できる見込みがある
2. 転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等で働き続けたい
4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい

問6-3 「5」または「6」（就労していない）に〇をした方に伺います。就労したいという希望はありますか。（〇は1つ、（ ）内は数字を記入）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

問6-4 希望する就労形態をお答えください。（〇は1つ、（ ）内は数字を記入）

1. フルタイム
2. パート・アルバイト等 ⇒ 1 週あたり（ ）日 ・ 1 日あたり（ ）時間

問7 あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。（〇は1つ）

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない
7. 母親はいない

→ 問7-3へ

7. 母親はいない → 5 ページの問8へ

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等：フルタイム以外

問7-1 「1～4」（就労している）に〇をした方に伺います。①1週あたり就労日数・1日あたり就労時間（残業時間を含む）、②家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（数字を記入）

※日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時刻は（例）18時のように、24時間制で記入してください。

①就労日数・就労時間	1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間
②家を出る・帰宅時刻	家を出る時刻（ ）時・帰宅時刻（ ）時

問7-2 「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に〇をした方に伺います。フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（〇は1つ）

1. 転換希望があり、実現できる見込みがある
2. 転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等で働き続けたい
4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい

問7-3 「5」または「6」（就労していない）に〇をした方に伺います。就労したいという希望はありますか。（〇は1つ、（ ）内は数字を記入）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

問7-4 希望する就労形態をお答えください。（〇は1つ、（ ）内は数字を記入）

1. フルタイム
2. パート・アルバイト等 ⇒ 1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間

3. あて名のお子さんの平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況等について

【「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問9に示した事業が含まれます。】

問8 あて名のお子さんは現在、平日に幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。（〇は1つ）

1. 利用している

2. 利用していない →7 ページの問 14 へ

★問9～問13は、問8で「1. 利用している」に〇をした方に伺います。

→ 問9 平日にどのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに〇）

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 幼稚園（通常の就園時間） | 8. 事業所内保育施設 |
| 2. 幼稚園の預かり保育の定期的利用 | 9. ベビーシッター |
| 3. 認可保育所（区立・私立保育園）、
中野2丁目保育室 | 10. ベビーホテルなど |
| 4. 認証保育所 | 11. ファミリーサポート事業 |
| 5. 家庭福祉員・グループ型家庭的保育事業 | 12. 療育センターアポロ園など
（障害や発達に課題のあるお子さん対象） |
| 6. 認定こども園（幼稚園枠・短時間利用） | 13. その他（ ） |
| 7. 認定こども園（保育園枠・長時間利用） | |

→ 問10 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、①現在、②希望する 1週あたり利用日数・1日の利用時間帯をお答えください。（数字を記入）

※時間は、（例）8時～18時のように、24時間制で記入してください。

①現 在	1週あたり（ ）日 ・ 1日のうち（ ）時～（ ）時まで
②希 望	1週あたり（ ）日 ・ 1日のうち（ ）時～（ ）時まで

→ 問11 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。（〇は1つ）

1. 中野区内

2. 他の区市町村

→ 問12 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は何ですか。主な理由としてあてはまる番号すべてに〇をしてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てや教育をしている方が現在就労している
3. 子育てや教育をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育てや教育をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てや教育をしている方が病気や障害がある
6. 子育てや教育をしている方が学生である
7. その他（ ）

★問8で「2. 利用していない」に○をした方に伺います。

問14 利用していない理由は何ですか。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をしてください。

1. 母親か父親が就労していないなどの理由で利用する必要がない
2. 祖父母や親族がみている
3. 父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、幼稚園や保育園などに空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 低年齢のうちは家庭で育てたい（_____歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（_____）

★すべての方に伺います。

4. あて名のお子さんの「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問15 あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、利用している、利用していないにかかわらず、「現在、『定期的に』利用したい」と考える事業をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 幼稚園（通常の就園時間） | 8. ベビーシッター |
| 2. 幼稚園の預かり保育の定期的利用 | 9. ベビーホテルなど |
| 3. 認可保育所（区立・私立保育園）、
中野2丁目保育室 | 10. 事業所内保育施設 |
| 4. 認証保育所 | 11. ファミリーサポート事業 |
| 5. 家庭福祉員・グループ型家庭的保育事業 | 12. 療育センターアポロ園など
（障害や発達に課題のあるお子さん対象） |
| 6. 認定こども園（幼稚園枠・短時間利用） | 13. その他（ ） |
| 7. 認定こども園（保育園枠・長時間利用） | 14. 平日に定期的に利用したい事業はない |

問16 あて名のお子さんが小学校に入学するまでの間、お子さんの年齢にあわせて、現在利用している事業を変更したい、あるいは、現在は利用していないが今後利用を開始したいと考えていますか。

(○は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 考えている | 2. 考えていない | 3. わからない |
|----------|-----------|----------|

→ 問16-1 具体的な希望をお答えください。

お子さんが

() 歳の時に a () に変更したい（開始したい）

※a ()、b () には問15の
選択肢の番号をご記入ください。

※お子さんの年齢は、4月1日現在で記入ください。

⇒変更（開始）において重視する条件は何ですか。⇒【 】

※【 】には、下表のあてはまる番号をすべて記入してください。

さらに、() 歳の時に b () に変更したい

⇒変更において重視する条件は何ですか。⇒【 】

※【 】には、下表のあてはまる番号をすべて記入してください。

【変更において重視する条件】

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 教育・保育の内容や方針が希望にあう | 5. 保育料が適正である |
| 2. 施設や設備が充実している | 6. 利用する駅や職場からの距離が近い |
| 3. 保育時間が利用希望にあう | 7. 自宅から距離が近い |
| 4. 認可されている施設である | 8. その他（ ） |

問17 あて名のお子さんについて、①土曜日、②日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用を希望しますか（一時的な利用は除きます）。1つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

※時間は、（例）9時～18時のように、24時間制で記入してください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

①土曜日

- | | | |
|----------------|---|--------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯：（ ）時～（ ）時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回利用したい | | |

②日曜日・祝日

- | | | |
|----------------|---|--------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯：（ ）時～（ ）時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回利用したい | | |

★問9で「1. 幼稚園（通常の就園時間）」に○をした方に伺います。

問18 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等に、教育・保育の事業の利用を希望しますか。1つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

※時間は、（例）9時～18時のように、24時間制で記入してください。

※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

- | | | |
|--------------|---|--------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } | 利用したい時間帯：（ ）時～（ ）時まで |
| 2. ほぼ毎日利用したい | | |
| 3. 週に数日利用したい | | |

★すべての方に伺います。

5. あて名のお子さんの「不定期の」教育・保育事業やショートステイの利用について

問19 あて名のお子さんについて、私用、冠婚葬祭、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をし、1年間の利用日数（おおよそ）を記入してください。

- | | |
|---|---------------|
| 1. 保育園の一時保育・短期特例保育 | ⇒ 年間（ ）日 |
| 2. 幼稚園の預かり保育 | ⇒ 年間（ ）日 |
| 3. ファミリーサポート事業 | ⇒ 年間（ ）日 |
| 4. トワイライトステイ | ⇒ 年間（ ）日 |
| 5. ベビーシッター | ⇒ 年間（ ）日 |
| 6. 療育センターアポロ園の緊急一時保護
（障害や発達に課題のあるお子さん対象） | ⇒ 年間（ ）日 |
| 7. その他（ ） | ⇒ 年間（ ）日 |
| 8. 利用していない →10 ページの問 19-1 へ | |

問19-1 「8. 利用していない」に○をした方に伺います。現在利用していない理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない
2. サービスの内容・質に不安がある
3. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくない
4. 利用料がかかる
5. 利用手続きが煩雑である
6. 事業について知らなかった
7. その他（

問20 あて名のお子さんについて、私用、冠婚葬祭、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり事業（問19の1～6の事業）を利用する必要があると思いますか。1つに〇をし、ある場合は、目的別に必要な日数を記入してください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 利用する必要がある

①私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	年間（ ）日
②冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等	年間（ ）日
③不定期の就労	年間（ ）日
④その他（ ）	年間（ ）日

2. 利用する必要はない

問21 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。(〇は1つ)

1. あった (預け先がみつからなかった場合も含む) 2. なかった → 問 22へ

→ 問21-1 この1年間に行った対処方法すべてに○をし、日数（おおよそ）を記入してください。

- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| 1. ショートステイを利用した | ⇒ 年間()日 |
| 2. 1 以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した | ⇒ 年間()日 |
| 3. 親族・知人にみてもらった | ⇒ 年間()日 |
| 4. 子どもを同行させた | ⇒ 年間()日 |
| 5. その他() | ⇒ 年間()日 |

問21-2△

問21-2 「2～5」に○をした方に伺います。ショートステイを利用しなかった理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がなかった
2. サービスの内容・質に不安がある
3. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよい
4. 利用料がかかる
5. 利用手続きが煩雑である
6. 事業について知らなかった
7. その他()

★問22は、障害や発達に課題のあるお子さんを対象とする事業について伺います。

問22 あて名のお子さんについて、緊急一時保護を利用したいと思いますか。(○は1つ)

※緊急一時保護は、障害や発達に課題のあるお子さんを一時的にお預かりする事業で、利用料金がかかります。

1. 利用したい 2. 必要だが、利用したいとは思わない 3. 利用する必要はない

→ 問22-1 1週あたり利用希望日数・1日の利用希望時間帯をご記入ください。(数字を記入)

※時間は(例)18時のように、24時間制で記入してください。

1週あたり()日 ・ 1日のうち()時～()時まで

★すべての方に伺います。

6. あて名のお子さんの子育てひろばの利用について

問23 あて名のお子さんは、現在、子育てひろばを利用していますか。(利用しているものすべてに○)

1. 児童館、U18 プラザ、ふれあいの家のひろば事業
2. 中部すこやか福祉センターのひろば事業(どんぐり)
3. 地域の団体が実施するひろば事業、乳幼児親子の居場所
4. 民間の行うひろば事業
5. 利用していない

→ 問23-1 「1～4」に○をした方に伺います。子育てひろばの利用頻度はどのくらいですか。

「1～4」をあわせた、およその利用回数(頻度)を記入してください。(数字を記入)

1週あたり()回 もしくは 1か月あたり()回程度

問24 問23の子育てひろばについて、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。1つに○をして、希望する場合は、おおよその利用回数（頻度）を記入してください。

※利用料金は無料です。

1. 現在は利用していないが、今後利用したい
⇒ 1週あたり（ ）回 もしくは 1か月あたり（ ）回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
⇒ 1週あたり（ ）回 もしくは 1か月あたり（ ）回程度
3. 利用したいとは思わない

★あて名のお子さんが5歳以上である方に伺います。⇒ 5歳未満の方は、14ページの問29へ

7. 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望について

問25 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）をどこで過ごさせたいと思いませんか。あてはまる番号すべてに○をし、希望する日数を記入してください。「4. 学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も、（例）18時のように24時間制で記入してください。

※学童クラブ、ファミリーサポート事業、放課後等デイサービスの利用には、一定の利用料がかかります。

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------|
| 1. 自宅 | ⇒ 週（ ）日 |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | ⇒ 週（ ）日 |
| 3. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など） | ⇒ 週（ ）日 |
| 4. 学童クラブ | ⇒ 週（ ）日
→ 下校時から（ ）時まで |
| 5. 児童館（みずの塔ふれあいの家含む） | ⇒ 週（ ）日 |
| 6. キッズ・プラザ | ⇒ 週（ ）日 |
| 7. 放課後子ども教室 | ⇒ 週（ ）日 |
| 8. ファミリーサポート事業 | ⇒ 週（ ）日 |
| 9. U18 プラザ（城山ふれあいの家含む） | ⇒ 週（ ）日 |
| 10. 放課後等デイサービス
（障害や発達に課題のあるお子さん対象） | ⇒ 週（ ）日 |
| 11. その他（公園、図書館など） | ⇒ 週（ ）日 |

問26 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）をどこで過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をし、希望する日数を記入してください。また、「4. 学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も、（例）18時のように24時間制で記入してください。 ※だいふ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

※学童クラブ、ファミリーサポート事業、放課後等デイサービスの利用には、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	⇒ 週（ ）日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	⇒ 週（ ）日
3. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	⇒ 週（ ）日
4. 学童クラブ	⇒ 週（ ）日 → 下校時から（ ）時まで
5. 児童館（みずの塔ふれあいの家含む）	⇒ 週（ ）日
6. キッズ・プラザ	⇒ 週（ ）日
7. 放課後子ども教室	⇒ 週（ ）日
8. ファミリーサポート事業	⇒ 週（ ）日
9. U18 プラザ（城山ふれあいの家含む）	⇒ 週（ ）日
10. 放課後等デイサービス （障害や発達に課題のあるお子さん対象）	⇒ 週（ ）日
11. その他（公園、図書館など）	⇒ 週（ ）日

★問25または問26で「4. 学童クラブ」に○をした方に伺います。

問27 あて名のお子さんについて、①土曜日、②日曜日・祝日に、学童クラブの利用を希望しますか。1つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

※時間は、（例）9時～18時のように、24時間制で記入してください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

①土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯： （ ）時～（ ）時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

②日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯： （ ）時～（ ）時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

問28 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等に、学童クラブの利用を希望しますか。1つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

※時間は、（例）9時～18時のように、24時間制で記入してください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯： （ ）時～（ ）時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

★すべての方に伺います。

8. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

問29 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。①父親、②母親それぞれ1つに○をしてください。取得していない方はその理由を下の表から選んで番号を記入してください。

※父子家庭の方は①のみ、母子家庭の方は②のみご回答ください。

①父親	②母親
1. 働いていなかった → 問33へ	1. 働いていなかった → 問33へ
2. 取得した	2. 取得した
3. 取得中である → 問32へ	3. 取得中である → 問32へ
4. 取得していない → 問33へ	4. 取得していない → 問33へ
理由 ※下の番号を選んで記入してください。(いくつでも)	理由 ※下の番号を選んで記入してください。(いくつでも)

問30へ

1. 職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 仕事に早く復帰したかった
4. 休むと仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入が減り、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 育児休業をすると保育園等に預けるのが難しかった
9. 配偶者が育児休業制度を利用した
10. 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど必要がなかった
11. 子育てや家事に専念するため退職した
12. 職場に育児休業制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
13. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
14. 育児休業を取得できることを知らなかった
15. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず退職した
16. その他()

★問29で「2. 取得した」に○をした方に伺います。

問30 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。①父親、②母親それぞれ1つに○をしてください。

①父親	②母親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 育児休業中（終了時）に離職した → 問33へ	2. 育児休業中（終了時）に離職した → 問33へ

★「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をした方に伺います。

→ 問30-1 職場に復帰したタイミングはいつですか。（○は1つ）

①父親	②母親
1. 年度初め（保育園入園にあわせて）	1. 年度初め（保育園入園にあわせて）
2. 育児休業終了時	2. 育児休業終了時
3. その他（ ）	3. その他（ ）

→ 問30-2 育児休業から職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。1つに○をし、利用しなかったがしなかった方はその理由を下の表から選んで番号を記入してください。

①父親	②母親
1. 利用する必要がなかった （もともと短時間勤務等）	1. 利用する必要がなかった （もともと短時間勤務等）
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用しなかったが、しなかった（できなかった）	3. 利用しなかったが、しなかった（できなかった）
↓ 理由 ※下の番号を選んで記入してください。（いくつでも）	↓ 理由 ※下の番号を選んで記入してください。（いくつでも）

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額される 4. 短時間勤務にすると保育園に入りにくい 5. 配偶者が短時間勤務制度や育児休業制度を利用した 6. 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど必要がなかった 7. 短時間勤務制度がなかった 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 9. その他（ ）

★問30で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をした方に伺います。

問30-3 育児休業から復帰したのは、1. お子さんが何歳の時ですか。また、2. 最大3歳まで休業できる制度があった場合、何歳の時まで休業したかったですか。（数字を記入）

①父親

1. 実際の復帰時期：（ ）歳（ ）か月
2. 希望の復帰時期：（ ）歳（ ）か月まで

②母親

1. 実際の復帰時期：（ ）歳（ ）か月
2. 希望の復帰時期：（ ）歳（ ）か月まで

★問31は、問30-3の 2. 希望する復帰時期が、1. 実際の復帰時期と異なる方に伺います。

問31 希望の時期に復帰できなかった（しなかった）理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

①父親

希望より早く復帰した方	希望より遅く復帰した方
1. 希望する保育園等に入るため 2. 配偶者や家族の希望 3. 経済的な理由 4. 人事異動や業務の節目など仕事の都合 5. 子どもをみてくれる人がいた 6. その他（ ）	1. 希望する保育園等に入れなかったため 2. 自分や子どもの体調が思わしくなかった 3. 配偶者や家族の希望 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかった 5. 子どもをみてくれる人がいなかった 6. その他（ ）

②母親

希望より早く復帰した方	希望より遅く復帰した方
1. 希望する保育園等に入るため 2. 配偶者や家族の希望 3. 経済的な理由 4. 人事異動や業務の節目など仕事の都合 5. 子どもをみてくれる人がいた 6. その他（ ）	1. 希望する保育園等に入れなかったため 2. 自分や子どもの体調が思わしくなかった 3. 配偶者や家族の希望 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかった 5. 子どもをみてくれる人がいなかった 6. その他（ ）

★問29で「3. 取得中である」に○をした方に伺います。

問32 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（○は1つ）

①父親	②母親
1. 1歳になるまで取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい 3. その他（ ）	1. 1歳になるまで取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい 3. その他（ ）

★すべての方に伺います。

9. 子育て支援全般について

問33 あて名のお子さんの出産直後に、お子さんの子育てや家事を手伝ってくれた人や利用したサービスはありましたか。（あてはまる番号すべてに○）

1. あなたの配偶者・パートナー 2. 里帰り出産先の子どもの祖父母 3. 2以外の子どもの祖父母 4. 子どもの祖父母以外の親族 5. 育児支援ヘルパー 6. ほほえみサービス（社会福祉協議会が実施しているサービス） 7. 友人・知人 8. NPO 法人や民間サービス 9. その他（ ） 10. 手伝ってくれた人はいなかった・サービスは利用しなかった
--

問34 あて名のお子さんとは接する時間はどのくらいありますか。平日、休日について、①父親、②母親それぞれ1つに○をしてください。

※父子家庭の方は①のみ、母子家庭の方は②のみご回答ください。

	平日	休日
①父親	1. ほとんどない 2. 30分くらい 3. 1時間くらい 4. 2時間くらい 5. 3時間くらい 6. 4時間以上	1. ほとんどない 2. 30分くらい 3. 1時間くらい 4. 2時間くらい 5. 3時間くらい 6. 4時間以上
②母親	1. ほとんどない 2. 30分くらい 3. 1時間くらい 4. 2時間くらい 5. 3時間くらい 6. 4時間以上	1. ほとんどない 2. 30分くらい 3. 1時間くらい 4. 2時間くらい 5. 3時間くらい 6. 4時間以上

問35 あて名のお子さんの子育てや教育を行うにあたって、心配なことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 子どもの健康や病気 | 9. 子どもへの接し方がわからないこと |
| 2. 子どもの発達 | 10. 子育てに自信が持てないこと |
| 3. 子どものしつけ | 11. 子育てで配偶者と意見があわないこと |
| 4. 子育て仲間がいないこと | 12. 保護者同士の人間関係 |
| 5. 子育てが精神的に負担になっていること | 13. 自分や家族の健康状態 |
| 6. 子どもとの時間が十分にとれないこと | 14. 子育ての経済的負担 |
| 7. 仕事や自分のことが十分にできないこと | 15. その他 () |
| 8. 子どもの勉強や成績 | 16. 特にない |

問36 あて名のお子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所がありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. あなたの配偶者、パートナー
2. その他の親族
3. 友人・知人
4. 幼稚園の先生
5. 保育園の職員（保育士、看護師など）
6. 児童館等の職員（学童クラブ、キッズ・プラザ、U18 プラザ、ふれあいの家含む）
7. すこやか福祉センター
8. 保健所
9. 子ども家庭支援センター
10. かかりつけ医
11. 教育相談室
12. 民生・児童委員
13. 次世代育成委員
14. 地域の子育て支援団体
15. 民間の子育て相談（電話、インターネットなど）
16. 療育センターアポロ園
17. その他の区役所窓口
18. 母子生活支援施設の子育て電話相談
19. その他 ()
20. 気軽に相談できる人（場所）はない

問37 下記の子育て支援サービスについて、サービスごとに、A・Bそれぞれ1つに○をしてください。

	A 認知・利用状況			B 今後の利用意向	
	1. 利用した ことがある	2. 知っている が、利用 したことは ない	3. 知らない	1. 利用 したい	2. 利用 したいと 思わない
①子育て応援メールマガジン	1	2	3	1	2
②区のホームページの子育て情報	1	2	3	1	2
③子育て情報誌「おひるね」	1	2	3	1	2
④赤ちゃんぽっとスペース (赤ちゃんふらっと)	1	2	3	1	2
⑤こんにちは赤ちゃん学級、両親学級	1	2	3	1	2
⑥子ども家庭支援センター	1	2	3	1	2
⑦区の子ども総合相談窓口	1	2	3	1	2
⑧すこやか福祉センターの相談サービス	1	2	3	1	2
⑨すこやか福祉センターの実施する講座、 講演会など	1	2	3	1	2
⑩幼稚園における子育て相談	1	2	3	1	2
⑪保育園における子育て相談	1	2	3	1	2
⑫児童館等における子育て相談 (学童クラブ、キッズ・プラザ、 U18 プラザ、ふれあいの家含む)	1	2	3	1	2
⑬療育センターアポロ園 (障害や発達に課題のある 子どもに対する相談・支援)	1	2	3	1	2
⑭教育センターにおける教育相談	1	2	3	1	2
⑮幼稚園の未就園児のひろばや親子教室	1	2	3	1	2
⑯保育園の園庭開放	1	2	3	1	2
⑰ファミリーサポート事業	1	2	3	1	2
⑱育児支援ヘルパー	1	2	3	1	2
⑲母子生活支援施設の子育て電話相談	1	2	3	1	2

問 38 今後、子育て支援策として、どのようなことが進んでいけばいいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 妊娠・出産・乳幼児健診などの母子保健対策の充実
2. 児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成
3. 幼児期の教育の充実
4. 多様な保育サービスの充実（待機児童解消、一時保育、延長保育、病児・病後児保育）
5. 子育てや子どもの発達などについての不安や悩みの相談支援体制の充実
6. 子育て中の親や子どもが気軽に集うことのできる場所・機会の充実
7. 子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり（児童館、学童クラブ、キッズ・プラザ、
U18 プラザ、ふれあいの家など）
8. 出産退院後、身の回りの世話をしてくれる家事や育児への支援体制の拡充
9. 保護者の入院など緊急時における支援サービスの提供
10. 犯罪から子どもを守る体制の整備
11. 子どもへの虐待防止対策と体制の整備
12. 家事・育児への男女共同参画の意識づくり
13. 子育てしやすい労働環境づくりに向けた企業への啓発
14. その他（ ）

問39 区の子育て支援施策に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

調査票は、返信用封筒に入れ、11月7日（木）までにポストに入れてください。

2. 就学児童調査(小学校 1～3 年生)

中野区子ども・子育てアンケート調査 〈 就学児童（小学校 1～3 年生）調査 〉

調査ご協力のお願い

日頃より中野区政に対してご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、区では、平成24年に成立した子ども・子育て支援法に基づき、事業の充実を図るため、「中野区子ども・子育て支援事業計画」の策定を予定しています。

この計画策定にあたりまして、区民の皆様の幼稚園や保育園、学童クラブ、子育て支援事業などの「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握し、今後の施策に反映していくため、アンケート調査を実施させていただくこととなりました。

ご回答いただく内容は、中野区の幼稚園や保育園、学童クラブ、子育て支援事業などの充実を図るために活用してまいります。

調査項目が多岐にわたり、お忙しい中、大変お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

※調査へのご協力をお願いするのは、中野区にお住まいの就学児童（小学校 1～3 年生）のお子さんのいる保護者の方から、無作為に選ばせていただいた約 1,500 人の方です。

平成25年10月

中 野 区

ご記入にあたってのお願い

- ①調査票の中の「あて名のお子さん」とは、封筒に記載されているあて名のお子さんを示しています。
- ②本調査票は、「お子さん」の日常の世話を主になさっている方が回答してください。回答できない場合は、ご家族等が代わりに回答してください。
- ③調査票にご回答いただきましたら、同封の返信用封筒に入れて、**11月7日(木)までに** ポストに入れてください。切手は不要です。

【 お問い合わせ先 】

中野区 子ども教育部 子ども教育経営分野 企画財政担当

電話：03-3228-5610 / ファックス：03-3228-5679

- ◆回答は無記名式で、個人の回答が他にもれるなどのご迷惑をおかけすることはありません。
- ◆調査結果は、目的以外に使用することはありません。

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

問1 この調査票にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（○は1つ）

1. 父親 2. 母親 3. その他（ ）

問2 お住まいの地域をお答えください。（○は1つ、（ ）内は数字を記入）

- | | | |
|------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 南台（ 丁目） | 8. 新井（ 丁目） | 14. 野方（ 丁目） |
| 2. 弥生町（ 丁目） | 9. 沼袋（ 丁目） | 15. 大和町（ 丁目） |
| 3. 本町（ 丁目） | 10. 松が丘（ 丁目） | 16. 若宮（ 丁目） |
| 4. 中央（ 丁目） | 11. 江原町（ 丁目） | 17. 白鷺（ 丁目） |
| 5. 東中野（ 丁目） | 12. 江古田（ 丁目） | 18. 鷺宮（ 丁目） |
| 6. 中野（ 丁目） | 13. 丸山（ 丁目） | 19. 上鷺宮（ 丁目） |
| 7. 上高田（ 丁目） | | |

問3 あて名のお子さんの生年月を記入してください。（数字を記入）

平成（ ）年（ ）月生まれ

問4 あて名のお子さんを含め、お子さんは全部で何人いらっしゃいますか。2人以上いらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月を記入してください。（数字を記入）

子どもは全部で（ ）人
※2人以上の場合 ⇒ 一番下の子は平成（ ）年（ ）月生まれ

問5 あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（○は1つ）

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 1. 父母ともに | 4. 主に祖父母 |
| 2. 主に父親 | 5. その他（ ） |
| 3. 主に母親 | |

2. あて名のお子さんの保護者の方の就労状況について

問6 あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。（○は1つ）

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→ 問6-3 へ

7. 父親はいない → 4ページの間7 へ

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等：フルタイム以外

問6-1 「1～4」（就労している）に○をした方に伺います。①1週あたり就労日数・1日あたり就労時間（残業時間を含む）、②家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（数字を記入）

※日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時刻は（例）18時のように、24時間制で記入してください。

①就労日数・就労時間	1 週あたり（ ）日 ・ 1 日あたり（ ）時間
②家を出る・帰宅時刻	家を出る時刻（ ）時 ・ 帰宅時刻（ ）時

問6-2 「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方に伺います。フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（○は1つ）

1. 転換希望があり、実現できる見込みがある
2. 転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等で働き続けたい
4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい

問6-3 「5」または「6」（就労していない）に○をした方に伺います。就労したいという希望はありますか。（○は1つ、（ ）内は数字を記入）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）
2. 1 年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃就労したい
3. すぐにでも、もしくは1 年以内に就労したい

問6-4 希望する就労形態をお答えください。（○は1つ、（ ）内は数字を記入）

1. フルタイム
2. パート・アルバイト等 ⇒ 1 週あたり（ ）日 ・ 1 日あたり（ ）時間

問7 あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。（〇は1つ）

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→ 問7-3へ

7. 母親はいない →5 ページ問8のへ

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等：フルタイム以外

問7-1 「1～4」（就労している）に〇をした方に伺います。①1週あたり就労日数・1日あたり就労時間（残業時間を含む）、②家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（数字を記入）

※日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時刻は（例）18時のように、24時間制で記入してください。

①就労日数・就労時間	1 週あたり（ ）日 ・ 1 日あたり（ ）時間
②家を出る・帰宅時刻	家を出る時刻（ ）時 ・ 帰 宅 時 刻（ ）時

問7-2 「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に〇をした方に伺います。フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（〇は1つ）

1. 転換希望があり、実現できる見込みがある
2. 転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等で働き続けたい
4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい

問7-3 「5」または「6」（就労していない）に〇をした方に伺います。就労したいという希望はありますか。（〇は1つ、（ ）内は数字を記入）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

問7-4 希望する就労形態をお答えください。（〇は1つ、（ ）内は数字を記入）

1. フルタイム
2. パート・アルバイト等 ⇒1 週あたり（ ）日 ・ 1 日あたり（ ）時間

★すべての方に伺います。

3. あて名のお子さんの放課後の過ごし方について

問8 あて名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどこで過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をしてください。また、「5」、「6」以外に○をした場合は、週あたり日数を記入してください。

- | | |
|-----------------------------------|------------|
| 1. 自宅 | ⇒ 週（ ）日 |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | ⇒ 週（ ）日 |
| 3. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など） | ⇒ 週（ ）日 |
| 4. 学童クラブ | ⇒ 週（ ）日 |
| 5. 児童館（みずの塔ふれあいの家含む） | |
| 6. キッズ・プラザ | |
| 7. 放課後子ども教室 | ⇒ 週（ ）日 |
| 8. ファミリーサポート事業 | ⇒ 週（ ）日 |
| 9. U18 プラザ（城山ふれあいの家含む） | ⇒ 週（ ）日 |
| 10. 放課後等デイサービス（障害や発達に課題のあるお子さん対象） | ⇒ 週（ ）日 |
| 11. その他（公園、図書館など） | ⇒ 週（ ）日 |

→ 問8-1 「4. 学童クラブ」に○をした方に伺います。①放課後（平日の小学校終了後）、②土曜日、③夏休み等の利用状況をお答えください。

※時間は、（例）8時～18時のように、24時間制で記入してください。

①放課後 （平日の小学校終了後）	下校時から（ ）時まで
②土曜日	1. 利用している ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用していない
③夏休み等	1. 利用している ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用していない

→ 問8-2 「10. 放課後等デイサービス（障害や発達に課題のあるお子さん対象）」に○をした方に伺います。①放課後（平日の小学校終了後）、②土曜日、③夏休み等の利用状況をお答えください。

※時間は、（例）8時～18時のように、24時間制で記入してください。

①放課後 （平日の小学校終了後）	下校時から（ ）時まで
②土曜日	1. 利用している ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用していない
③夏休み等	1. 利用している ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用していない

問9 あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、学童クラブの利用を希望しますか。
①～④それぞれについて1つに○をし、希望する場合は、利用したい日数・時間帯を記入してください。

※時間は、（例）8時～18時のように、24時間制で記入してください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）になったら
①平日	1. 利用したい ⇒1 週あたり（ ）日 （ ）時まで 2. 利用する必要はない	1. 利用したい ⇒1 週あたり（ ）日 （ ）時まで 2. 利用する必要はない
②土曜日	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用する必要はない	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用する必要はない
③日曜日・祝日	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用する必要はない	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用する必要はない
④夏休み等	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用する必要はない	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用する必要はない

問10 あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、放課後等デイサービス（障害や発達に課題のあるお子さん対象）の利用を希望しますか。①～④それぞれについて1つに○をし、希望する場合は、利用したい日数・時間帯を記入してください。

※時間は、（例）8時～18時のように、24時間制で記入してください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）になったら
①平日	1. 利用したい ⇒1 週あたり（ ）日 （ ）時まで 2. 利用する必要はない	1. 利用したい ⇒1 週あたり（ ）日 （ ）時まで 2. 利用する必要はない
②土曜日	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用する必要はない	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用する必要はない
③日曜日・祝日	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用する必要はない	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用する必要はない
④夏休み等	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用する必要はない	1. 利用したい ⇒（ ）時～（ ）時 2. 利用する必要はない

問 11 あて名のお子さんのキッズ・プラザの現在の利用状況をお答えください。1つに○をし、利用している場合は、利用日数を記入してください。

1. 利用している ⇒ 1週あたり()日 もしくは 1か月あたり()日
2. 利用していない

→ 問 11-1 キッズ・プラザを利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 利用する時間がない 4. 友達が行かない
2. どこにあるか知らない 5. その他()
3. 行ってもおもしろくない

問 12 あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、キッズ・プラザの利用を希望しますか。1つに○をし、希望する場合は、利用したい日数を記入してください。

1. 利用したい ⇒ 1週あたり()日 もしくは 1か月あたり()日
2. 利用したいと思わない

問 13 あて名のお子さんの児童館の現在の利用状況をお答えください。1つに○をし、利用している場合は、利用日数を記入してください。

1. 利用している ⇒ 1週あたり()日 もしくは 1か月あたり()日
2. 利用していない

→ 問 13-1 児童館を利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 利用する時間がない 4. 友達が行かない
2. どこにあるか知らない 5. その他()
3. 行ってもおもしろくない

問 14 あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、児童館の利用を希望しますか。1つに○をし、希望する場合は、利用したい日数を記入してください。

1. 利用したい ⇒ 1週あたり()日 もしくは 1か月あたり()日
2. 利用したいと思わない

★すべての方に伺います。

4. あて名のお子さんの子育て支援事業の利用状況について

問 15 あて名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならない時に、預けることができる事業があったら利用したいと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したいと思わない |
|----------|---------------|

問 16 あて名のお子さんについて、私用、冠婚葬祭、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をし、1 年間の利用日数（おおよそ）を記入してください。

- | | |
|---|----------|
| 1. 民間学童クラブの一時保育 | ⇒ 年間（ ）日 |
| 2. ファミリーサポート事業 | ⇒ 年間（ ）日 |
| 3. トワイライトステイ | ⇒ 年間（ ）日 |
| 4. 療育センターアポロ園の緊急一時保護
(障害や発達に課題のあるお子さん対象) | ⇒ 年間（ ）日 |
| 5. その他（ ） | ⇒ 年間（ ）日 |
| 6. 利用していない | |

6. 利用していない

↳ 問 16-1 利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- １．特に利用する必要がない
- ２．サービスの内容や質に不安がある
- ３．事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
- ４．利用料がかかる
- ５．利用手続きが煩雑である
- ６．事業について知らなかった
- ７．その他（ ）

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 利用する必要がある

①私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	年間（ ）日
②冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等	年間（ ）日
③不定期の就労	年間（ ）日
④その他（ ）	年間（ ）日

2. 利用する必要はない

問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。（〇は1つ）

1. あった（預け先がみつからなかった場合も含む） 2. なかった → 10 ページの間 19へ

→ 問 18-1 この 1 年間に行った対処方法すべてに○をし、日数（おおよそ）を記入してください。

1. ショートステイを利用した	⇒	年間（	）日	
2. 1 以外の事業（民間のサービス等）を利用した	⇒	年間（	）日	
3. 親族・知人にみてもらった	⇒	年間（	）日	
4. 子どもを同行させた	⇒	年間（	）日	
5. その他（	）	⇒	年間（	）日

★すべての方に伺います。

5. 子育て支援全般について

問 19 あて名のお子さんの子育てや教育を行うにあたって、心配なことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 子どもの健康や病気 | 9. 子どもへの接し方がわからないこと |
| 2. 子どもの発達 | 10. 子育てに自信が持てないこと |
| 3. 子どものしつけ | 11. 子育てで配偶者と意見があわないこと |
| 4. 子育て仲間がいないこと | 12. 保護者同士の人間関係 |
| 5. 子育てが精神的に負担になっていること | 13. 自分や家族の健康状態 |
| 6. 子どもとの時間が十分にとれないこと | 14. 子育ての経済的負担 |
| 7. 仕事や自分のことが十分にできないこと | 15. その他 () |
| 8. 子どもの勉強や成績 | 16. 特にない |

問 20 あて名のお子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所がありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|--|
| 1. あなたの配偶者、パートナー |
| 2. その他の親族 |
| 3. 友人・知人 |
| 4. 幼稚園の先生 |
| 5. 保育園の職員(保育士、看護師など) |
| 6. 児童館等の職員(学童クラブ、キッズ・プラザ、U18 プラザ、ふれあいの家含む) |
| 7. すこやか福祉センター |
| 8. 保健所 |
| 9. 子ども家庭支援センター |
| 10. かかりつけ医 |
| 11. 教育相談室 |
| 12. 民生・児童委員 |
| 13. 次世代育成委員 |
| 14. 地域の子育て支援団体 |
| 15. 民間の子育て相談(電話、インターネットなど) |
| 16. 療育センターアボロ園 |
| 17. その他の区役所窓口 |
| 18. 母子生活支援施設の子育て電話相談 |
| 19. 小中学校の先生 |
| 20. スクールカウンセラー |
| 21. その他 () |
| 22. 気軽に相談できる人(場所)はない |

問 21 下記の子育て支援サービスについて、サービスごとにそれぞれ1つに○をしてください。

	1. 利用した ことがある	2. 知っている が、利用した ことはない	3. 知らない
①子育て応援メールマガジン	1	2	3
②区のホームページの子育て情報	1	2	3
③子育て情報誌「おひるね」	1	2	3
④赤ちゃんほっとスペース（赤ちゃんふらっと）	1	2	3
⑤こんにちは赤ちゃん学級、両親学級	1	2	3
⑥子ども家庭支援センター	1	2	3
⑦区の子ども総合相談窓口	1	2	3
⑧すこやか福祉センターの相談サービス	1	2	3
⑨すこやか福祉センターの実施する講座、講演会など	1	2	3
⑩幼稚園における子育て相談	1	2	3
⑪保育園における子育て相談	1	2	3
⑫児童館等における子育て相談 （学童クラブ、キッズ・プラザ、U18 プラザ、ふれあいの家含む）	1	2	3
⑬療育センターアポロ園の相談・支援 （障害や発達に課題のあるお子さんの相談・支援）	1	2	3
⑭教育センターにおける教育相談	1	2	3
⑮小中学校の心の教育相談員・スクールカウンセラー による教育相談	1	2	3
⑯小学校の校庭開放	1	2	3
⑰ファミリーサポート事業	1	2	3
⑱身近な地域における親子のひろば・交流の場 ⑲で「1. 利用したことがある」に○をした方に伺います。 利用したものすべてに○をしてください。	1	2	3
⑲で「1. 利用したことがある」に○をした方に伺います。 利用したものすべてに○をしてください。	1. 保育園 2. 児童館 3. 民間のひろば 4. その他（ ）		
⑲育児支援ヘルパー	1	2	3
⑳母子生活支援施設の子育て電話相談	1	2	3

問 22 今後、子育て支援策として、どのようなことが進んでいけばいいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 妊娠・出産・乳幼児健診などの母子保健対策の充実
2. 児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成
3. 幼児期の教育の充実
4. 多様な保育サービスの充実（待機児童解消、一時保育、延長保育、病児・病後児保育）
5. 子育てや子どもの発達などについての不安や悩みの相談支援体制の充実
6. 子育て中の親や子どもが気軽に集うことのできる場所・機会の充実
7. 子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり（学童クラブ、児童館、キッズ・プラザ、U18 プラザ、ふれあいの家など）
8. 出産退院後、身の回りの世話をしてくれる家事や育児への支援体制の拡充
9. 保護者の入院など緊急時における支援サービスの提供
0. 犯罪から子どもを守る体制の整備
1. 子どもへの虐待防止対策と体制の整備
2. 家事・育児への男女共同参画の意識づくり
3. 子育てしやすい労働環境づくりに向けた企業への啓発
4. その他（ ）

問 23 区の子育て支援施策に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

調査票は、返信用封筒に入れ、11月7日（木）までにポストに入れてください。

印刷物登録番号 25 中子経第 561 号

中野区子ども・子育てアンケート調査結果報告書

平成 26（2014）年 3 月発行

発 行 中野区子ども教育部子ども教育経営分野
〒164-8501 中野区中野 4-8-1
TEL 03（3228）5610

集計・分析 株式会社 コモン計画研究所
〒166-0015 杉並区成田東 5-35-15 THE PLAZA-F 2 階
TEL 03（3220）5415